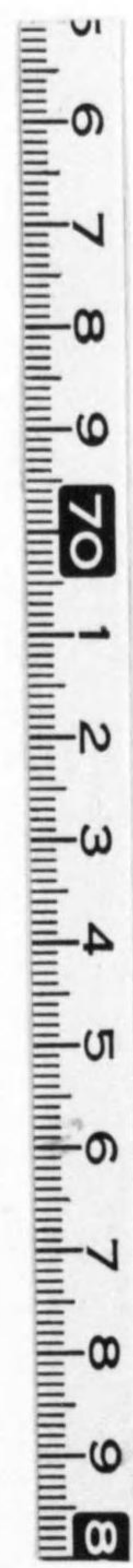


257.1-11



257.1
11



始





學校建築圖集

日本建築協會版



605
257.1-11

序

今日我國に於ける教育事業の確立は急務中の急務にして、速に千古不易の教育方針を樹立して將來我國家を托すべき小國民に健全なる教育を施すにあるは言を俟たず。教育の業たるや學校教育を以て竭せりと爲すに非ざれども其大部分を占むるものなりと云ふを得べし。而して學校教育完成の因は校舍の完備に足れりとするに非ざるも、兒童をして安んじて身を托し生を衛り進んで健康の域に達せしめ、志操をして健全確固たるものとし、健全なる小國民養成の責の半は校舍の完備に非ざるか、殊に密集生活をなし文明の餘弊を受けて心身を害ひつゝある都會兒童を收容する都市の學校建築の完否は、將來の我國の運命をトするものなりと云ふも過言に非ず。明治維新以來學校教育の興隆に伴ひ其の殿堂たる學校々舎の建築も、教育思潮、教育組織、社會狀態の變遷又は建築材料、建築構造の發達進歩に伴ひて次第に完全なるものを生ずるに至れり。殊に關東大震災以後に於ける帝都、横濱に於ける復興建築並に、其他の都市に於ける都市計畫のため當然生ずる學校建築の新築、増築、改築等は一に敷地の撰擇と校舍の完備に意を用ひられ、次第に理想に近き學校建築の實現を見るに到れるは吾人の等しく慶びに堪へざる所なり。

我日本建築協會が曩に其機關雜誌「建築と社會」(昭和五年二月號)に學校建築の特輯記事を掲げ、建築家、教育家の參考資料と爲さんとした企は最も機を得たるものにして、其際幸に各方面の御讃同を得、五大都市の營繕課、學校建築課、其他建築事務所等より其代表的なる學校建築の計畫圖、寫眞等を進んで提供せられしを以て、茲に本誌と別冊となし圖集として發行する事を得たり。蓋し代表的なる語は工費の多寡、規模の大小を云ふものに非ずして其學校建築としての使命を遂行し得る校舍の完備せるを云ふ。

收むる所の圖は最近新築せられたる小學校建築を主とし中等學校、大學に到るまで其の平面計畫、立面圖、構造圖、寫眞等を以て其の計畫、規模、外觀、内部設備等を知る事を得るものにして、世の教育家、建築家の將來學校建築、殊に都市の學校建築計畫の生きたる參考資料たるを疑はず。

尙斯舉に際し此貴重なる材料を提供せられし各位に深甚の謝意を表す。

目次

序.....(特)
寫真.....(寫真一、二)

Table listing architectural drawings for various schools and institutions, including Osaka Municipal and National schools, with page numbers in parentheses.

Table listing architectural drawings for various schools and institutions, including Osaka Municipal and National schools, with page numbers in parentheses.

工事梗概

Table listing project summaries for various schools and institutions, including Osaka Municipal and National schools, with page numbers in parentheses.



大阪市立東商業學校奉安殿



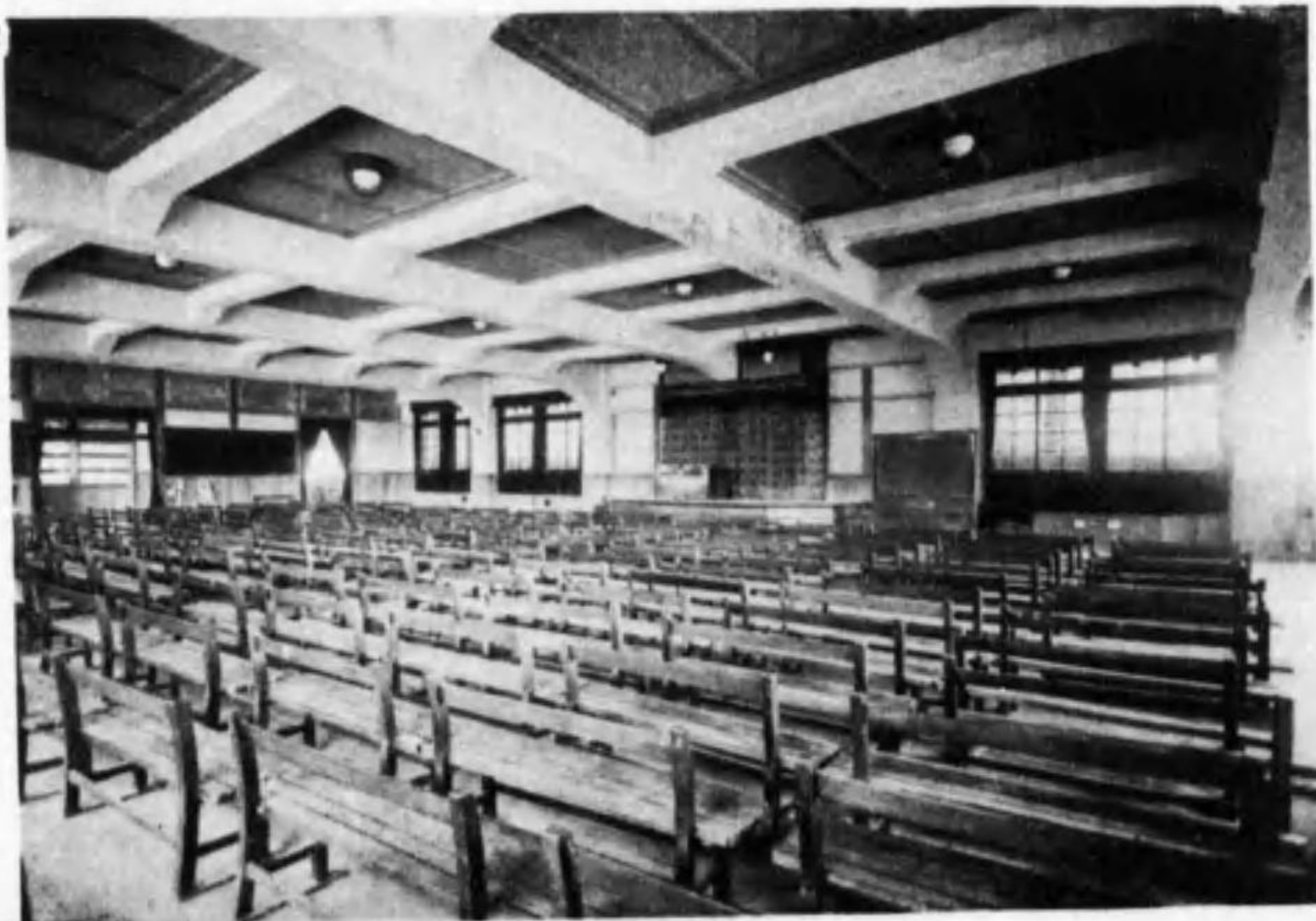
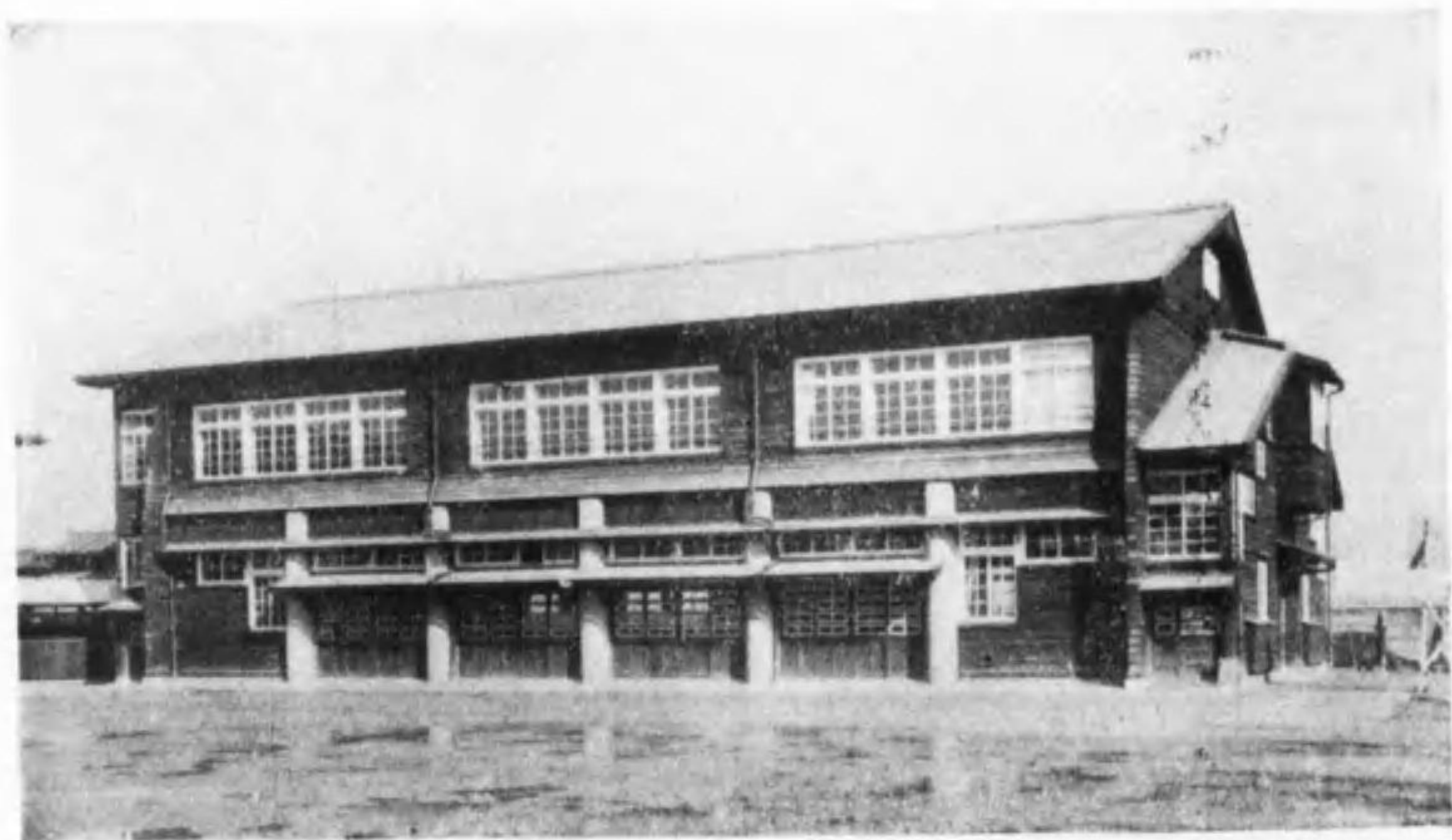
大阪市立下福島小學校奉安殿



大阪市立濟美第六小學校奉安殿

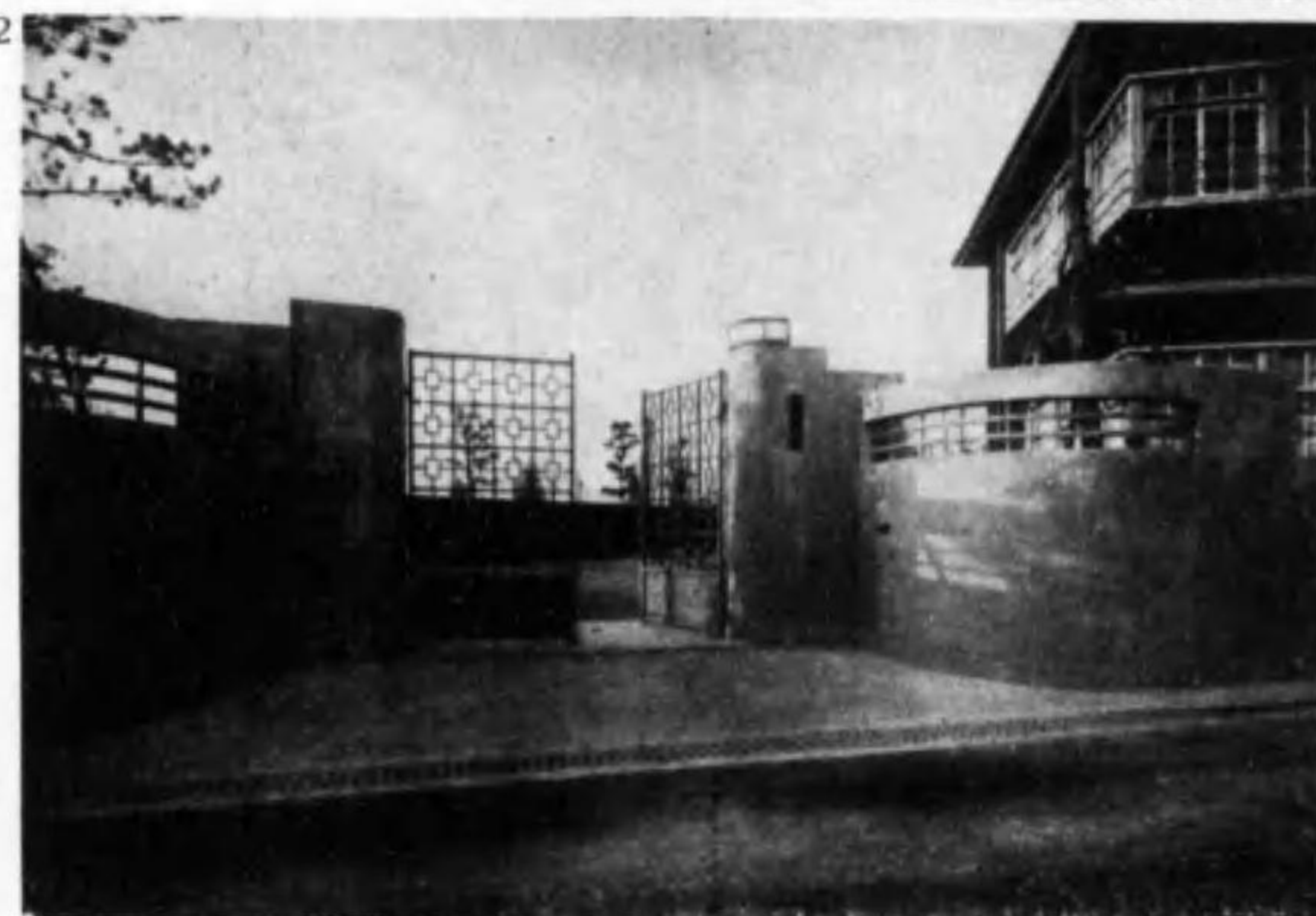


大阪市立九條第一小學校奉安殿



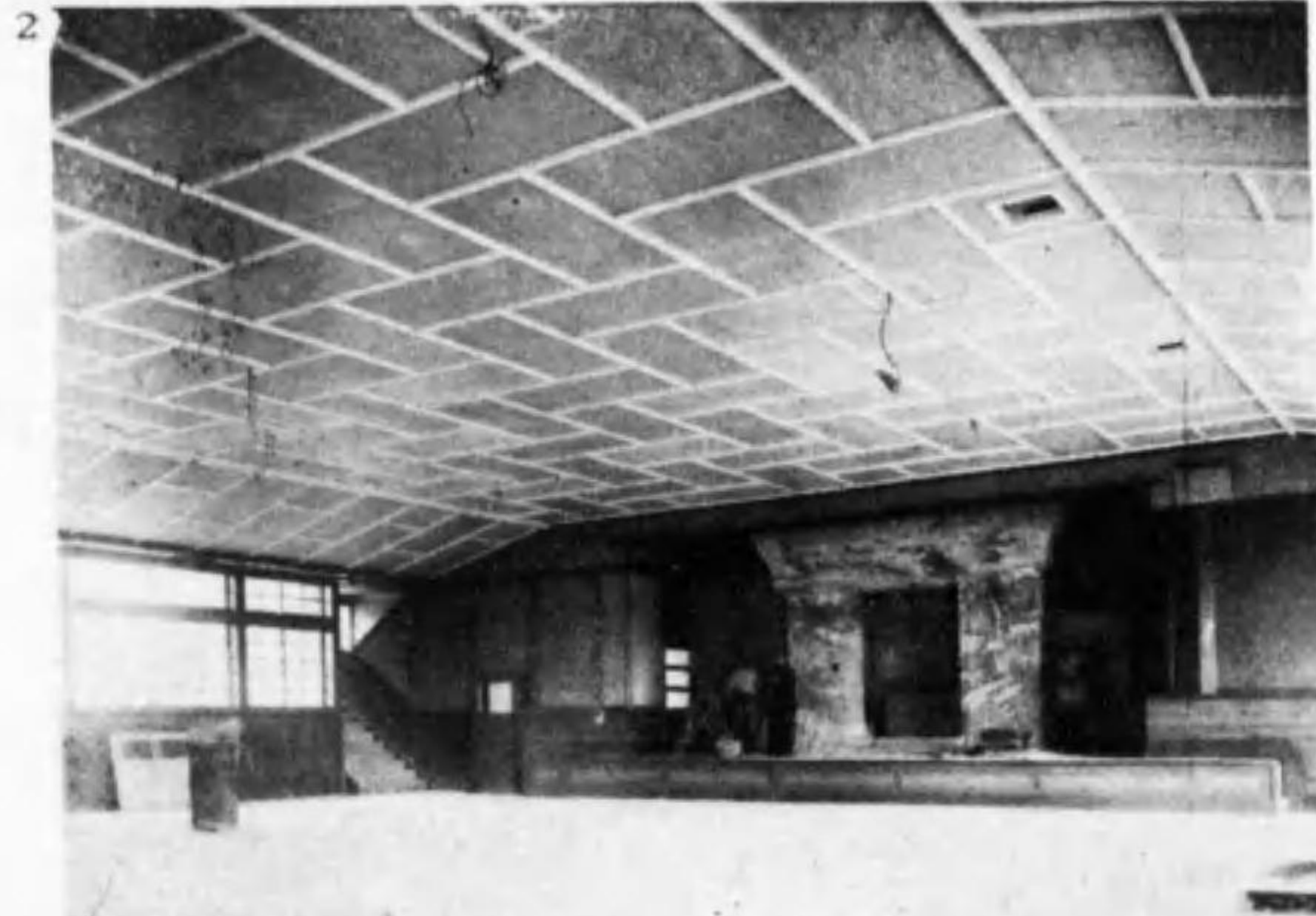
- 1 講堂外觀
- 2 講堂內部
- 3 圖畫教室

大阪市立鶴橋第六小學校

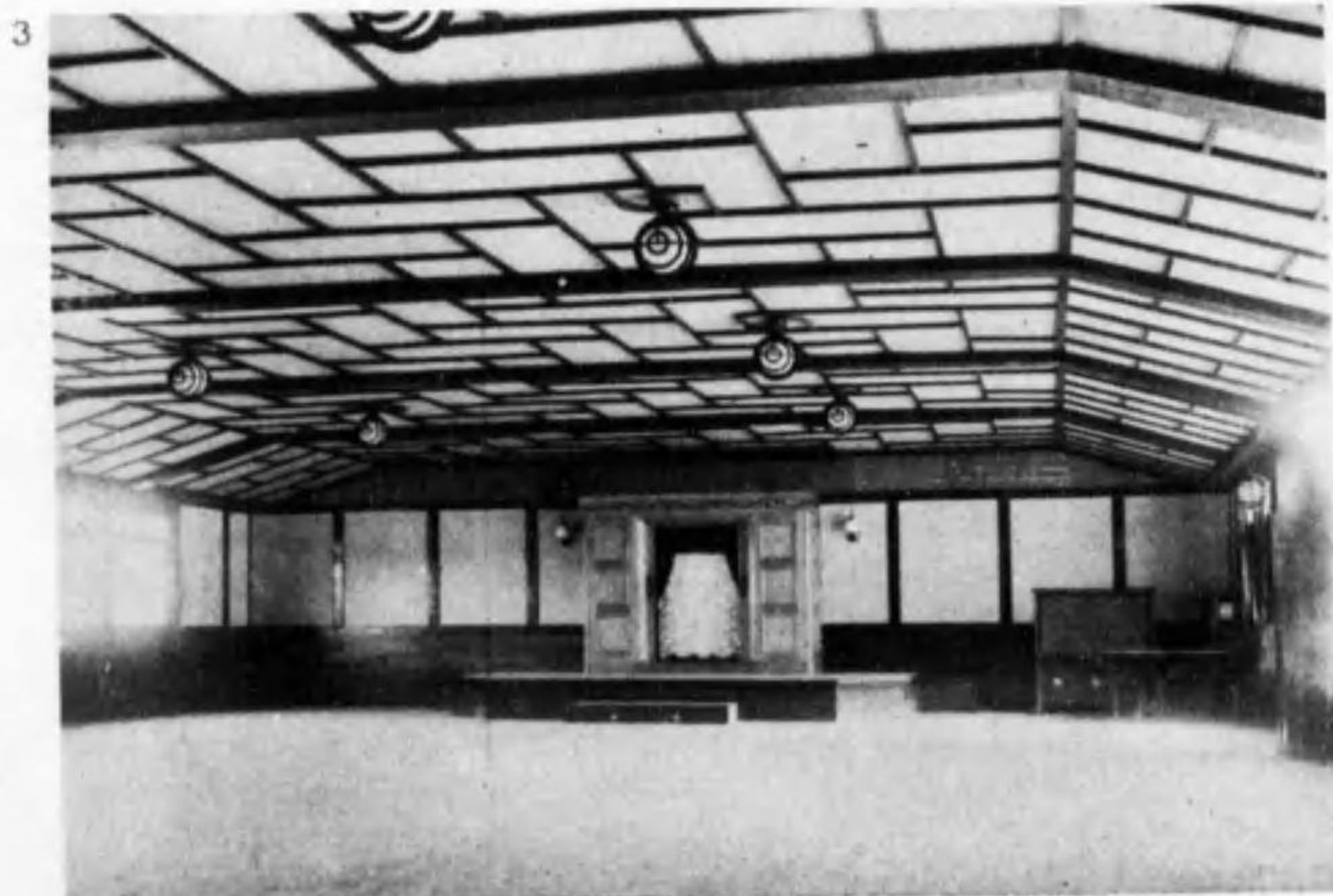


- 1 正面外觀
- 2 正門
- 3 理科教室

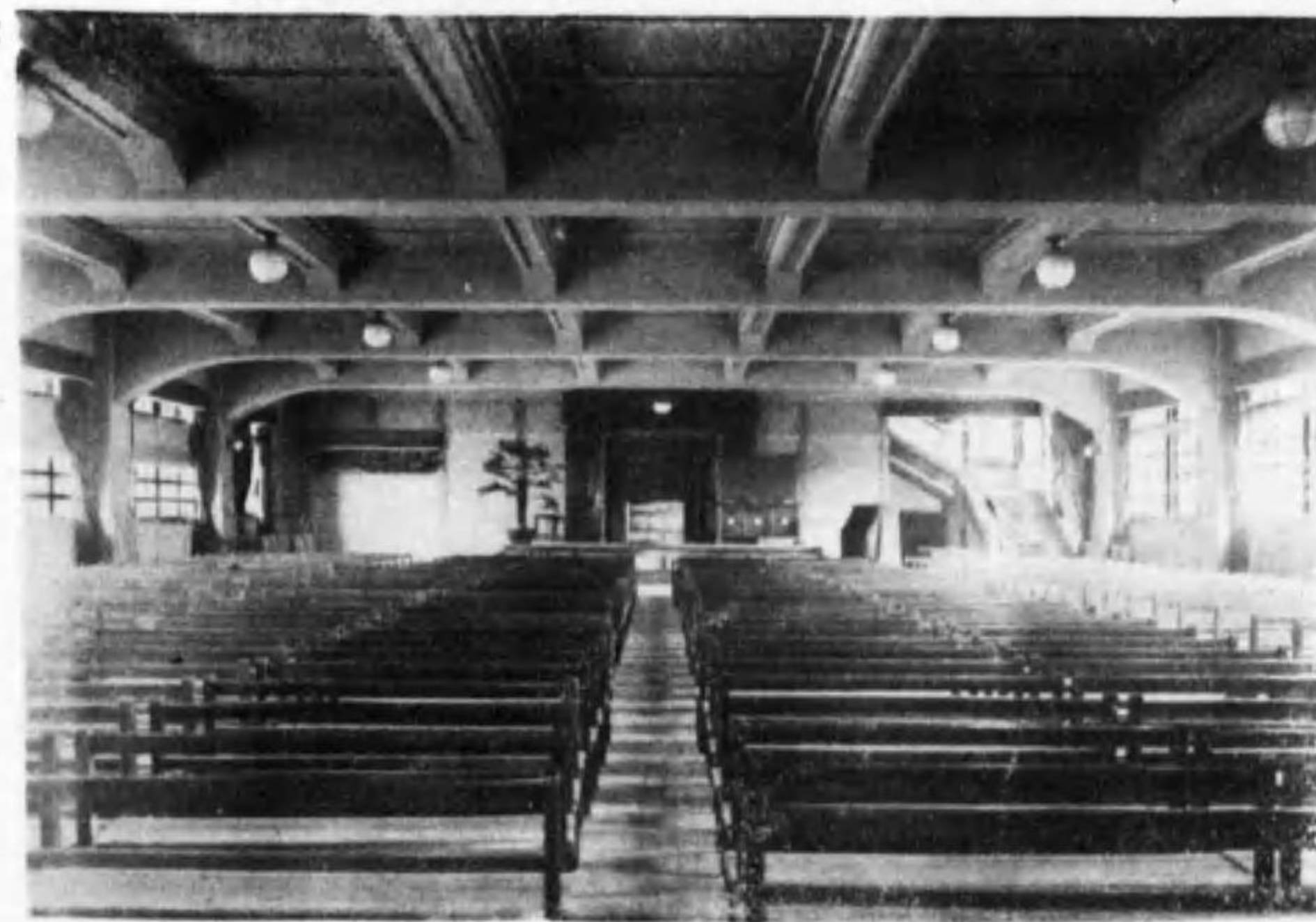
大阪市立田邊第二小學校



1 講堂外觀
2 講堂內部
大阪市立古市小學校



3 大阪市立十三小學校校講堂內部



1 講堂外觀
2 講堂內部
大阪市立鶴橋第五小學校



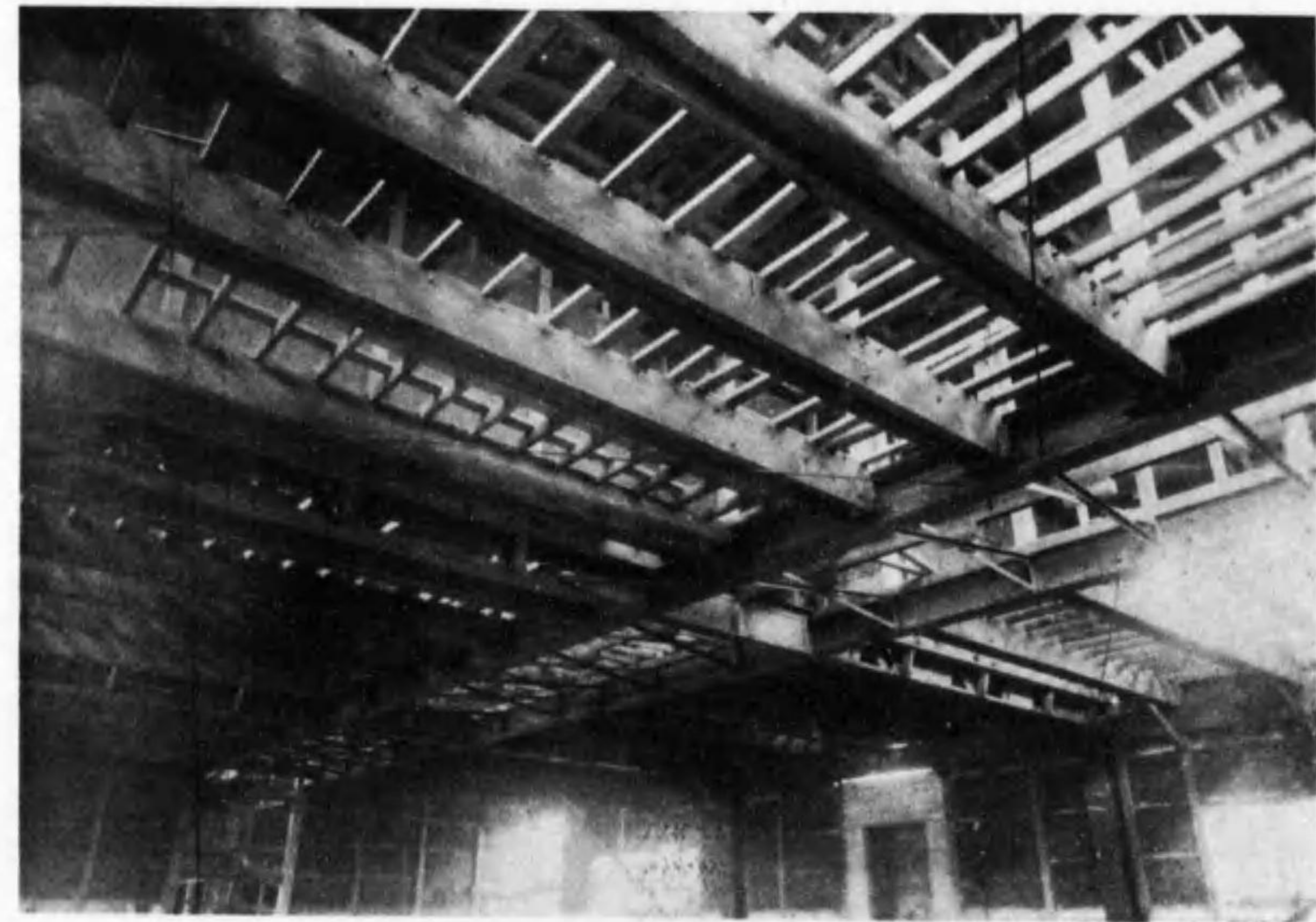
3 大阪市立銅座幼稚園保育室



寫真 7

- 1 外觀
- 2 側面
- 3 講堂內部

大阪市立久寶小學校

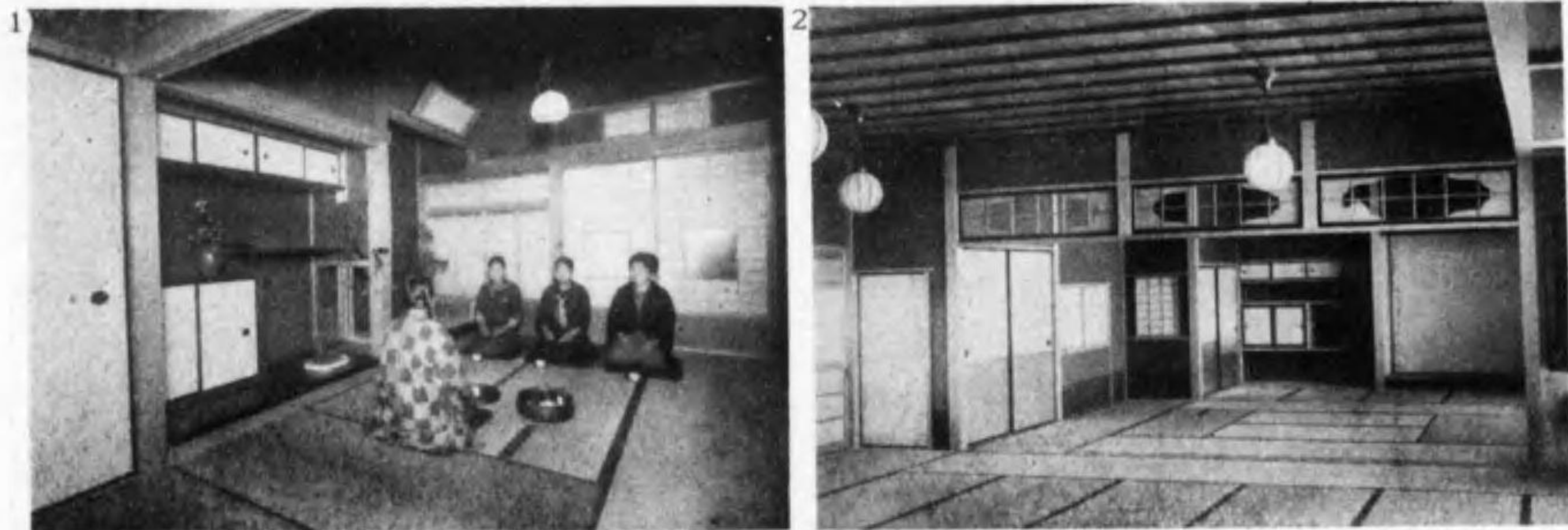


上・講堂二階未裏

下・二階床廊下通結構

大阪市立三先小學校

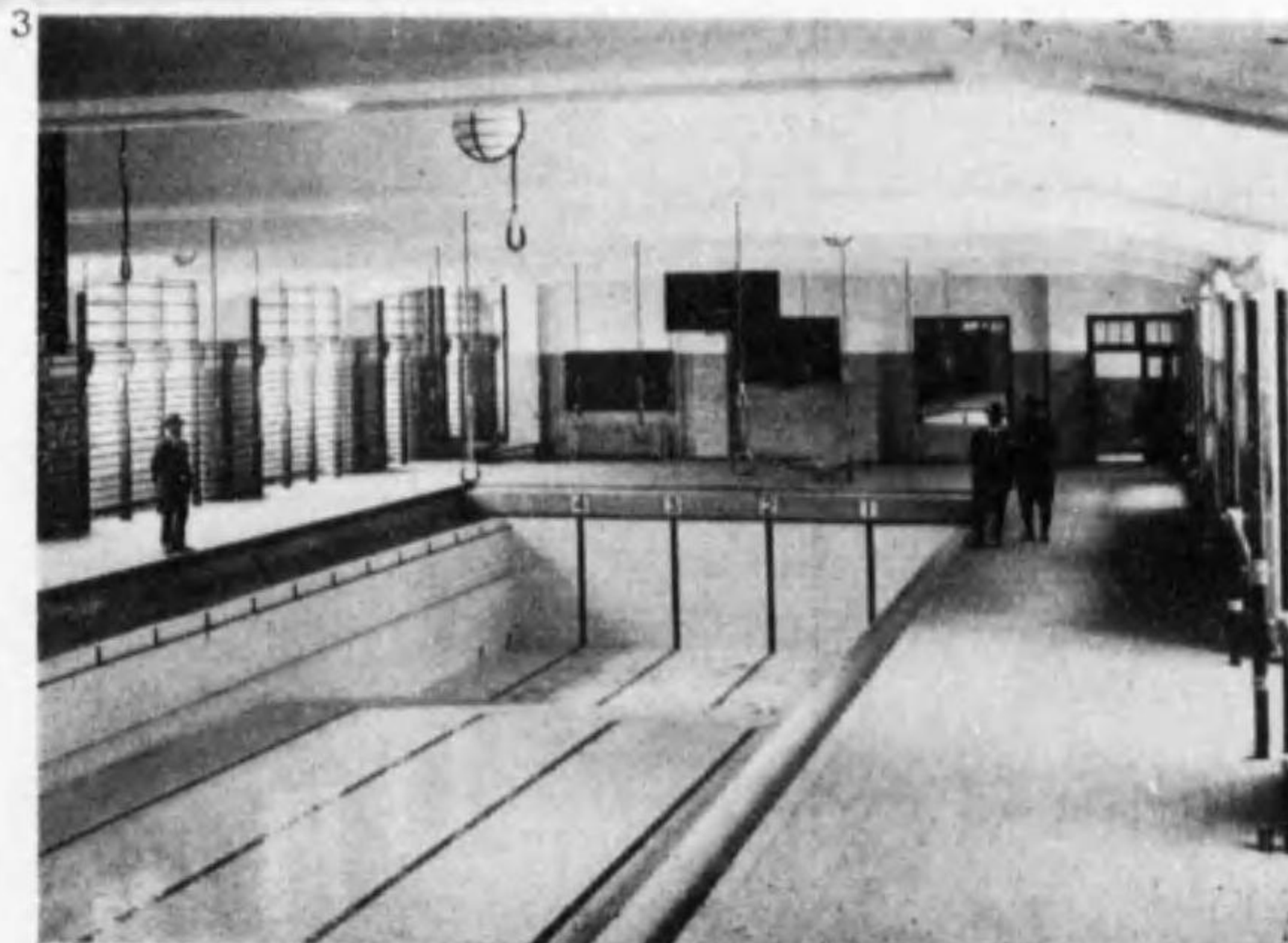
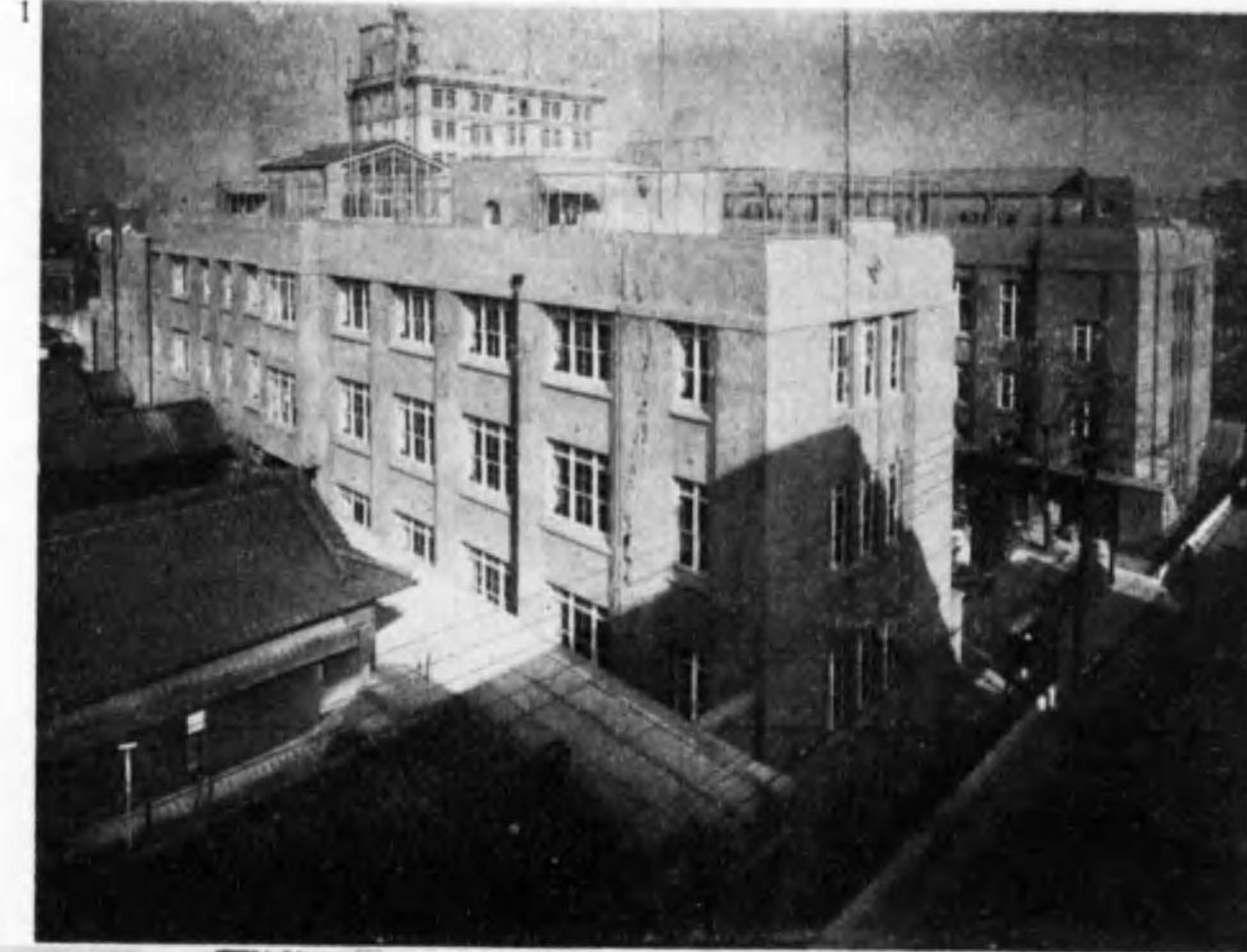
寫真 6



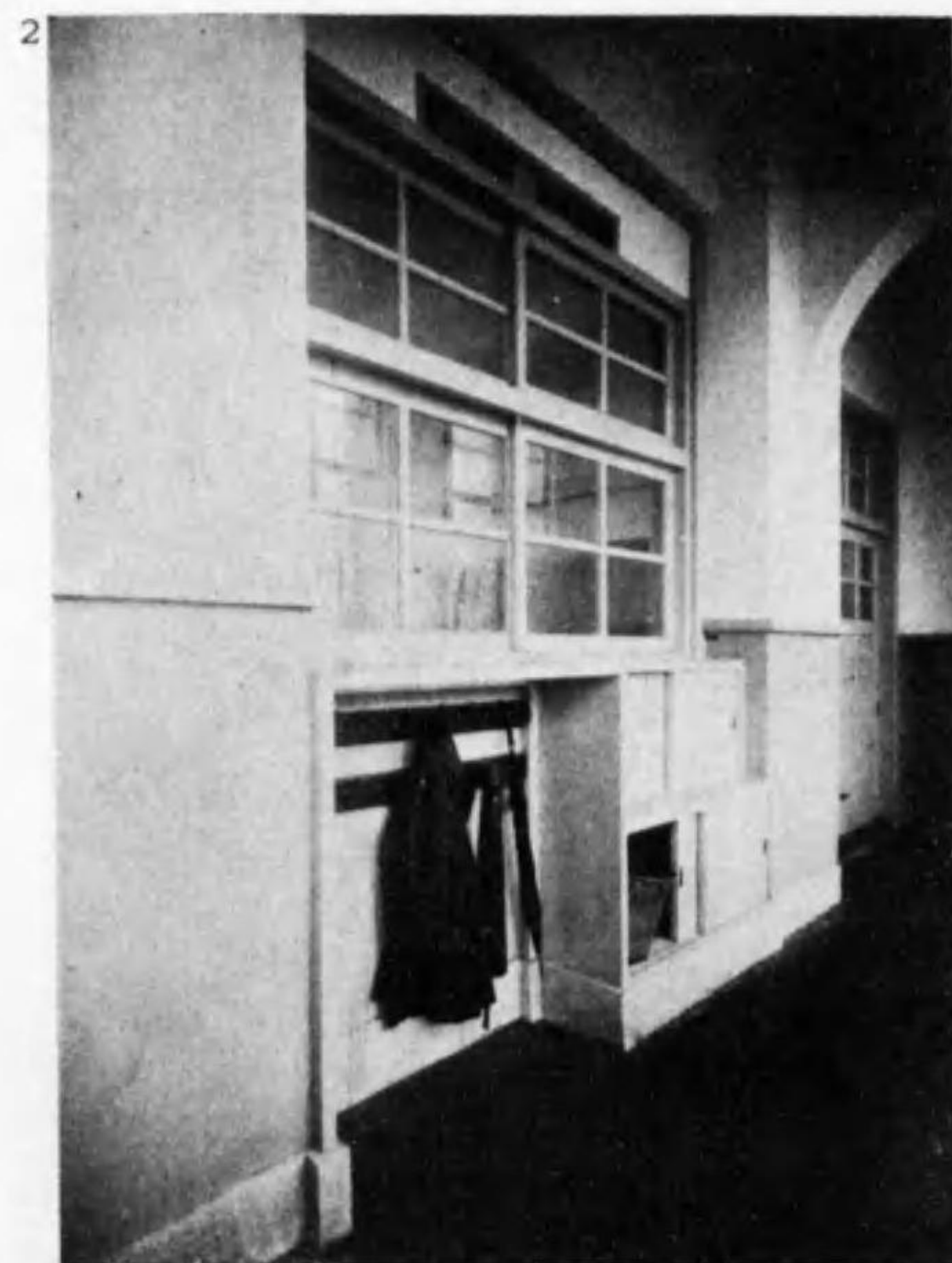
1 大阪市立濟美第五小學
校作法室
2 大阪市立集英小學校
作法室



3 大阪市立明治小學
校外觀
4 大阪市立堂島小學
校外觀

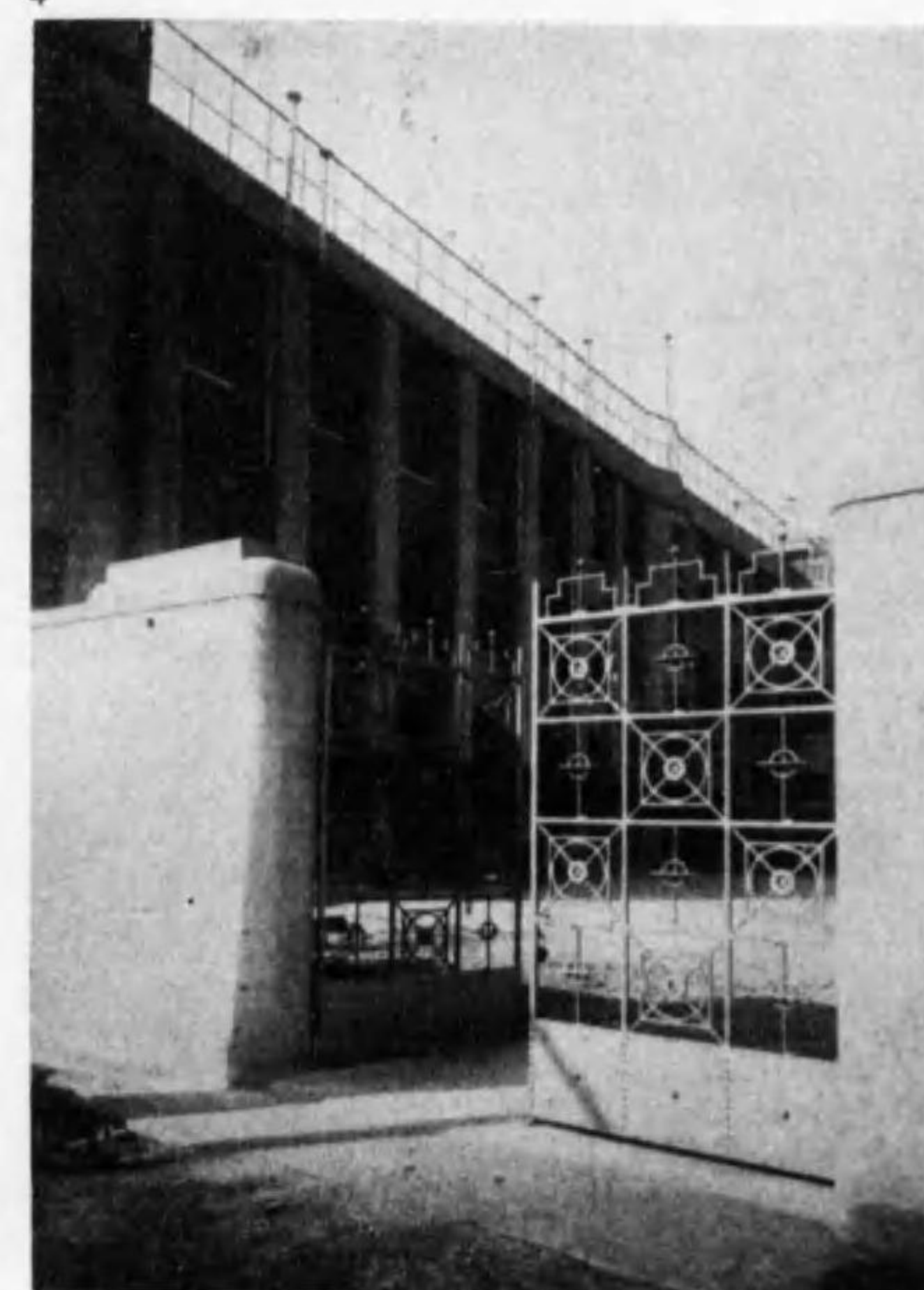
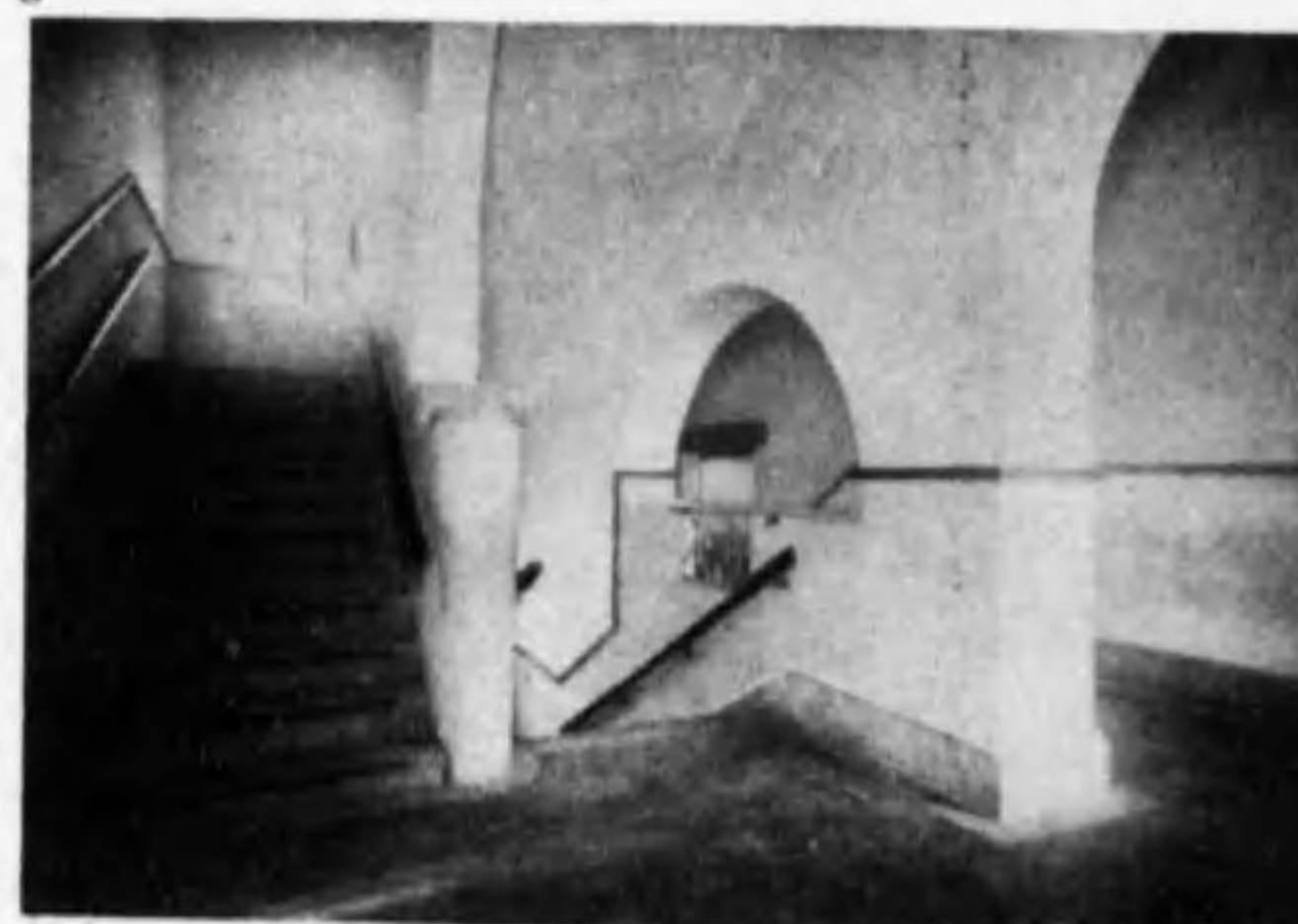
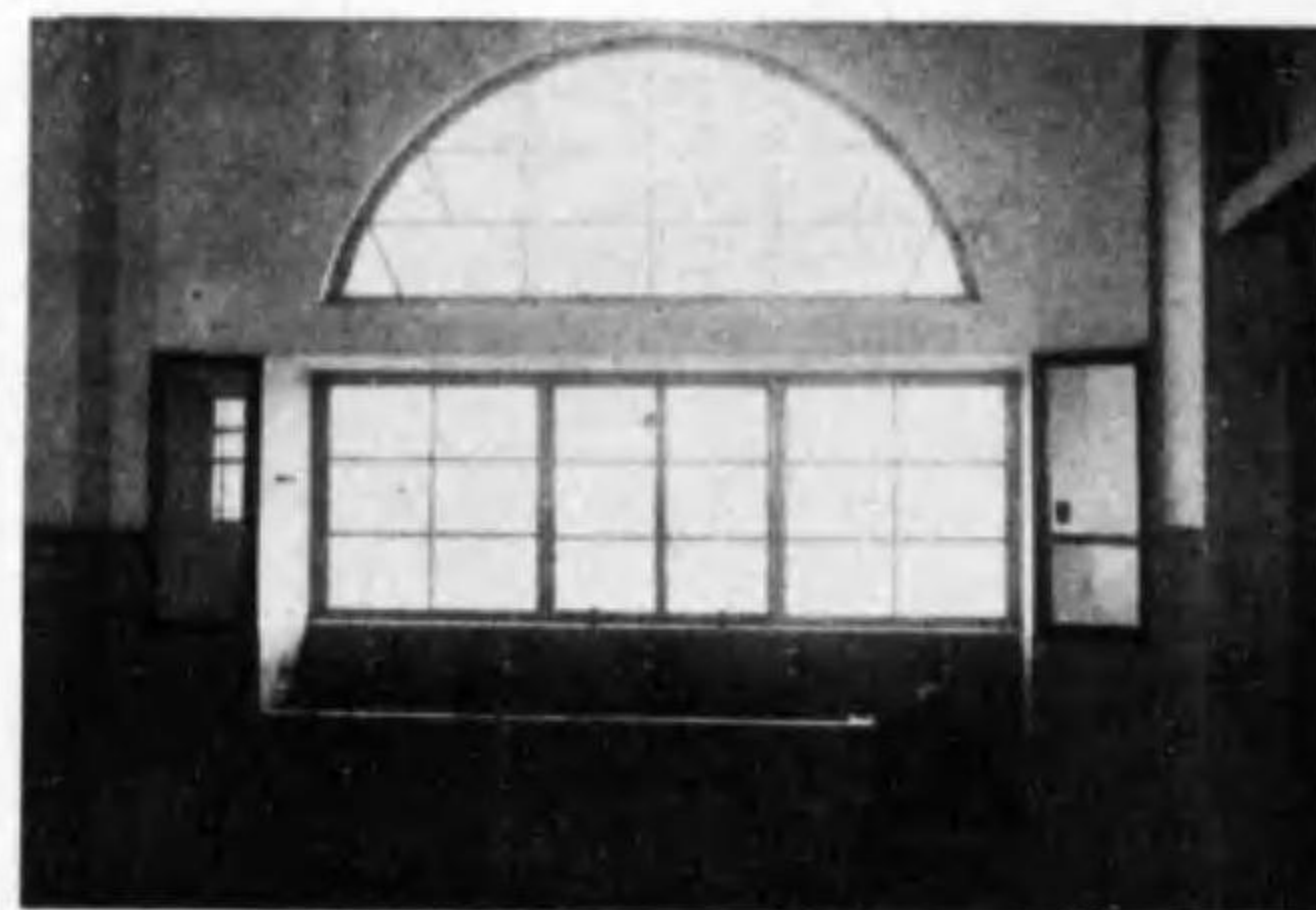
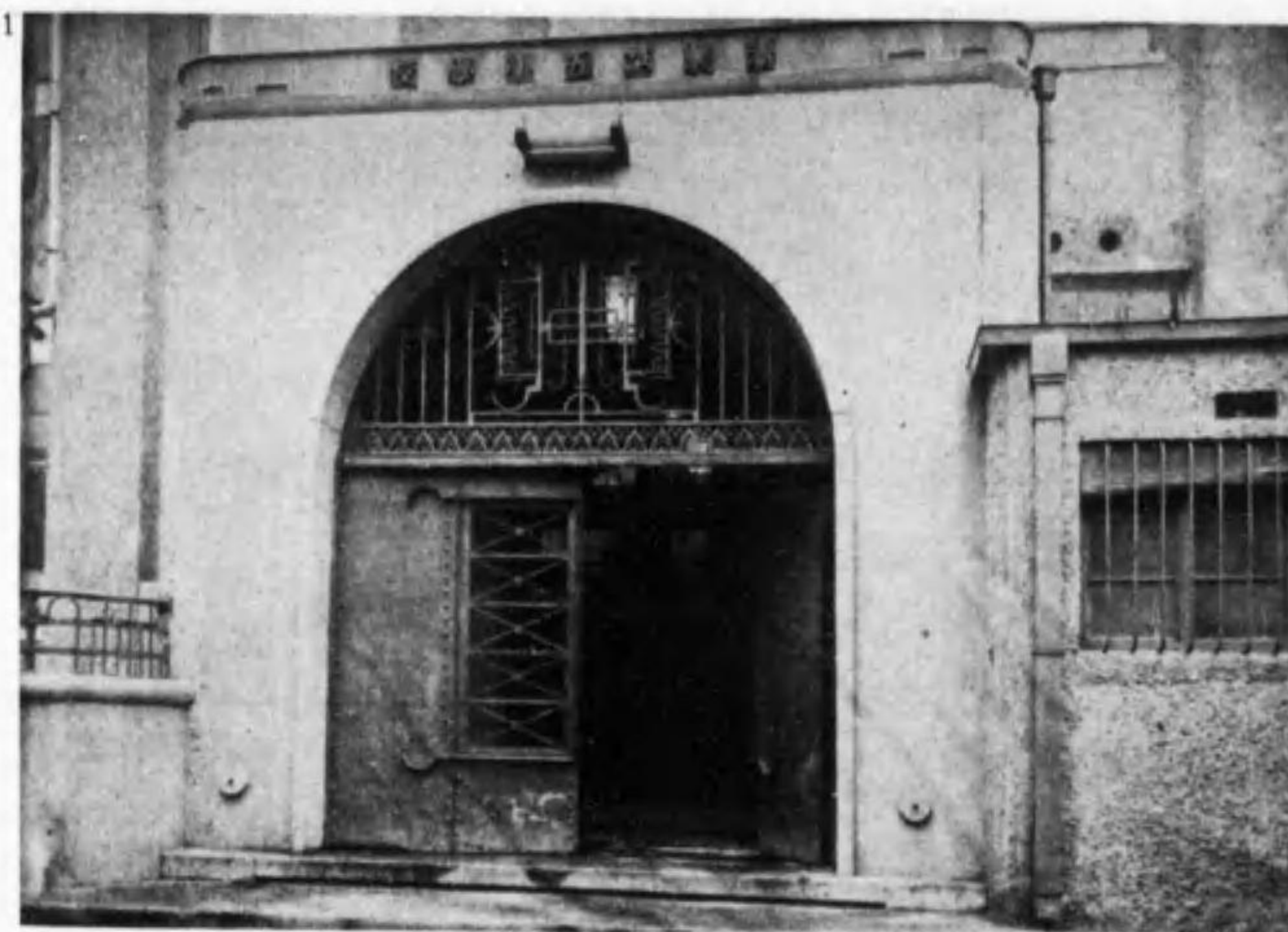


1 外 觀
2 講堂內部
3 プール
大阪市立集英小學校



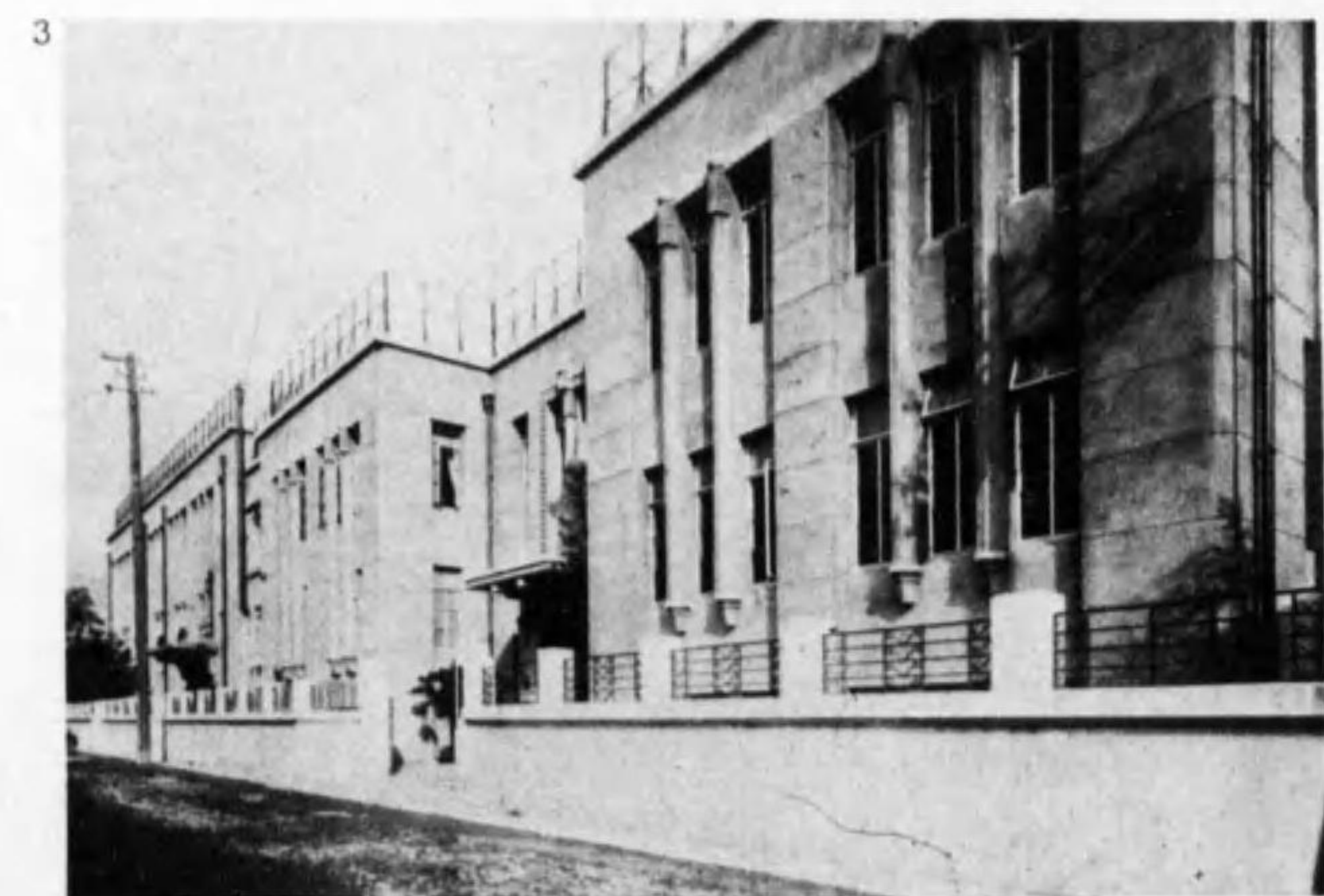
1 外觀 3 階段詳細
2 廊下詳細 4 外部詳細

大阪市立天王寺第二小學校



1 玄関詳細 2 階上手洗場
3 階段詳細 4 通用門

大阪市立濟美第五小學校

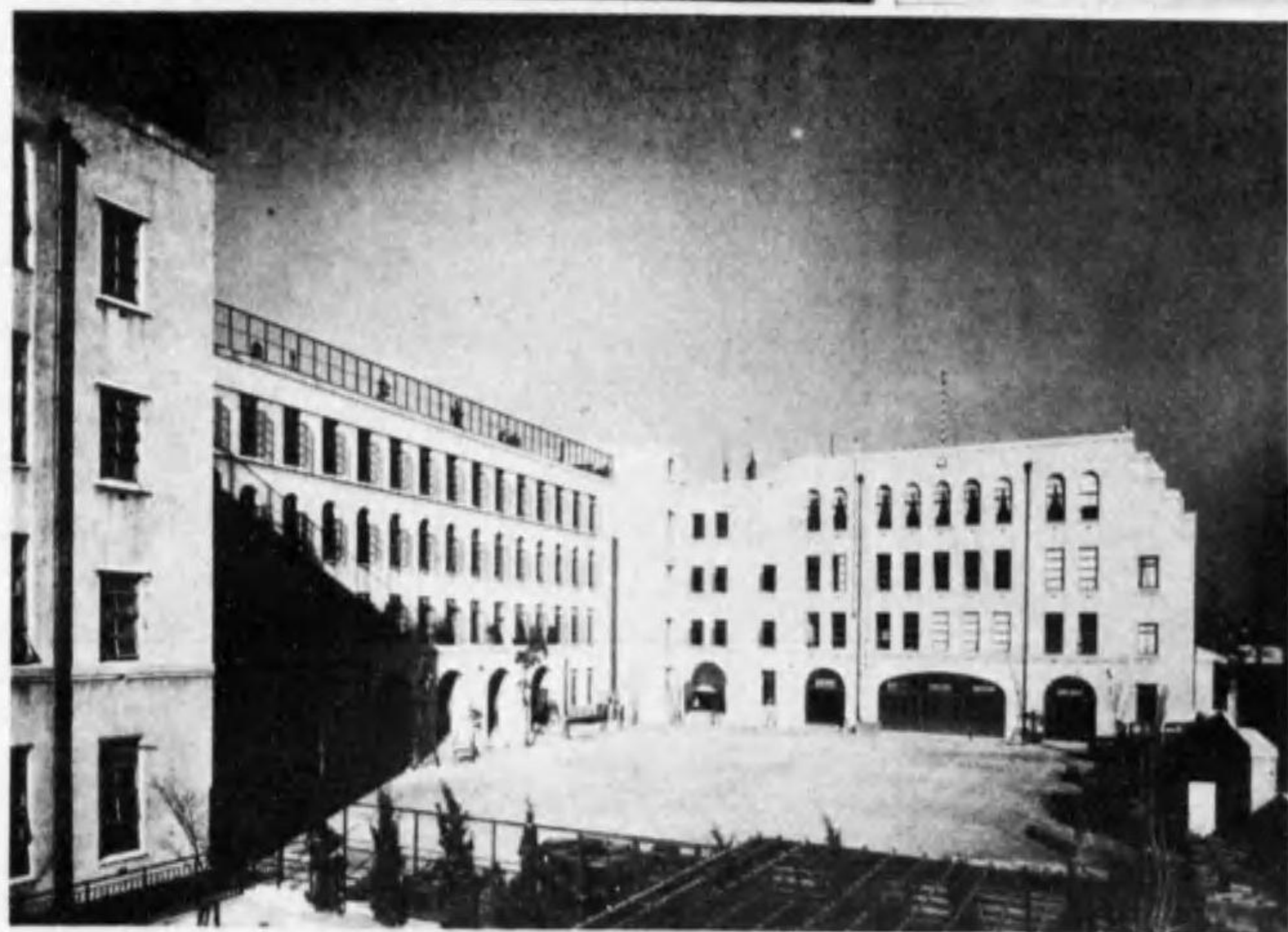


寫真 13

- 1 大阪市立下福島小學校外觀
- 2 京都市立梅屋小學校外觀
- 3 京都市立龍池小學校外觀

大阪市立金甌小學校

- 1 外觀
- 2 講堂內部



- 3 講堂內部
- 4 外觀

大阪市立精華小學校

寫真 12

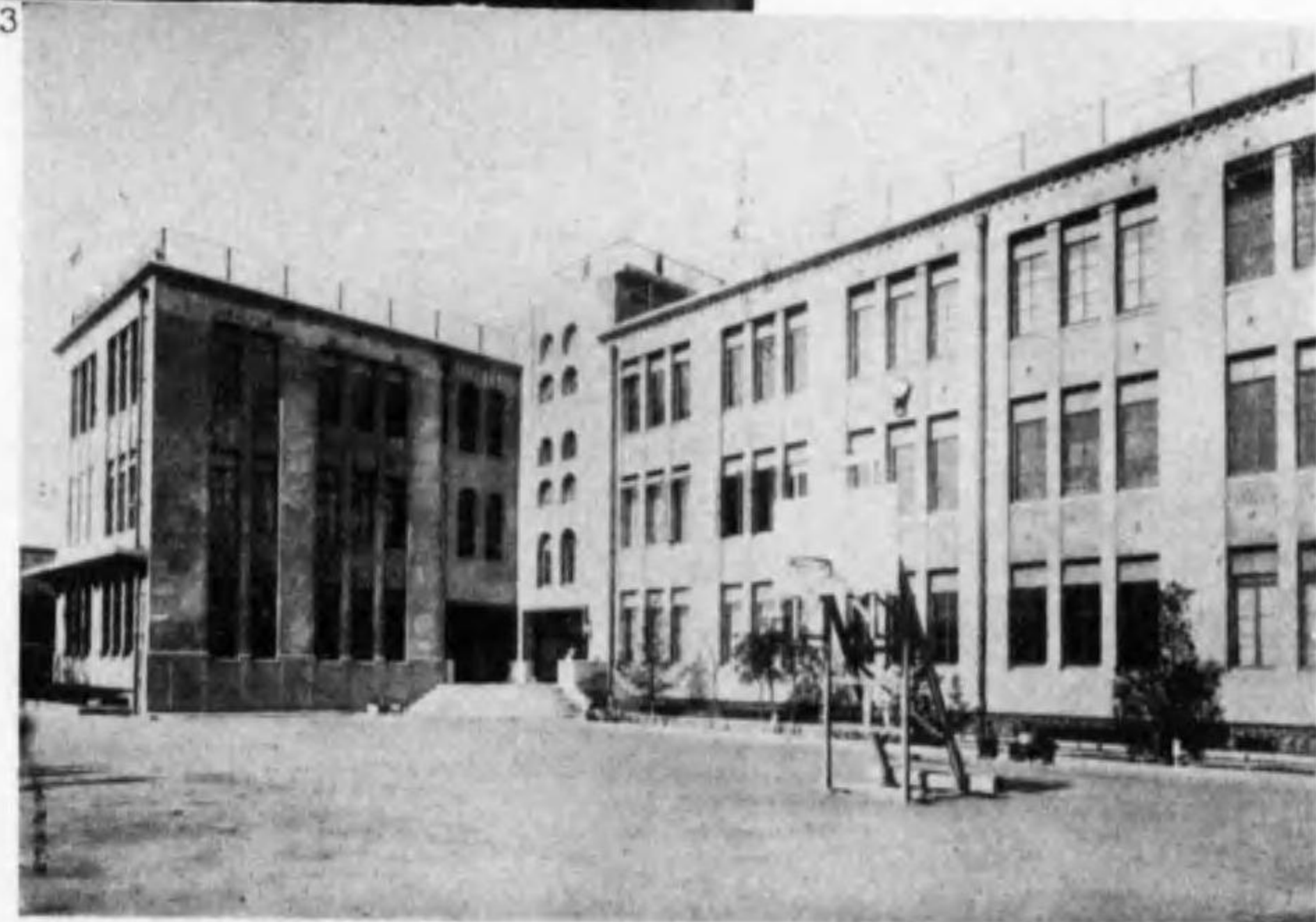


寫真 15

1 正面外觀
2 側面外觀

東京市立千代田小學校

3 東京市立竹芝小學校外觀



1 京都市立修德小學校
外觀
2 京都市立中立小學校
外觀
3 京都市立柳池小學校
外觀

寫真 14

1



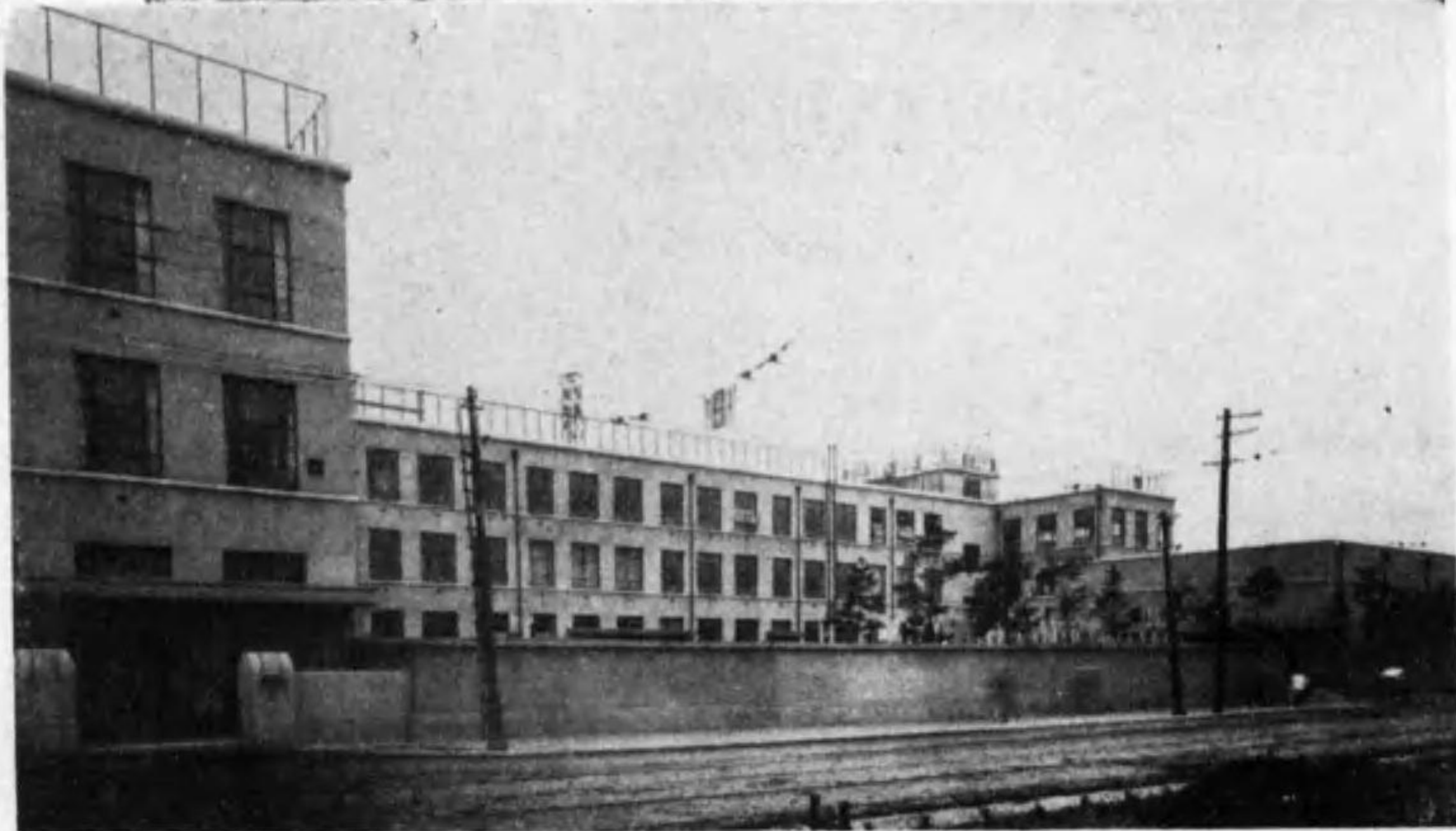
1 東京市立明治第一・第二小學校外觀

2



2 東京市立京華小學校外觀

3



3 東京市立愛宕小學校外觀

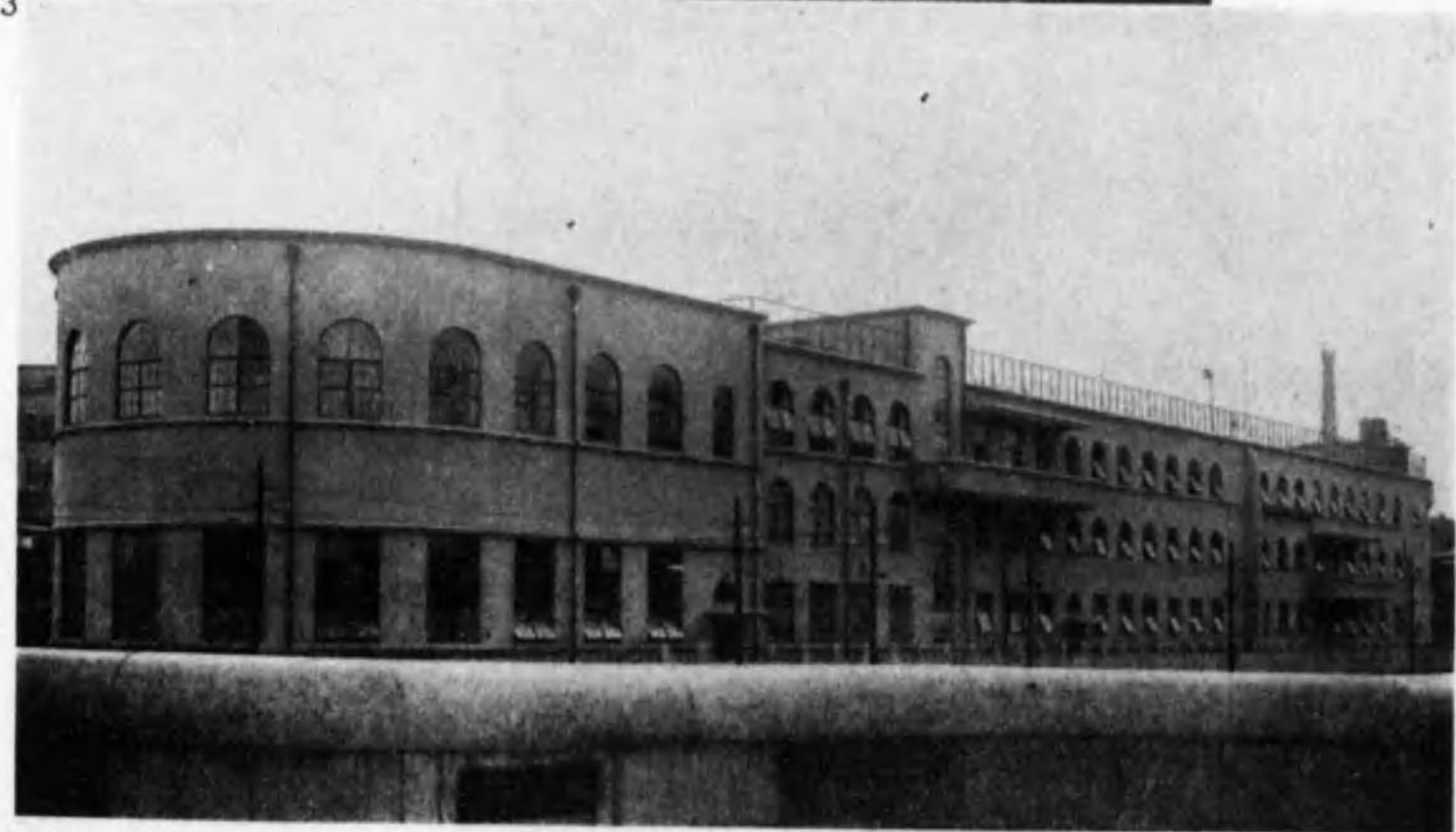
- 1 東京市立明正小學校外觀
- 2 東京市立常盤小學校外觀
- 3 東京市立泰明小學校外觀



2



3

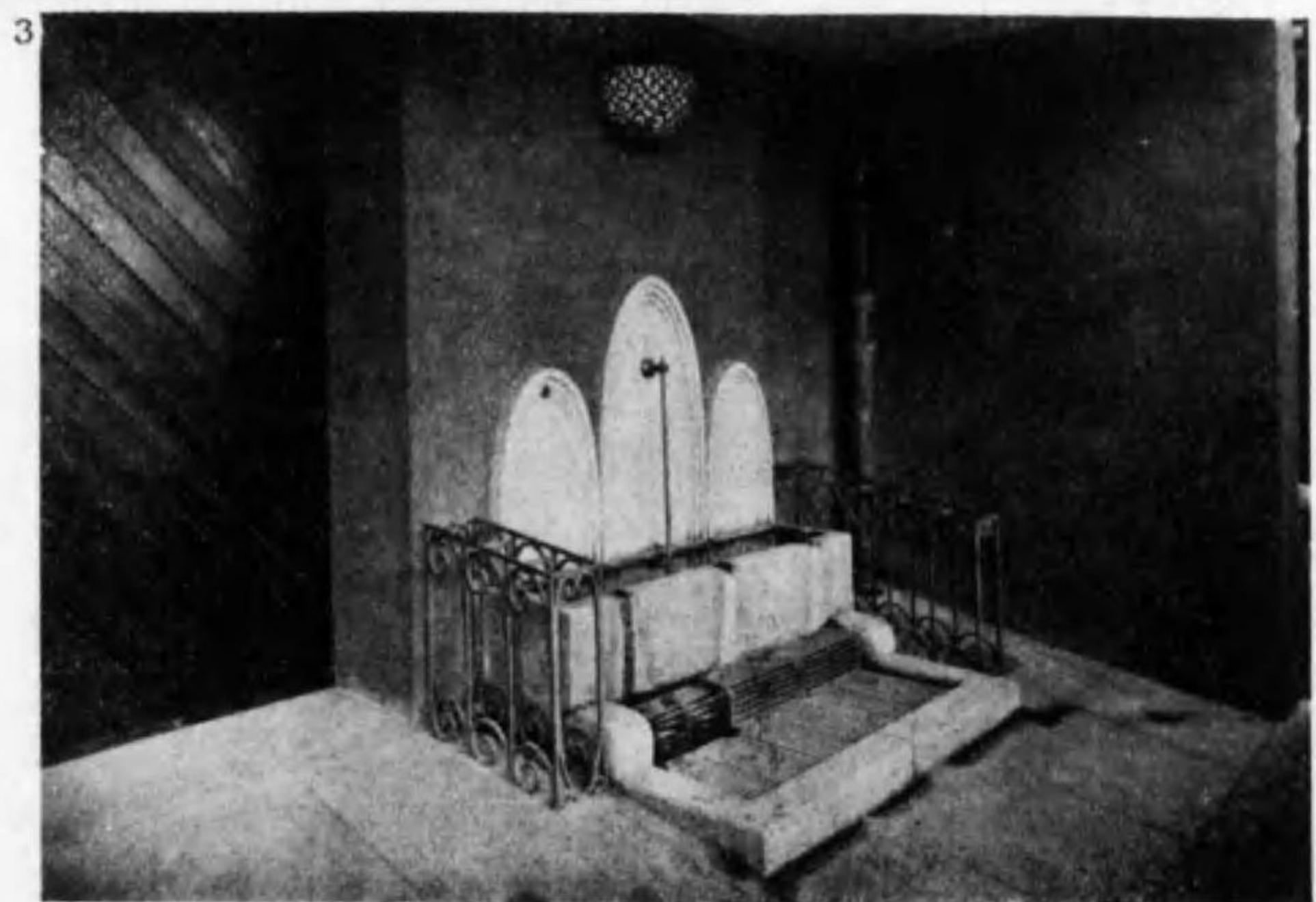
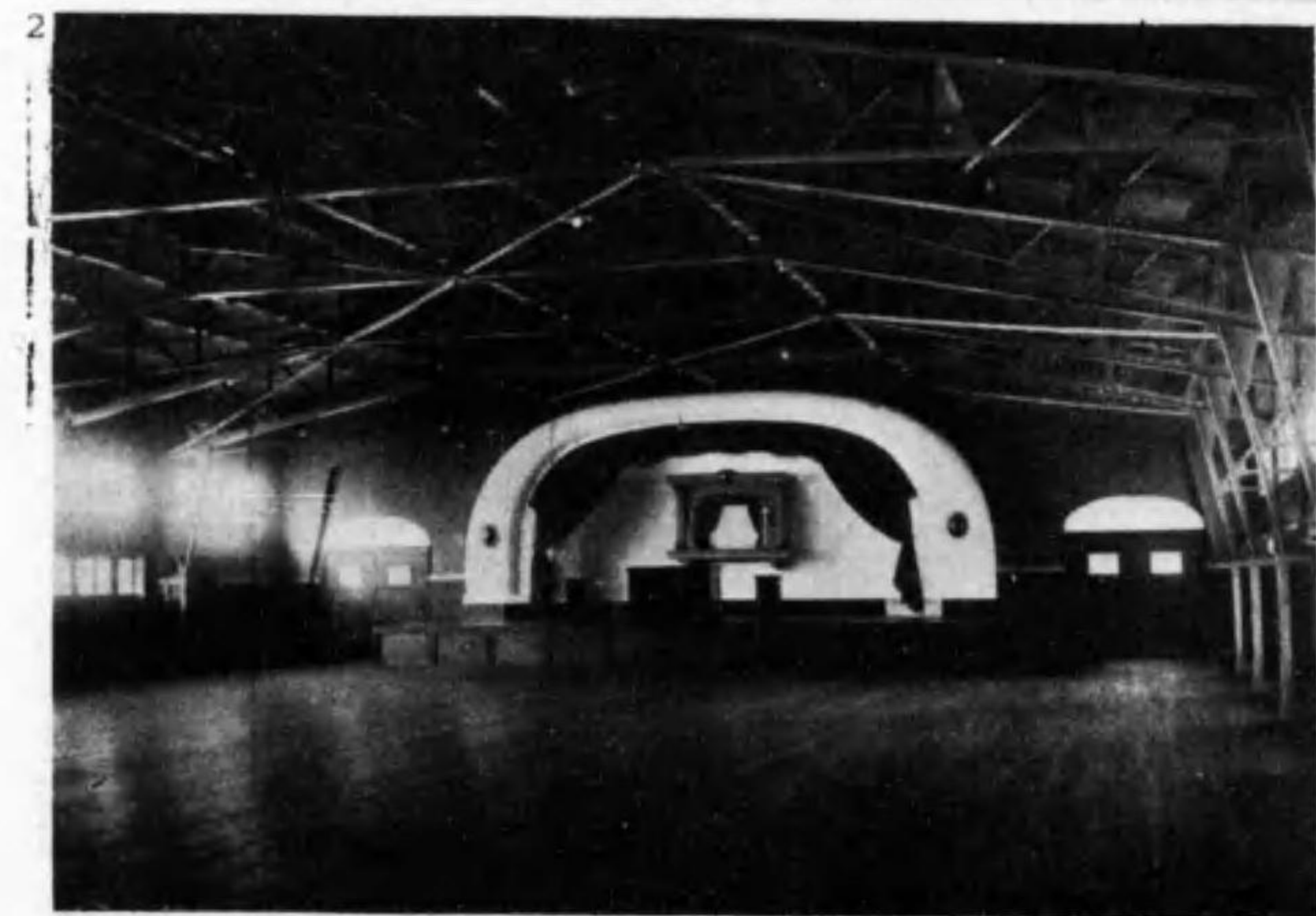




1 斜路 2 理科教室
3 手工教室 4 廊下詳細

横濱市立平樂小學校

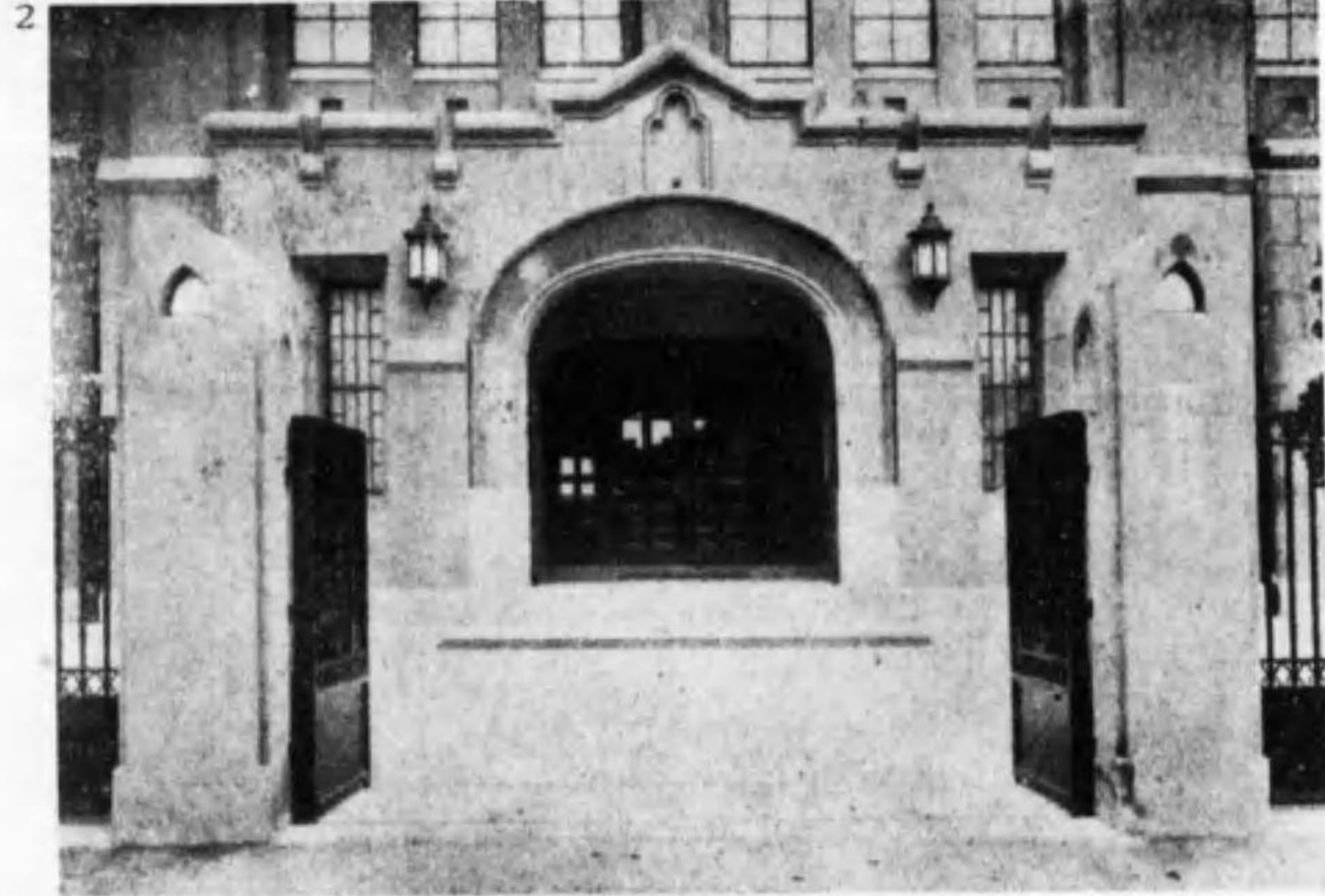
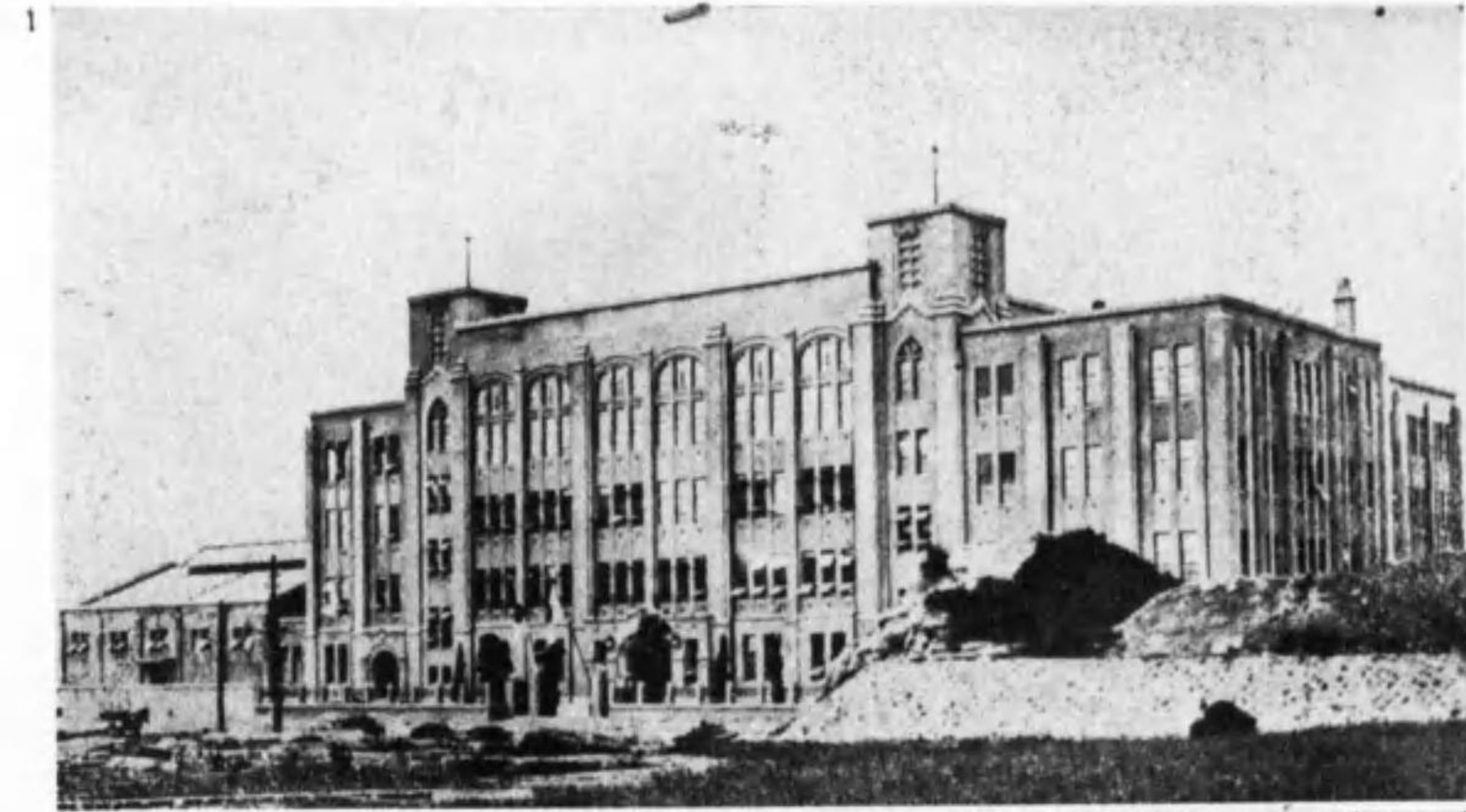
寫真 19



1 外觀
2 雨天體操場
3 生徒昇降口附屬の洗場

横濱市立平樂小學校

寫真 18



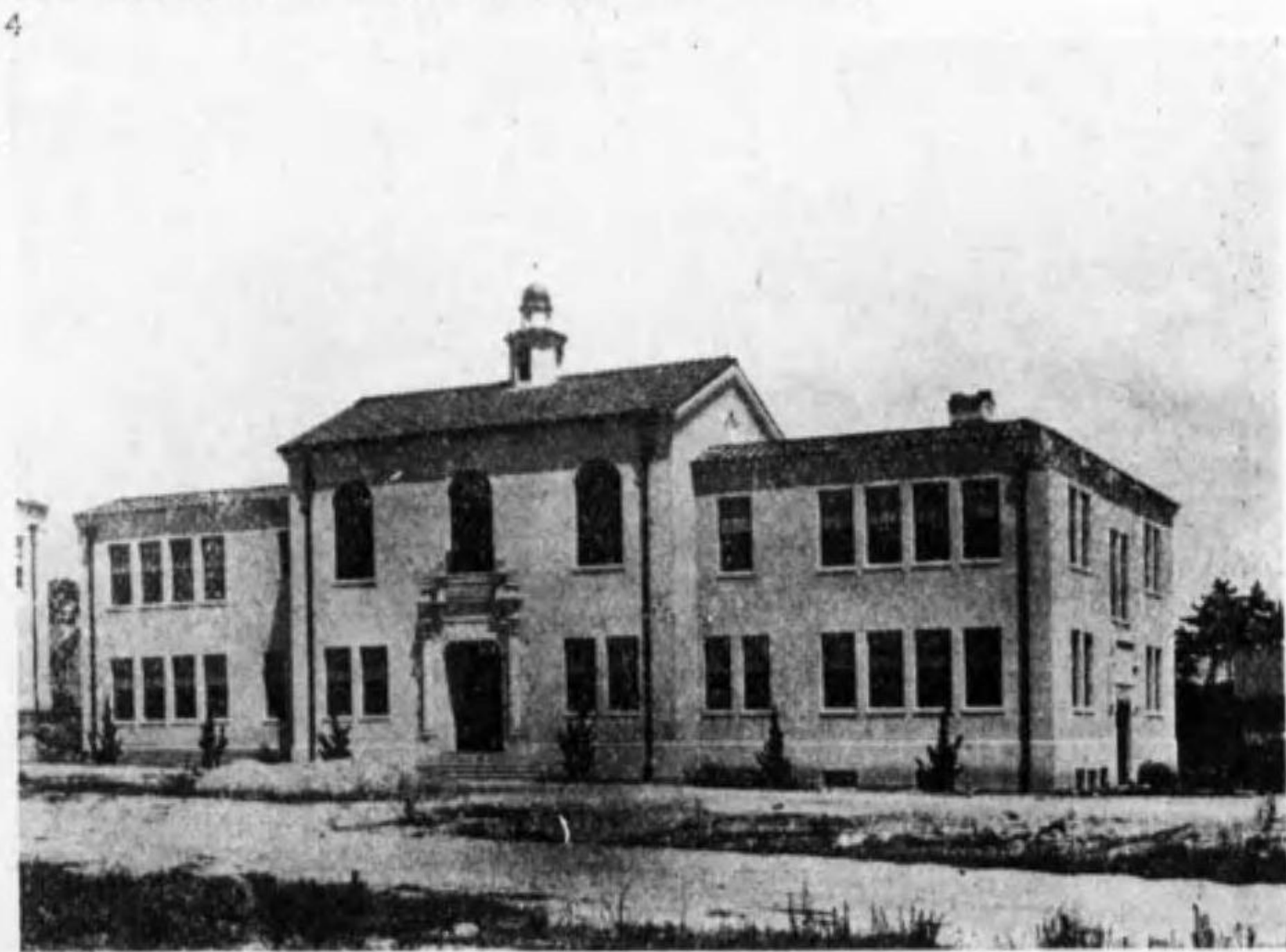
1 外觀
2 玄関
3 玄関ホール

兵庫縣立第二神戶高等女學校

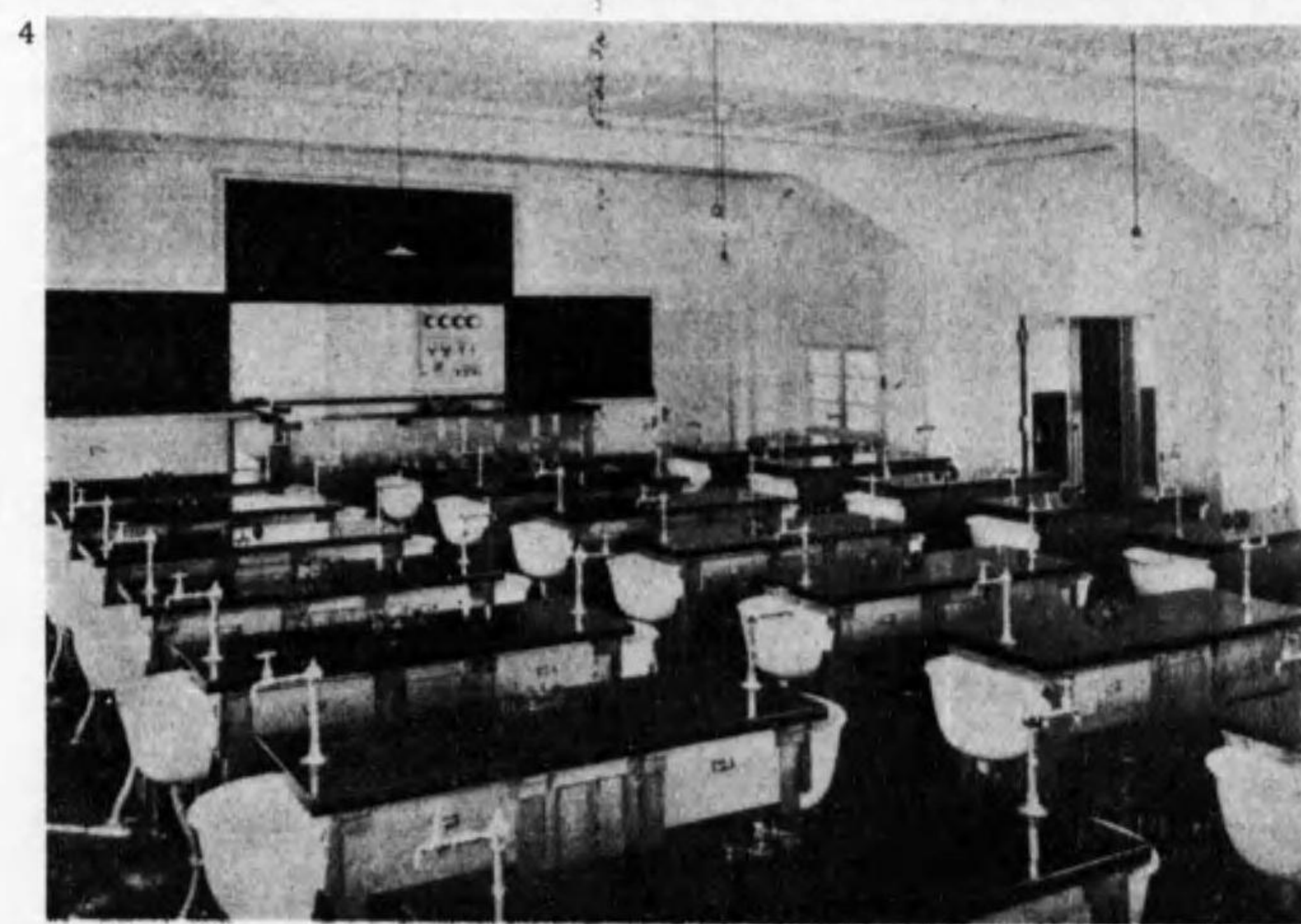
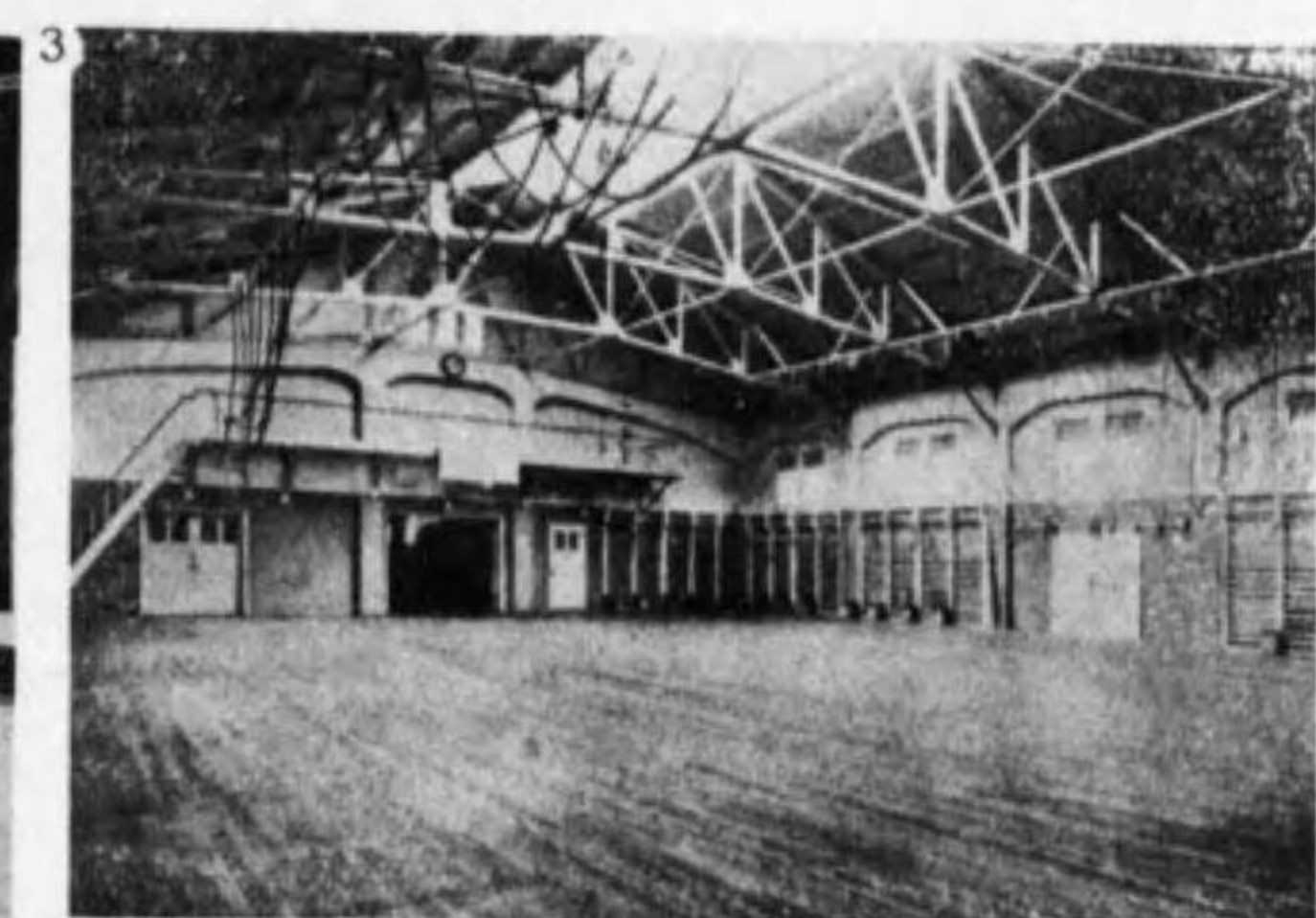
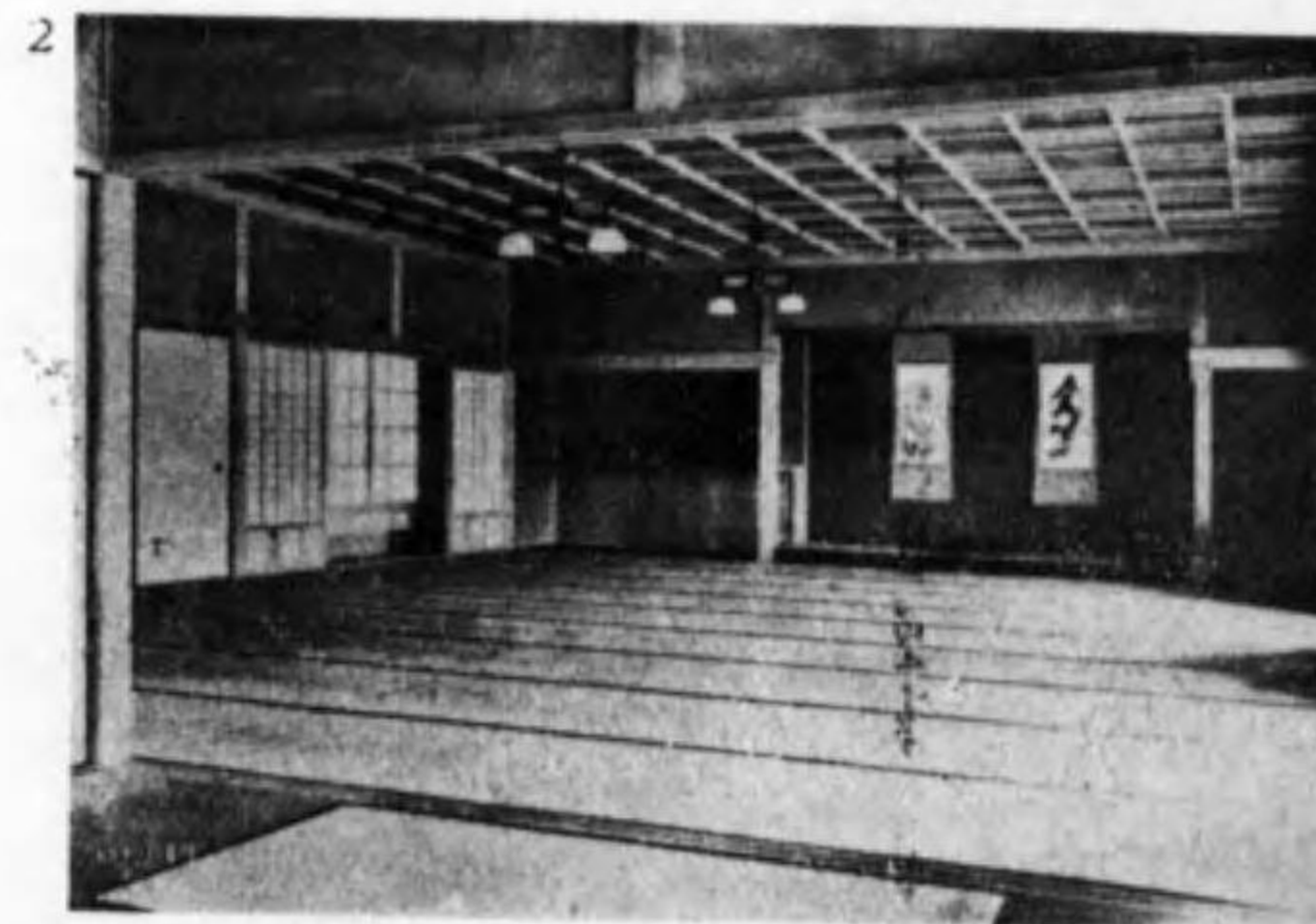
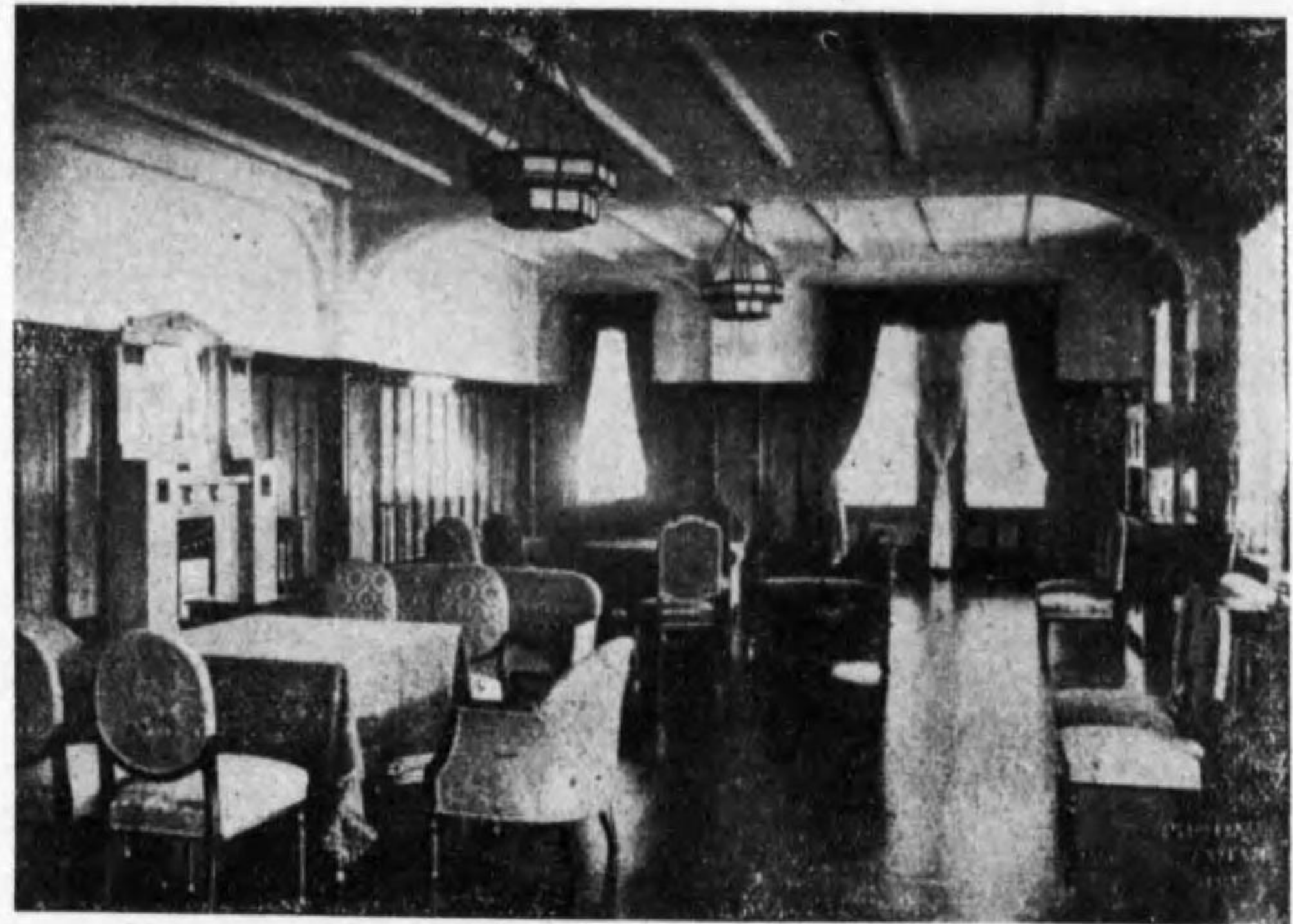


1 校舍外觀
2 講堂內部
3 會議室
4 校長室

大阪府立天王寺中學校



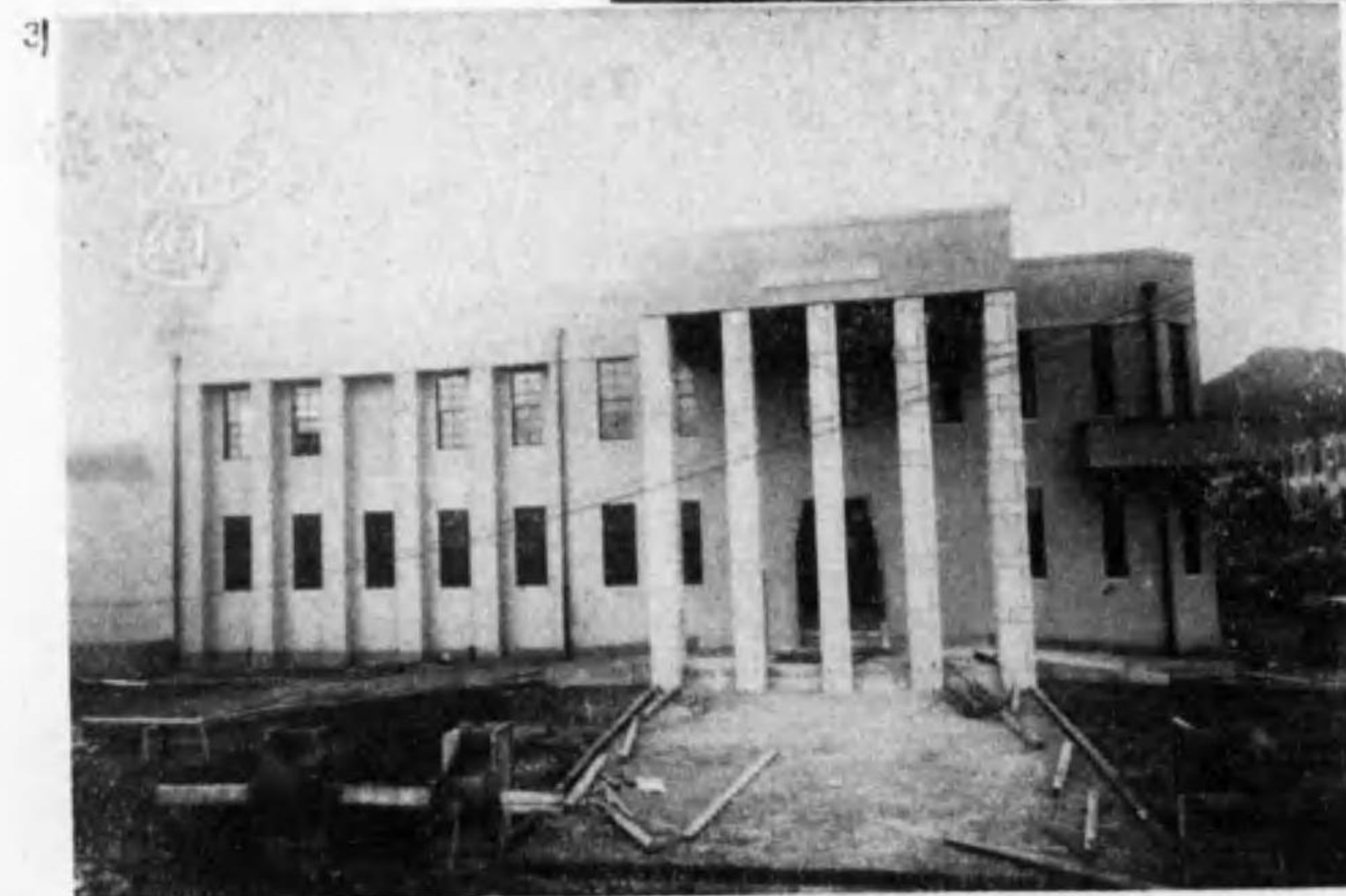
1 中學部全量 2 高等商業部
3 文學部 4 神學部
關西學院校舍
寫真 23



1 西洋作法室
2 日本作法室
3 雨天體操場
4 理科實驗室
兵庫縣立第二神
戶高等女學校
寫真 22



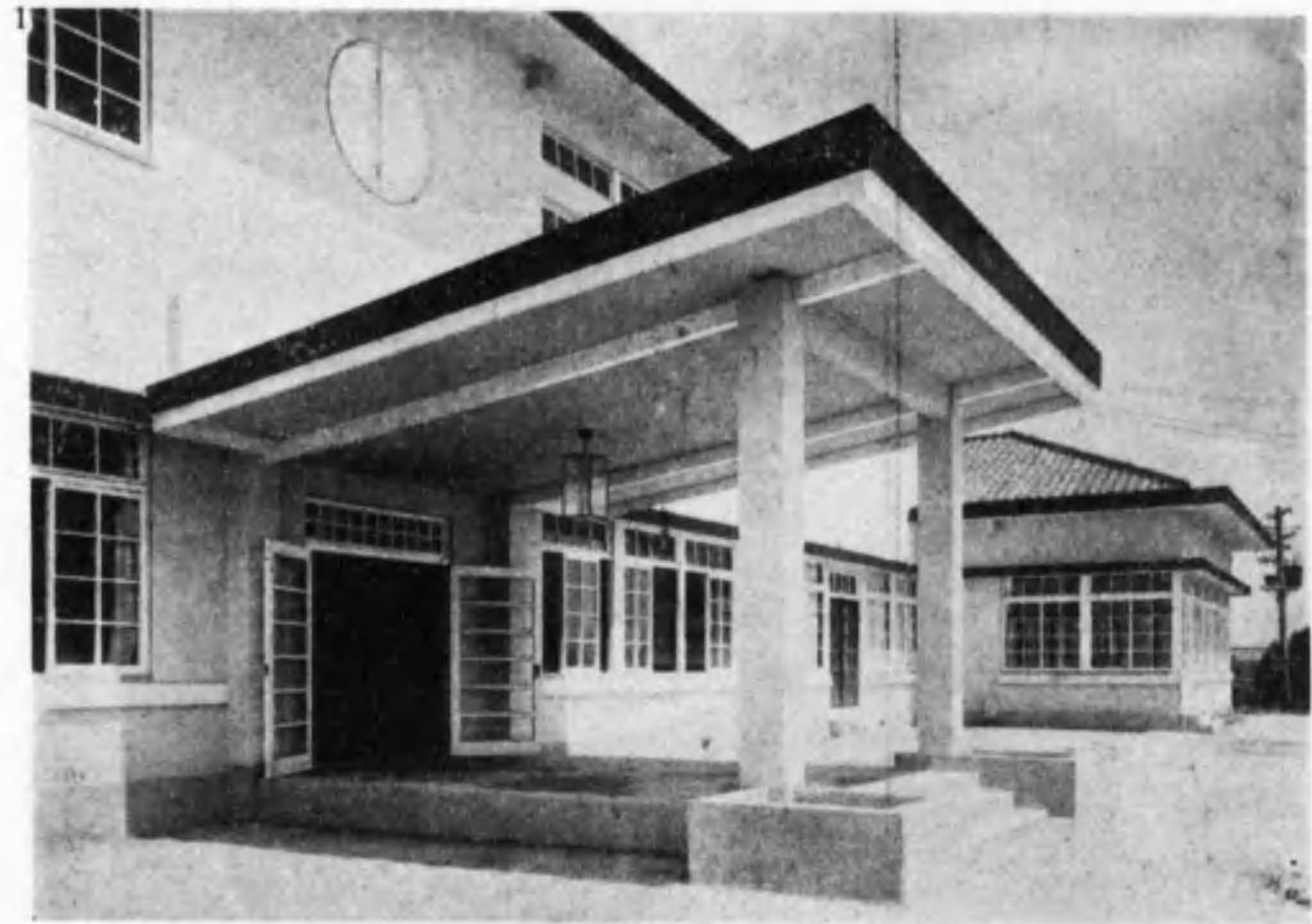
1



寫真 25

- 1 理學部物理學教室外觀
- 2 醫學部病理學研究室側面
- 3 同 正面

京都帝國大學教室



1

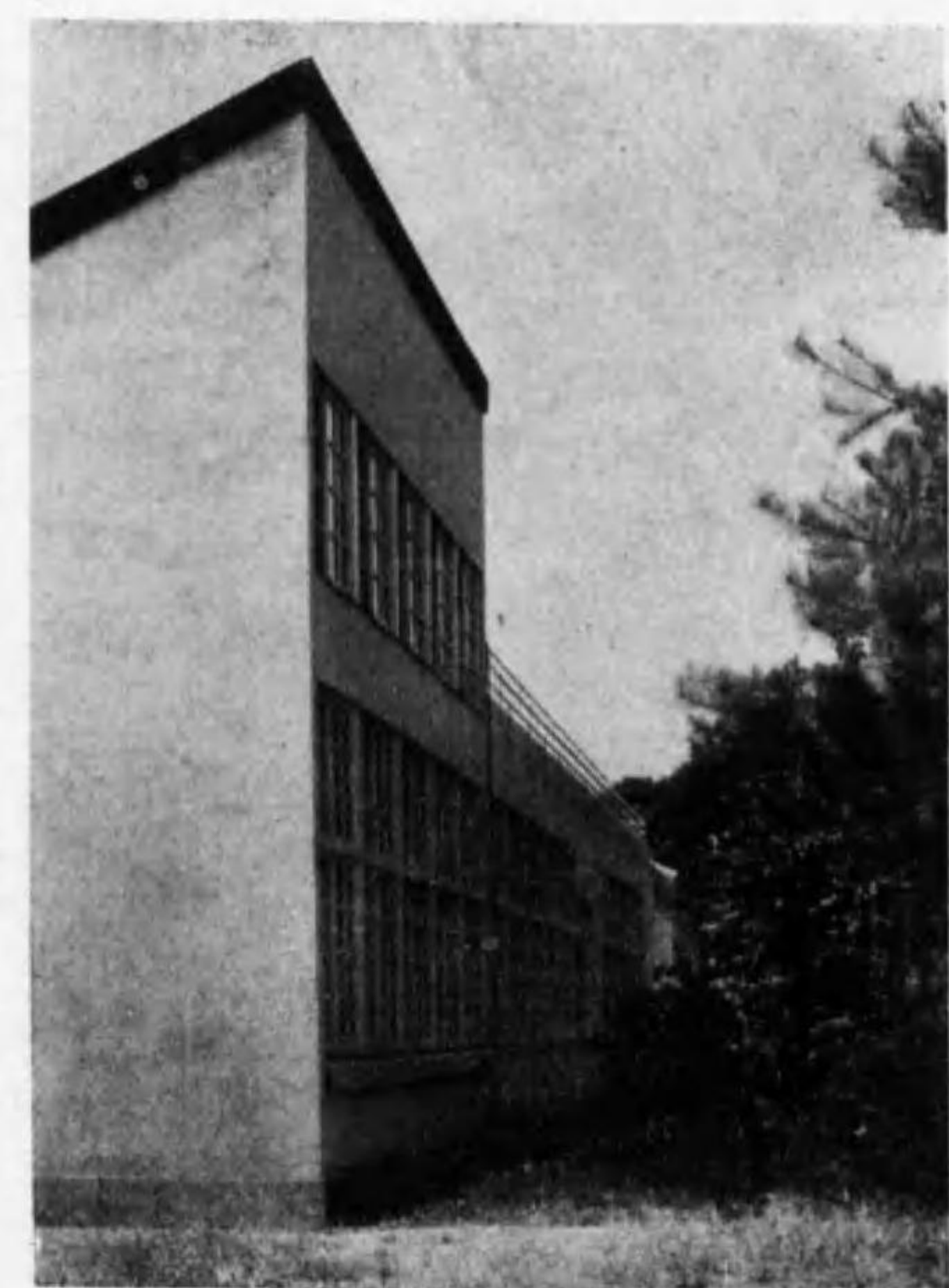


2



3

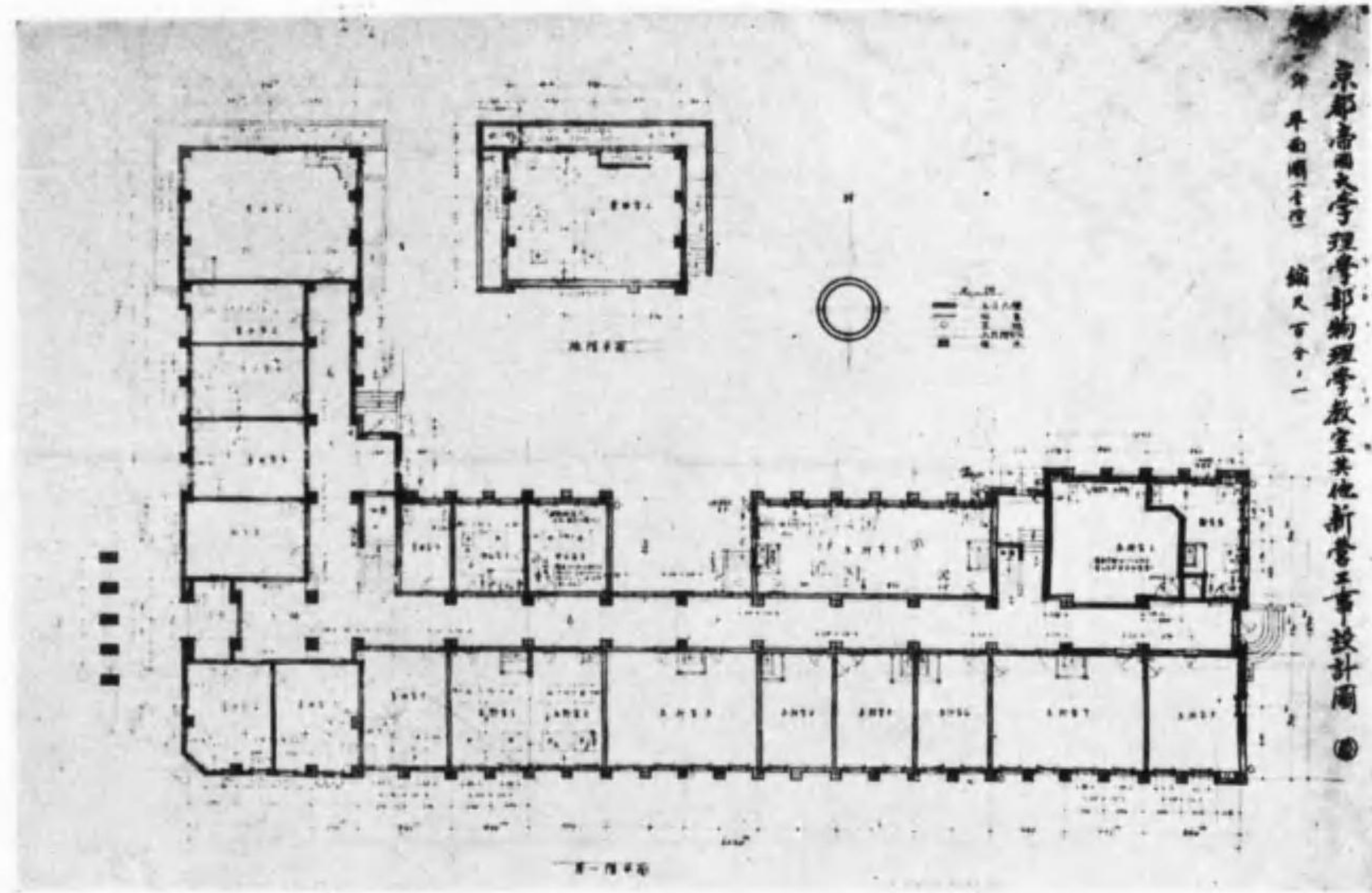
4



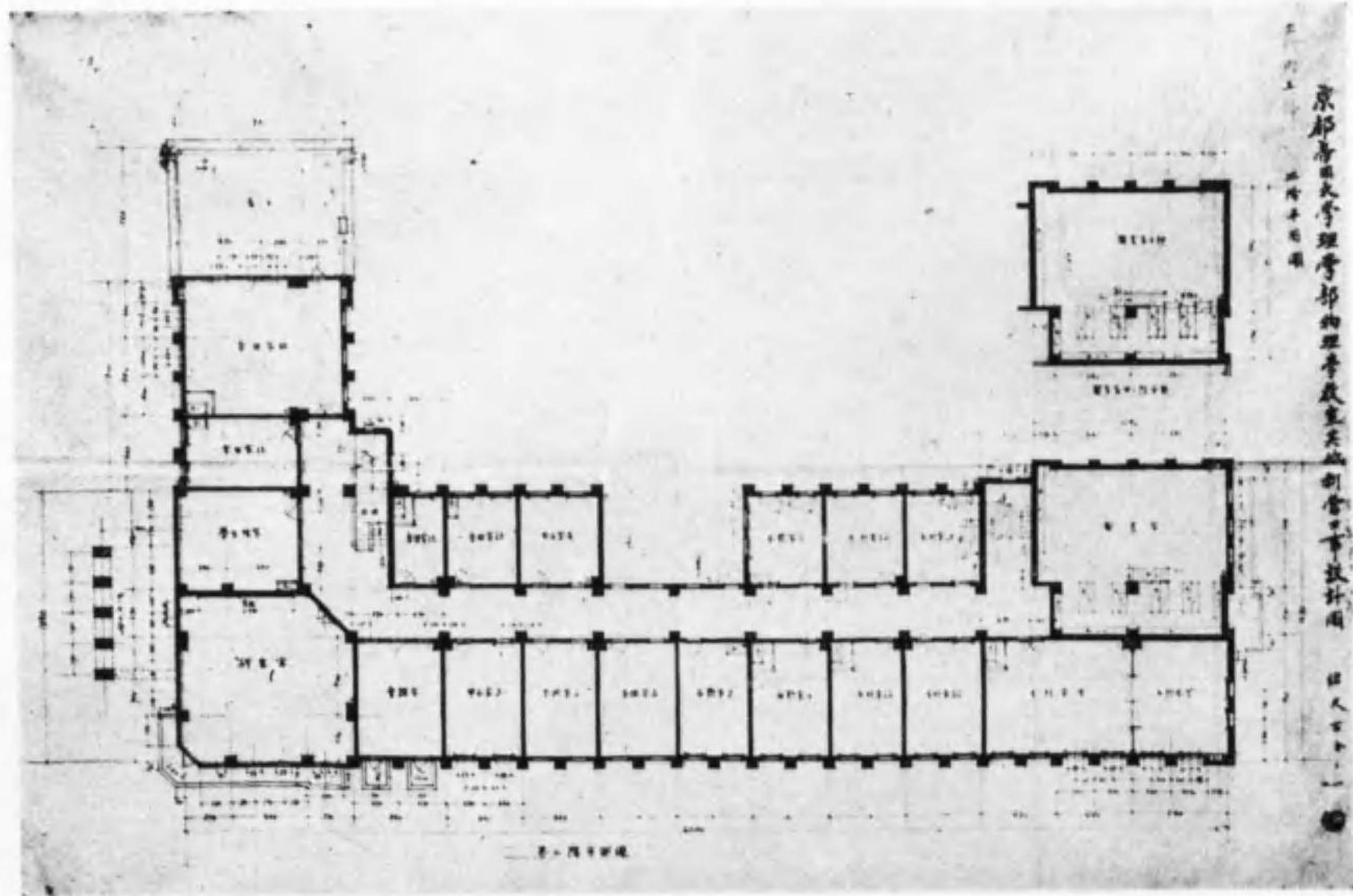
- 1 玄関 2 全景
- 3 モデル室 4 モデル室外観

大阪美術學校

寫真 24



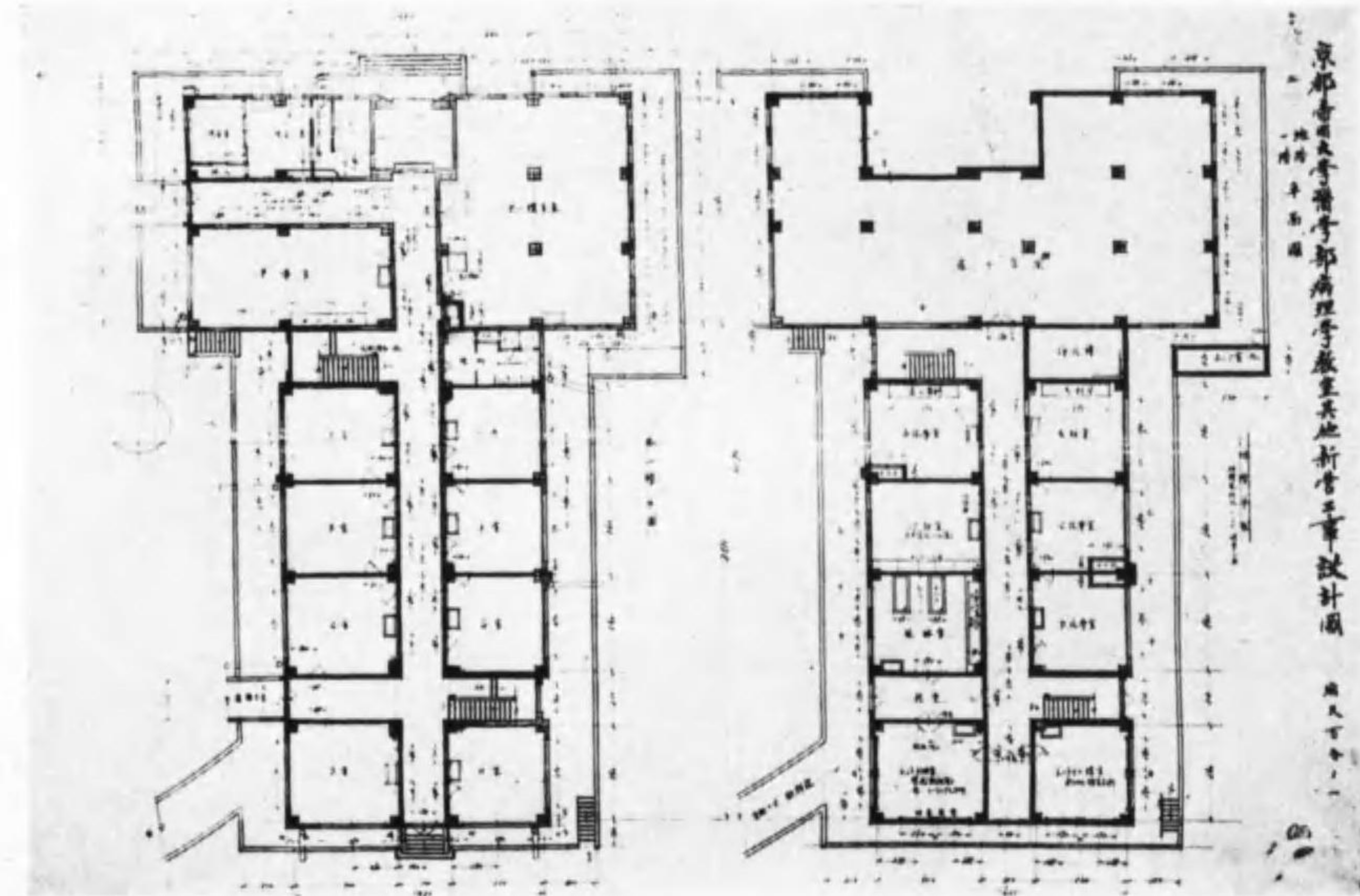
京都帝國大學理學部物理學教室其他新舊工事設計圖
 日大百廿一
 日大百廿一



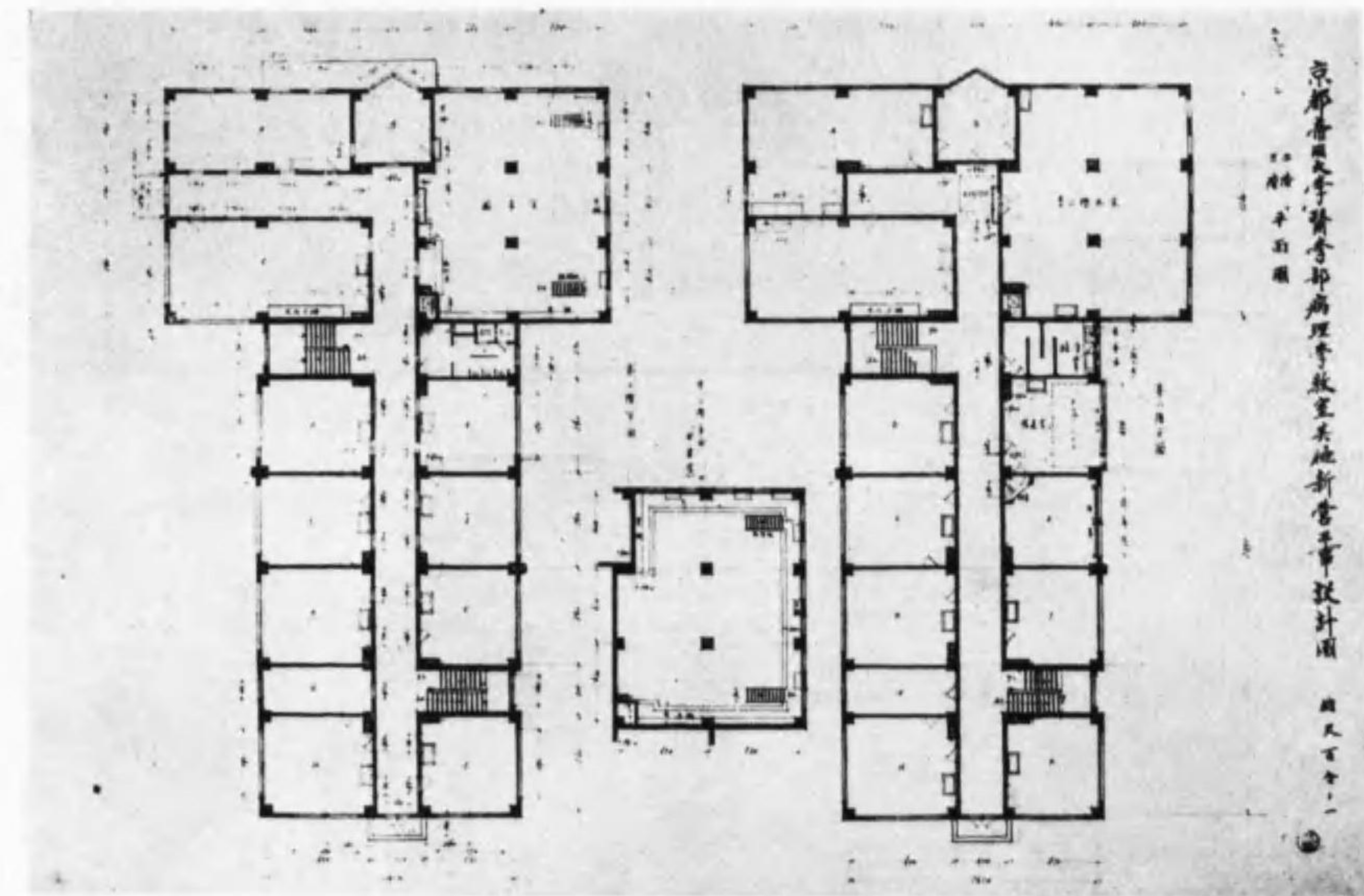
京都帝國大學理學部物理學教室其他新舊工事設計圖
 日大百廿一
 日大百廿一

京都帝國大學理學部物理學教室平面圖

上・一階平面圖 下・二階平面圖



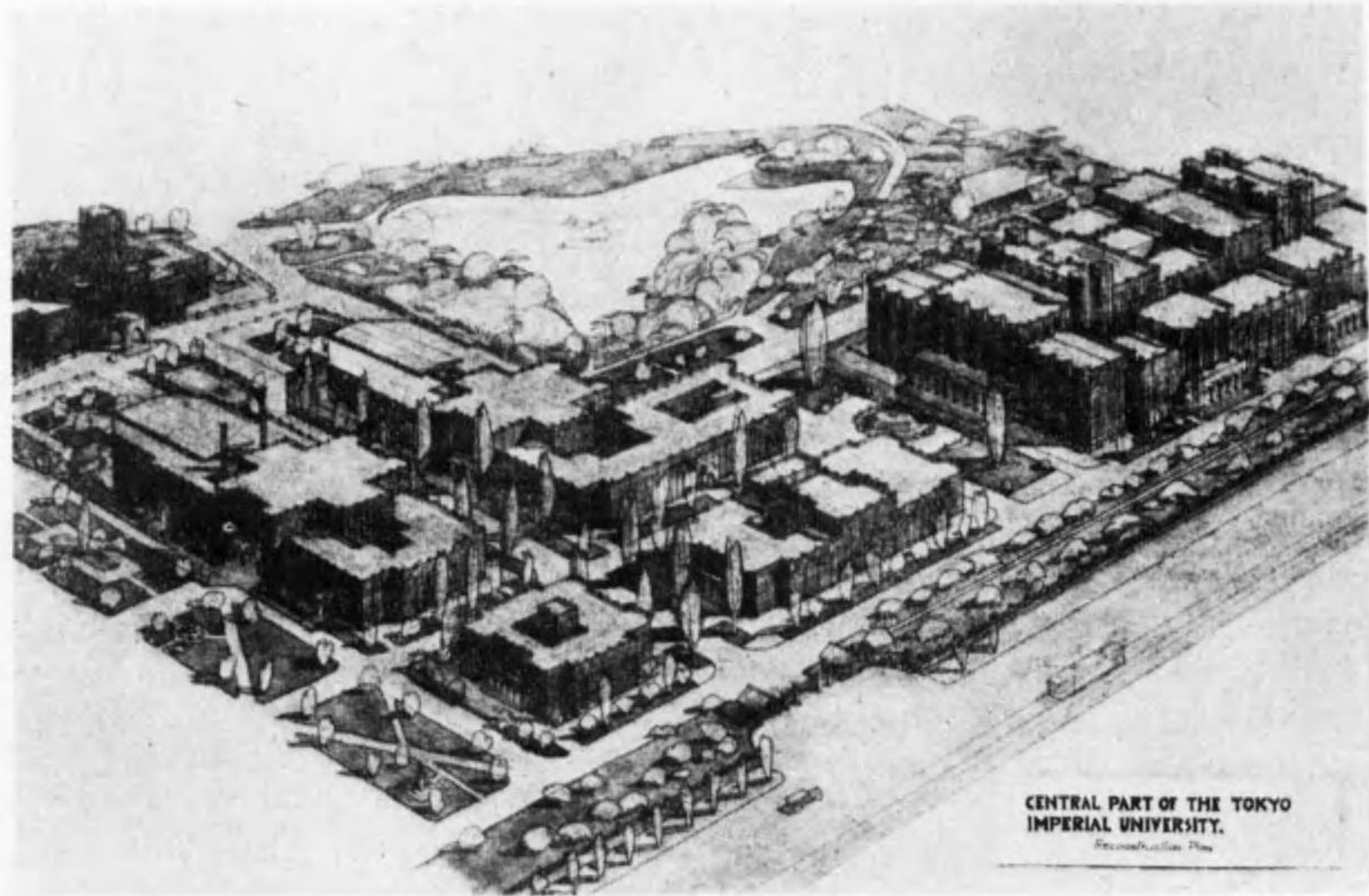
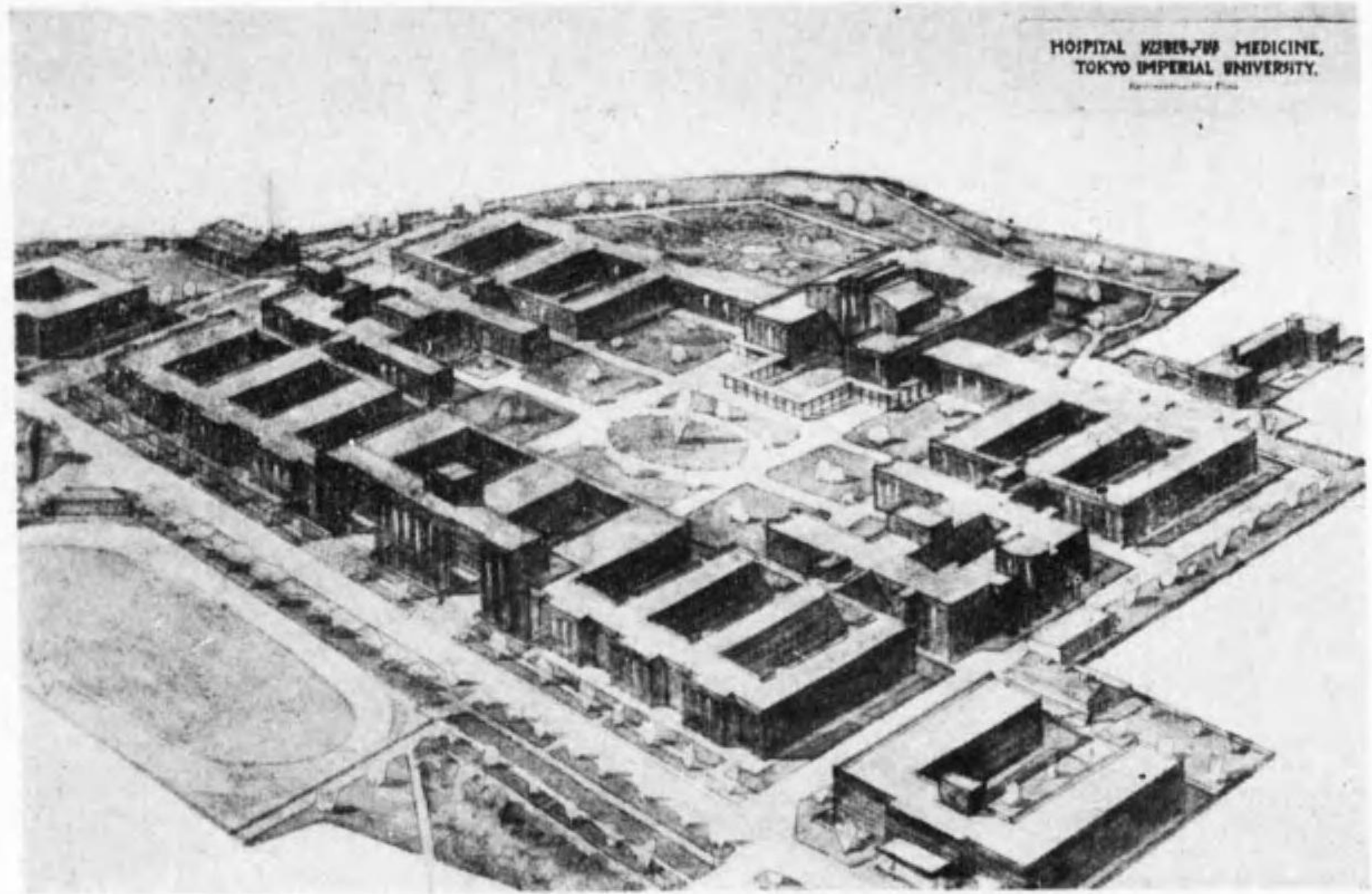
京都帝國大學醫學部病理學教室其他新舊工事設計圖
 日大百廿一
 日大百廿一



京都帝國大學醫學部病理學教室其他新舊工事設計圖
 日大百廿一
 日大百廿一

京都帝國大學醫學部病理學教室平面圖

上・地階一階平面圖 下・二階三階平面圖

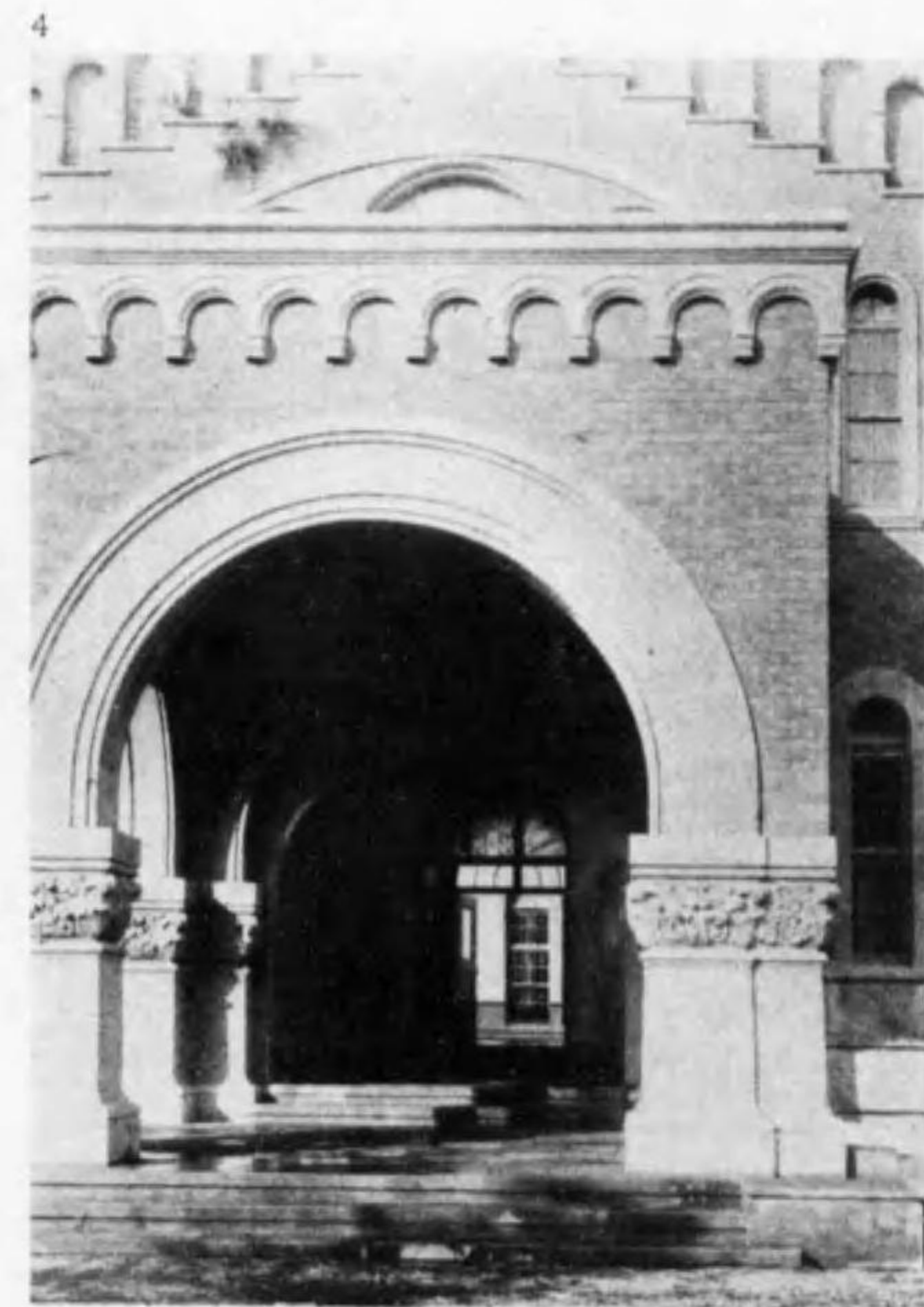
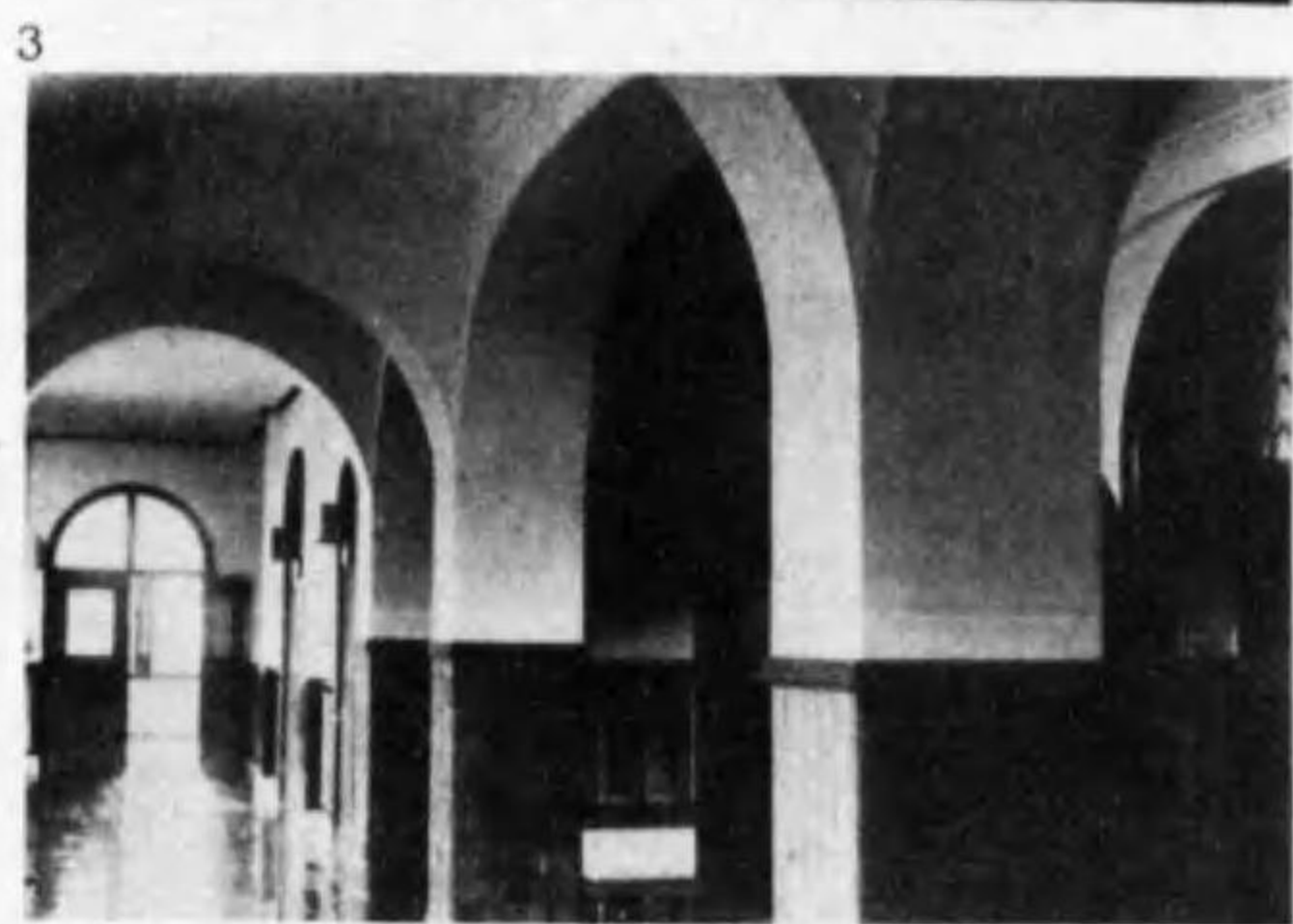
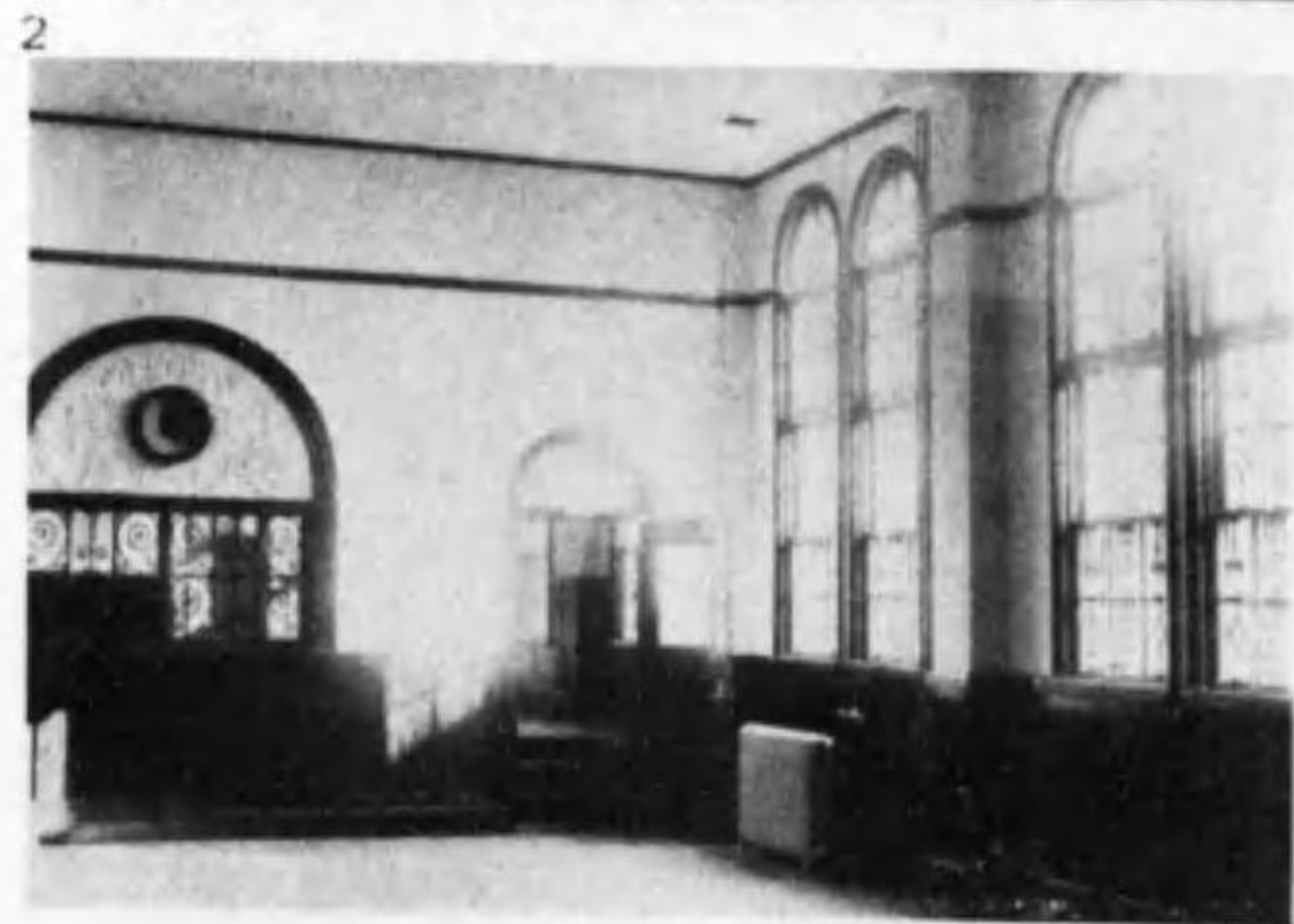
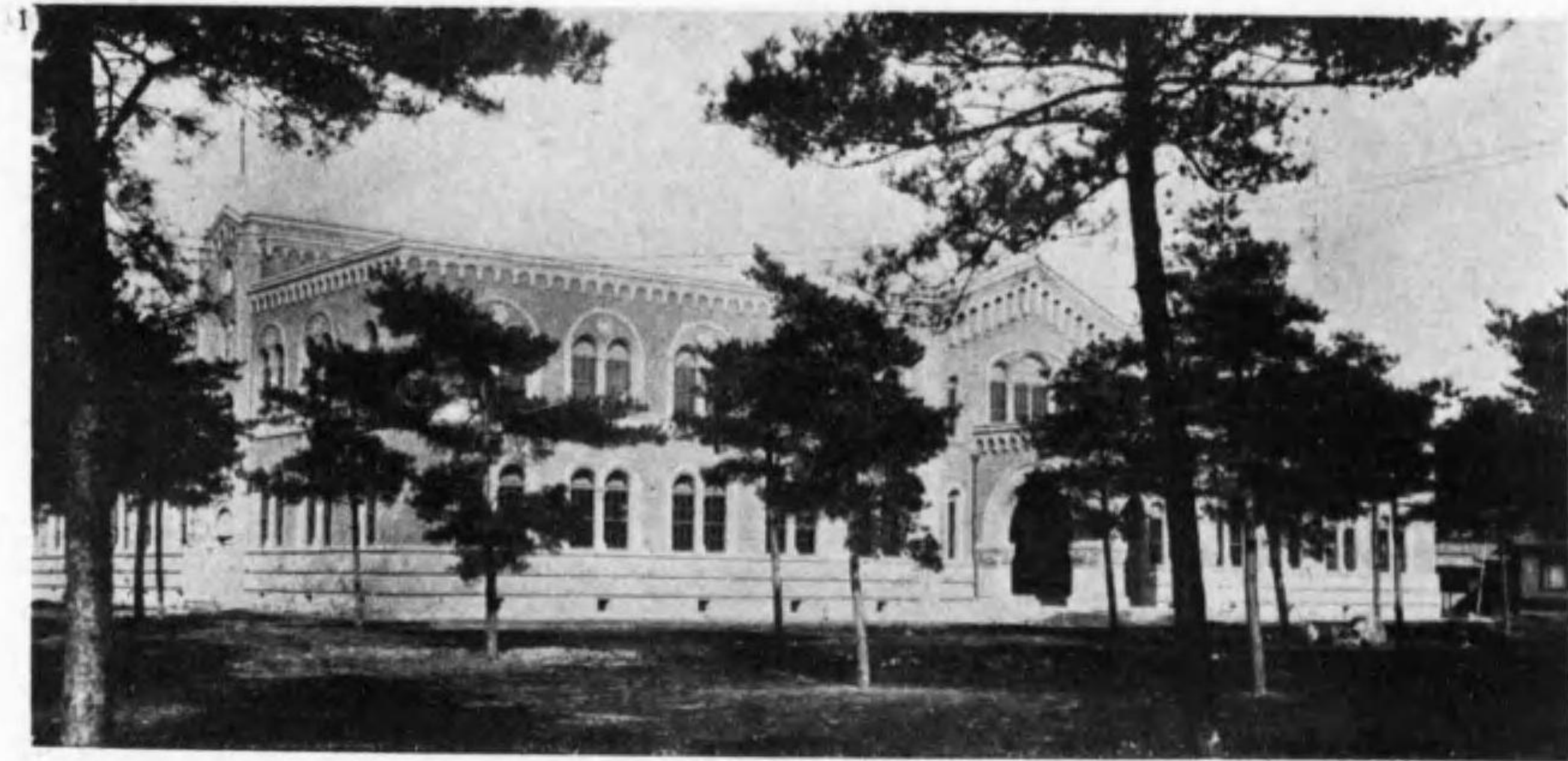


東京帝國大學復興計畫鳥瞰圖

寫真 29

上・醫學部全景

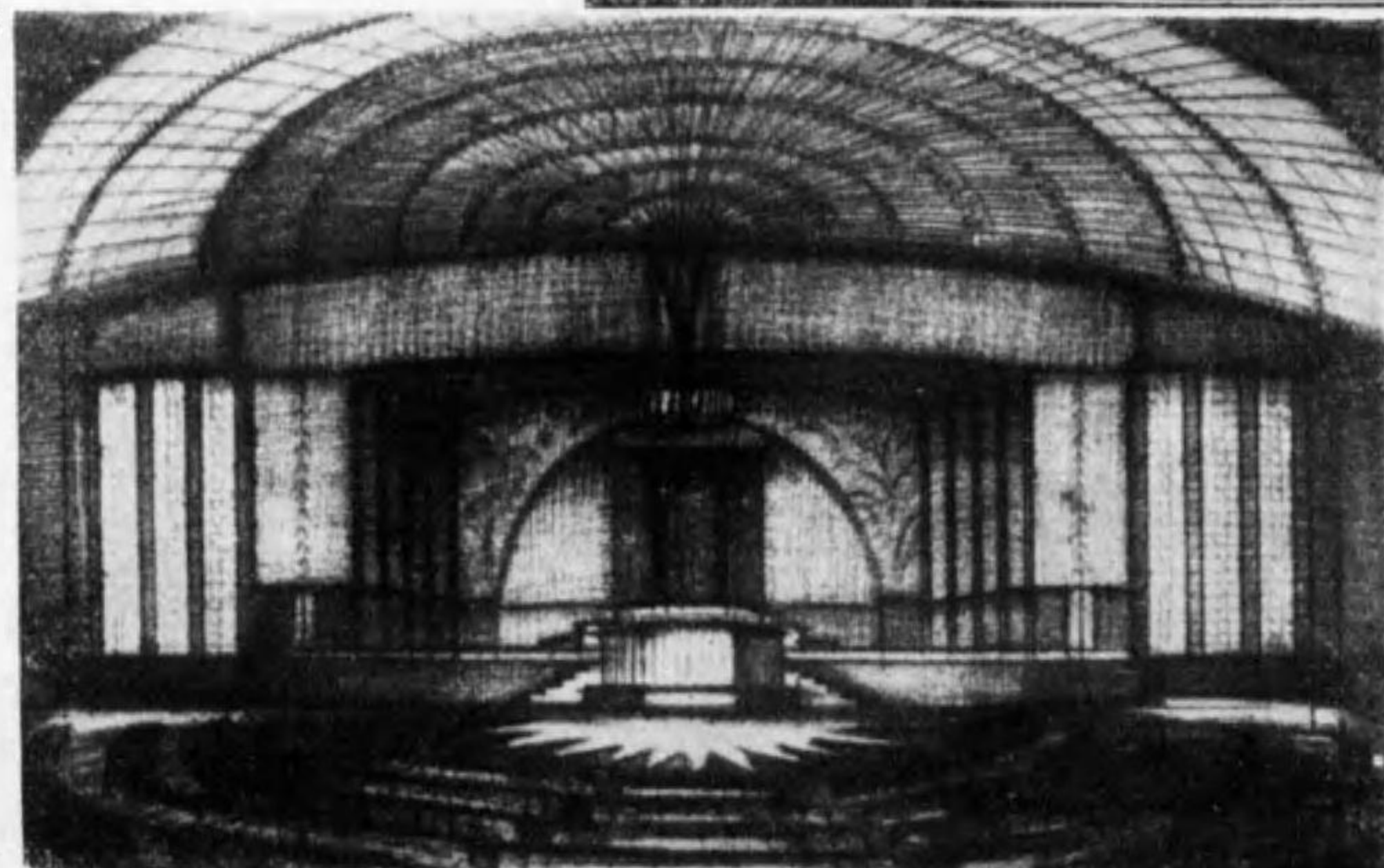
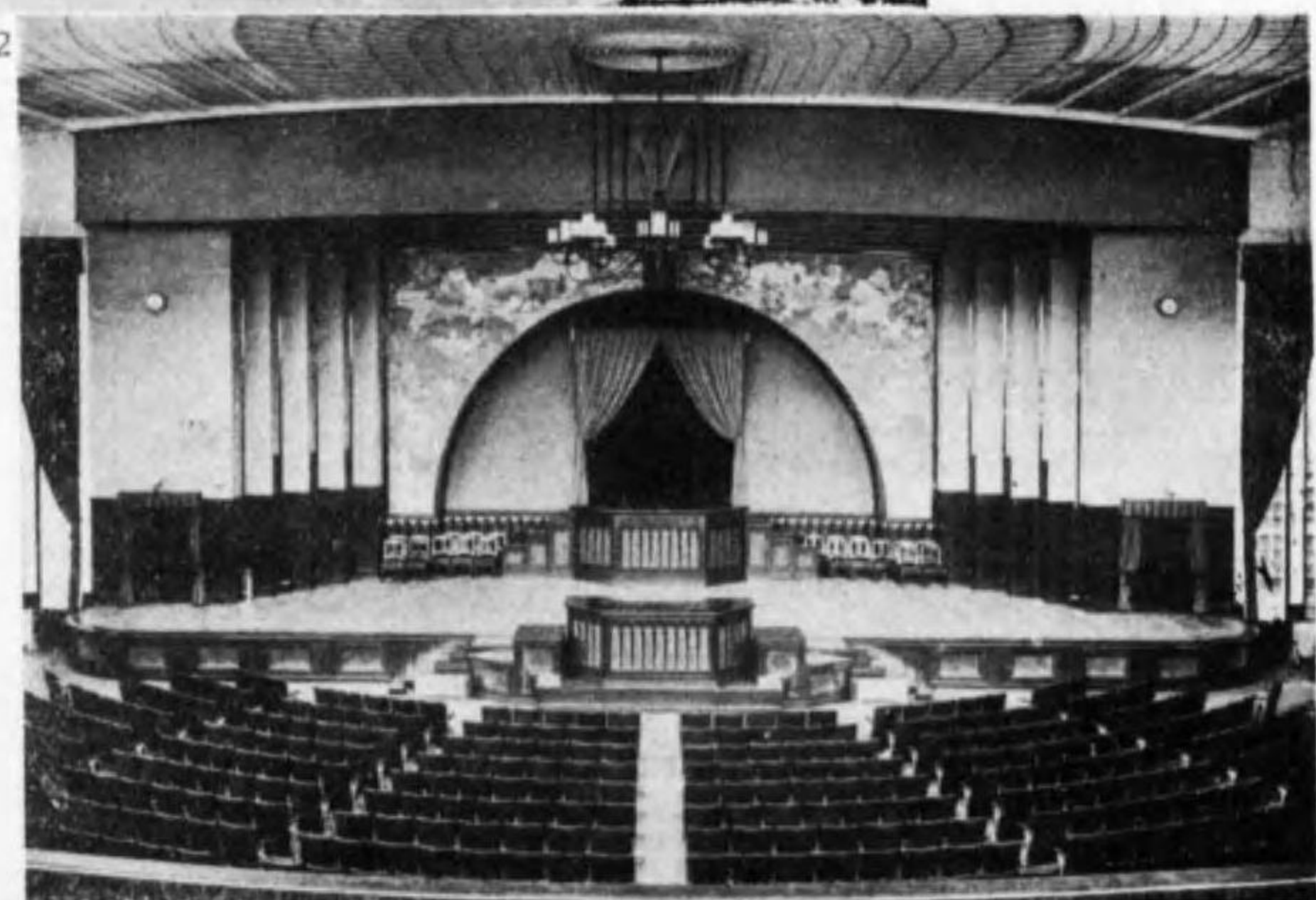
下・大學中央部



1 本館外觀 3 廣 間
 2 圖書閱覽室 4 支閣詳細

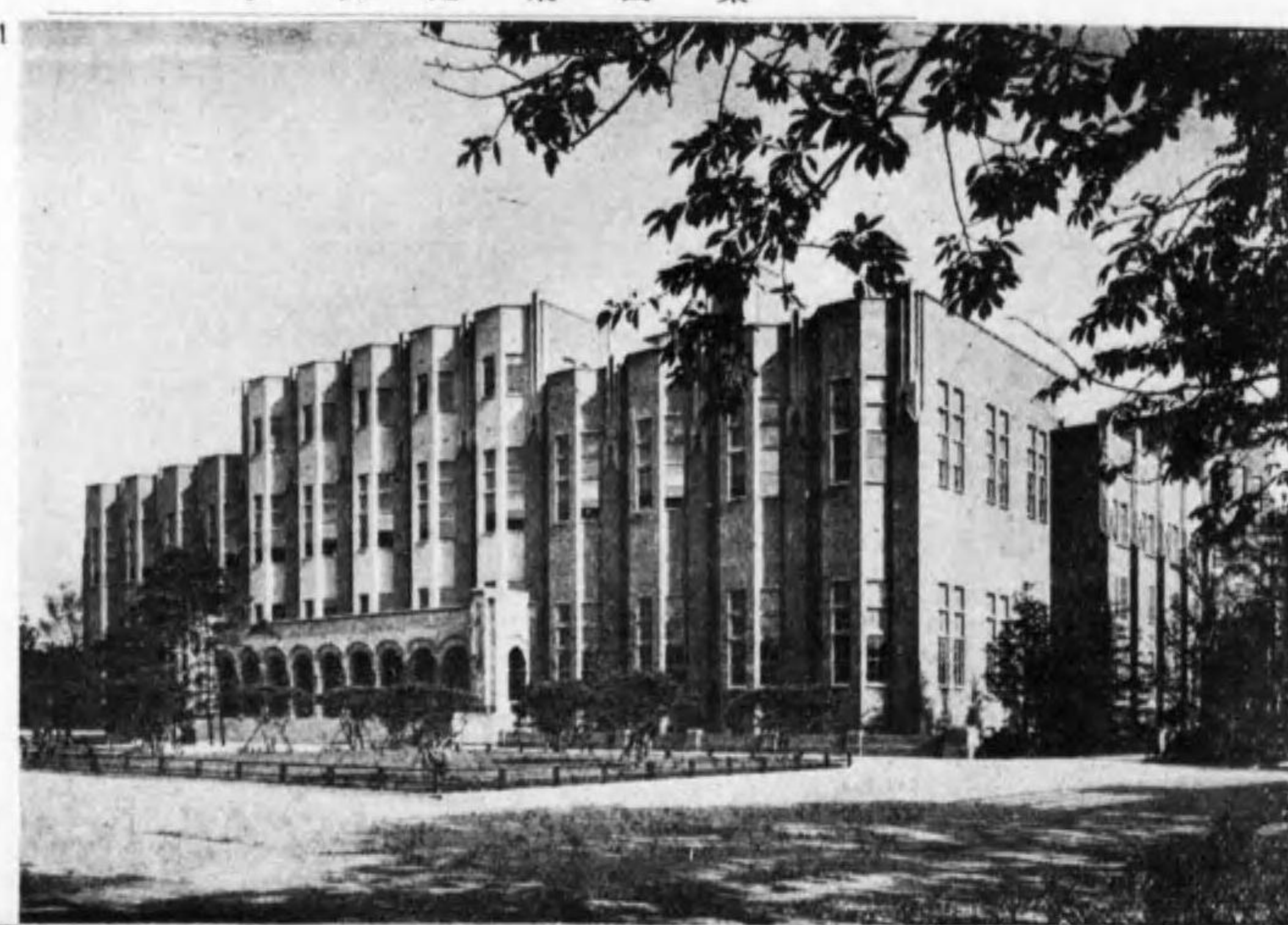
東京商科大學商學專門部

寫真 28



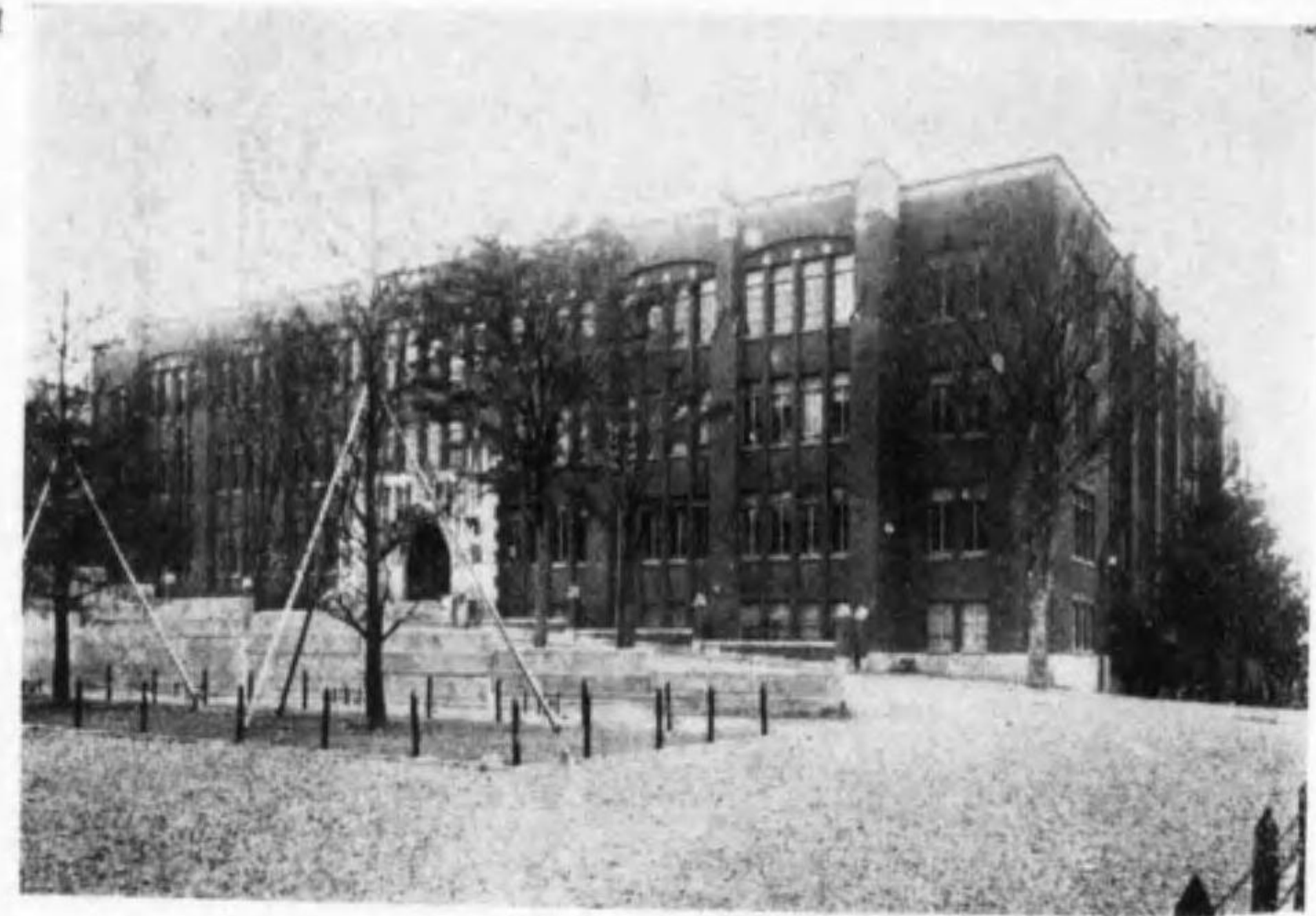
- 1 外 觀
- 2 内 部
- 3 同透視圖

東京帝國大學大講堂



- 1 外 觀
- 2 一般閱覽室
- 3 三階テラス前廣場

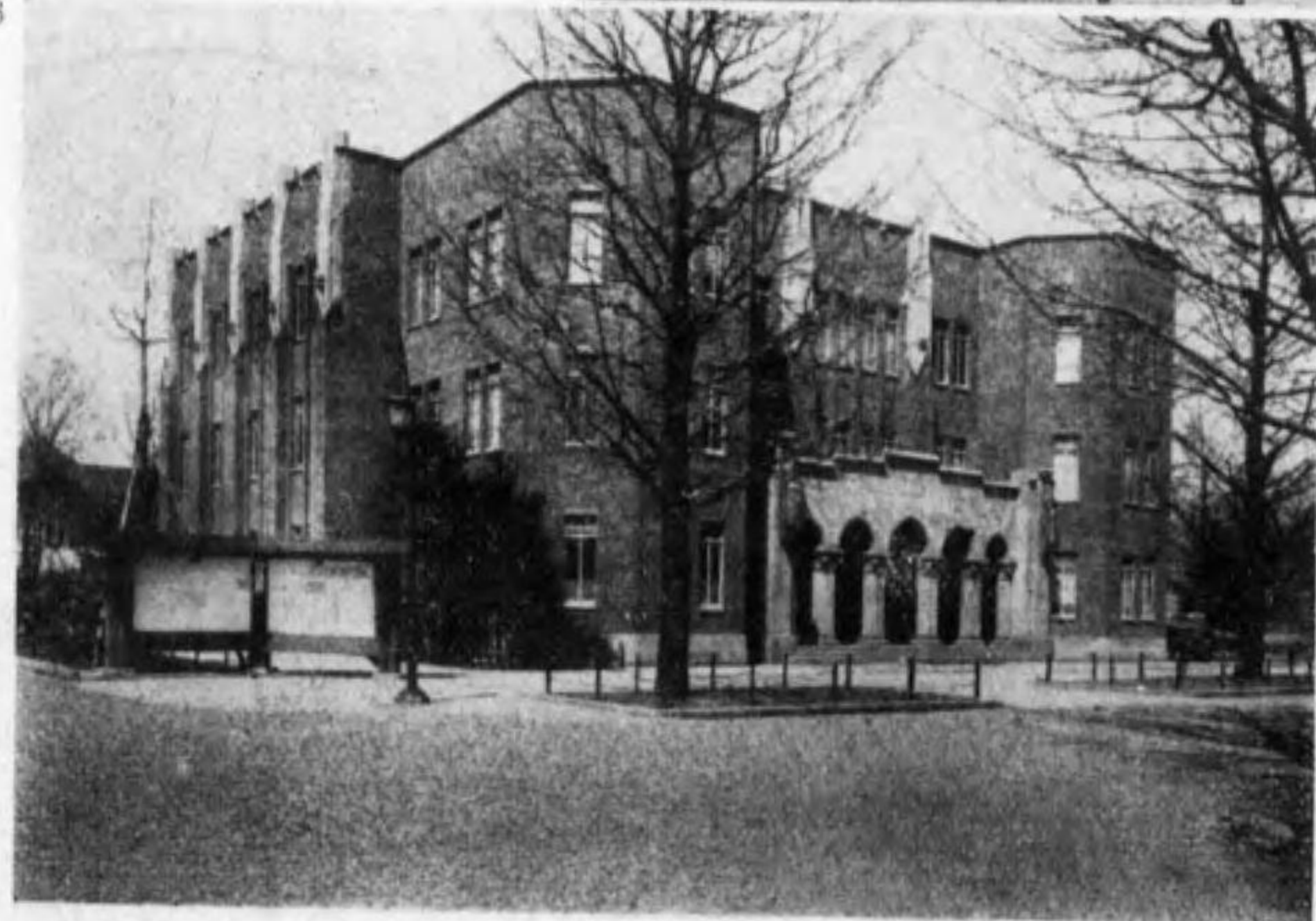
東京帝國大學圖書館



1

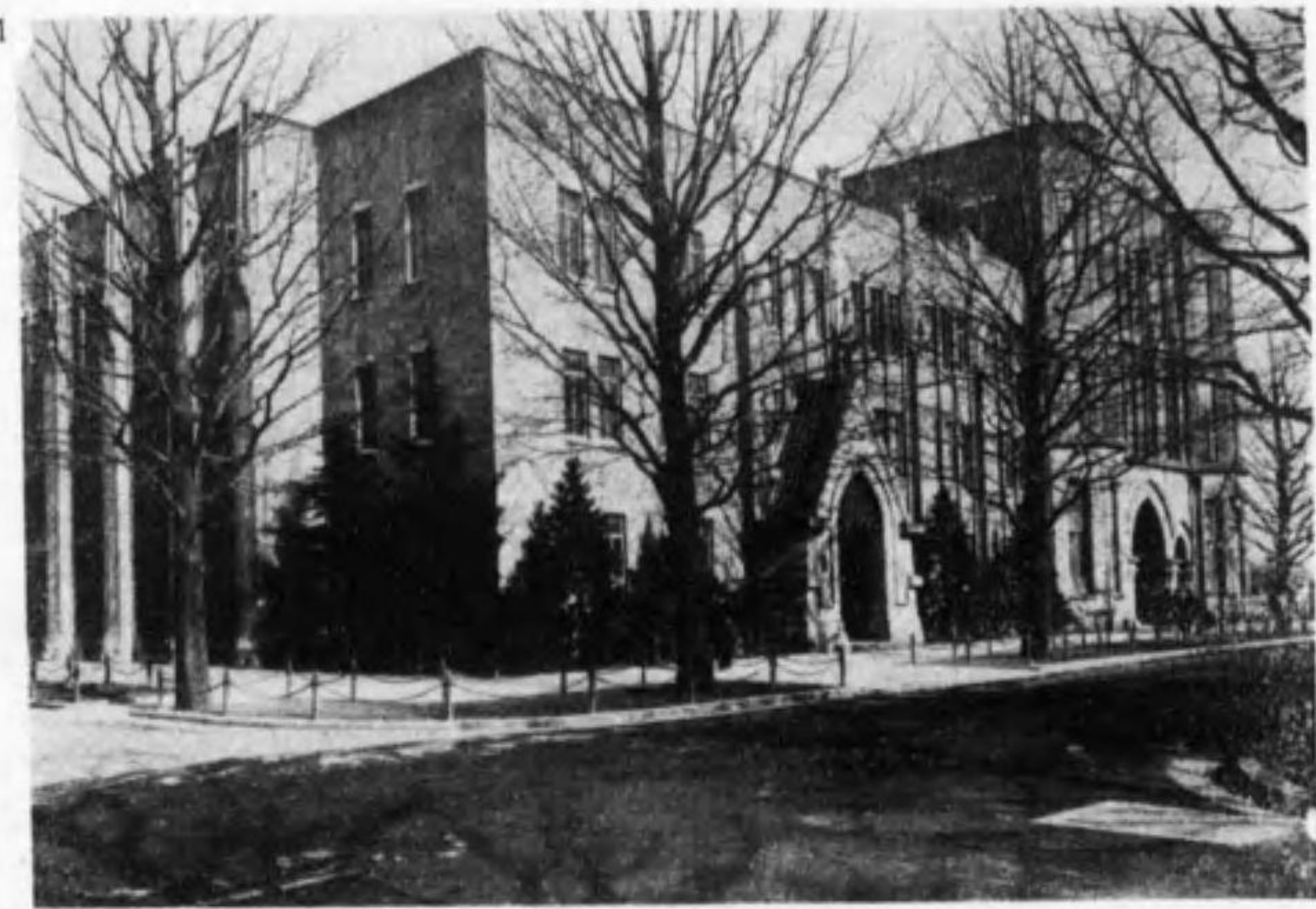


2



3

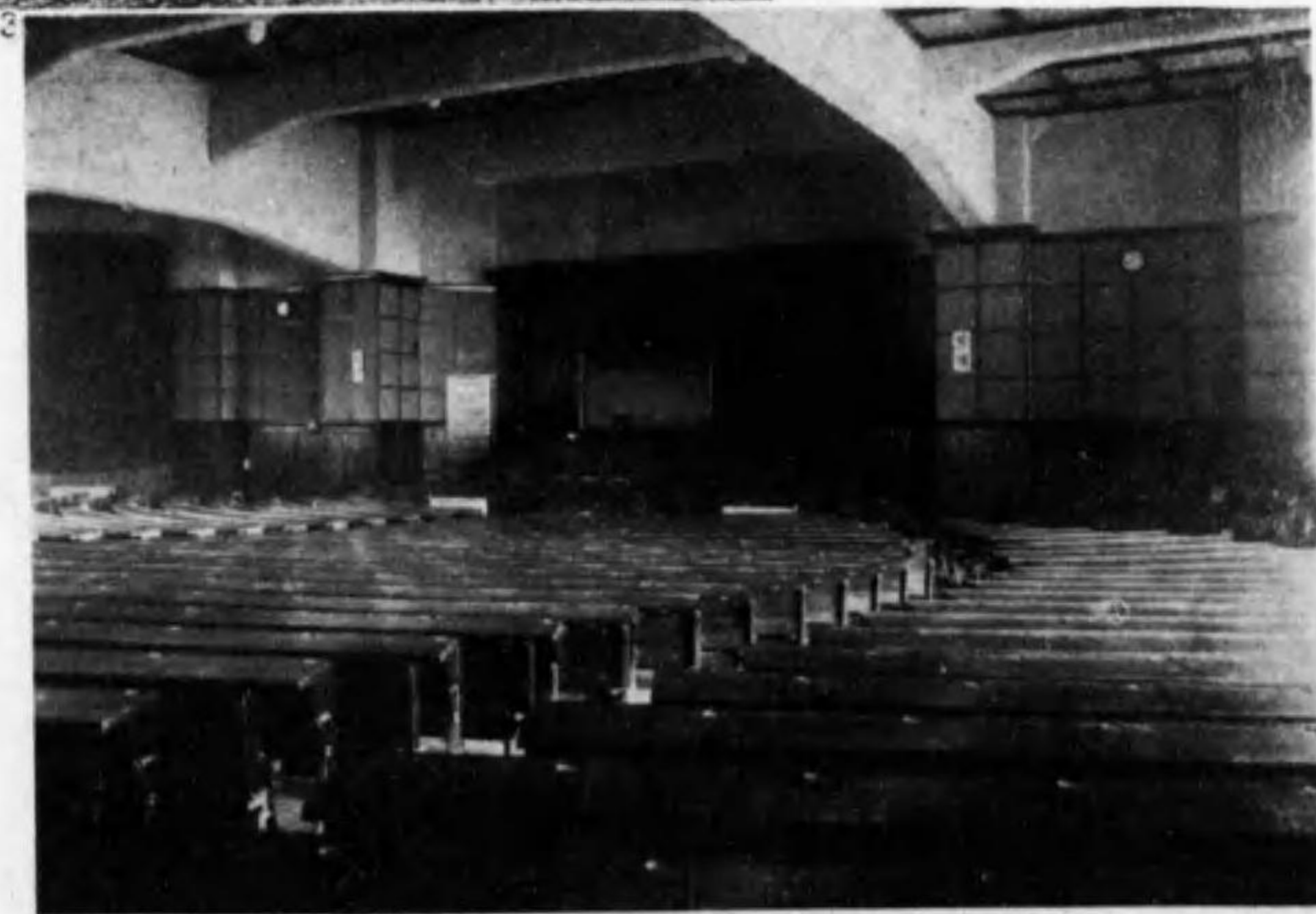
1 工學部講堂及各教室
2 物理學教室外觀
3 工學部別品室外觀
東京帝國大學教室



1



2



1 法文經第一教室外觀
2 法文經第二教室外觀
3 法文經第二教室內部
東京帝國大學教室

第一圖 大阪市小學校木造校舍標準矩計圖

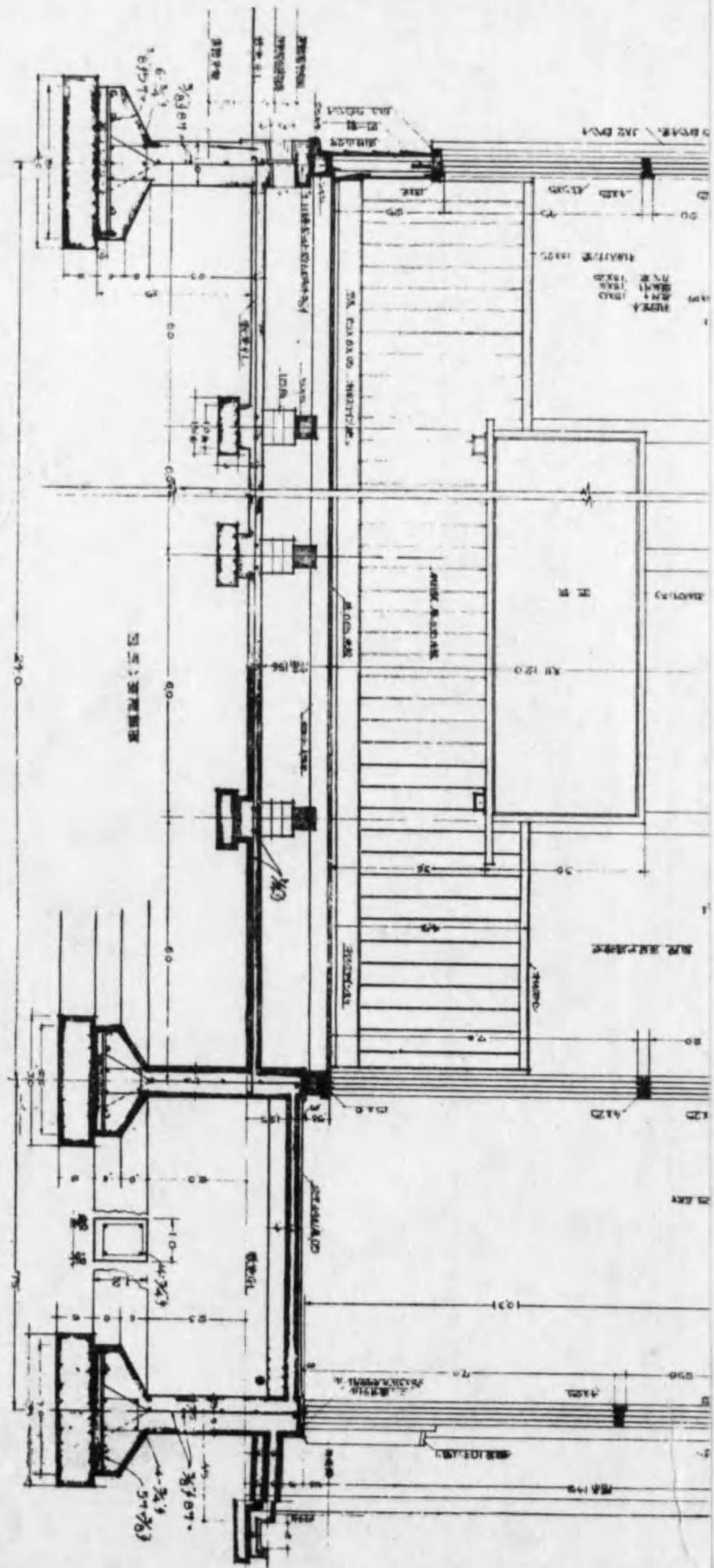


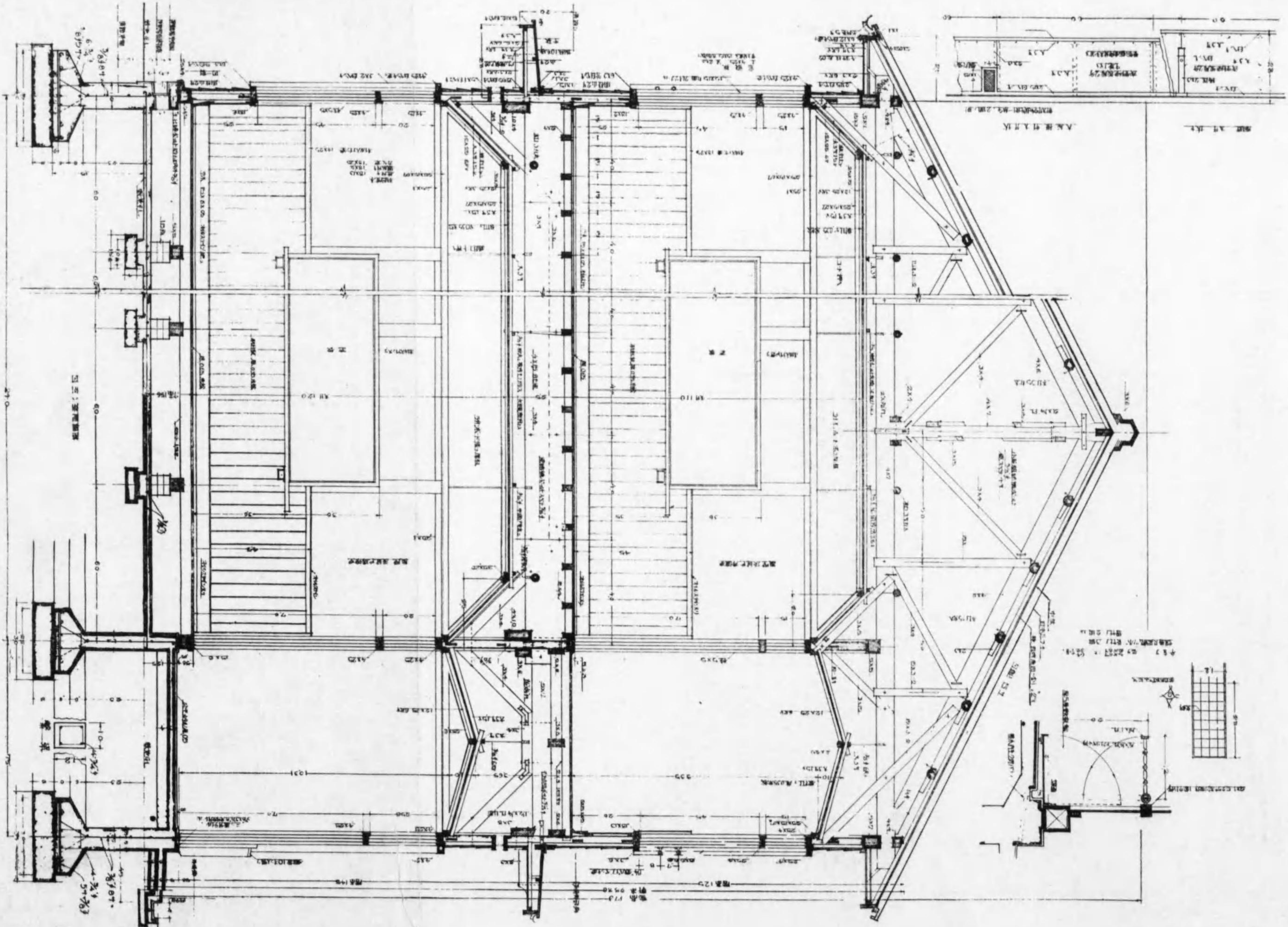
圖 1



1 醫院耳鼻喉及整形外科
2 應用化學教室外觀
3 藥學科教室外觀
東京帝國大學教室

寫真 34

第一圖 大阪市小學校木造校舍標準矩計圖

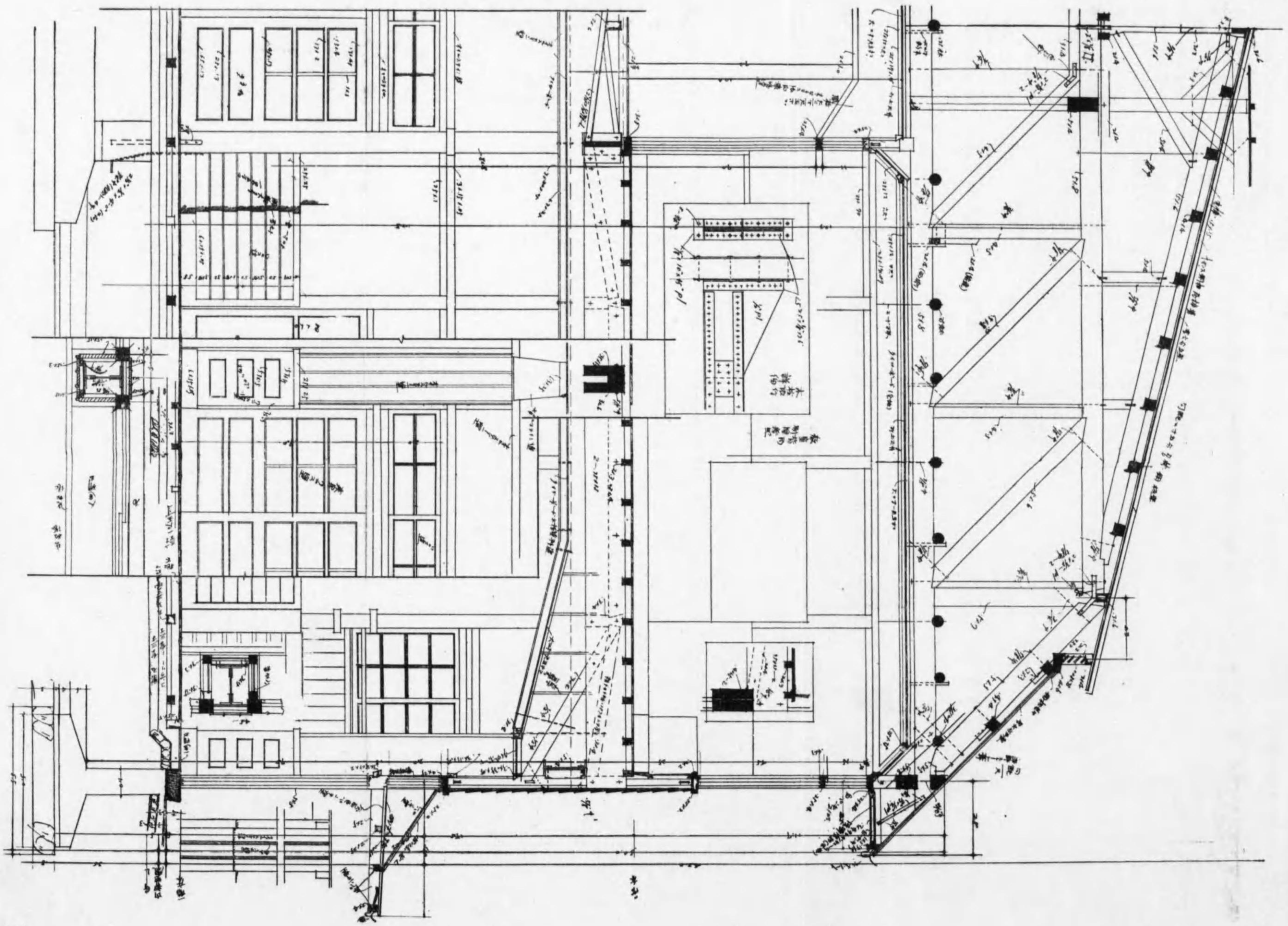


1 圖

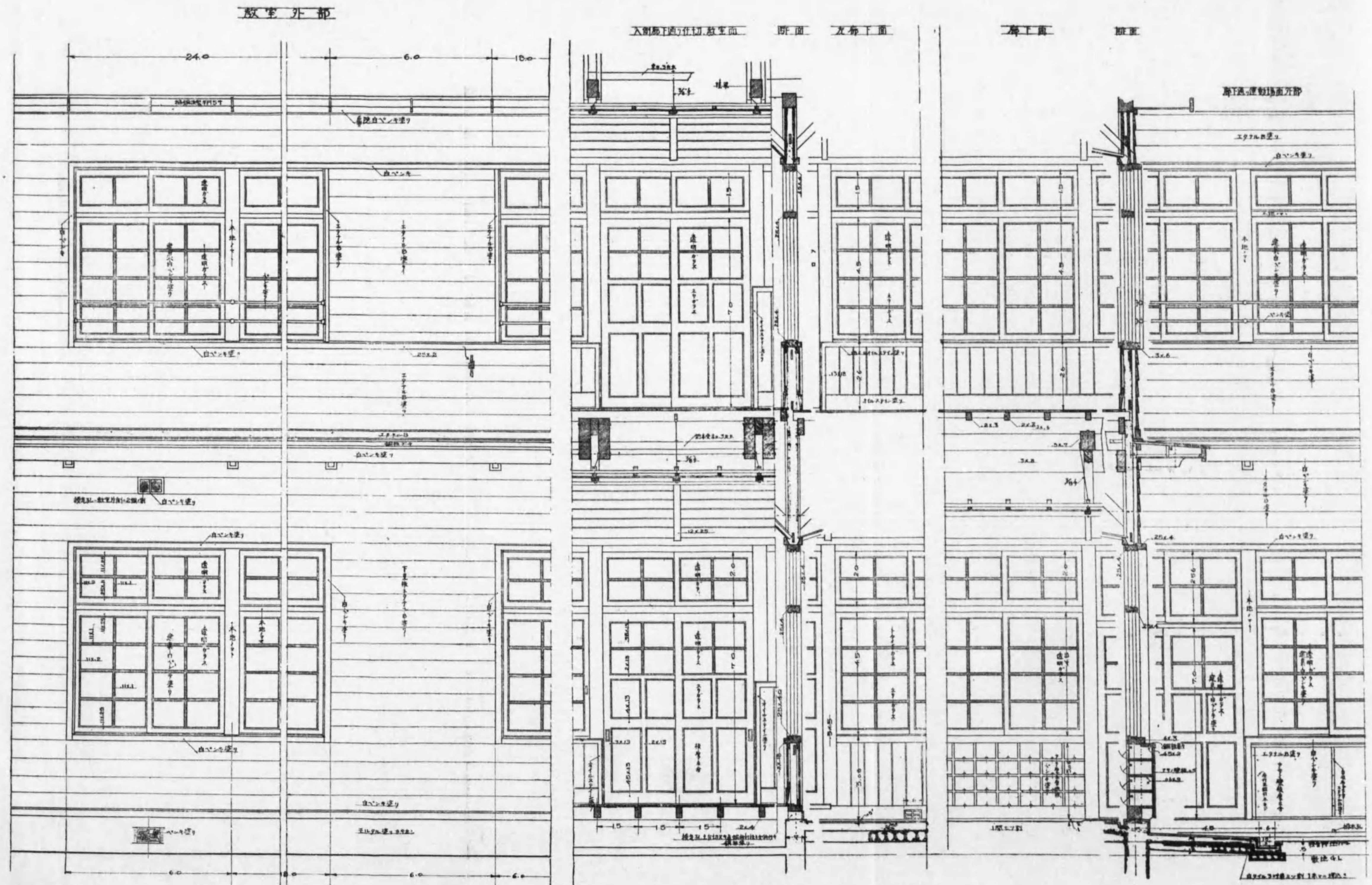


- 1 醫院耳鼻喉及整形外科
- 2 應用化學教室外觀
- 3 藥學科教室外觀

東京帝國大學

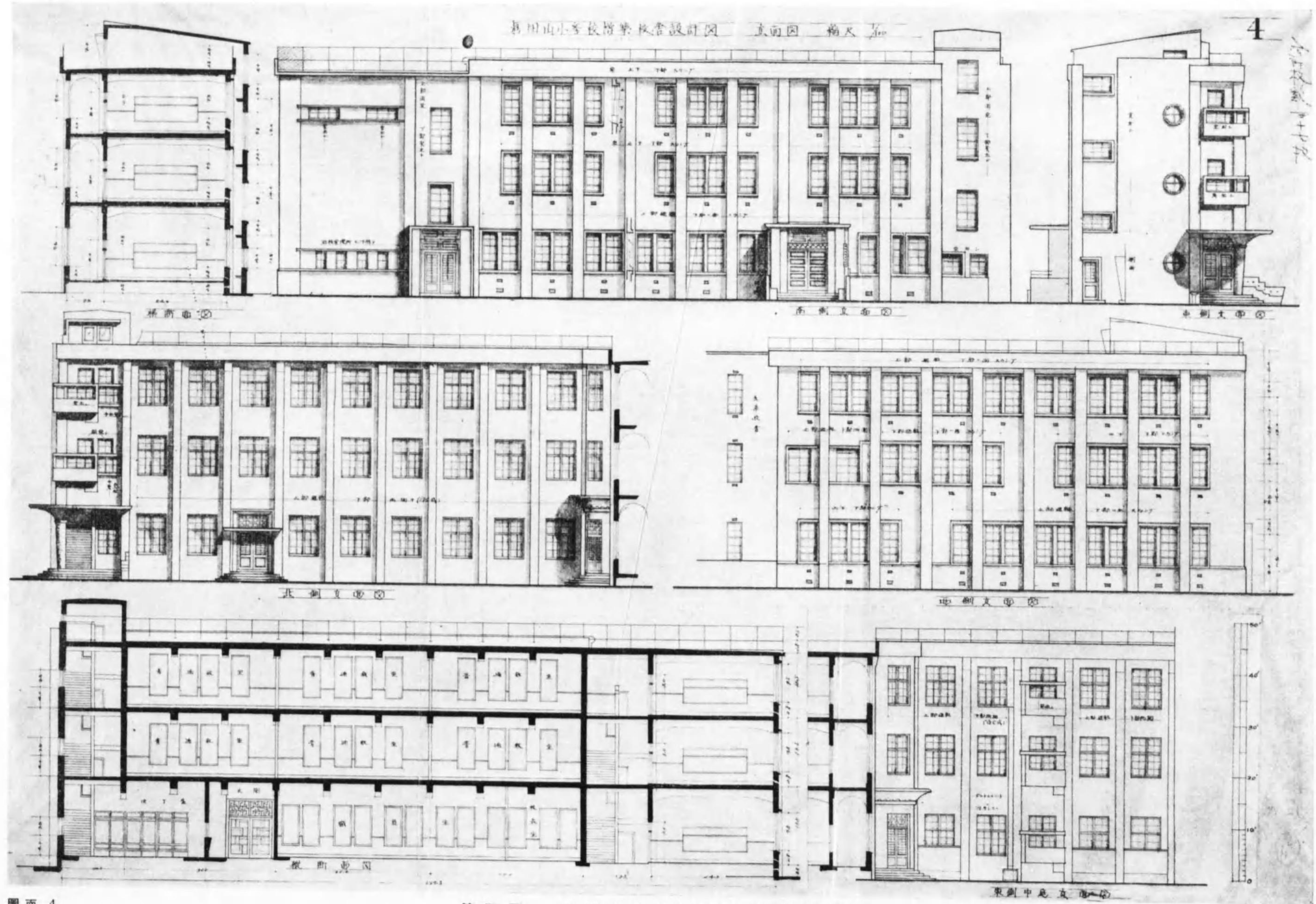


第二圖 大阪市小學校木造講堂標準矩計圖



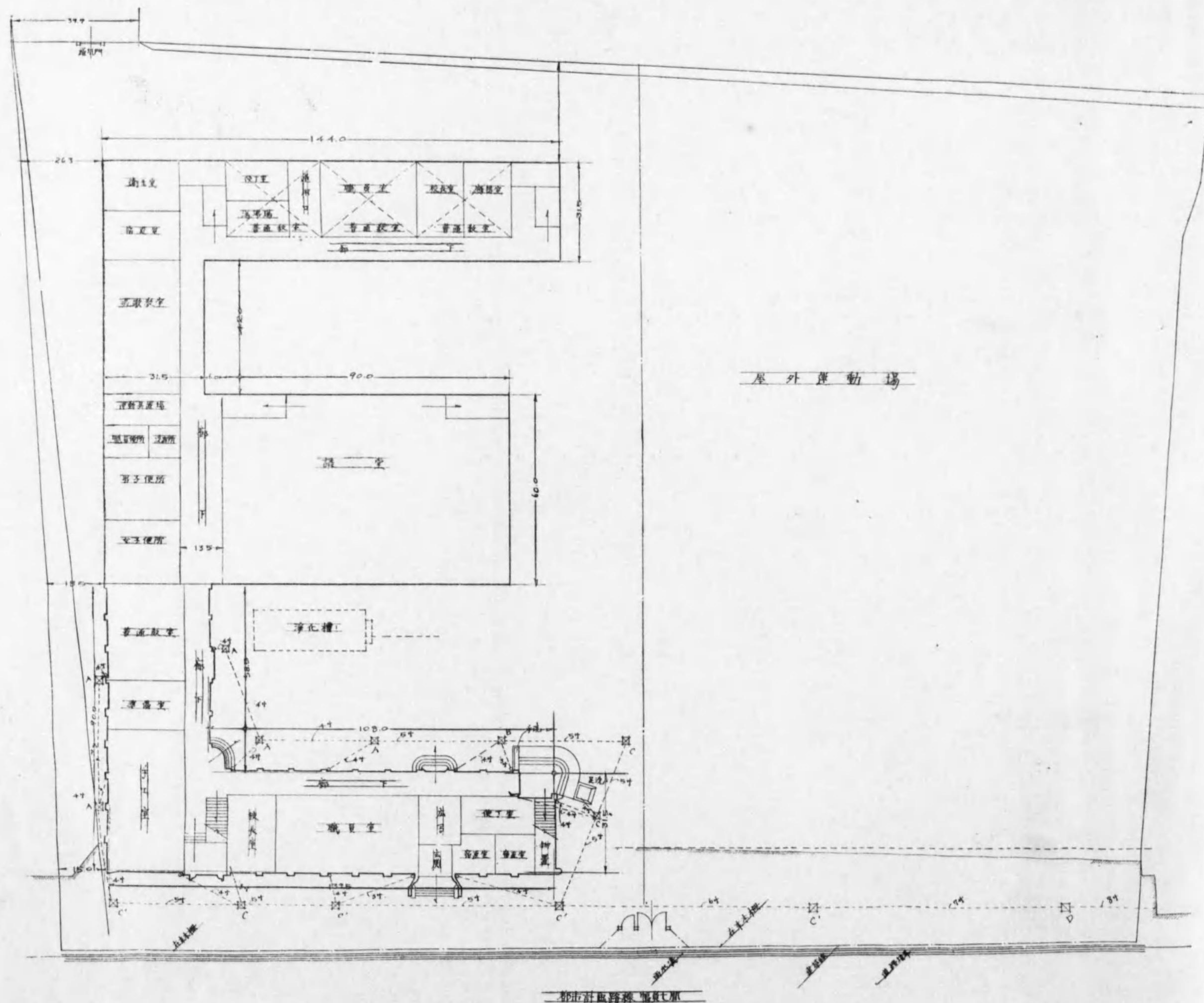
圖面 3

第三圖 大阪市小學校木造校舍教室標準各部詳細圖



圖面 4

第四圖 大阪市立真田山小學校立面圖

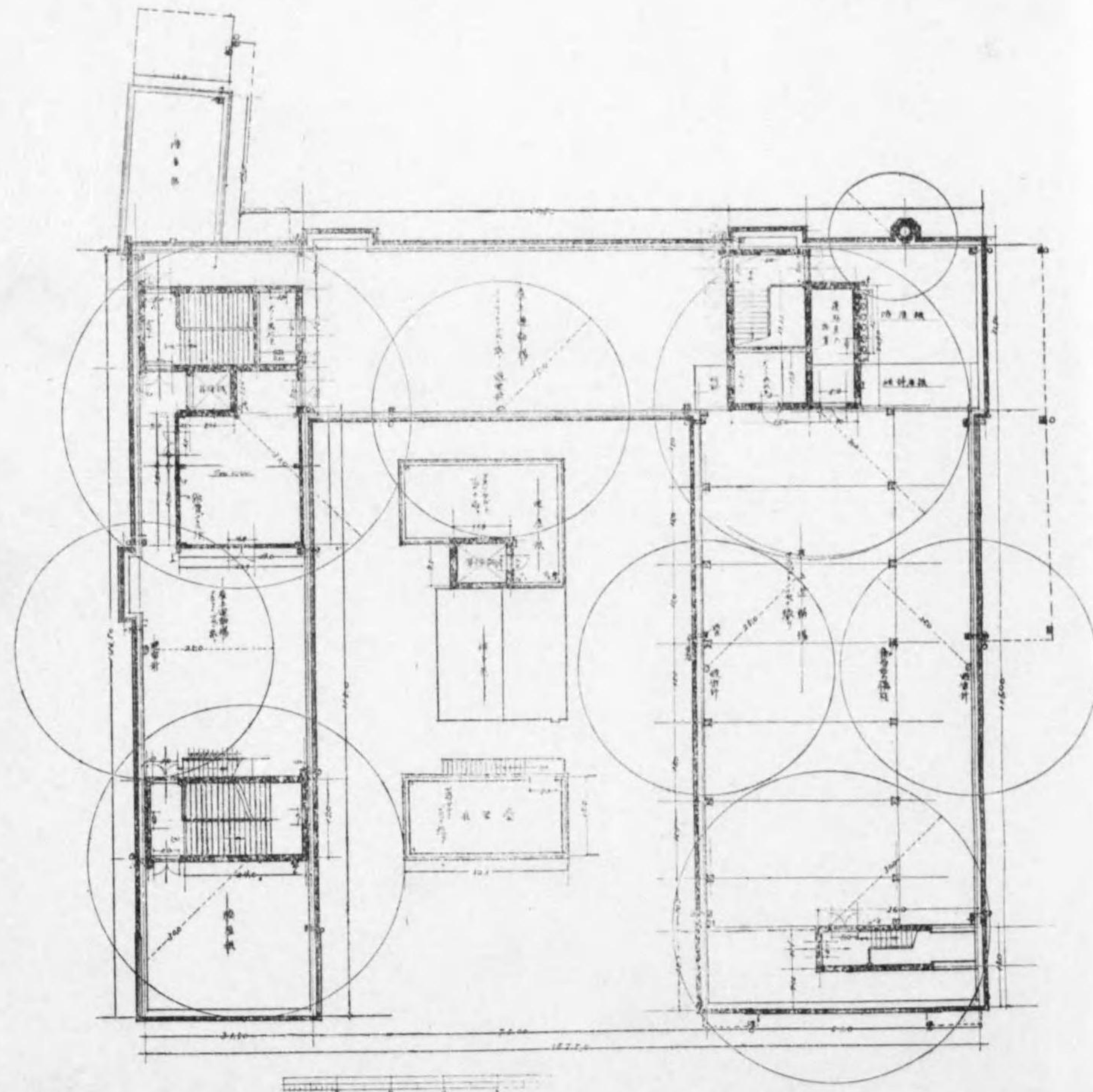


圖面 5

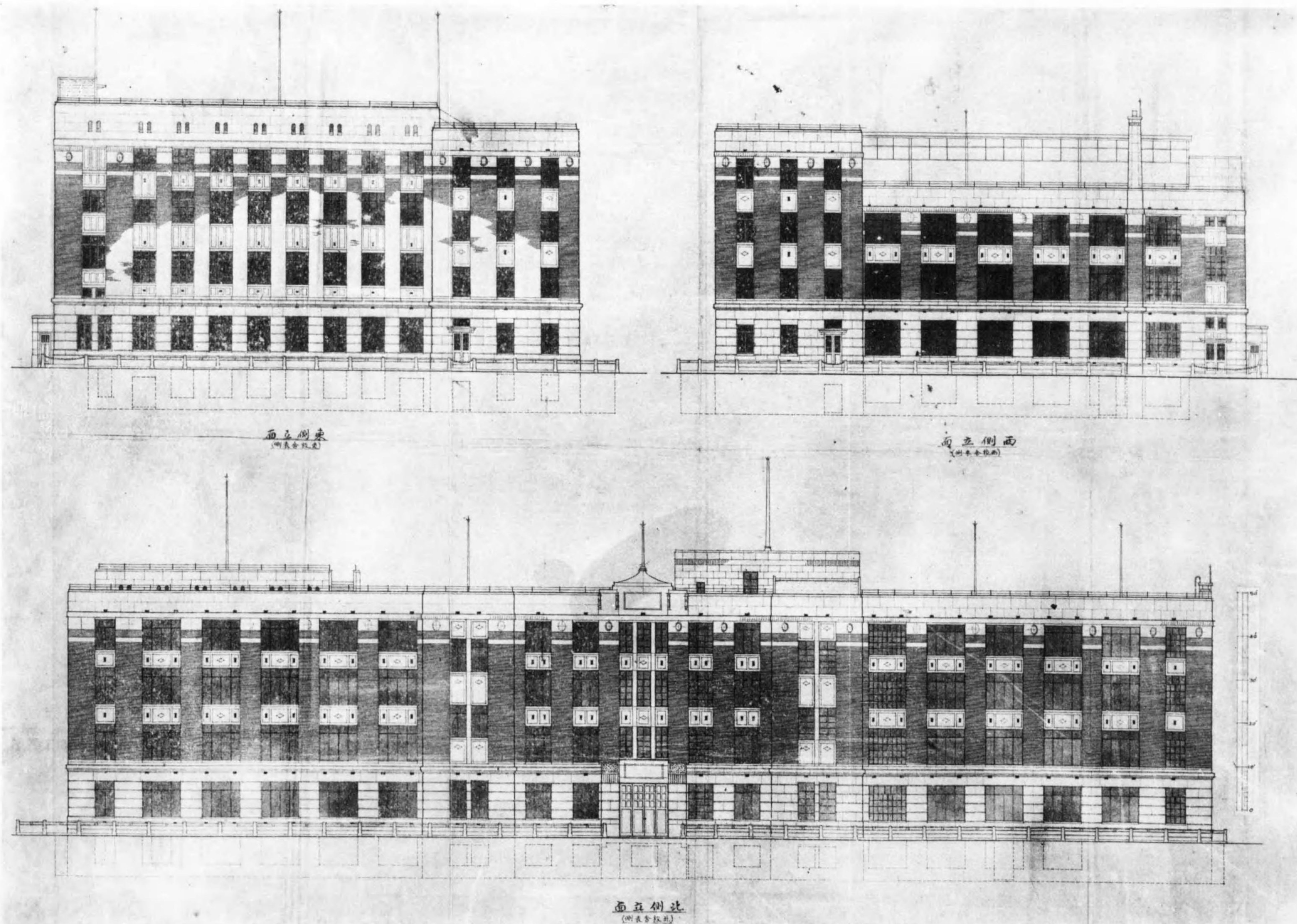
第五圖 大阪市立真田山小學校配置圖

欠

欠



圖面 14 第十八圖 大阪市立集英小學校第四階及塔家平面圖

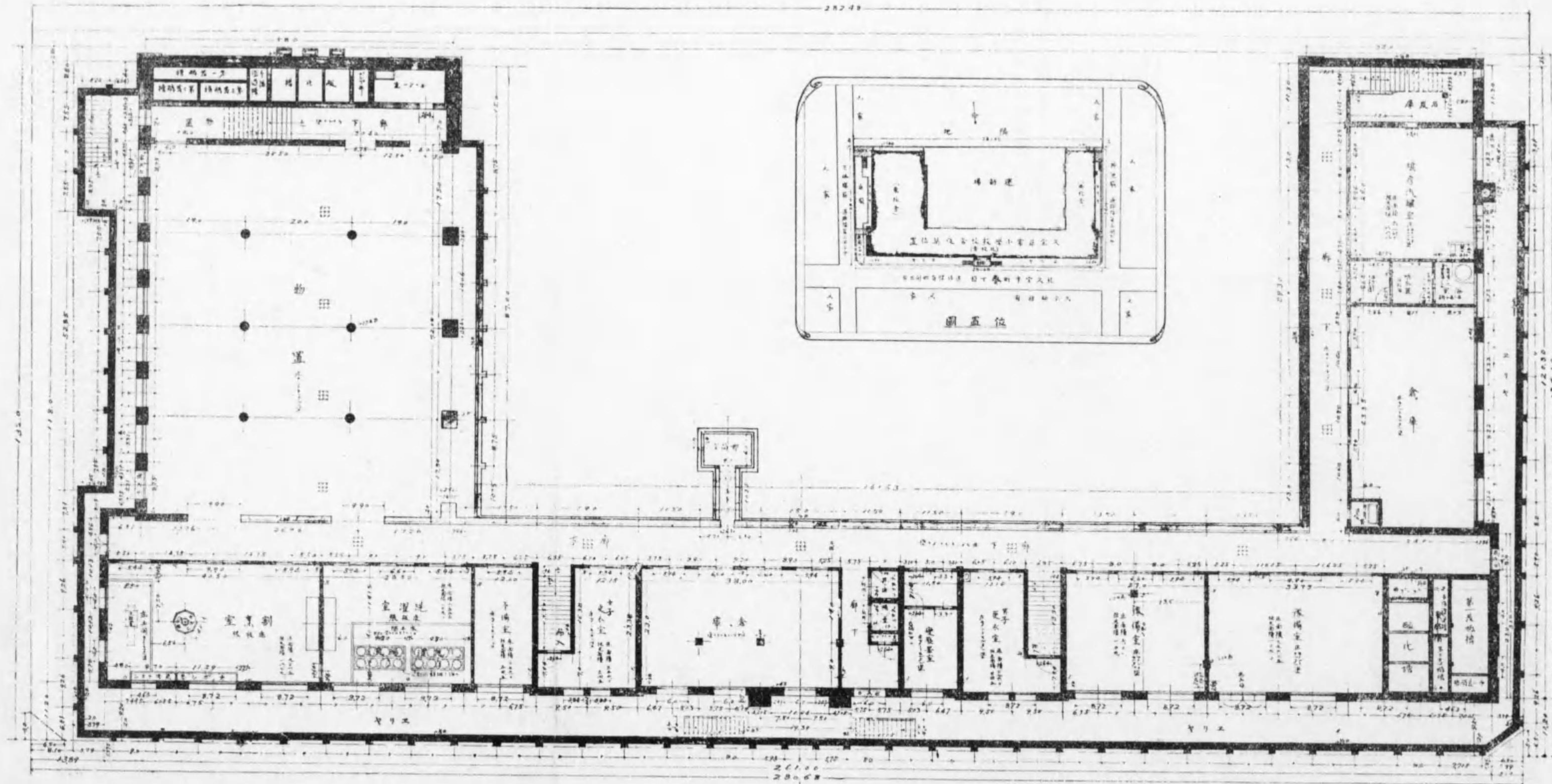


面立側東
(側表全貌)

面立側西
(側表全貌)

面立側北
(側表全貌)

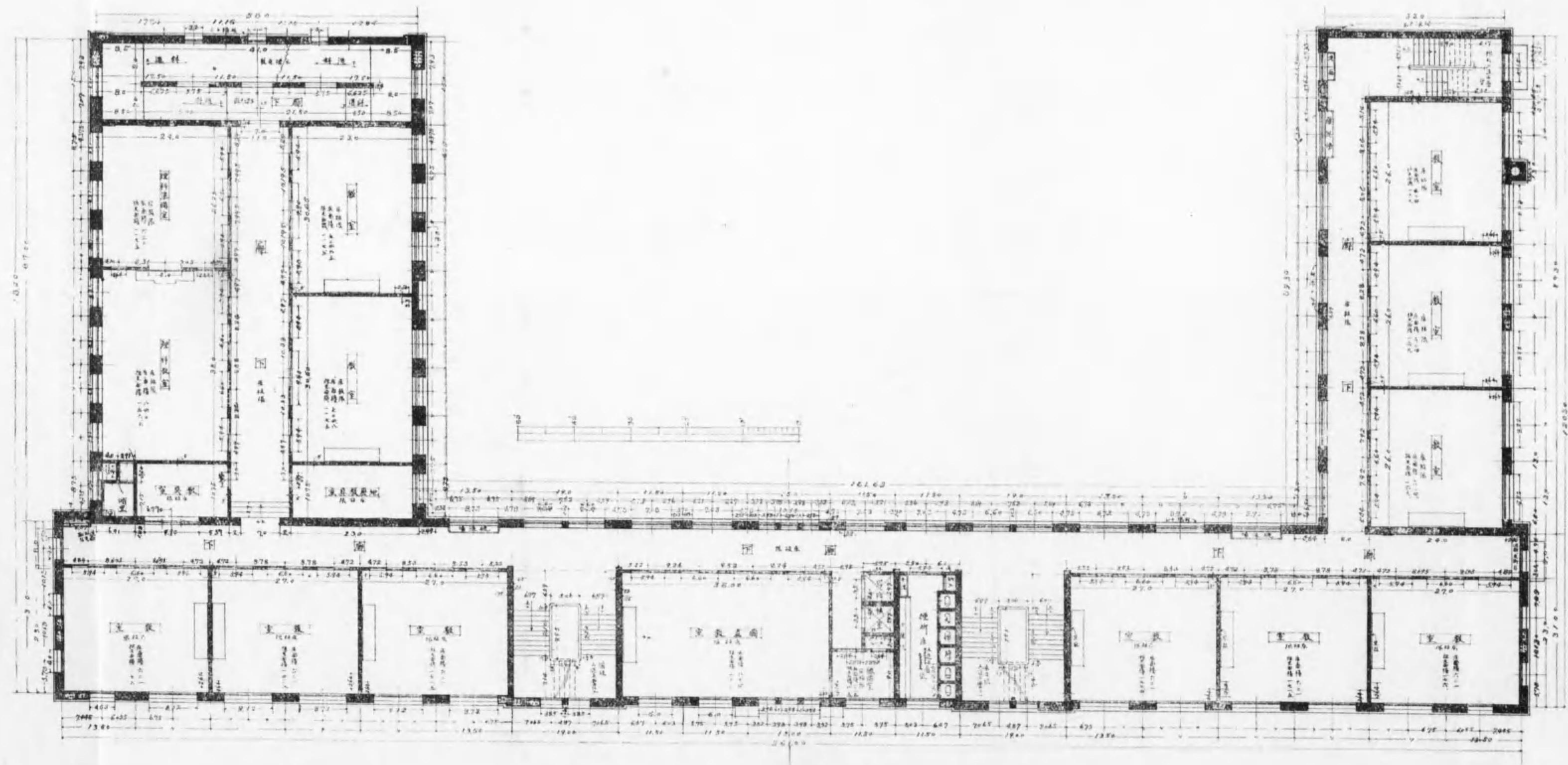
欠



圖面 17

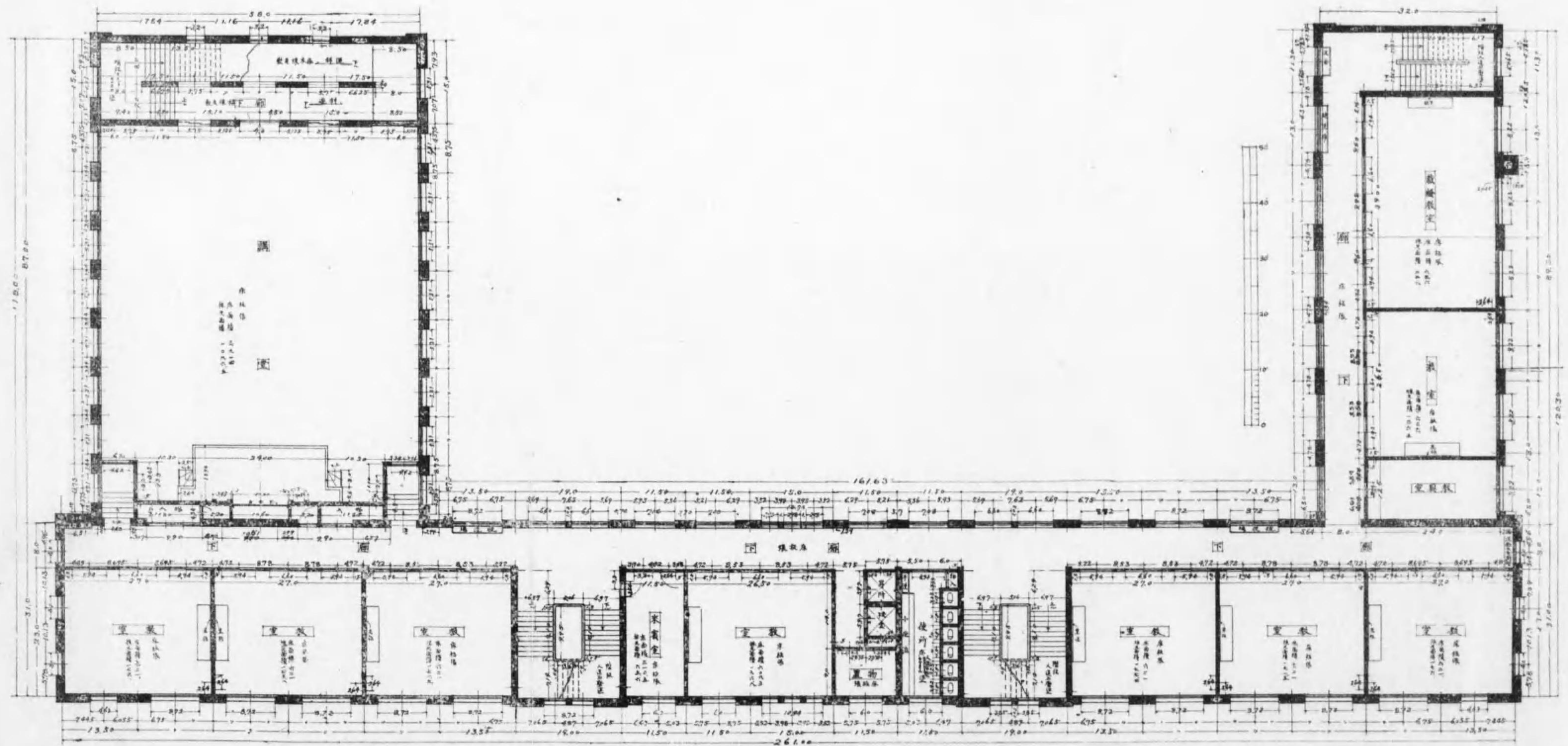
第二十一圖 大阪市立久實小學校地階平面圖及位置圖

欠



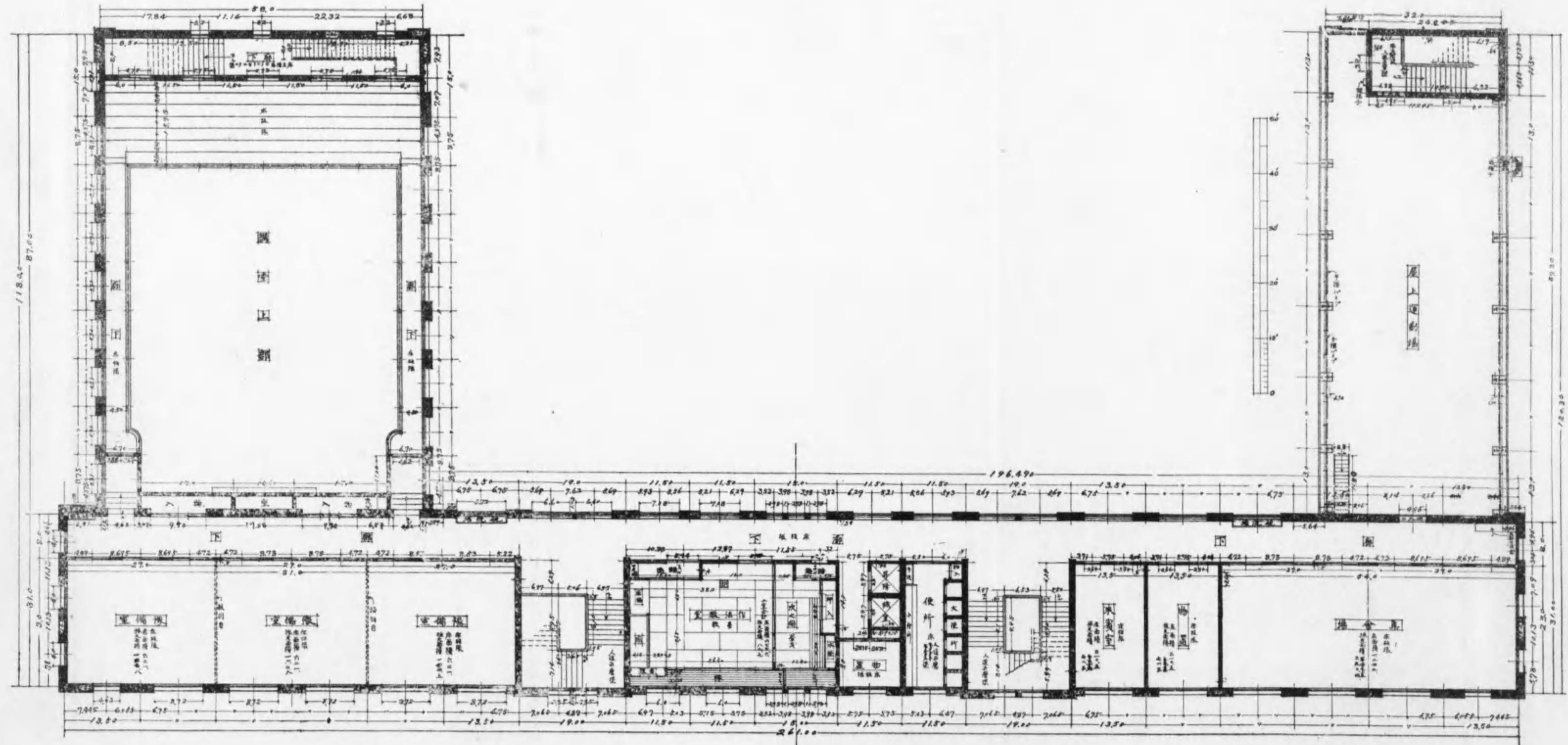
圖面 19

第二十三圖 大阪市立久寶小學校第二階平面圖



圖面 20

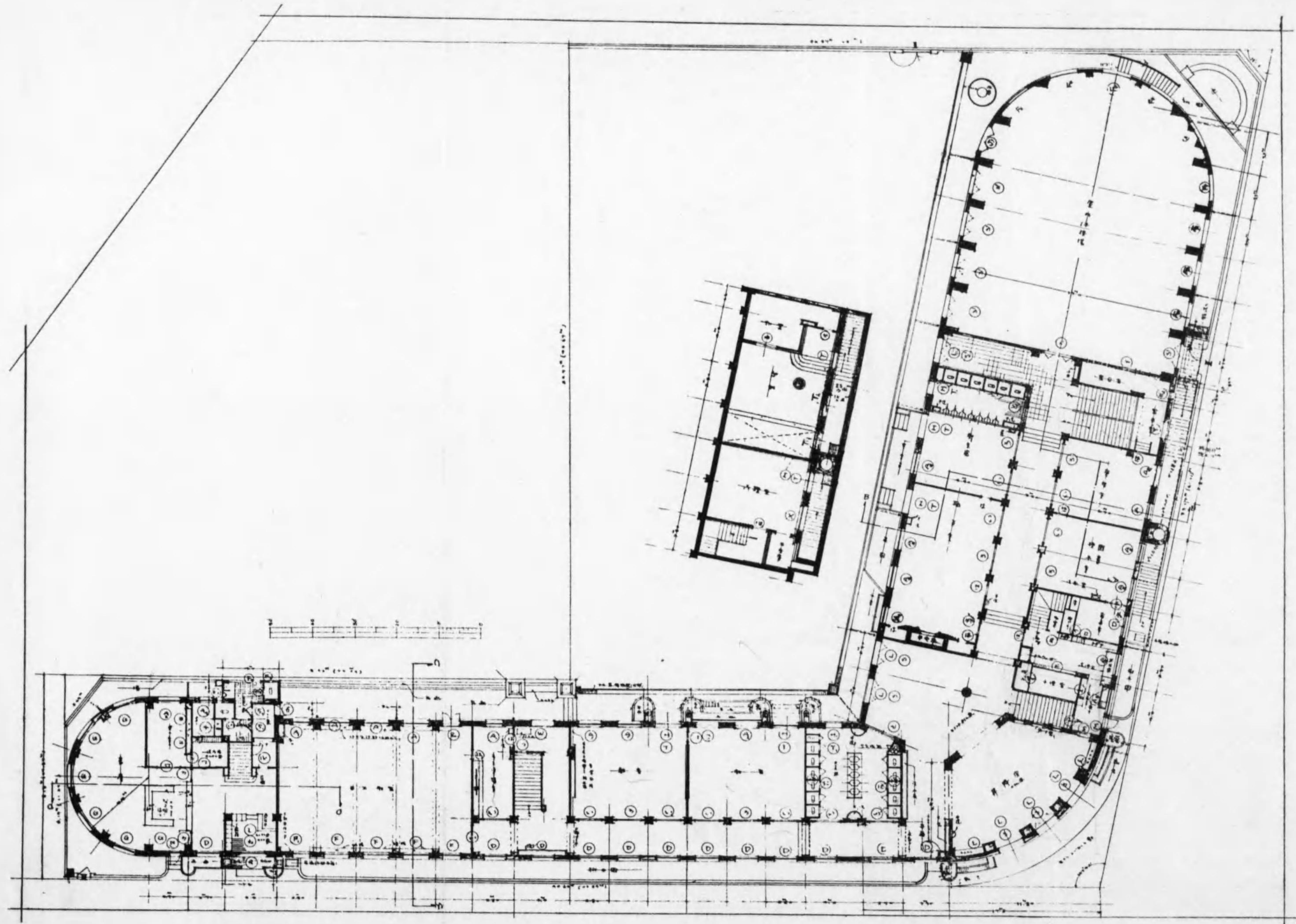
第二十四圖 大阪市立久寶小學校第三階平面圖



圖面 21

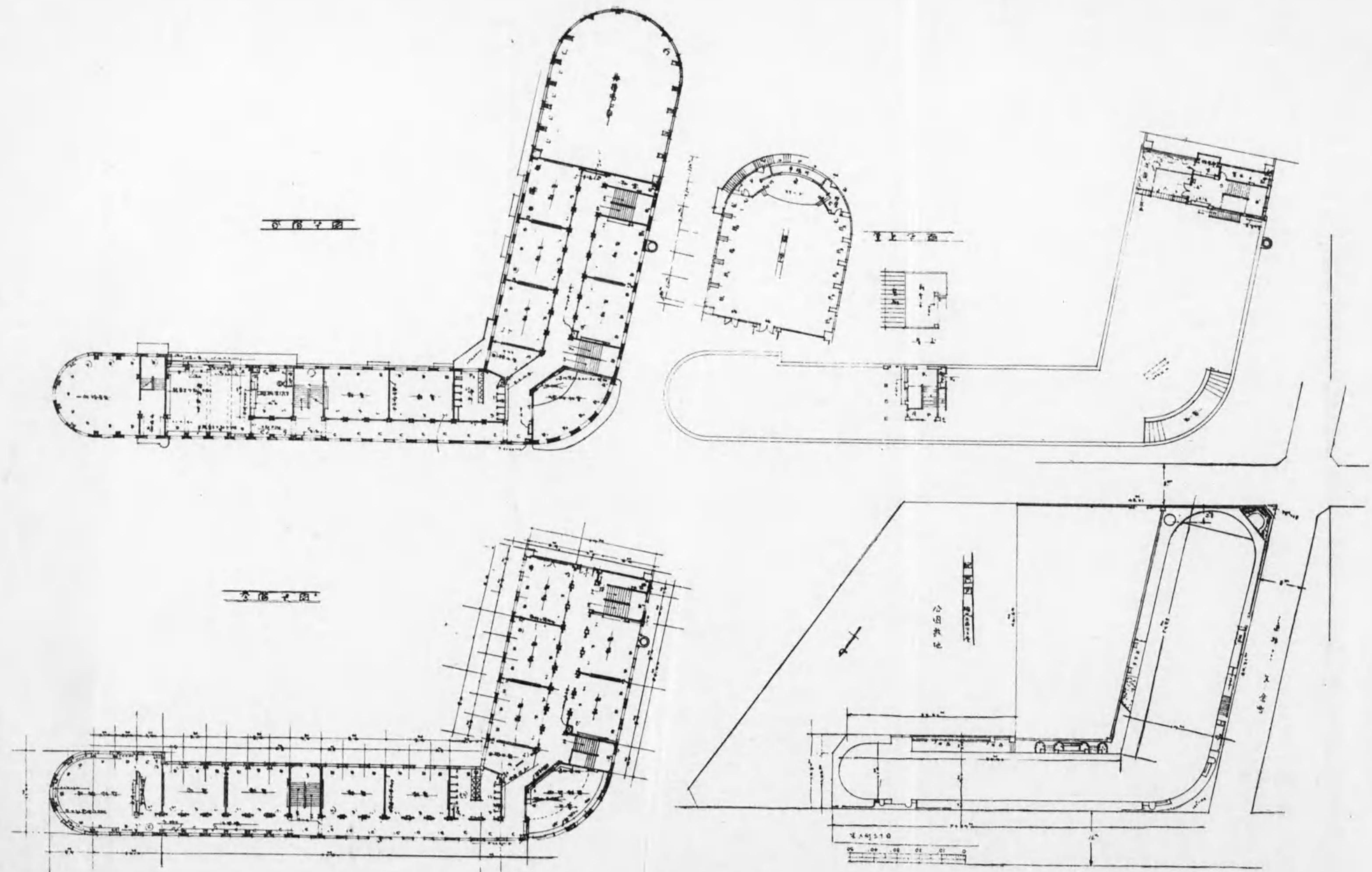
第二十五圖 大阪市立久寶小學校第四階平面圖

欠

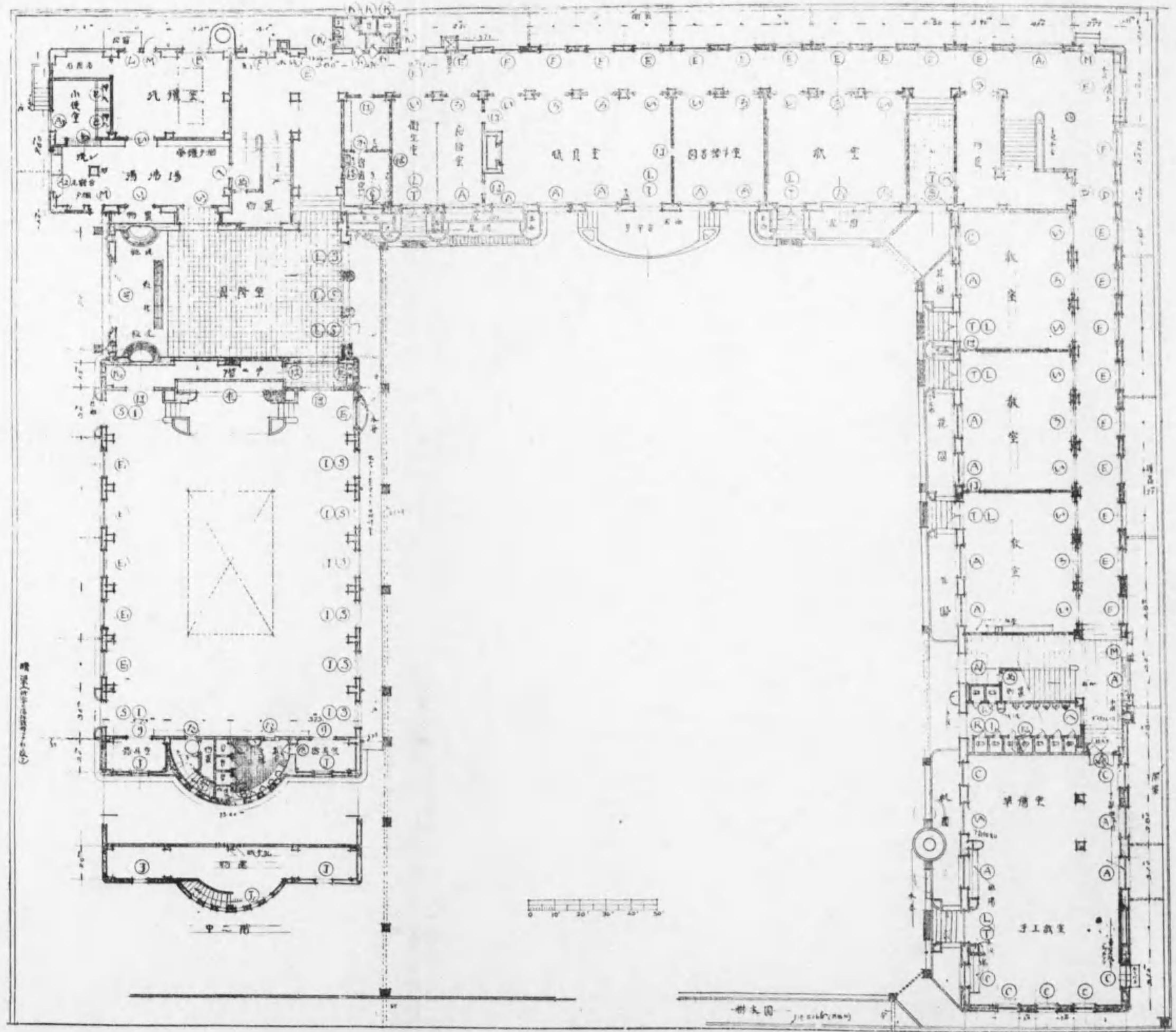


圖面 25

第二十九圖 東京市立千代田小學校第一階及地階平面圖

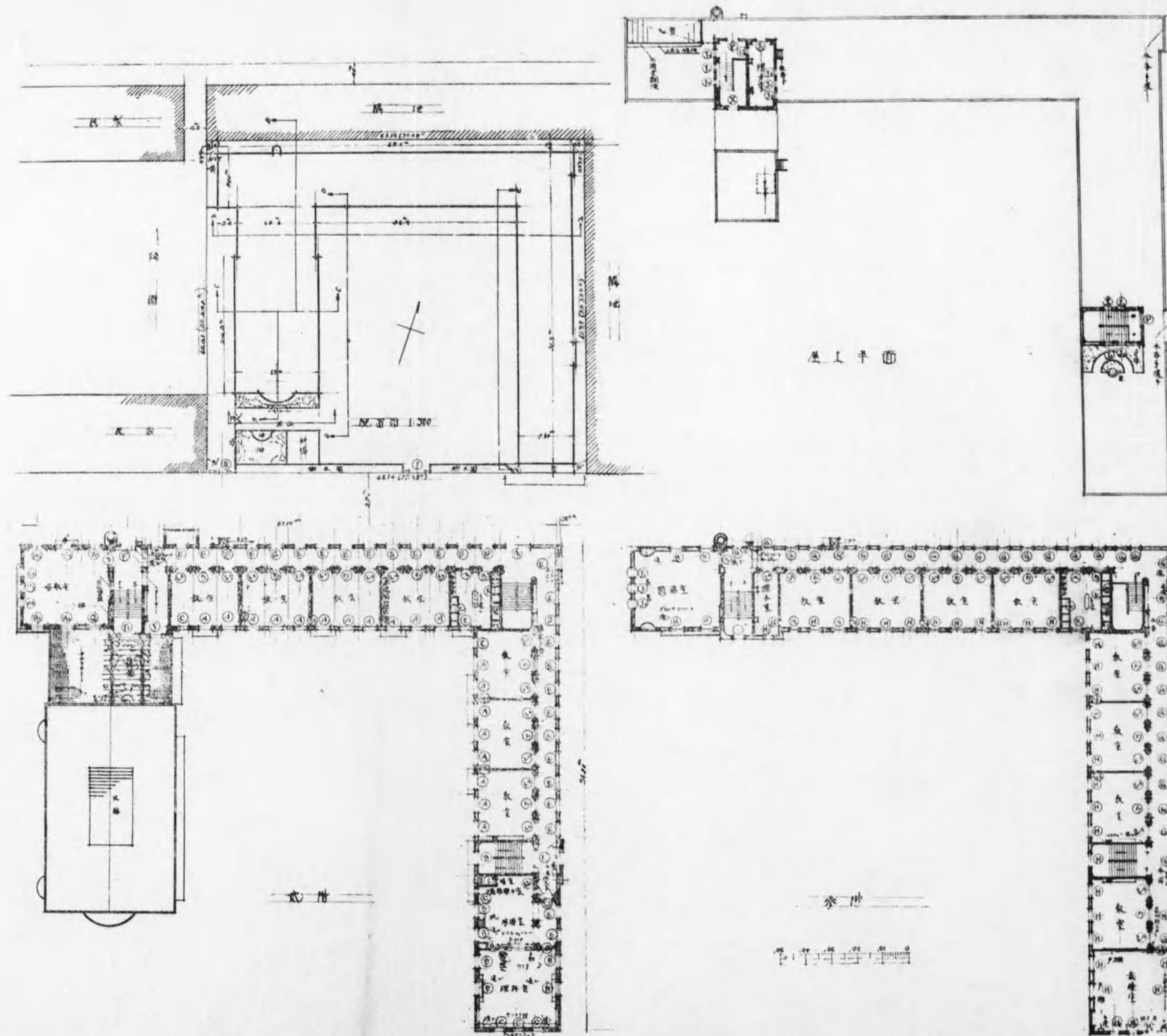


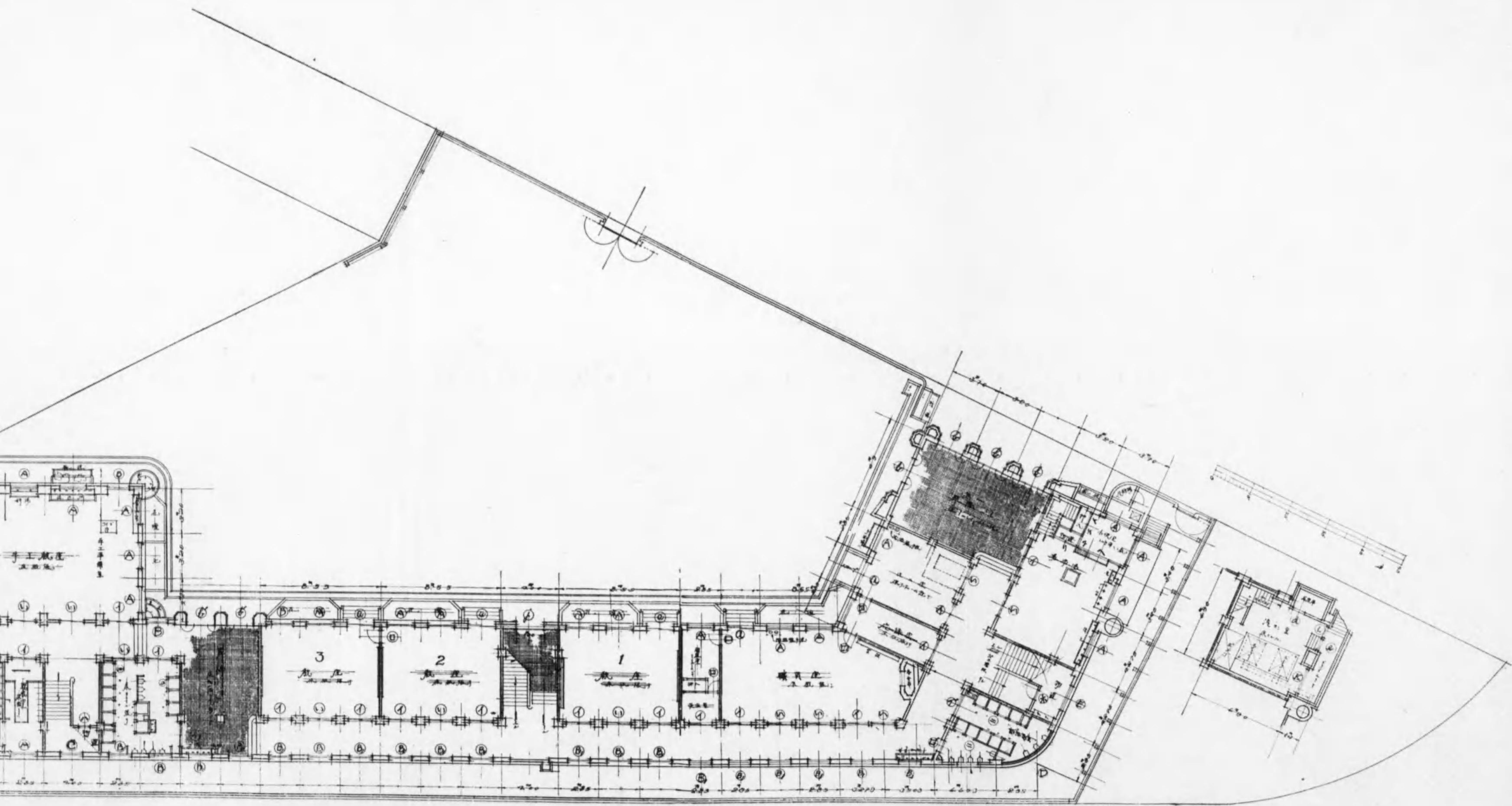
第三十圖 東京市立千代田小學校第二階·第三階·屋上及配置圖



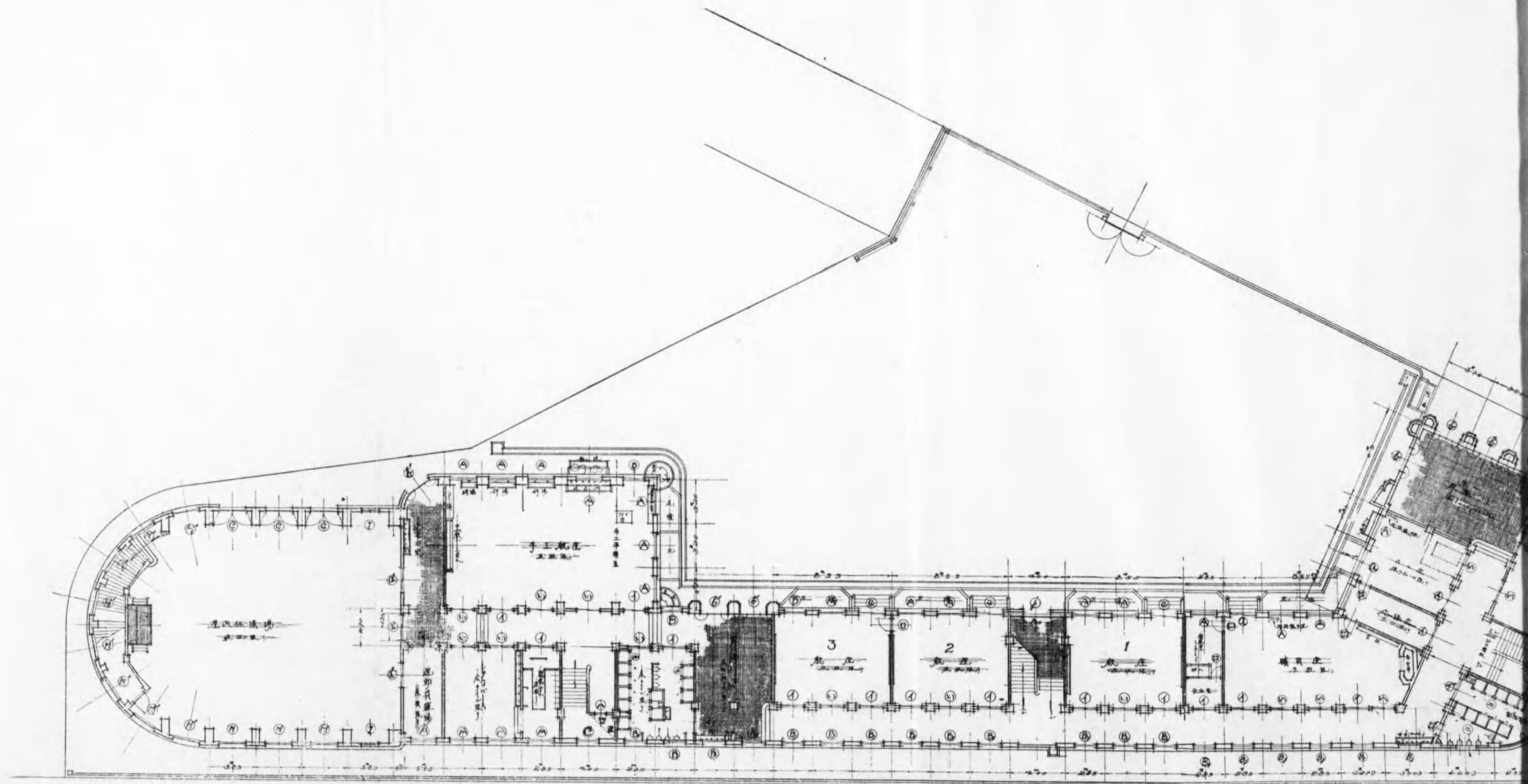
圖面 27

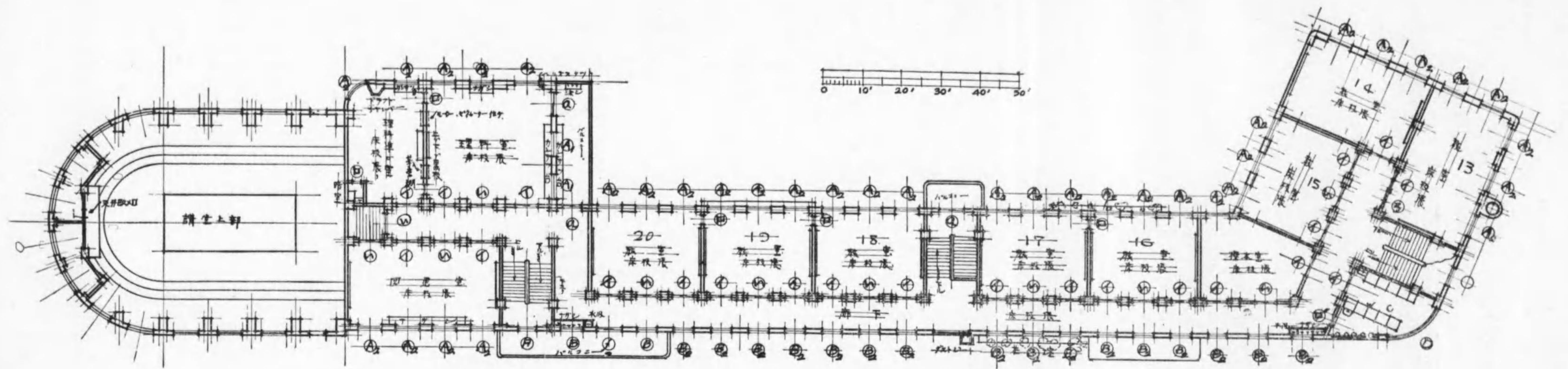
第三十一圖 東京市立常盤小學校第一階平面圖



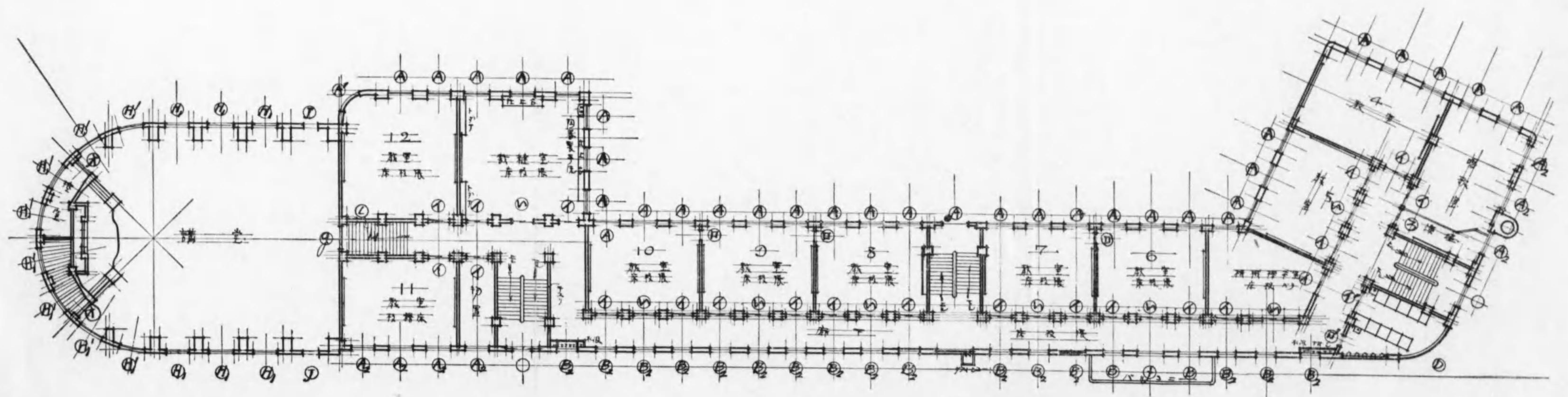


第三十三圖 東京市立泰明小學校第一階平面圖

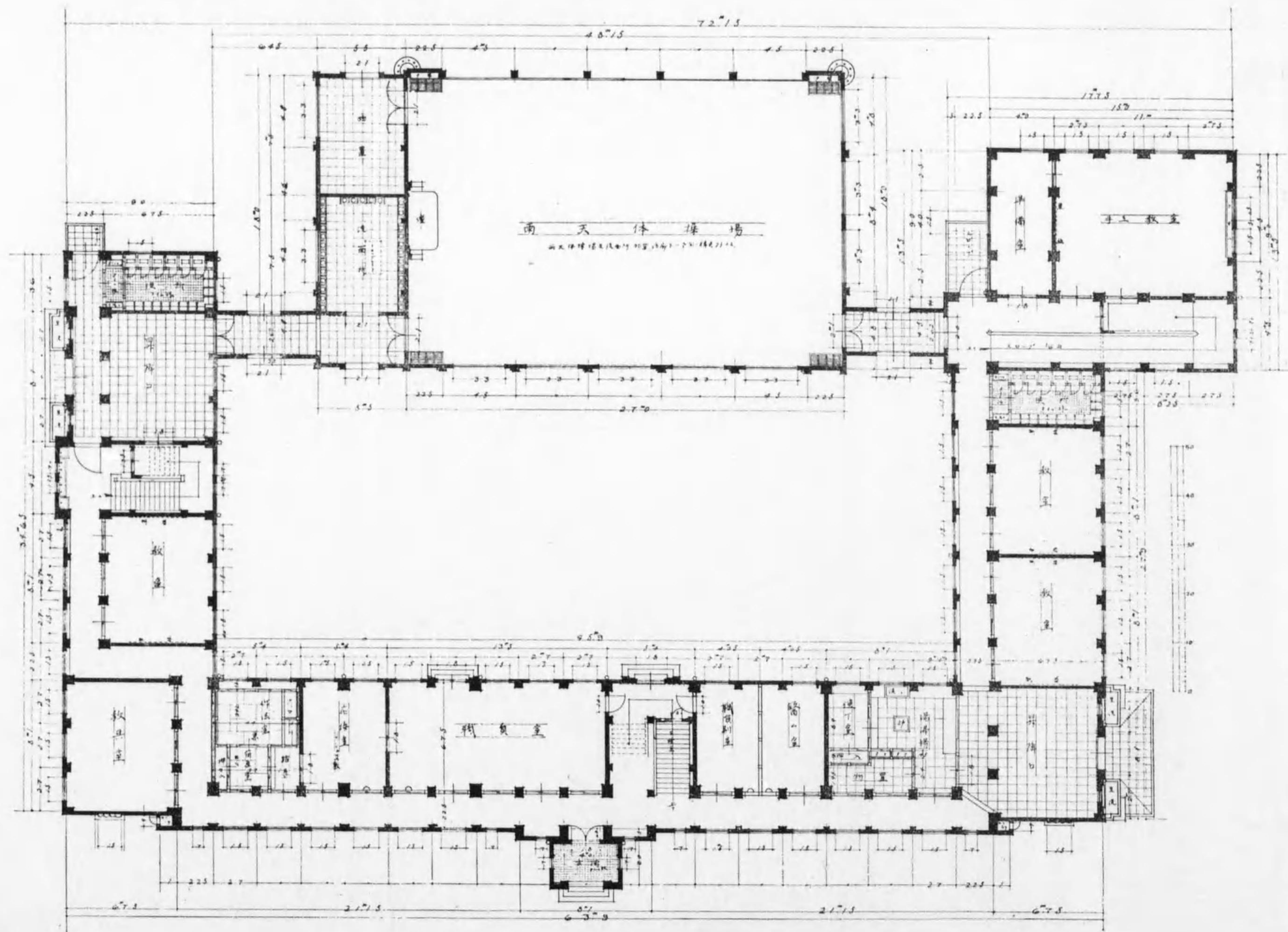




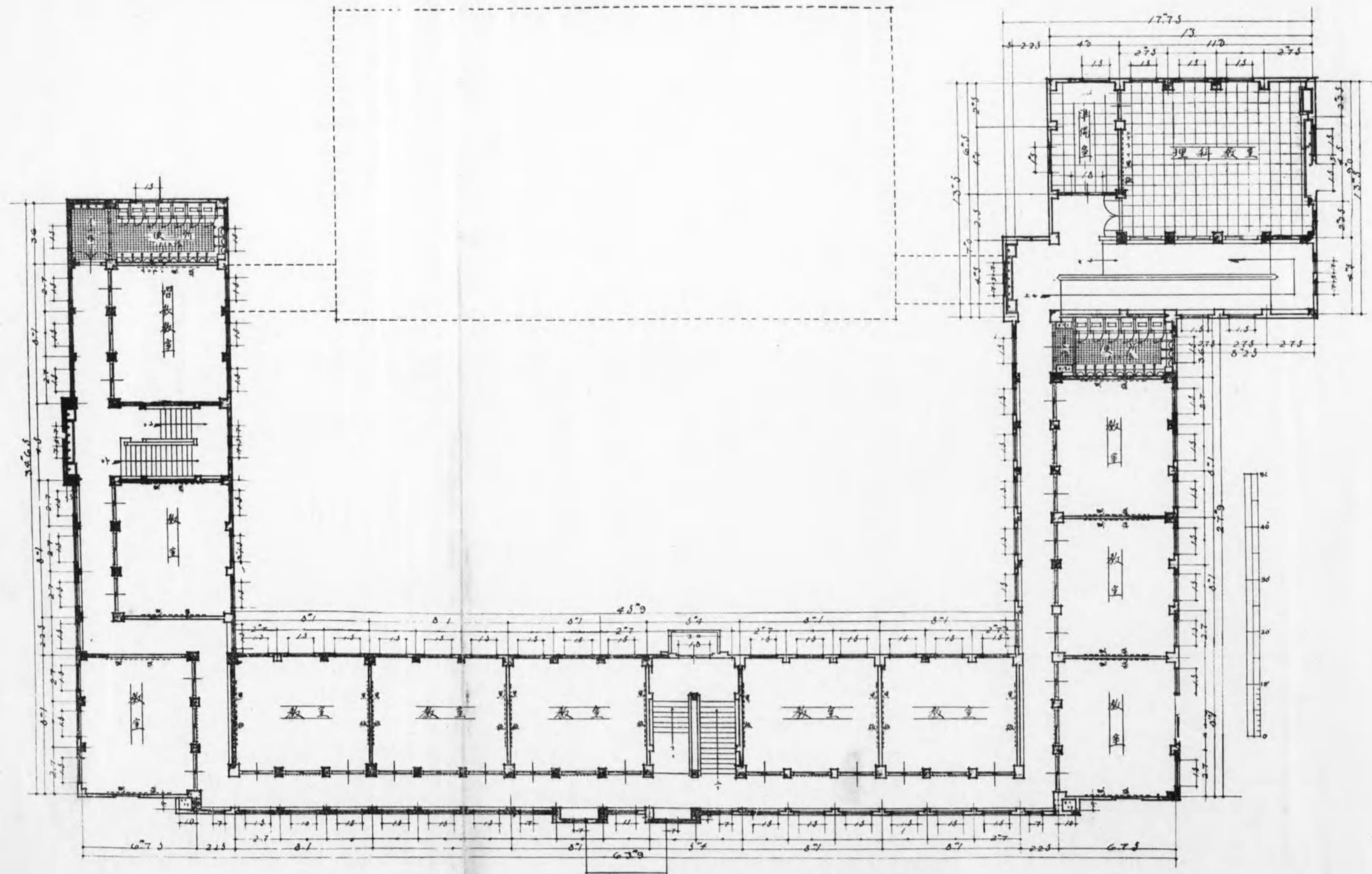
二階平面圖



三階平面圖

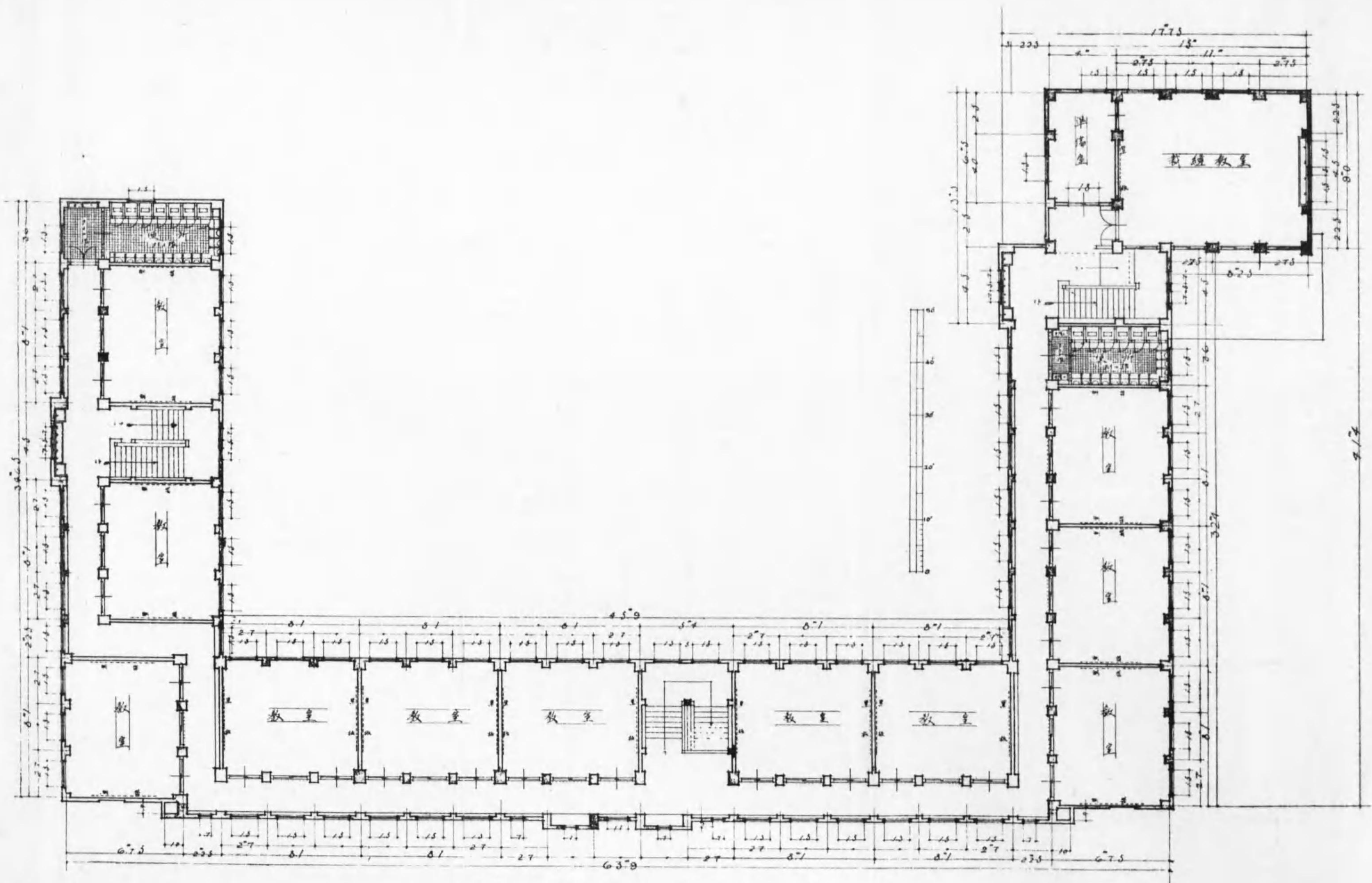


第三十五圖 横濱市立平樂小學校第一階平面圖



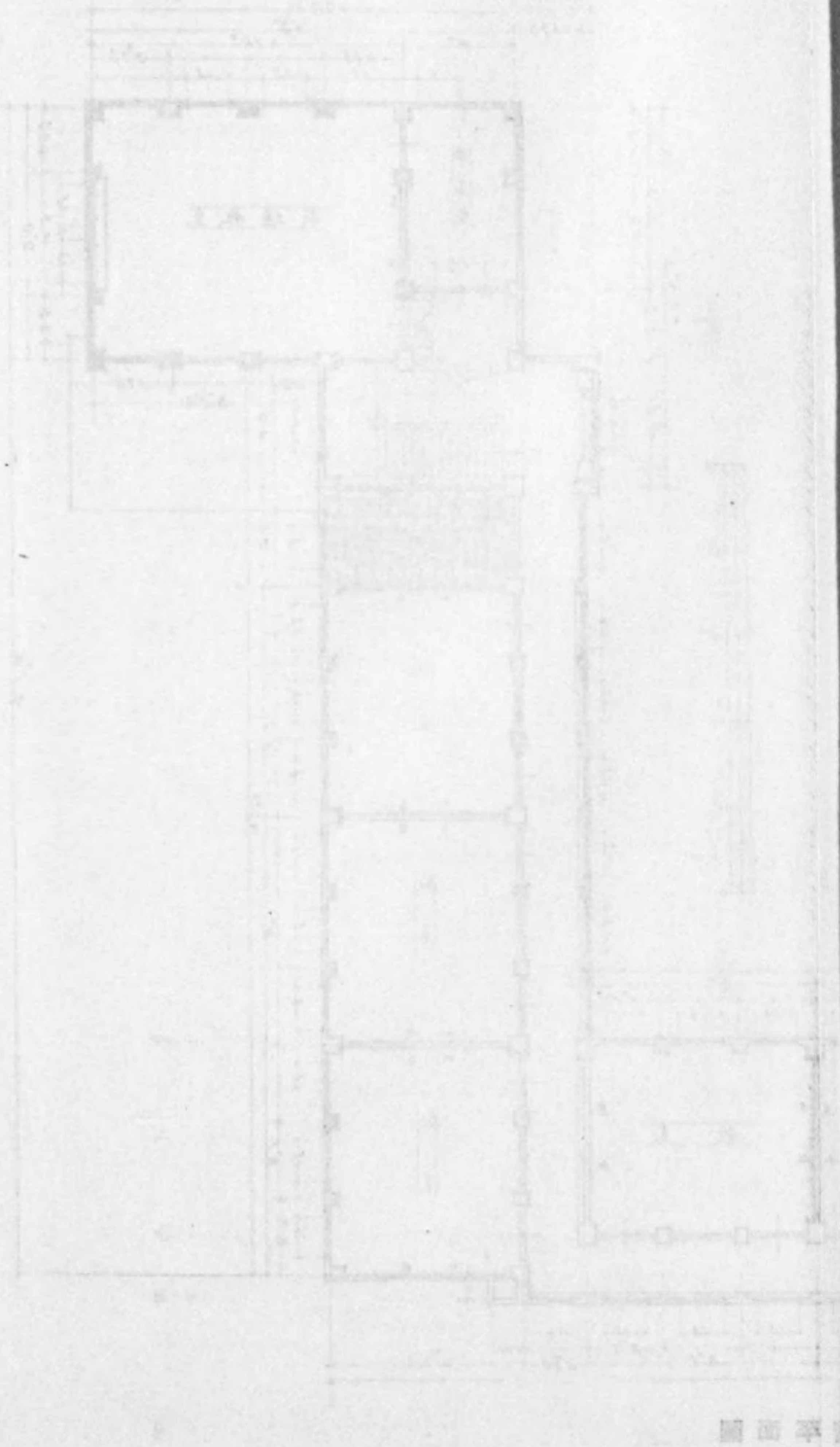
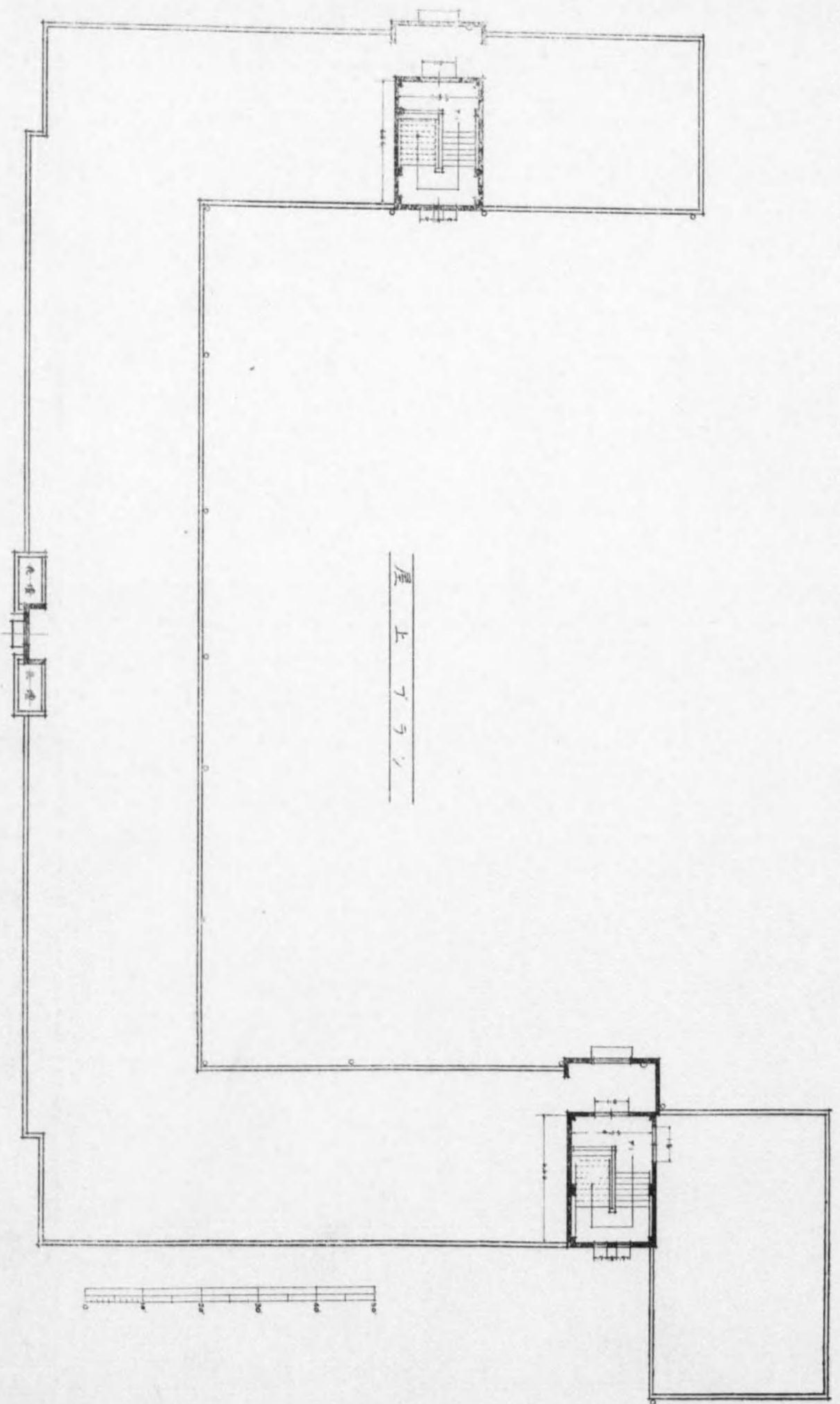
圖面 32

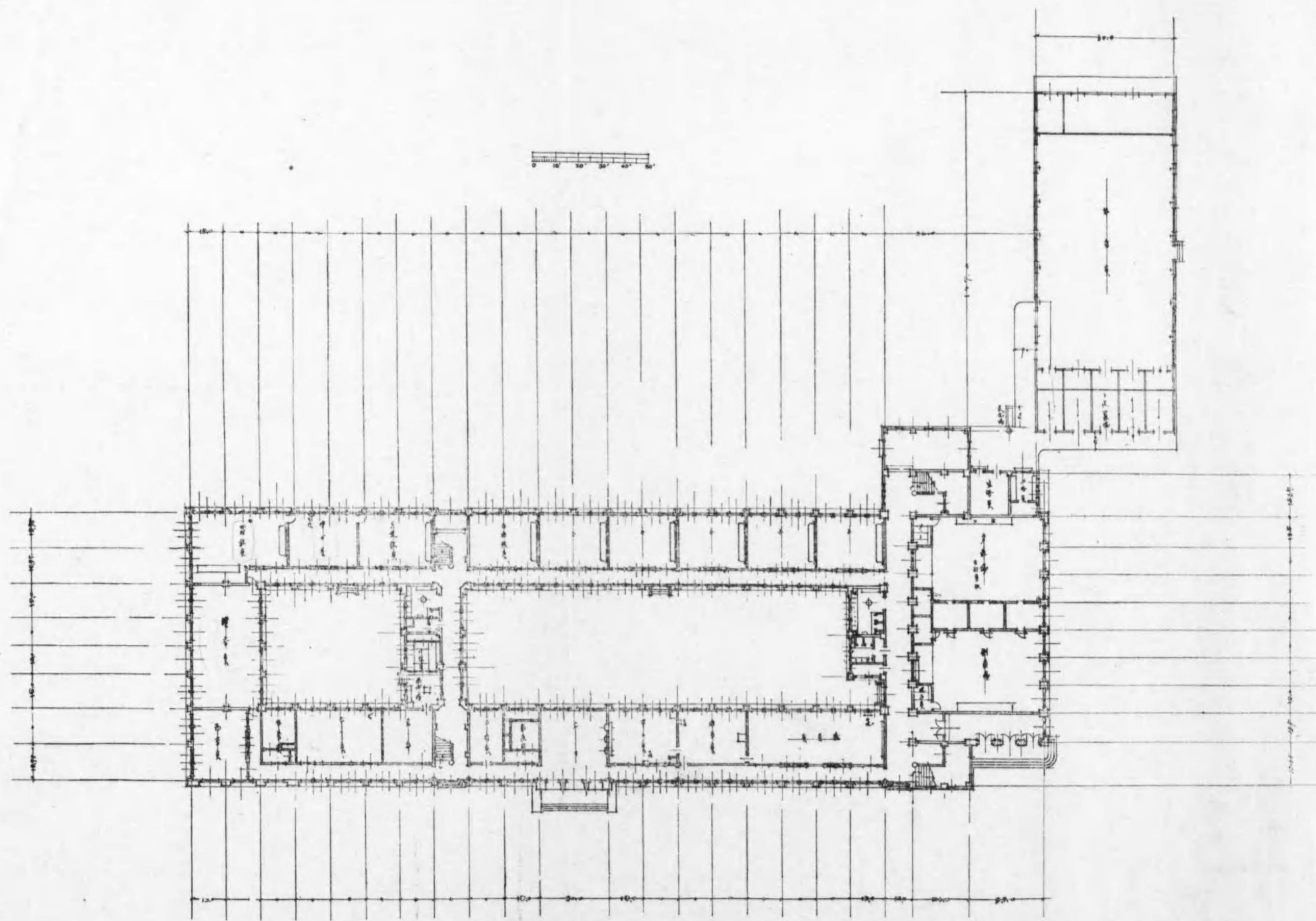
第三十六圖 橫濱市立平樂小學校第二階平面圖

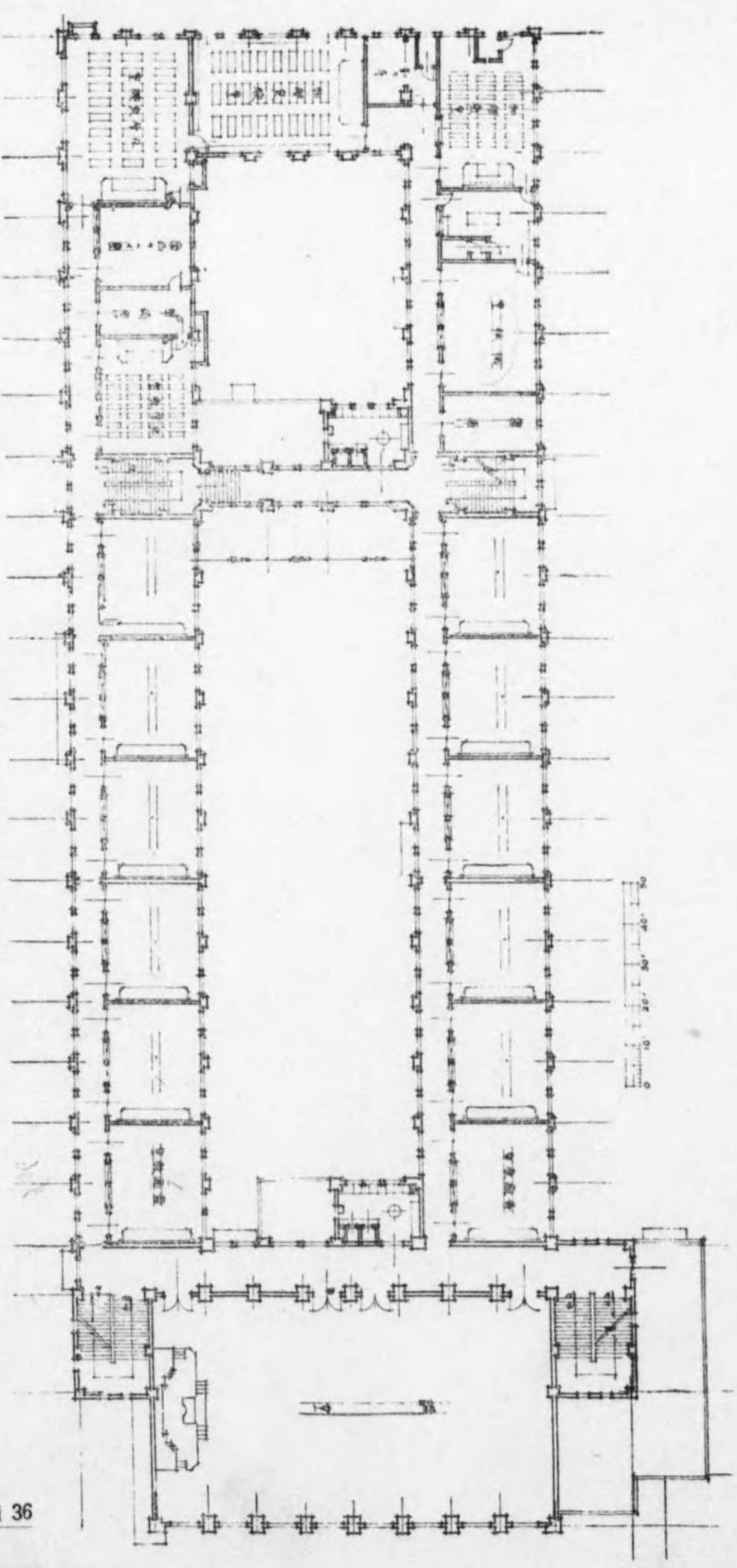


第三十七圖 橫濱市立平樂小學校第三階平面圖

第三十八圖 檜瀨市立平樂小學校屋上平面圖







第四十圖 大阪府立天王寺中學校第二階平面圖

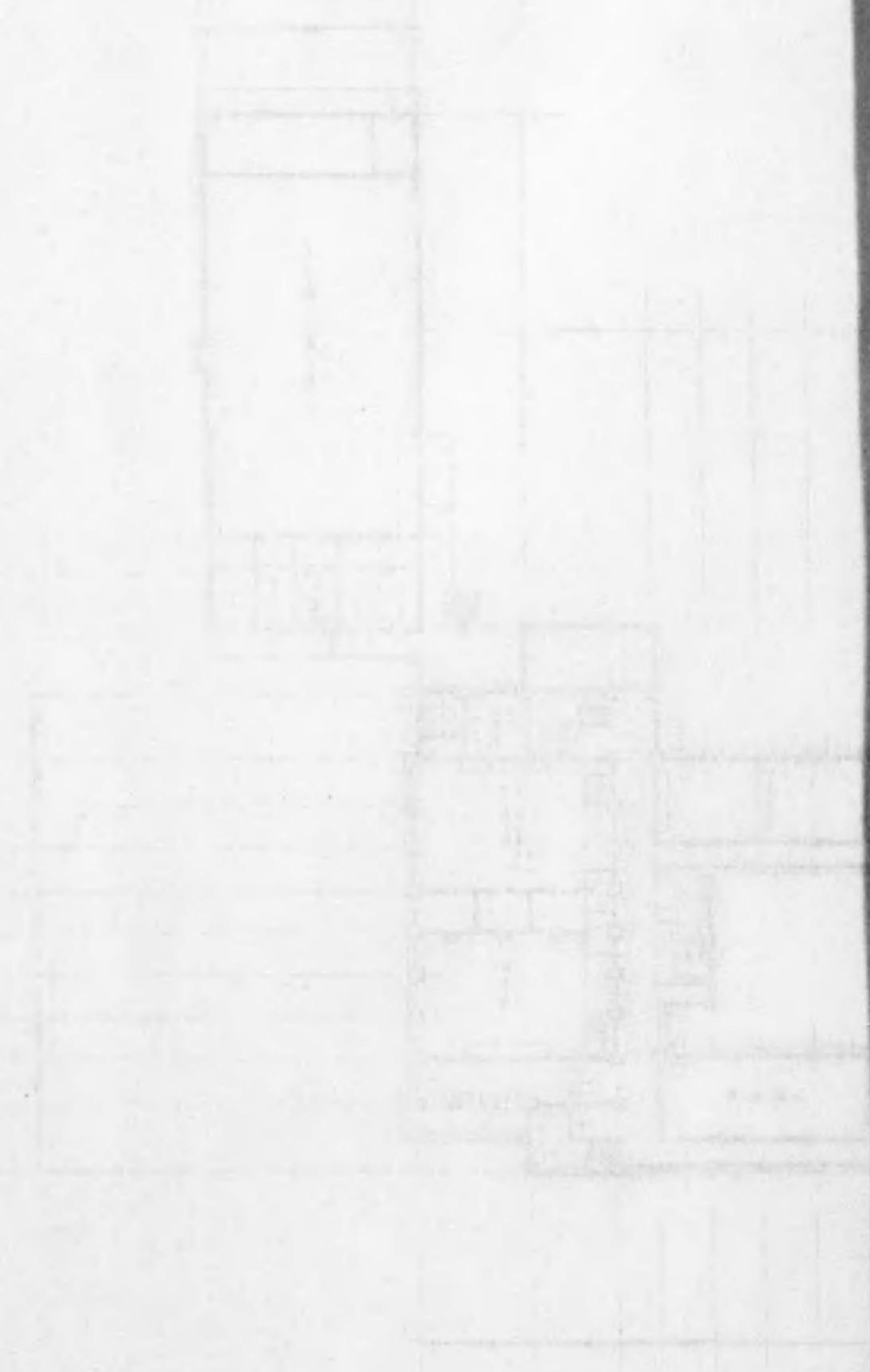
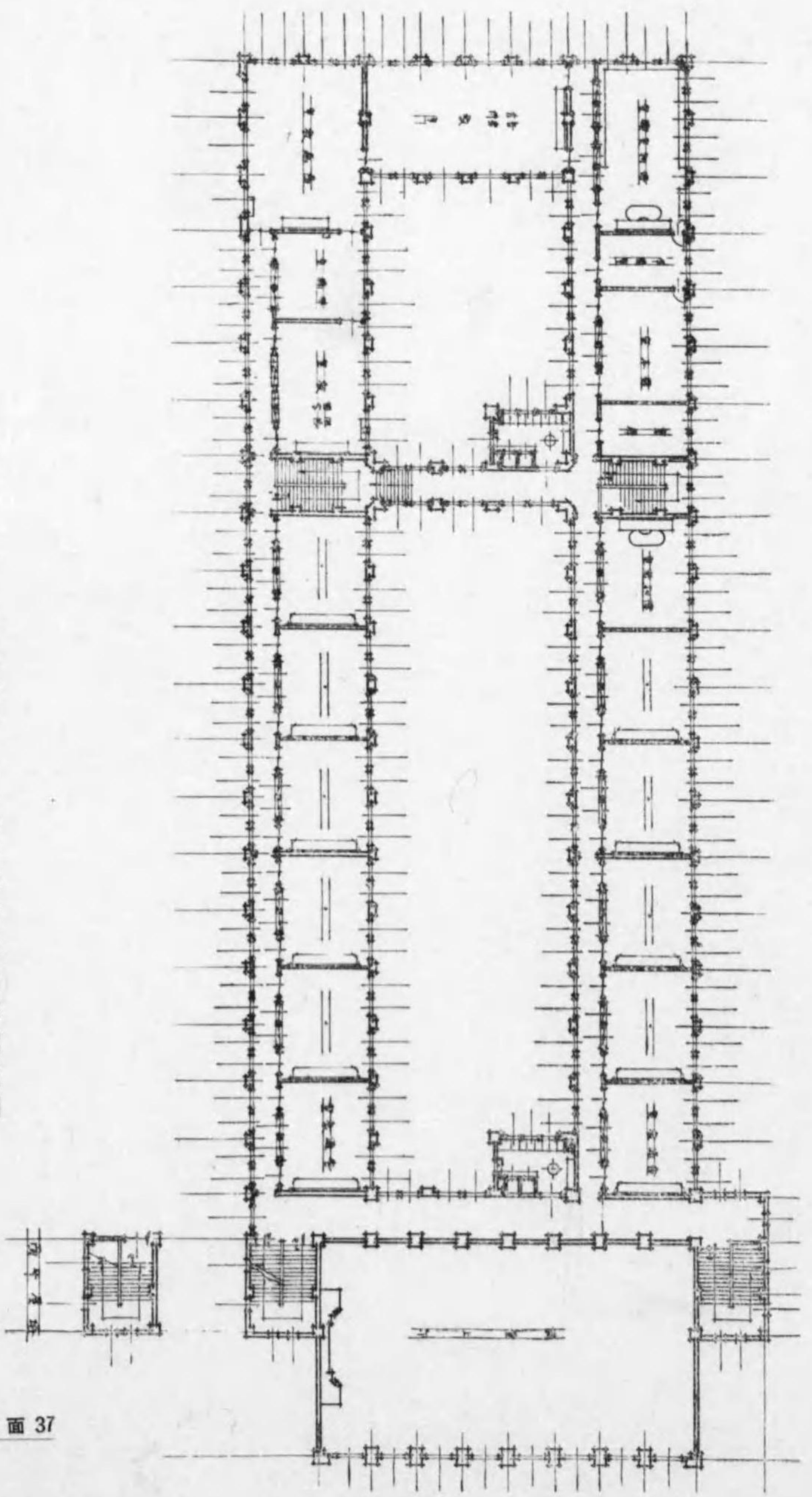
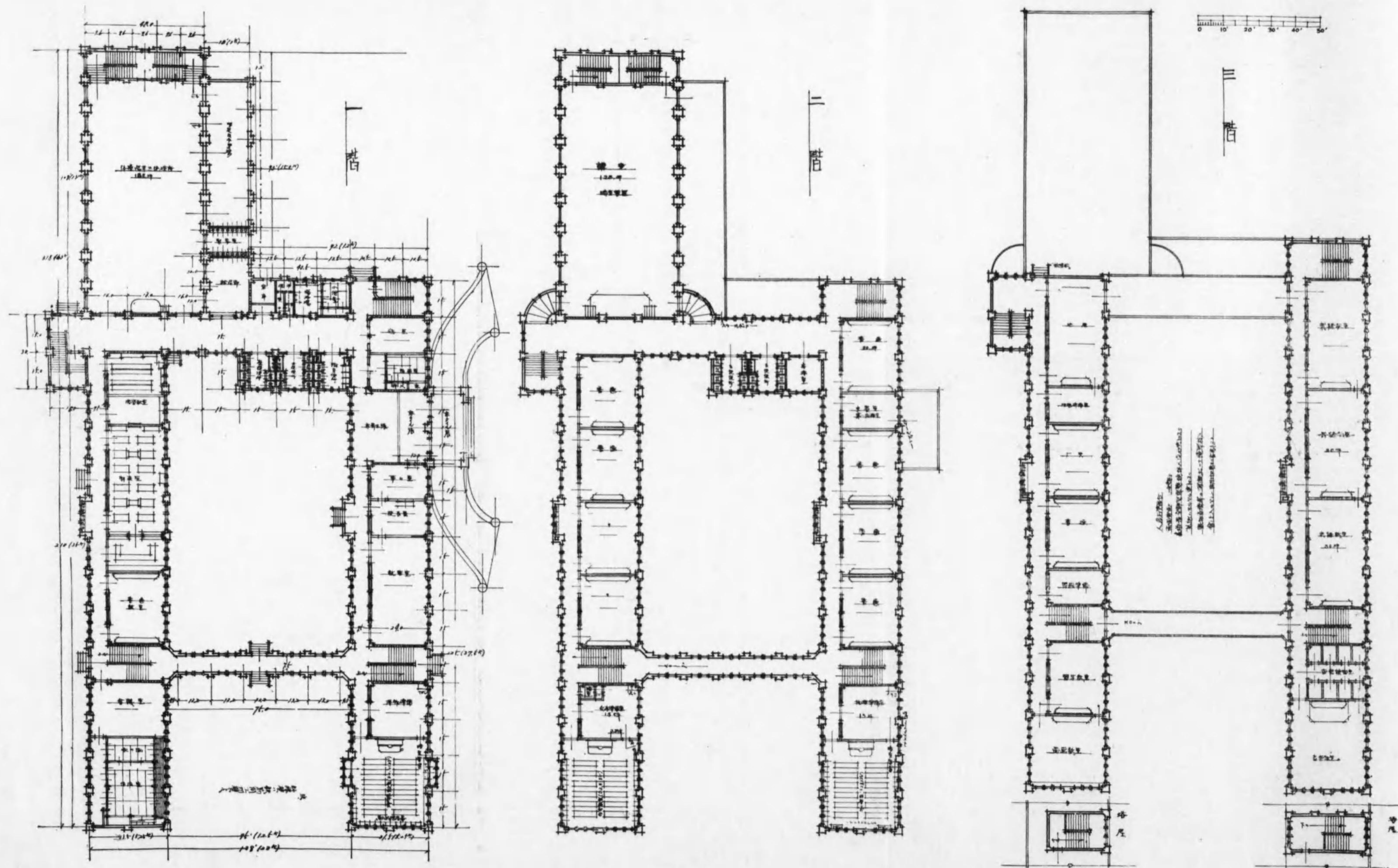


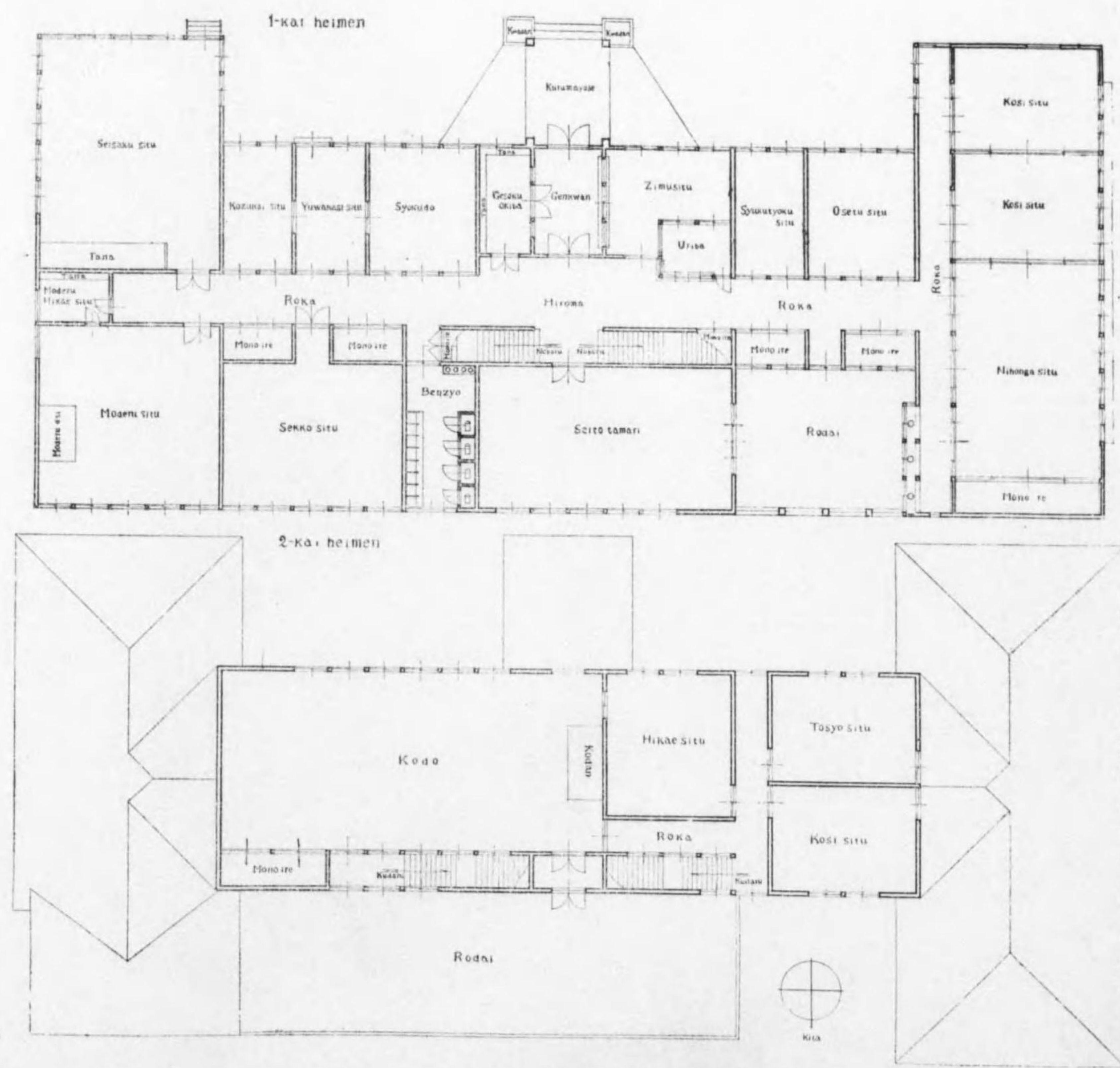
圖 35 大阪府立天王寺中學校第一階平面圖



第四十一圖 大阪府立天王寺中學校第三階平面圖

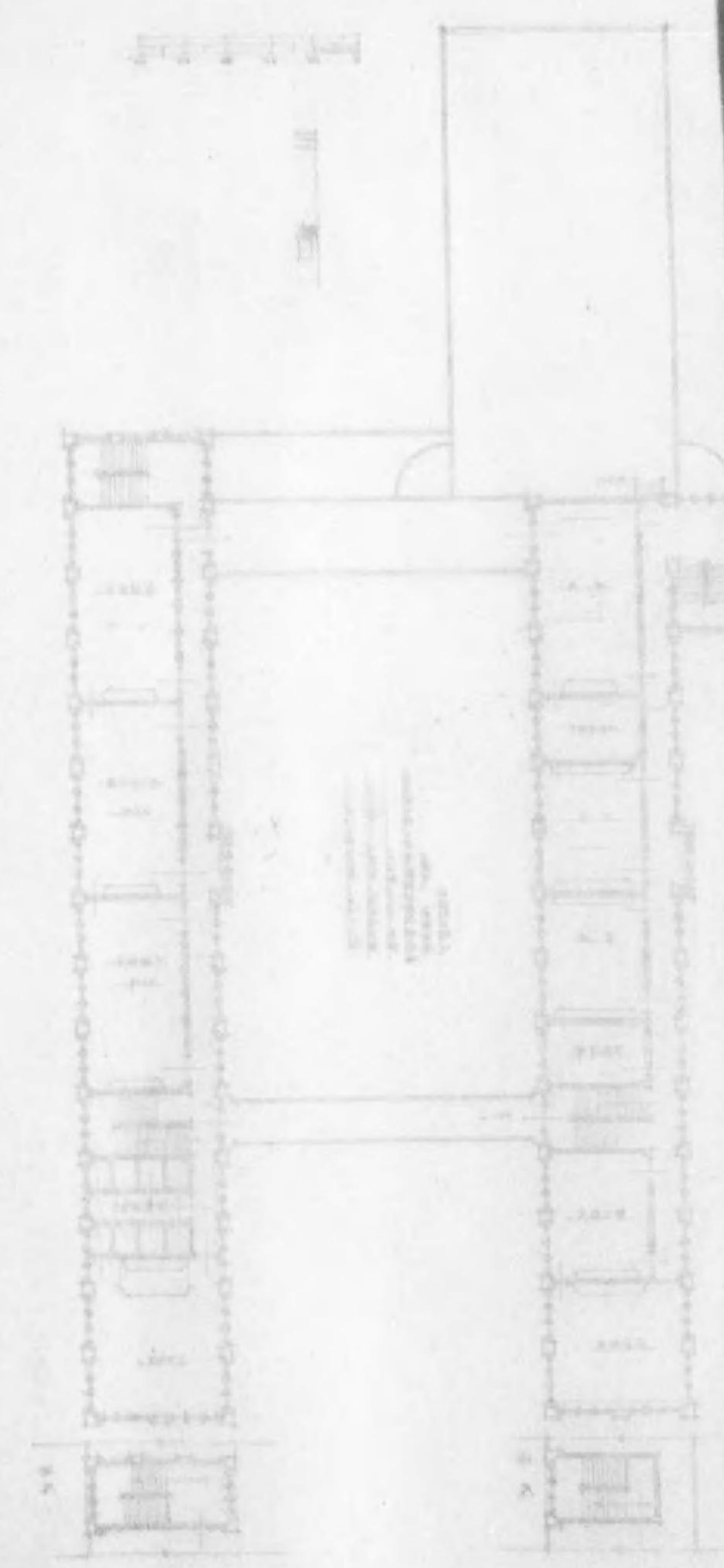


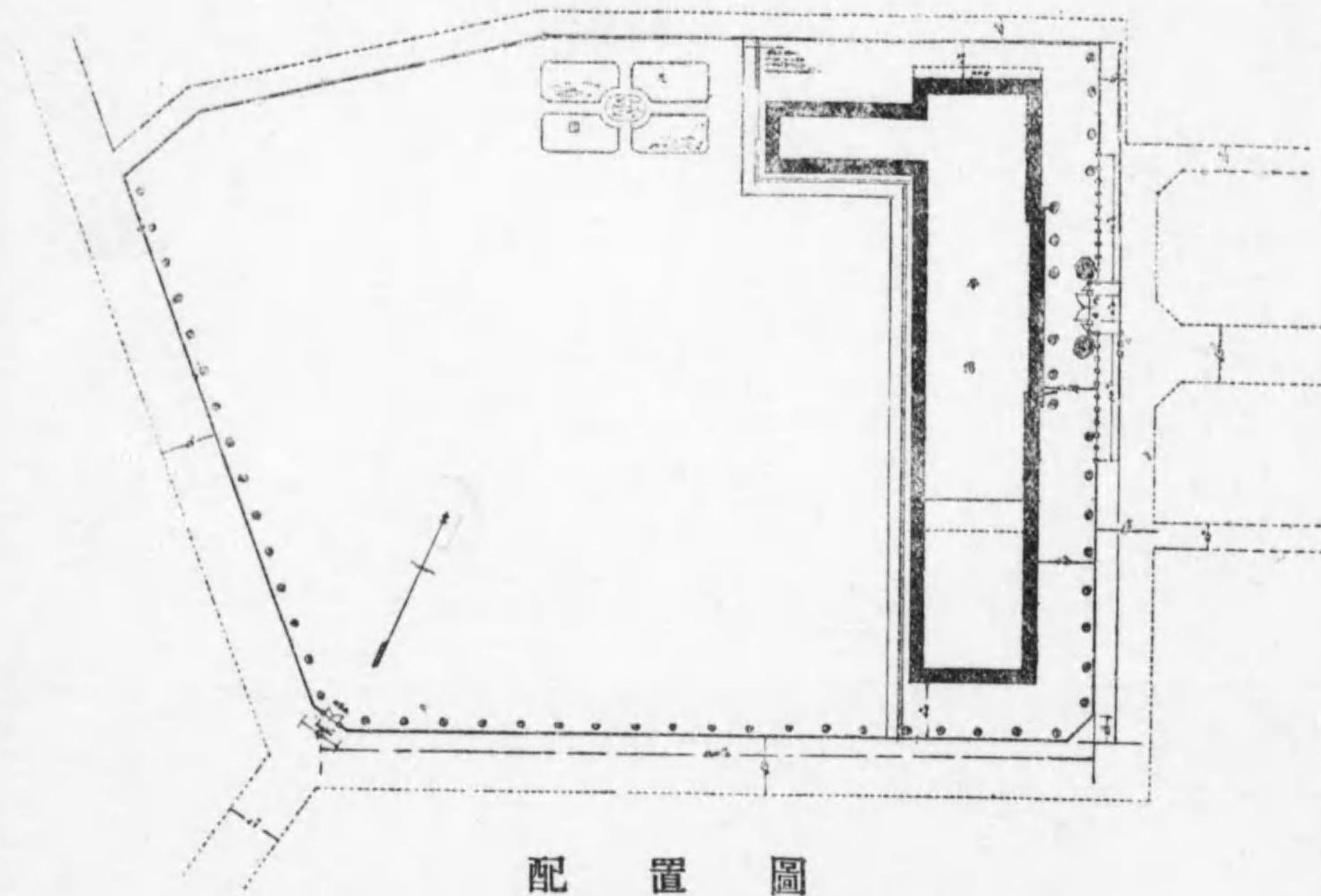
第四十二圖 大阪府立十三高等女學校第一階·第二階及第三階平面圖



圖面

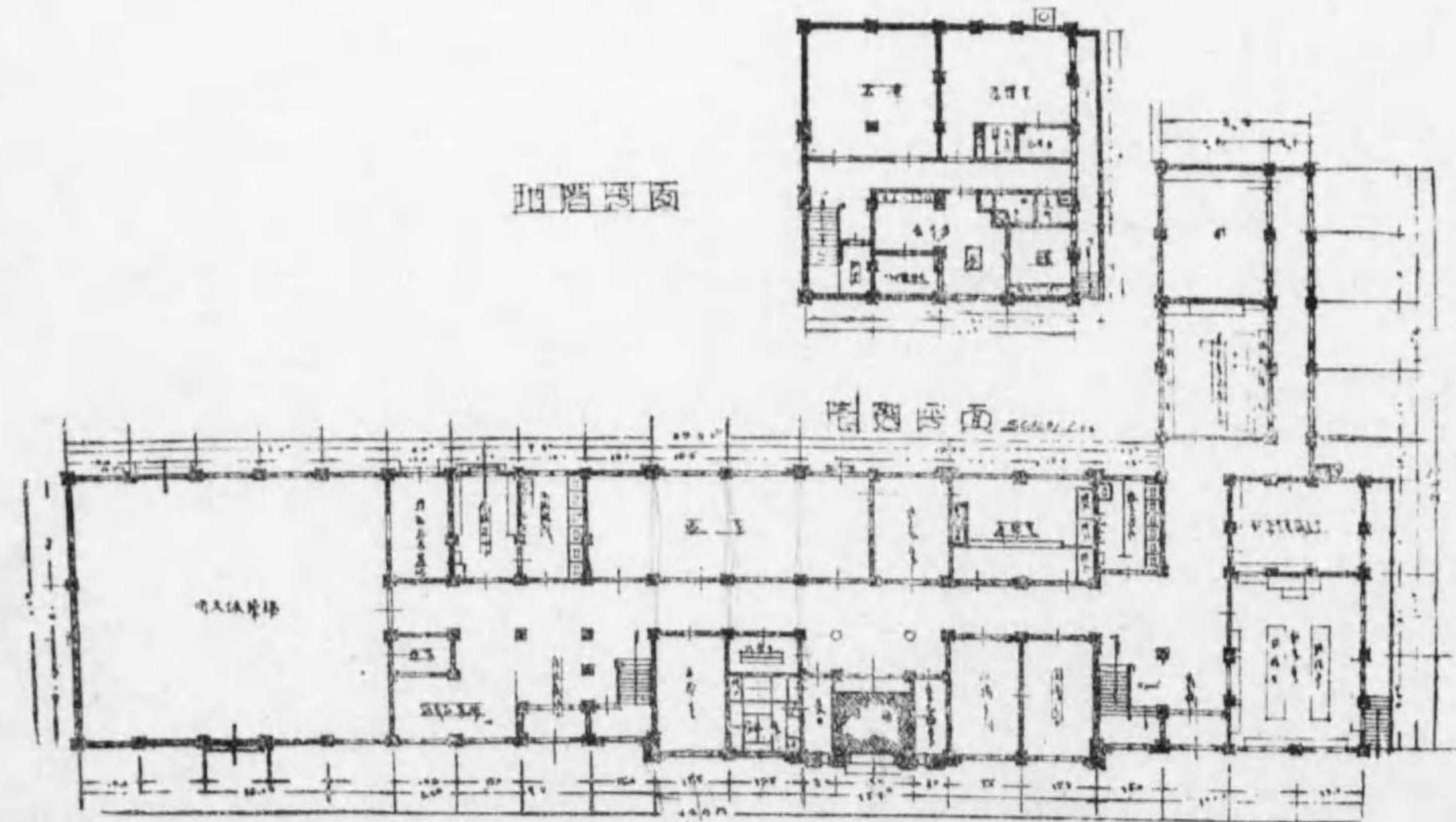
第四十三圖 大阪美術學校平面圖





配置圖

第四十四圖 兵庫縣立第二神戸高等女學校配置圖

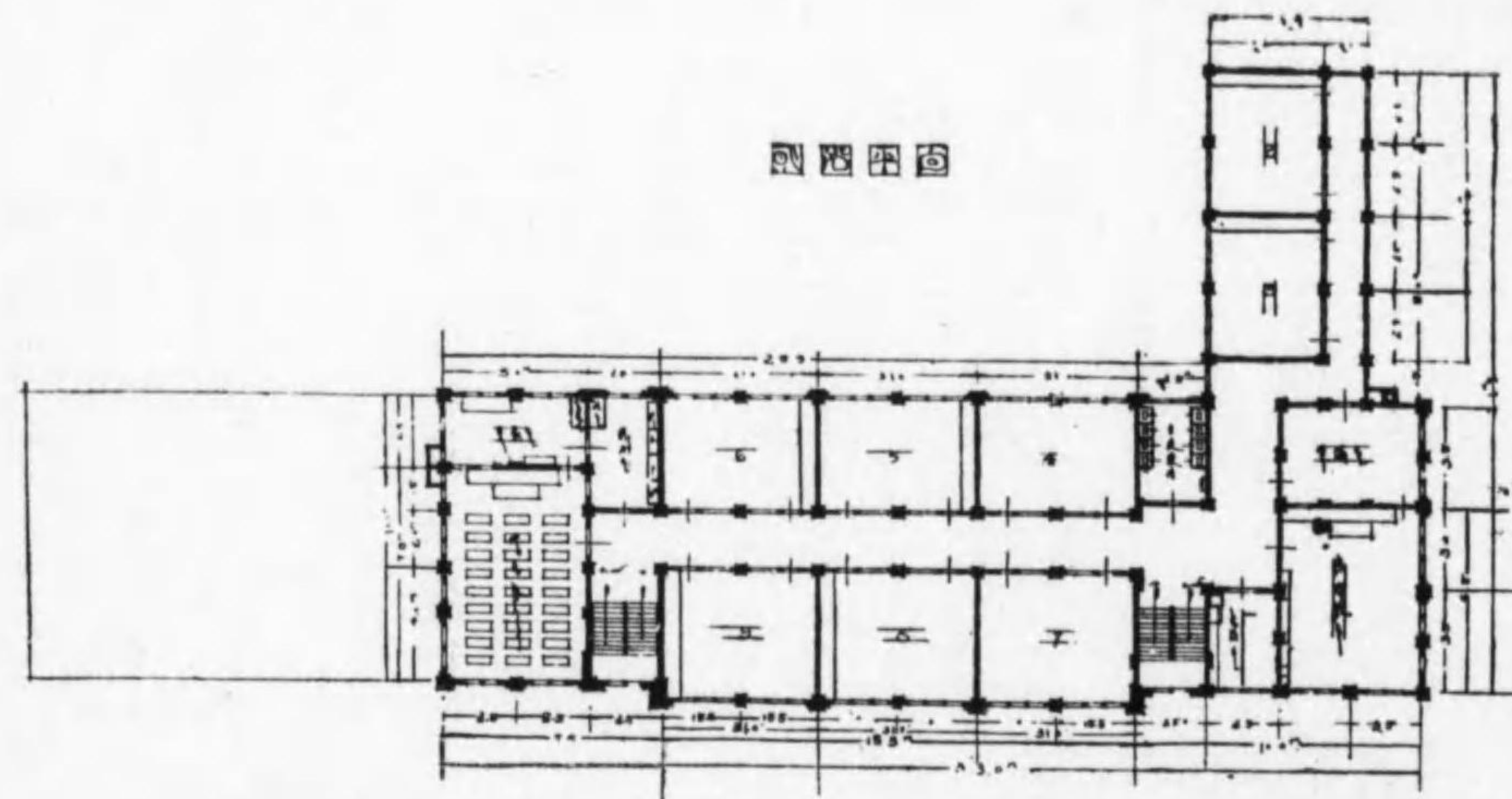


第四十五圖 同上地階平面圖

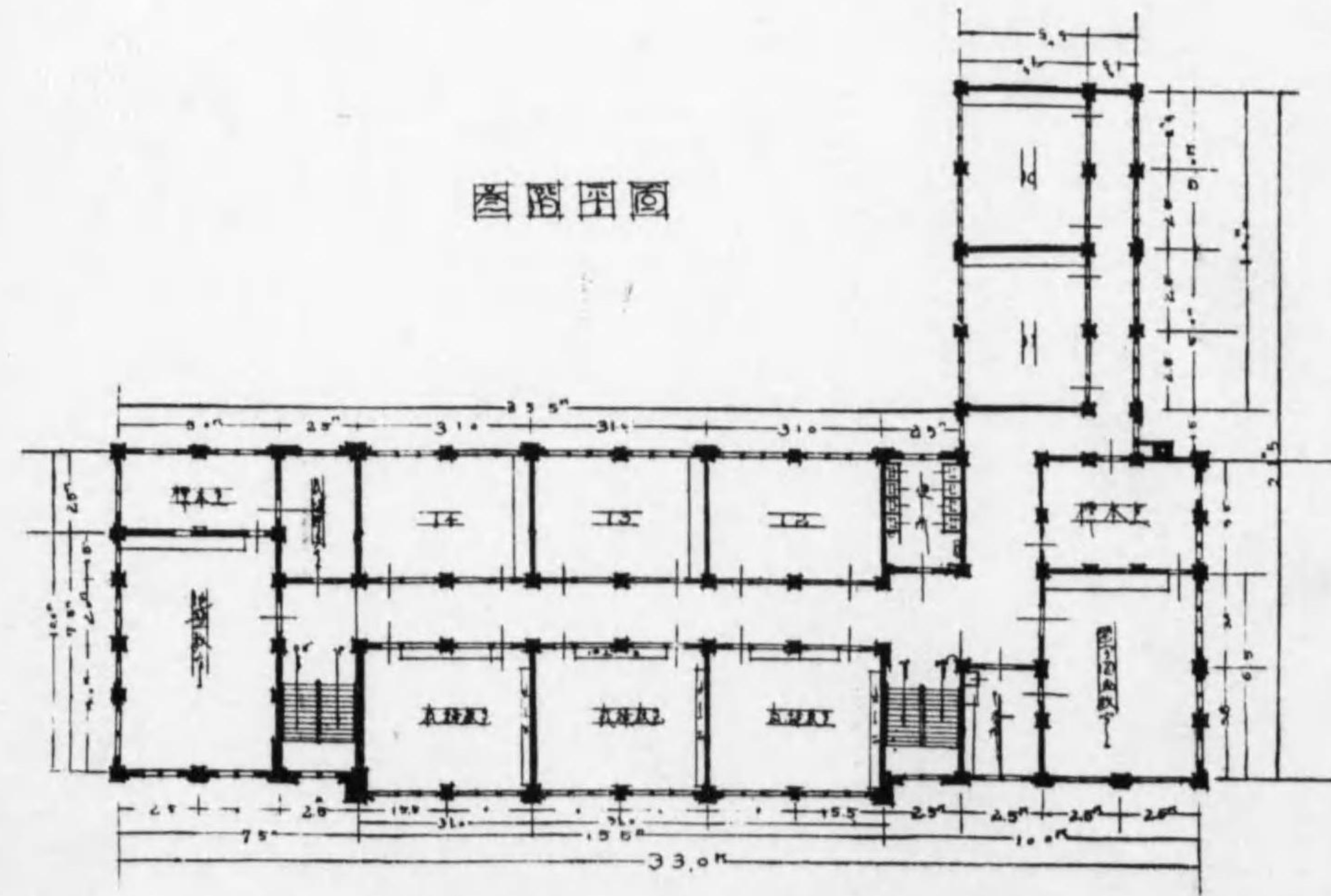
圖面 40



圖面 41

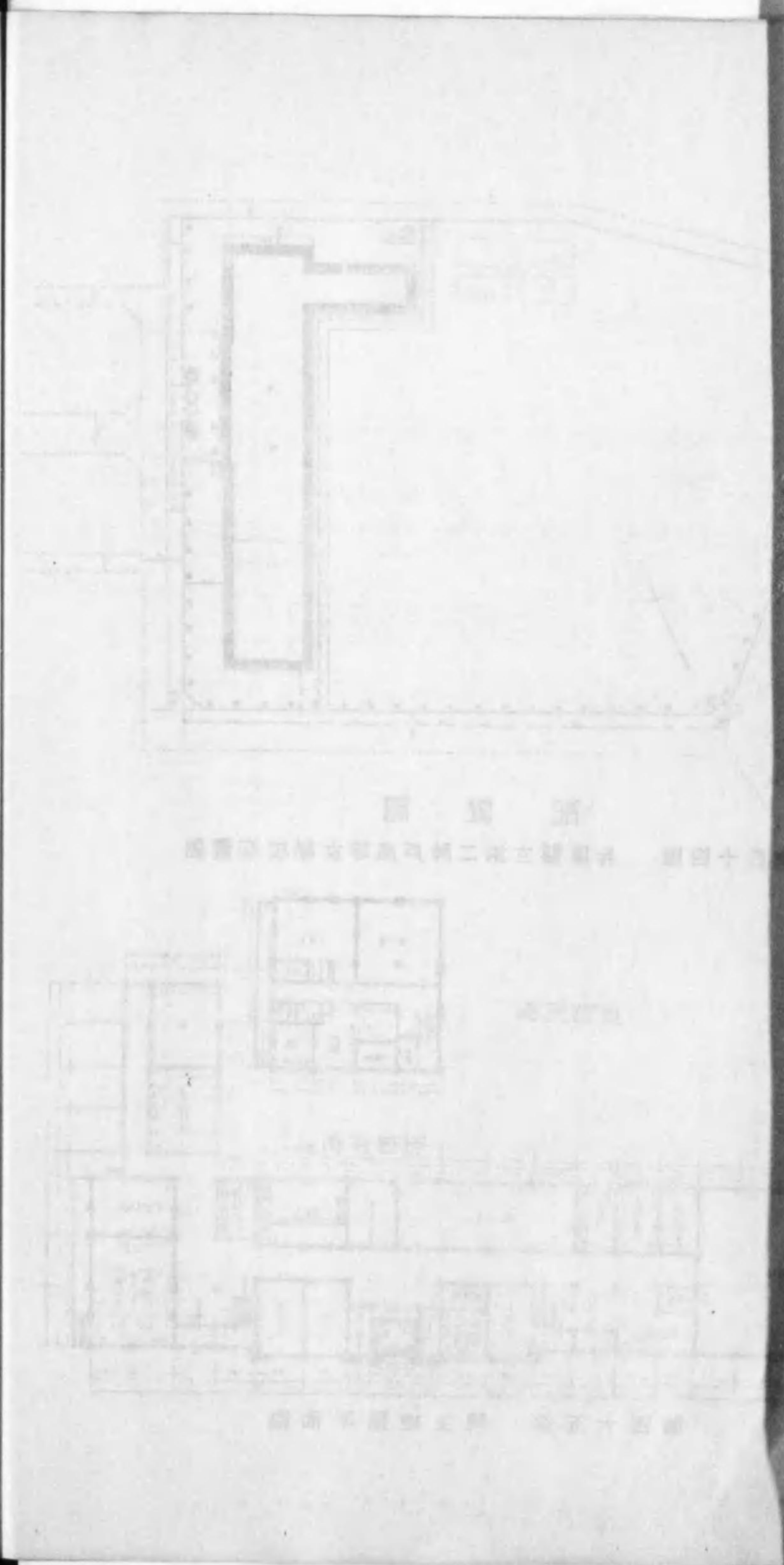


第四十六圖 兵庫縣立第二神戸高等女學校第二階平面圖

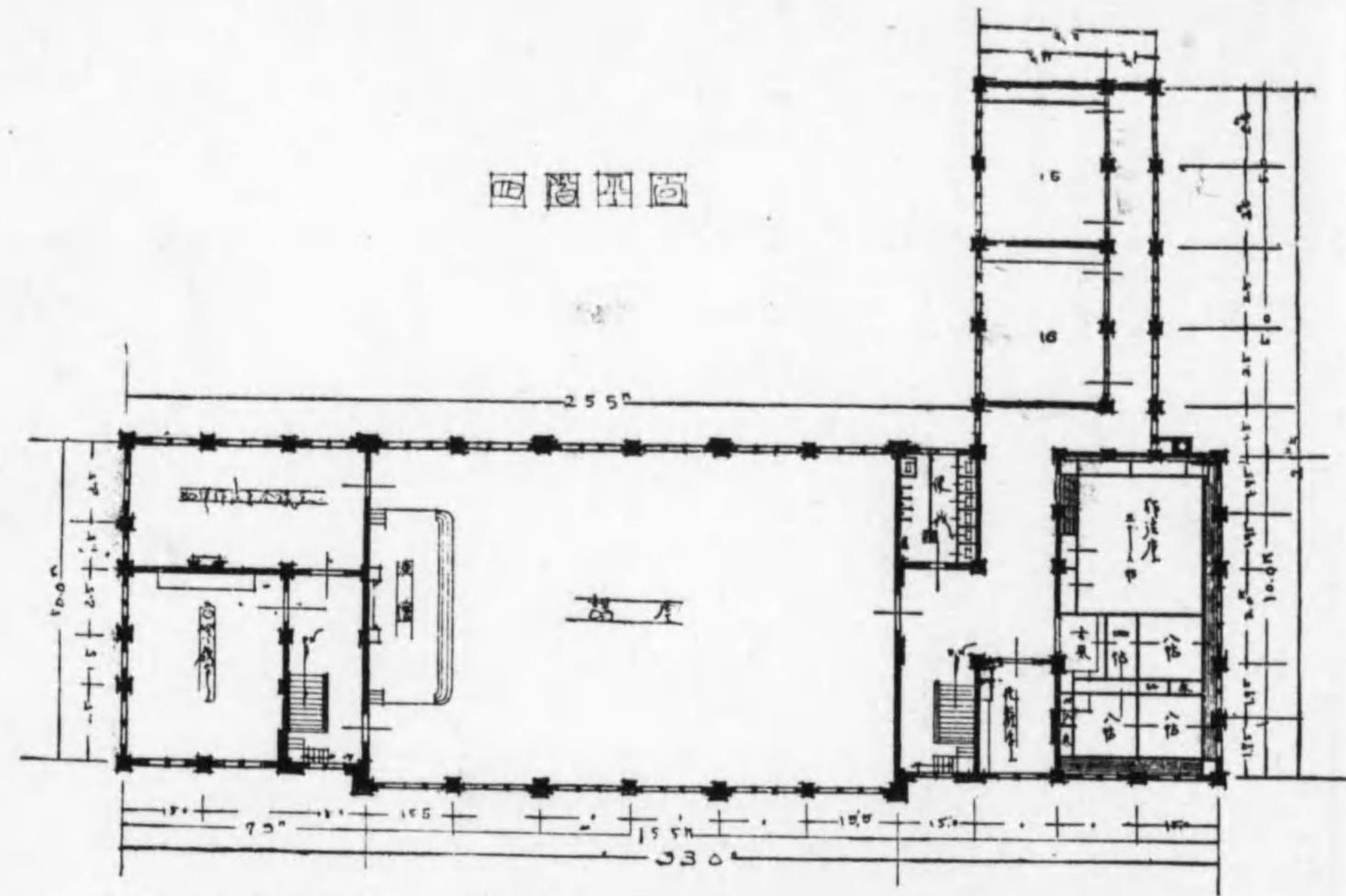


圖面 41

第四十七圖 同上第三階平面圖

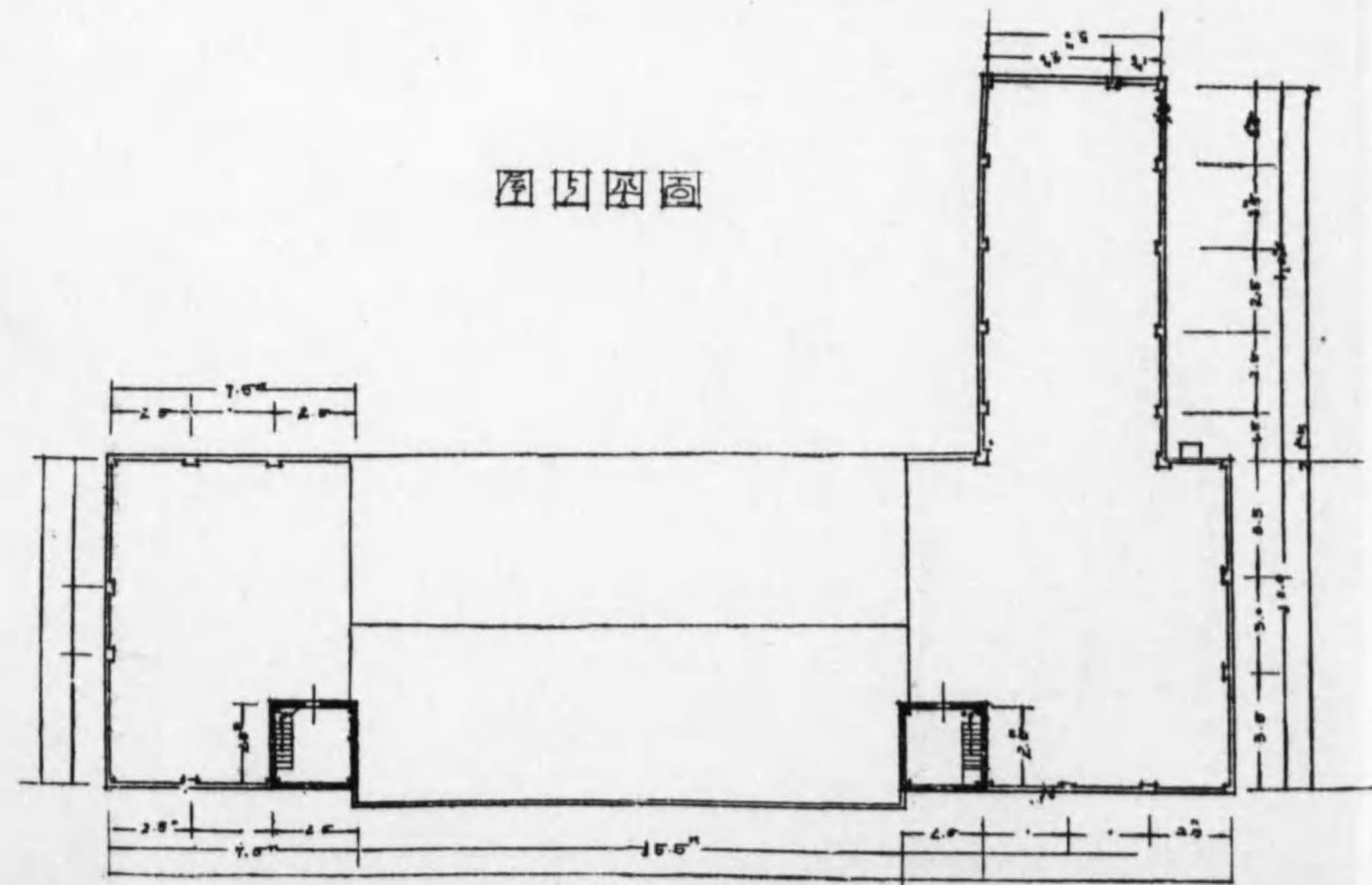


圖四十四



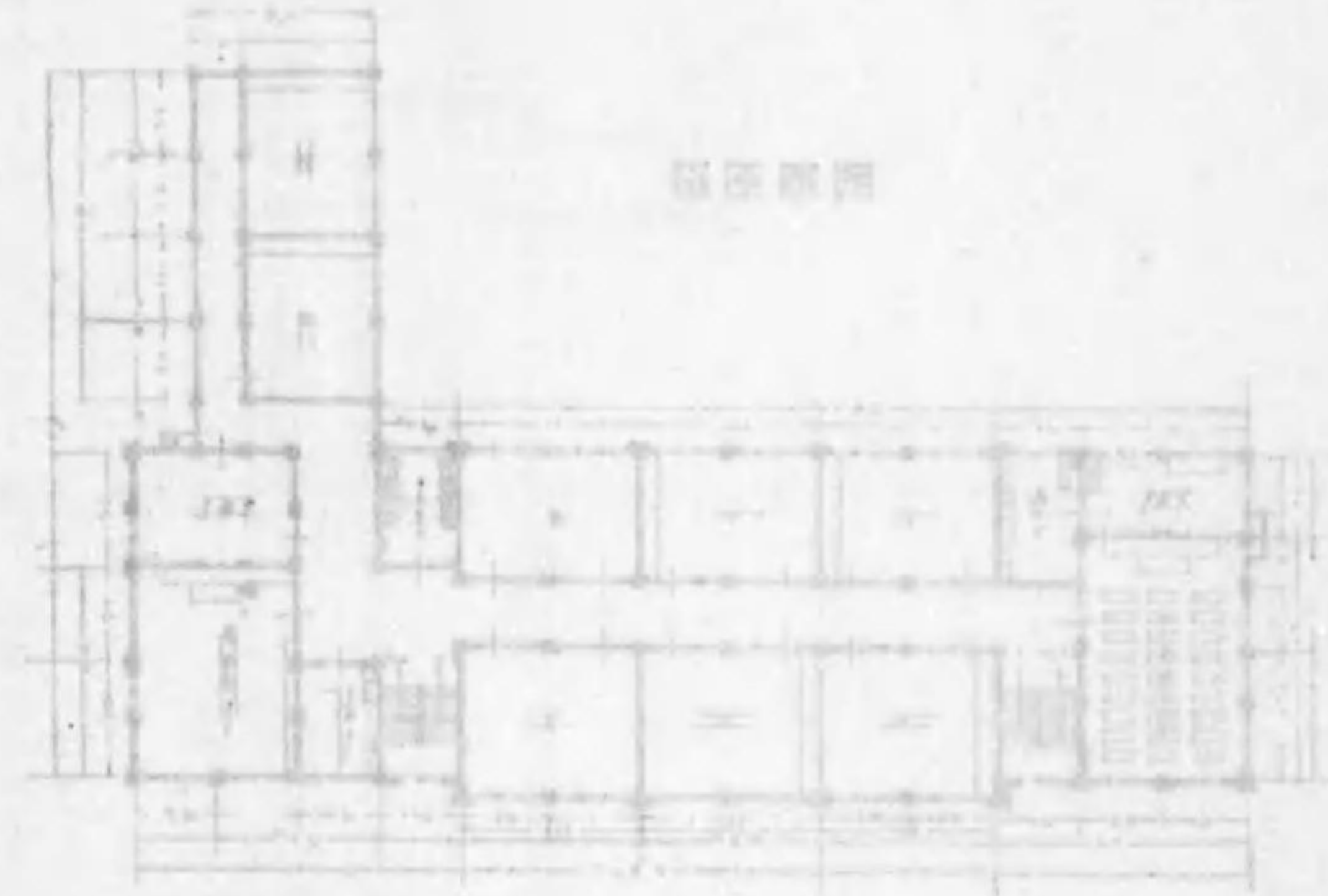
第四十八圖 兵庫縣立第二神戸高等女學校第四階平面圖

圖四十四



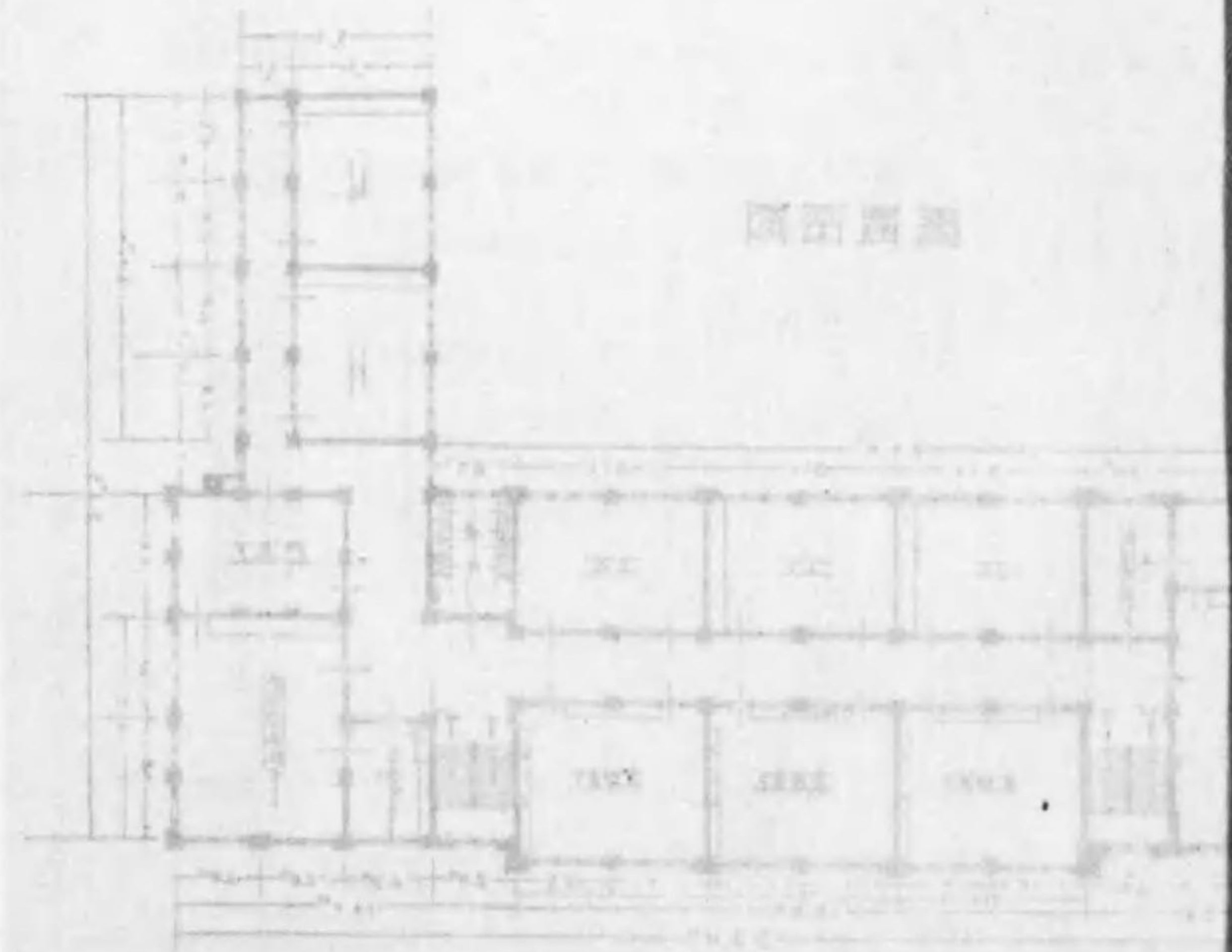
第四十九圖 同上屋上平面圖

圖四十四

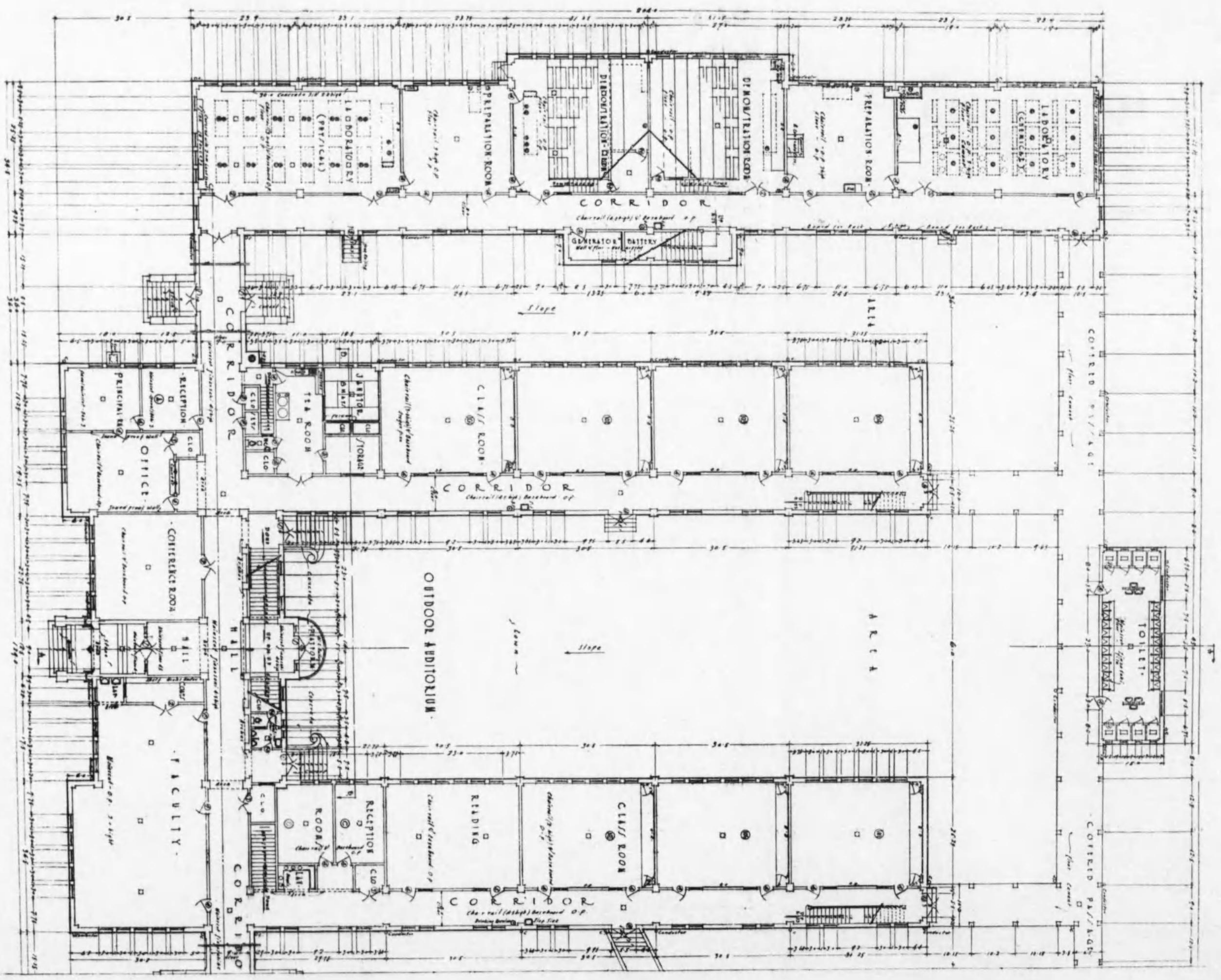


圖面平第ニ層外學女事高女神二第立編製共 圖六十四

圖四十四

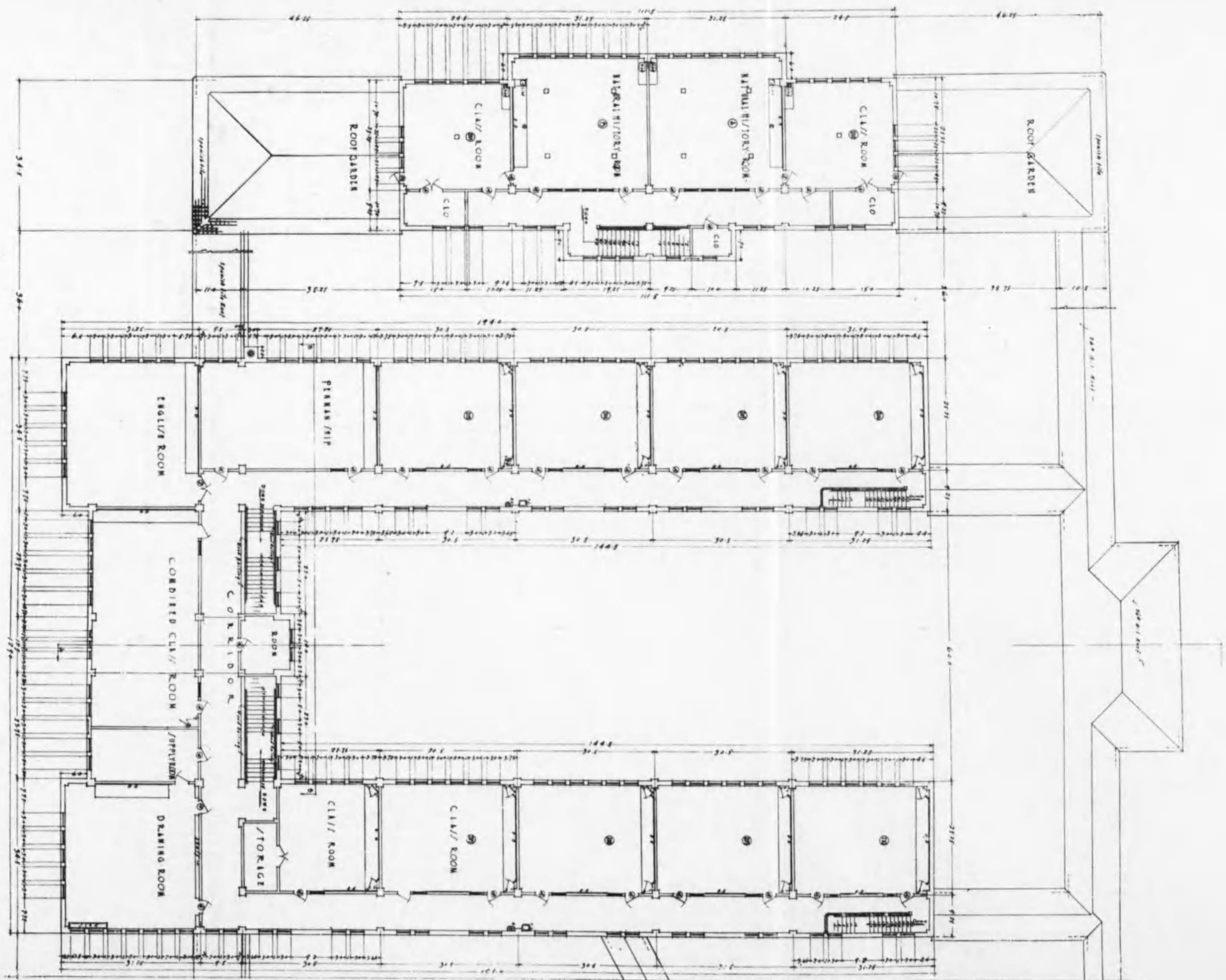


圖面平第ニ層上同ノ圖十四第

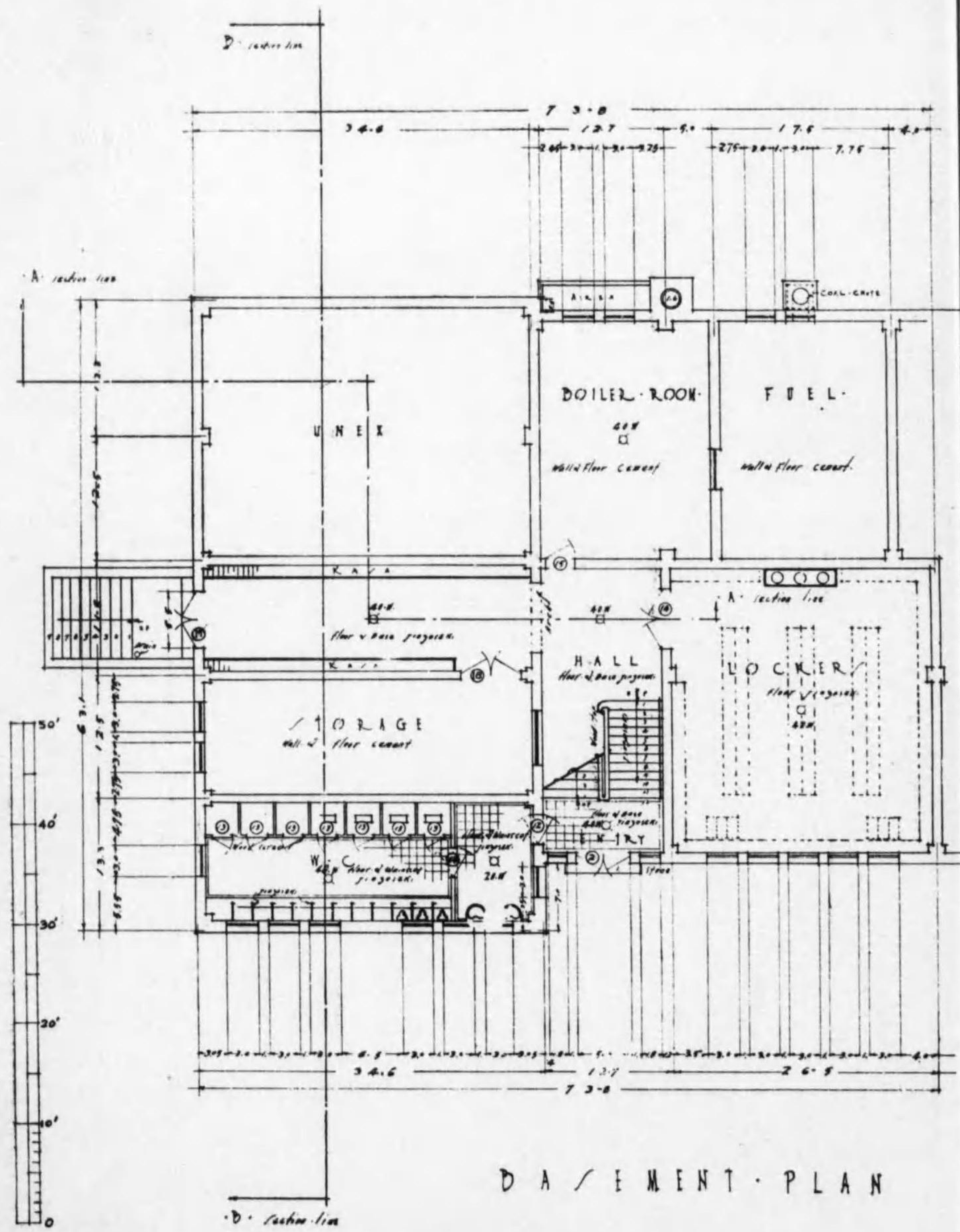


FIRST FLOOR PLAN.

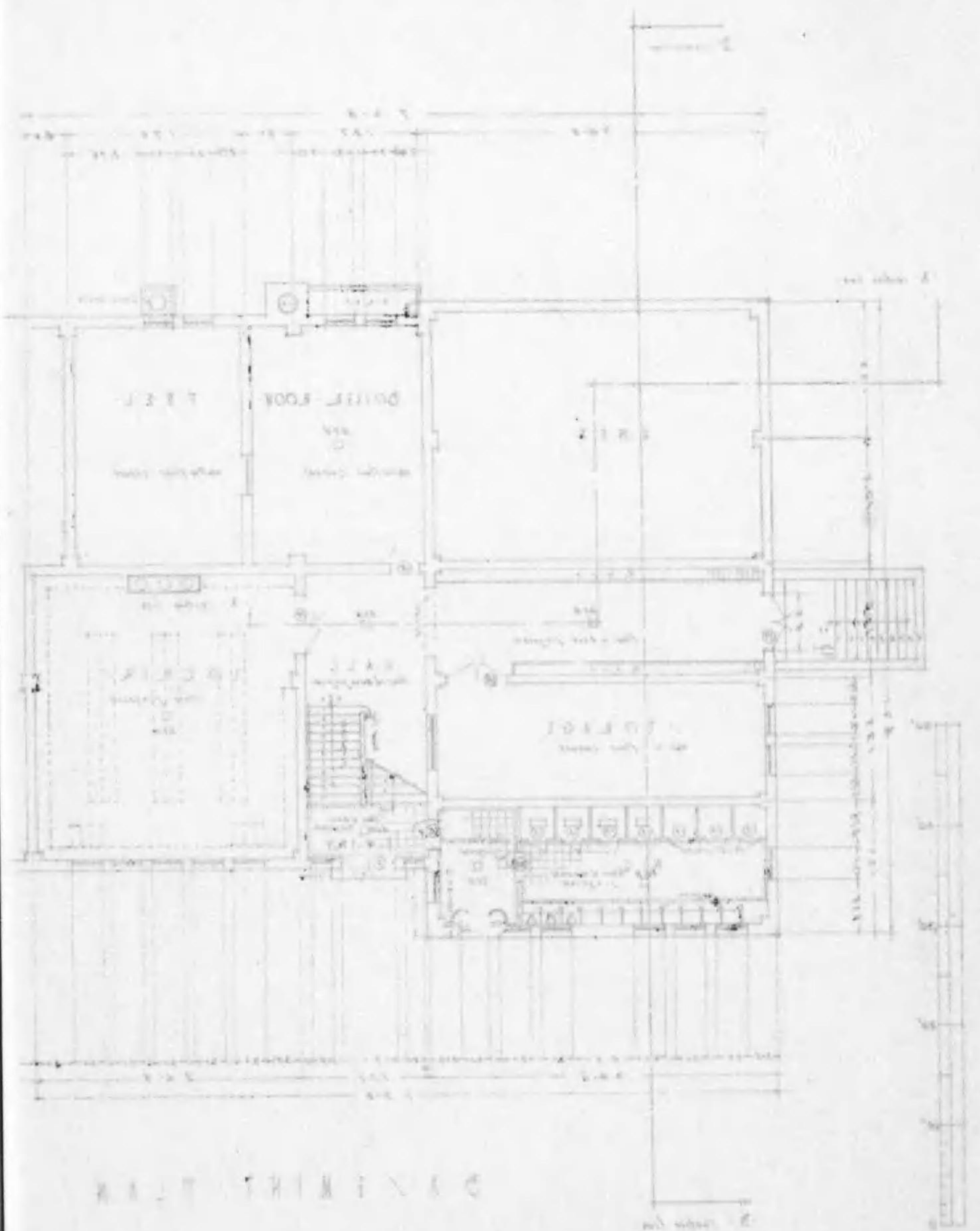
第五十圖 關西學院中學部第一階平面圖



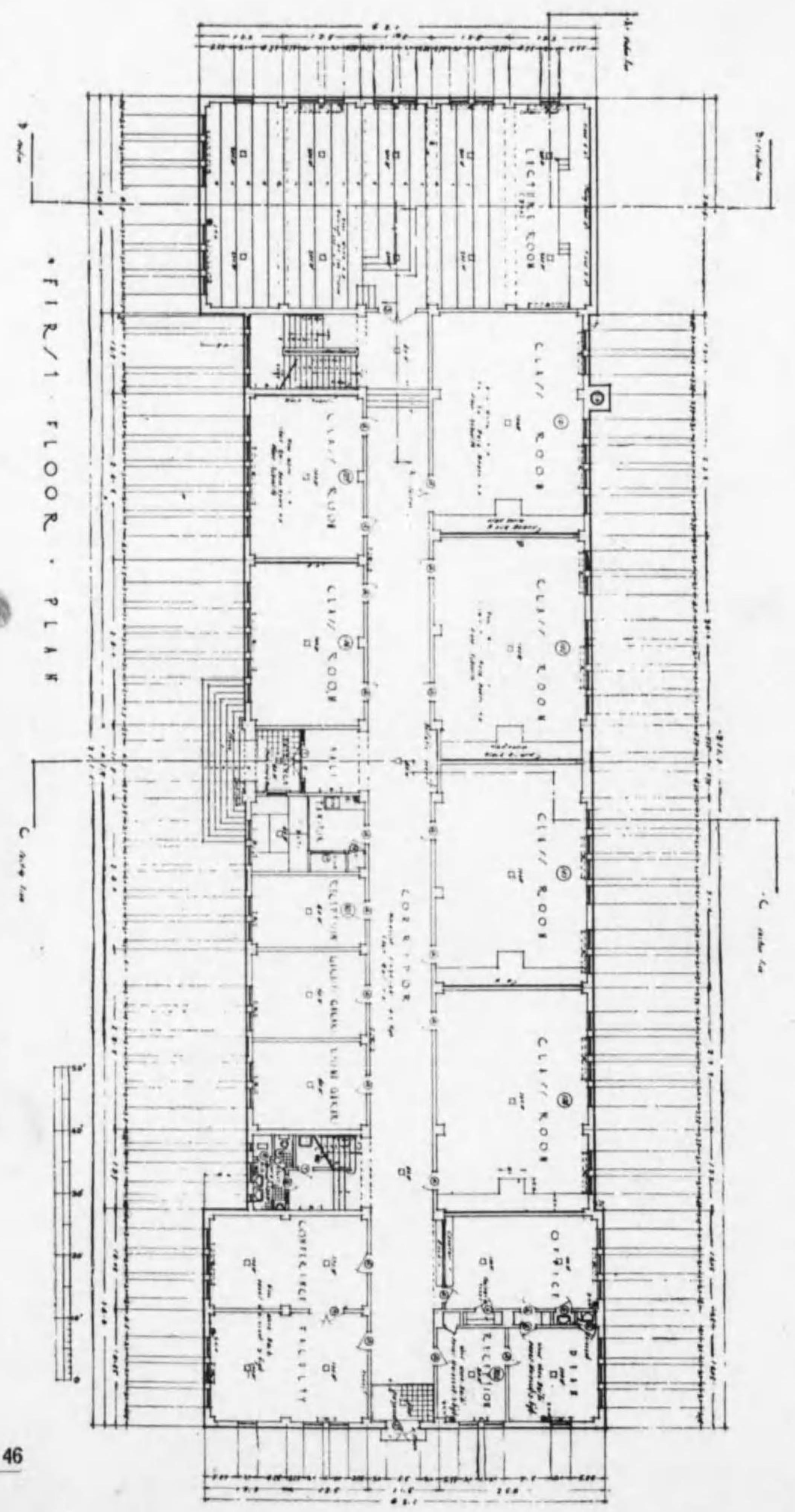
第五十一圖 關西學院中學校第二階平面圖
 SECOND FLOOR PLAN.



第五十二圖 關西學院高等商業部地階平面圖

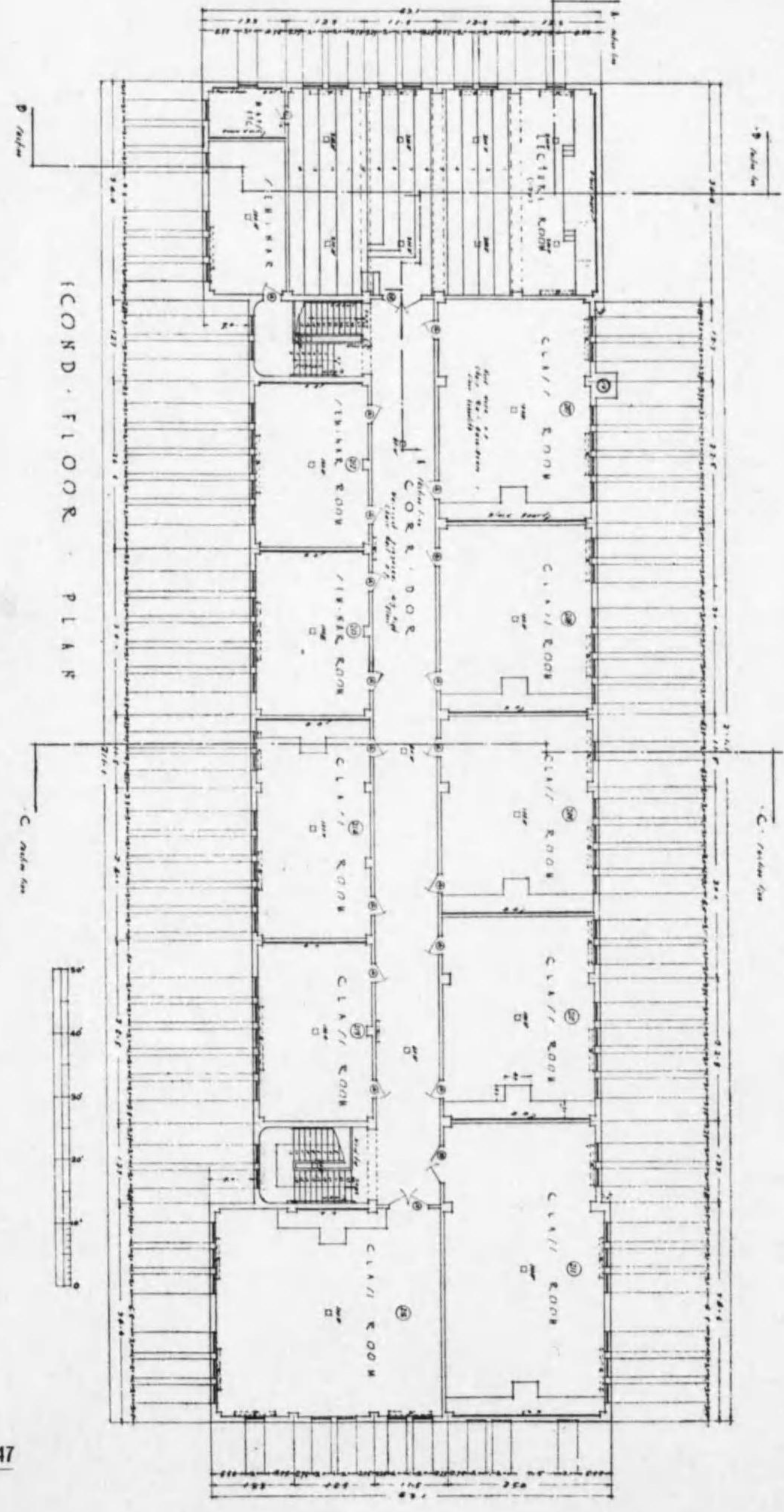


圖五十二圖 商業部第一階平面圖



圖五十三圖 商業部第一階平面圖

第五十四圖 關西學院高等商業部第二階平面圖



第五十五圖 關西學院高等商業部第一階平面圖

第五十號 清遠書院建築圖樣第二階平面圖

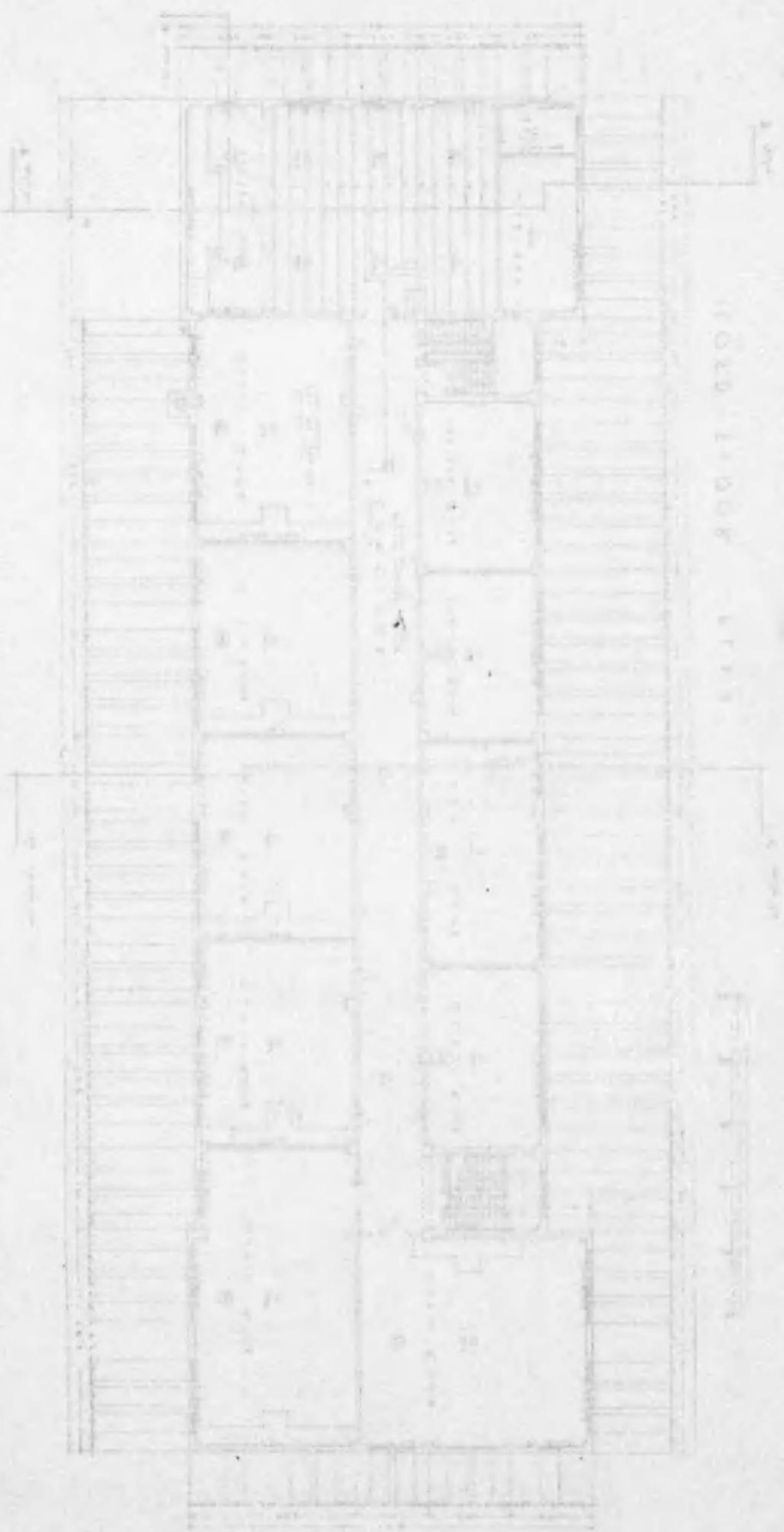
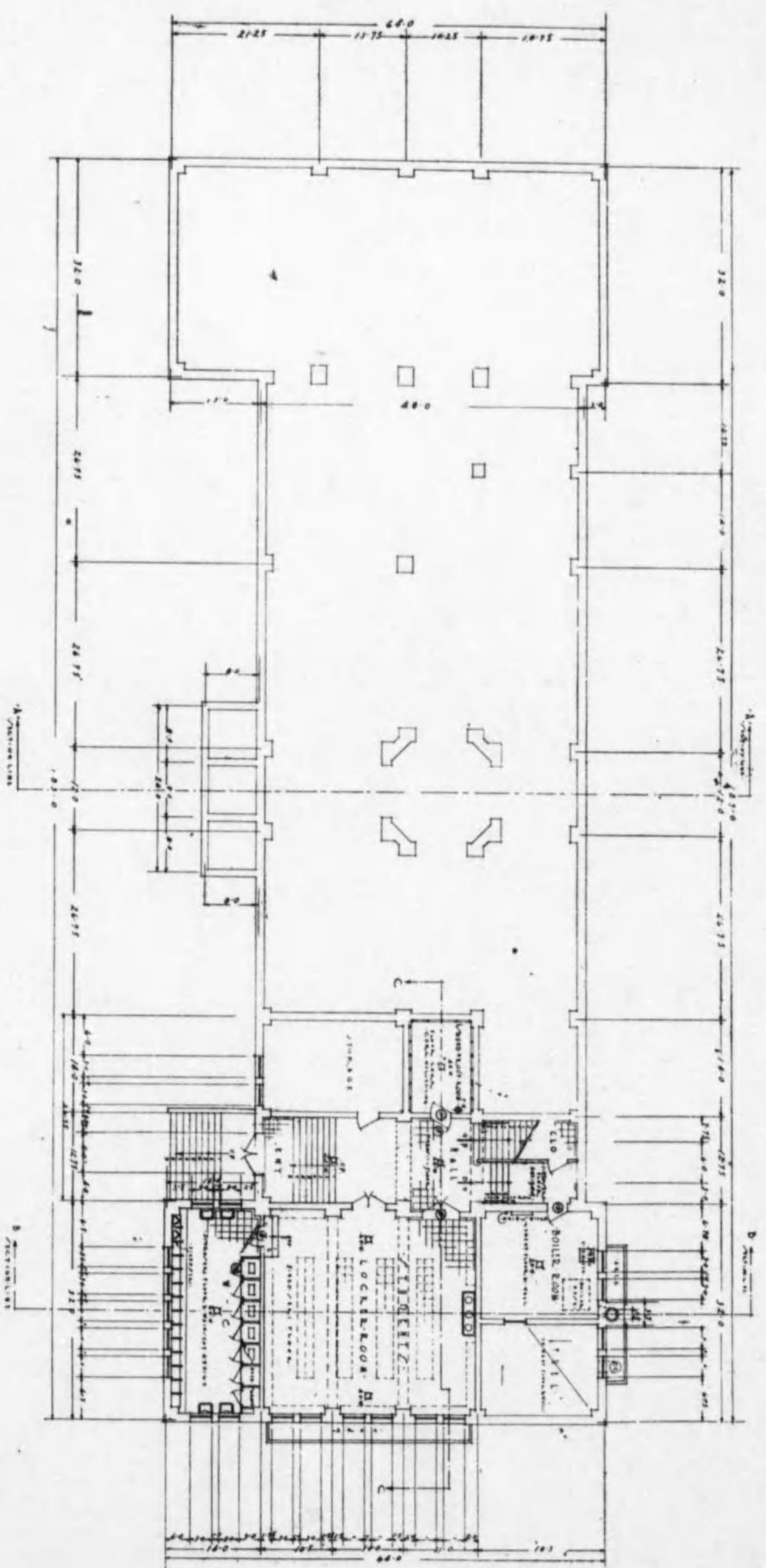


圖 50

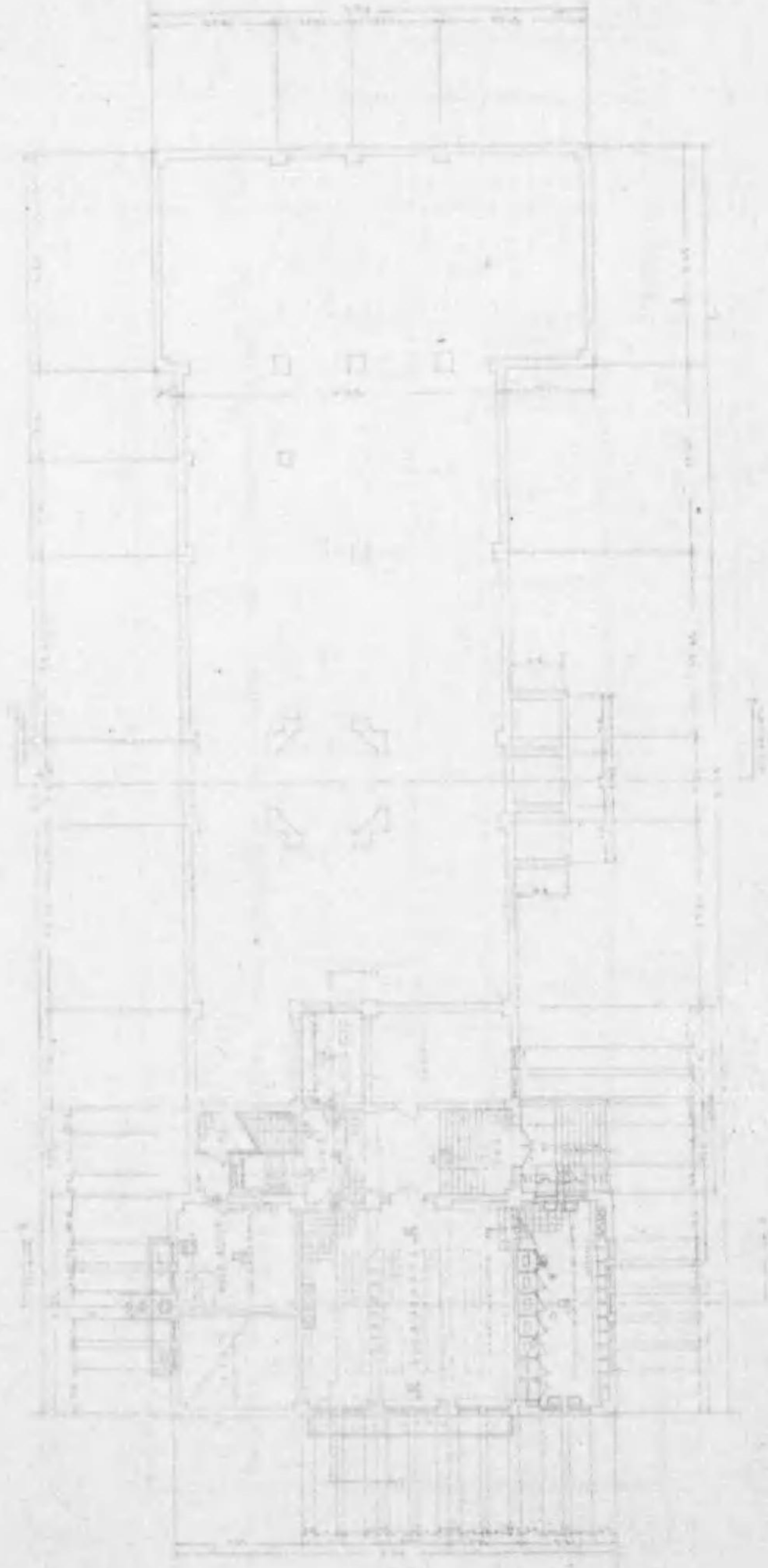
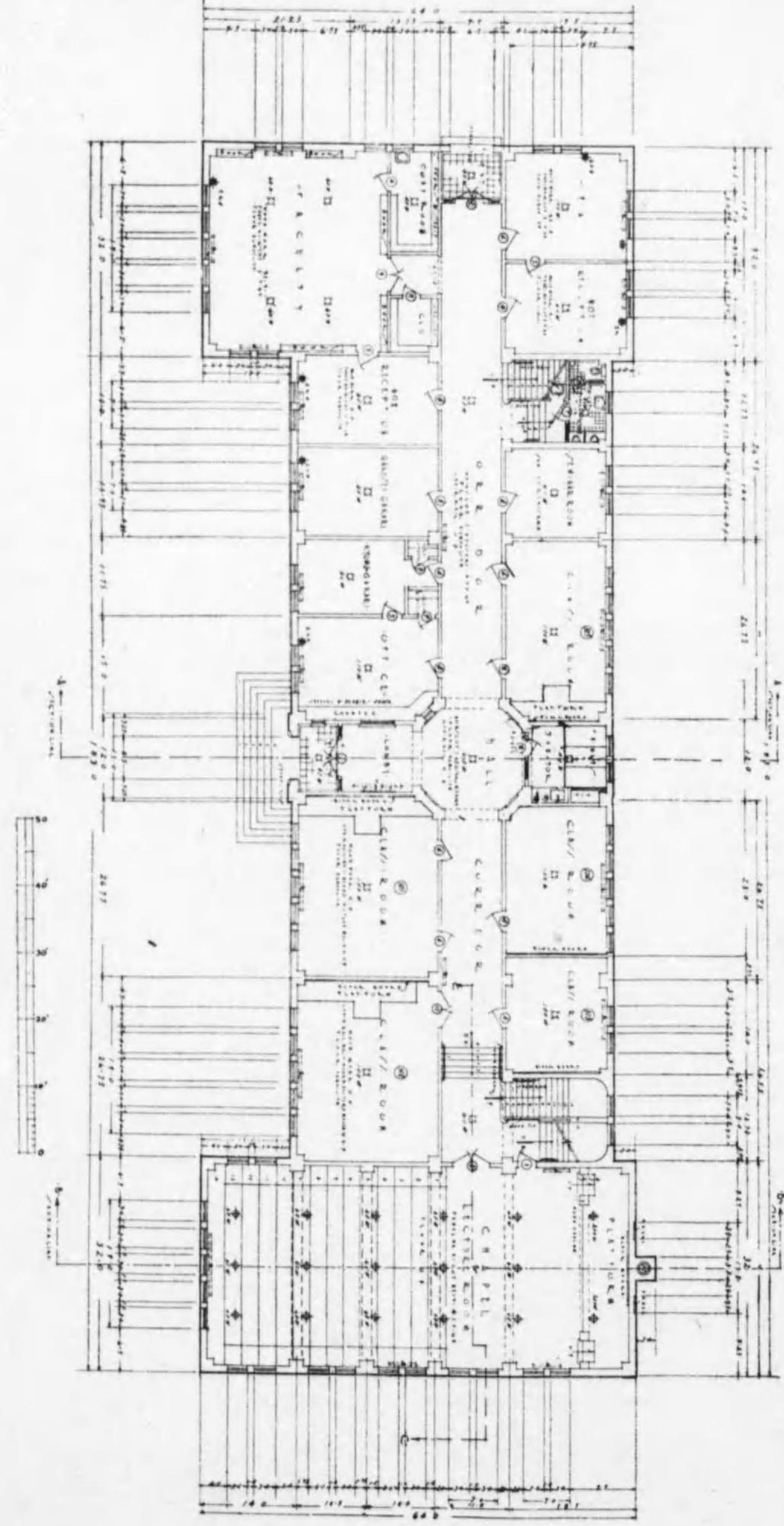


第五十五圖 關西學院文學部地階平面圖

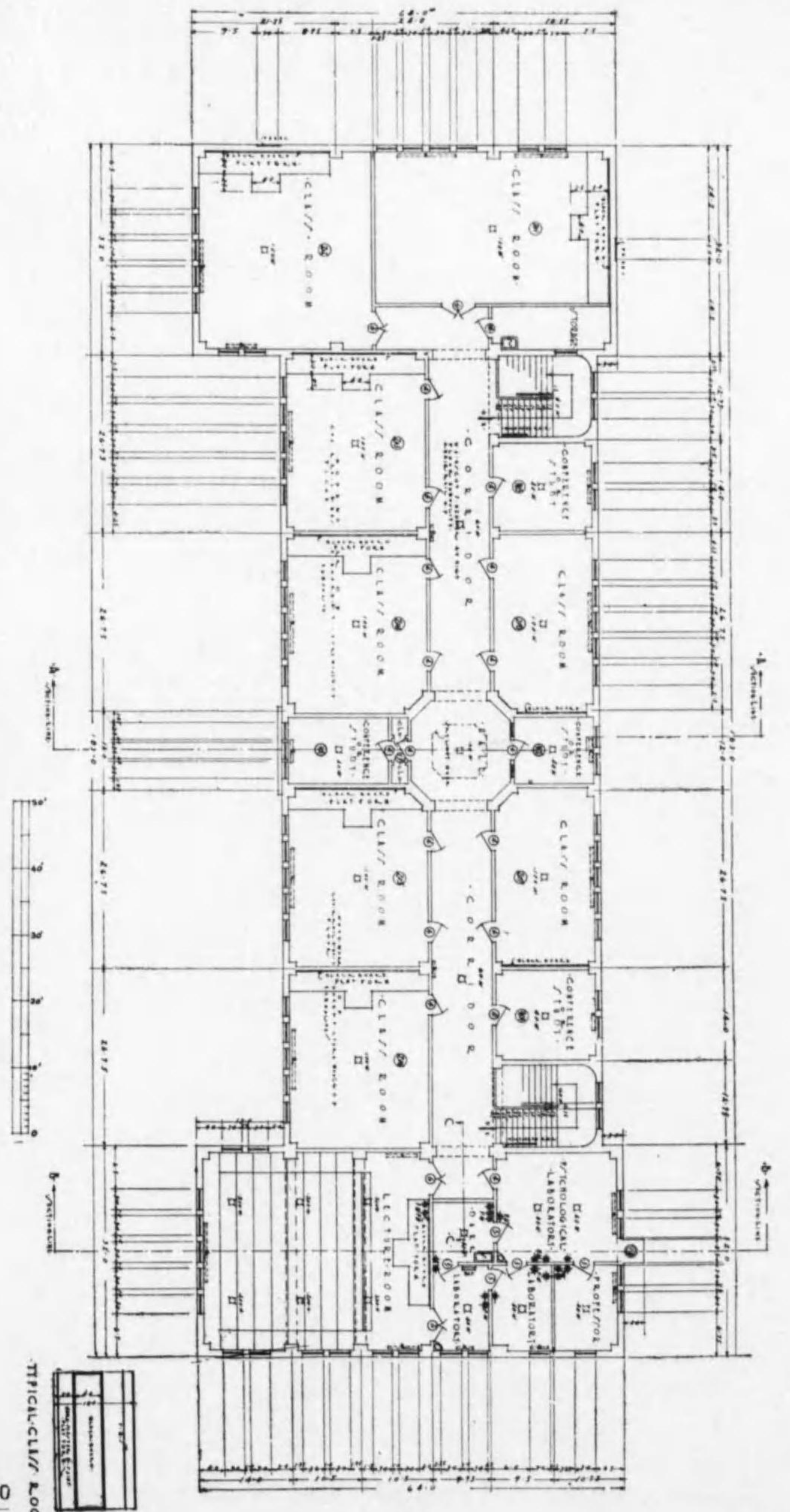
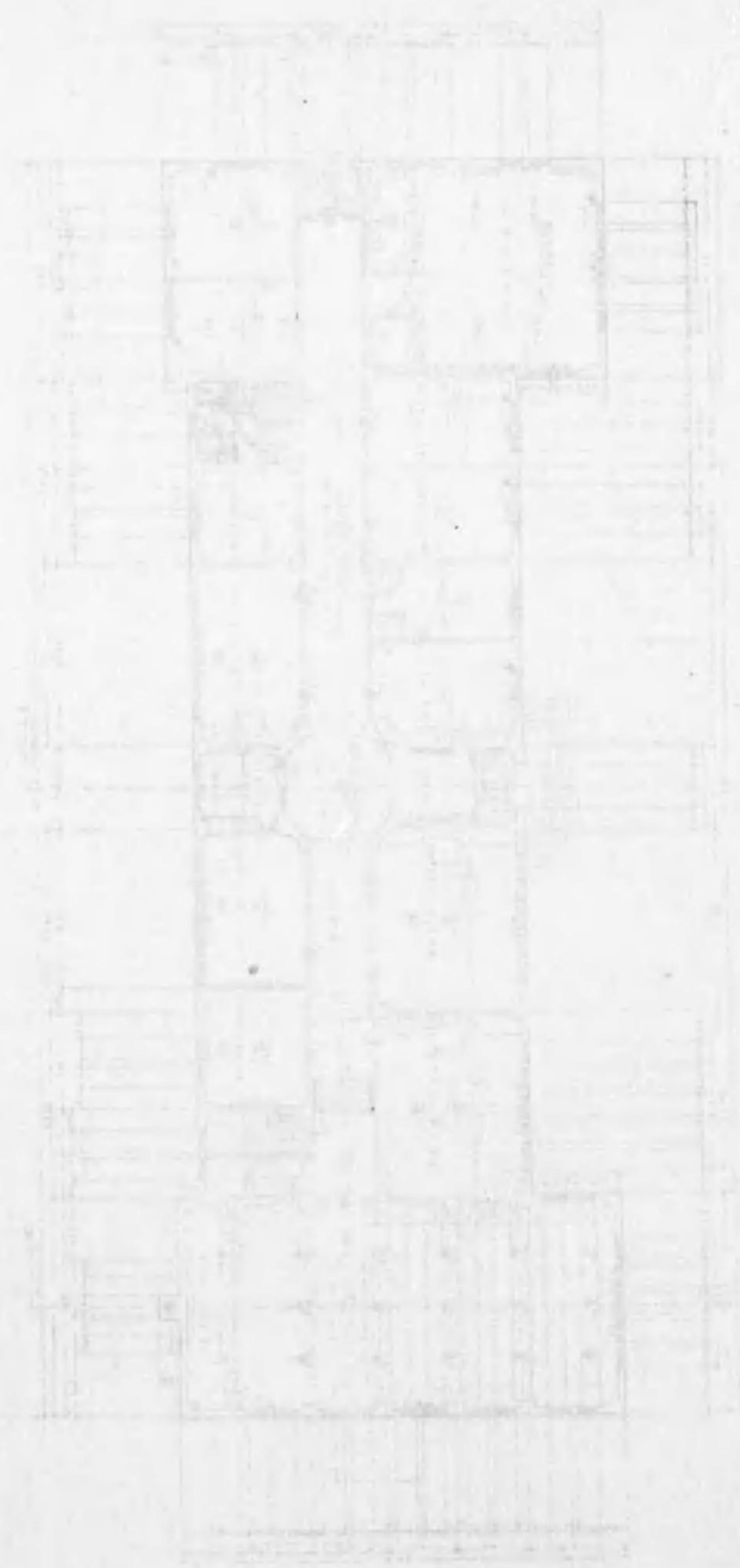
第五十五圖 關西學院文學部地階平面圖

圖 55

第五十六圖 關西學院文學部第一階平面圖

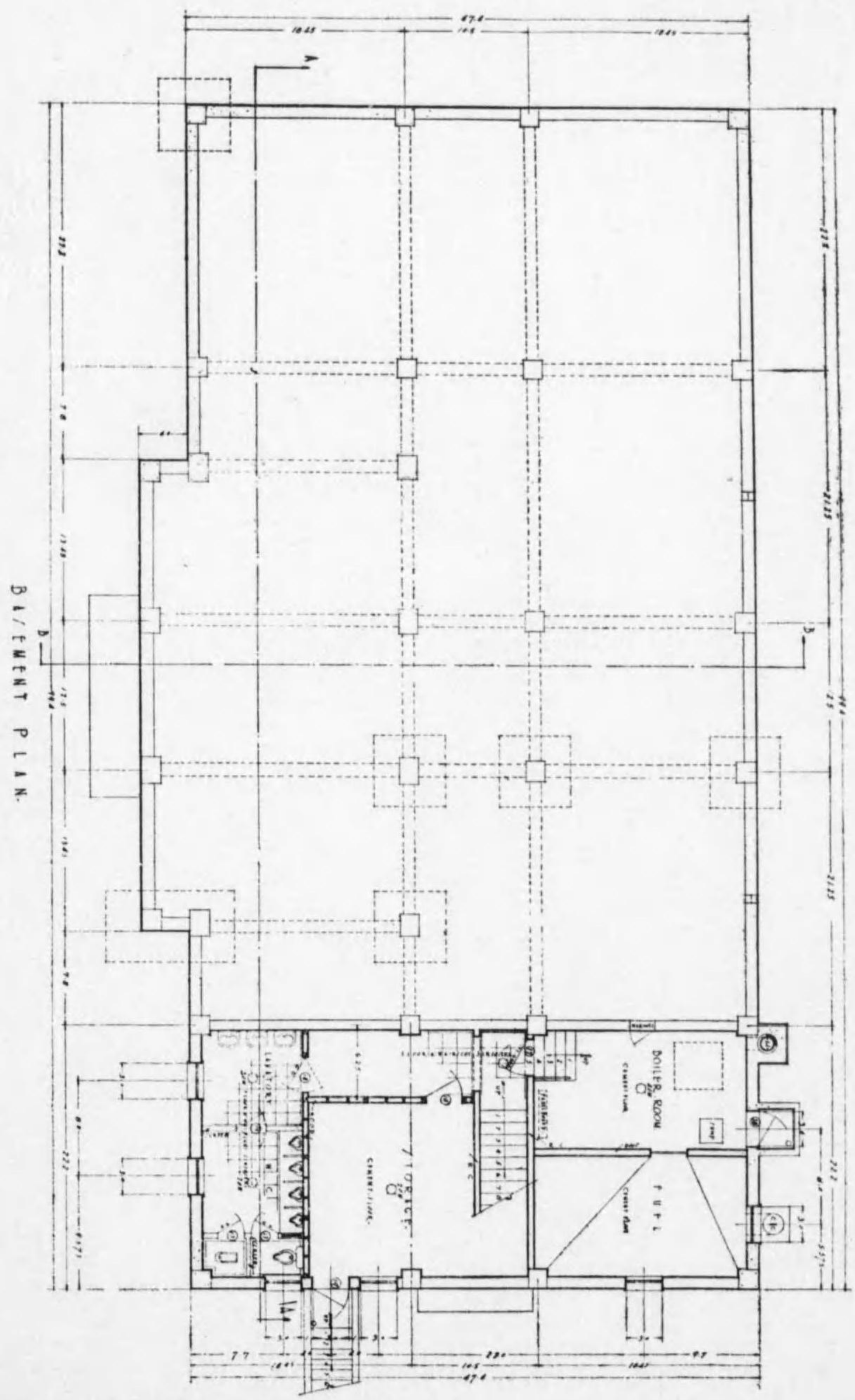


關西學院文學部第一階平面圖



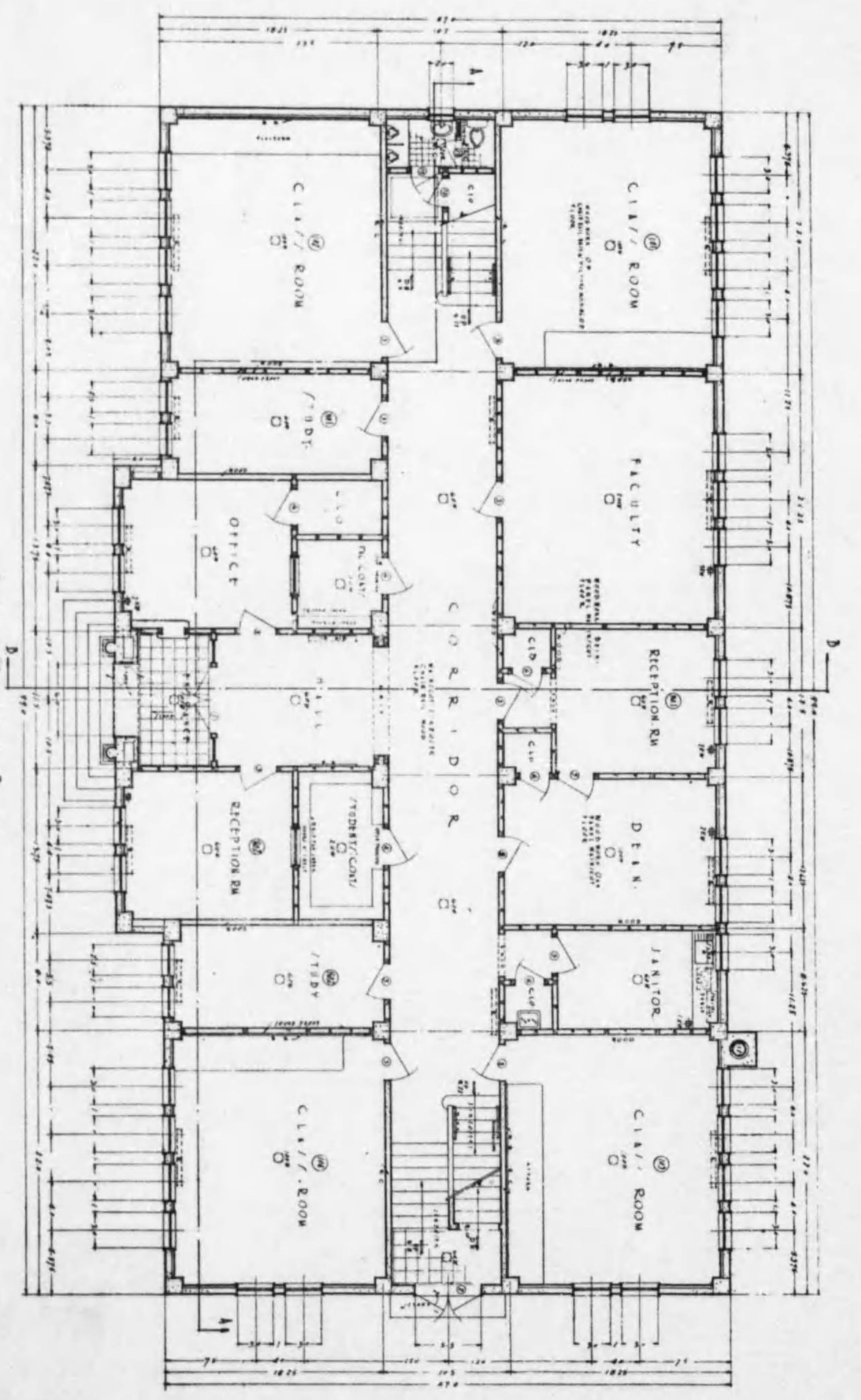
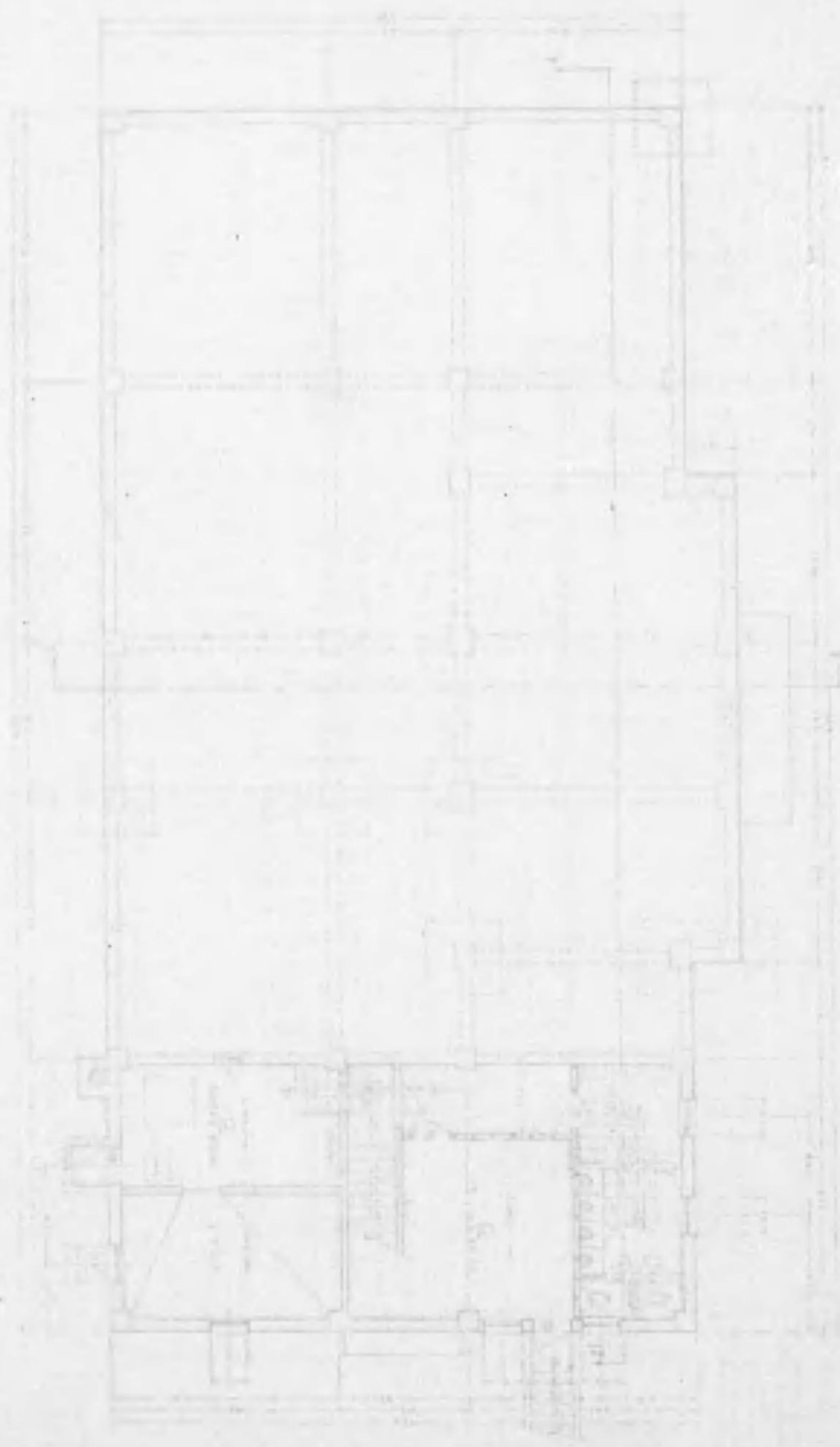
第五十七圖 關西學院文學部第二階平面圖

第五十八圖 關西學院神學部地階平面圖



關西學院神學部第二階平面圖 圖面五十八

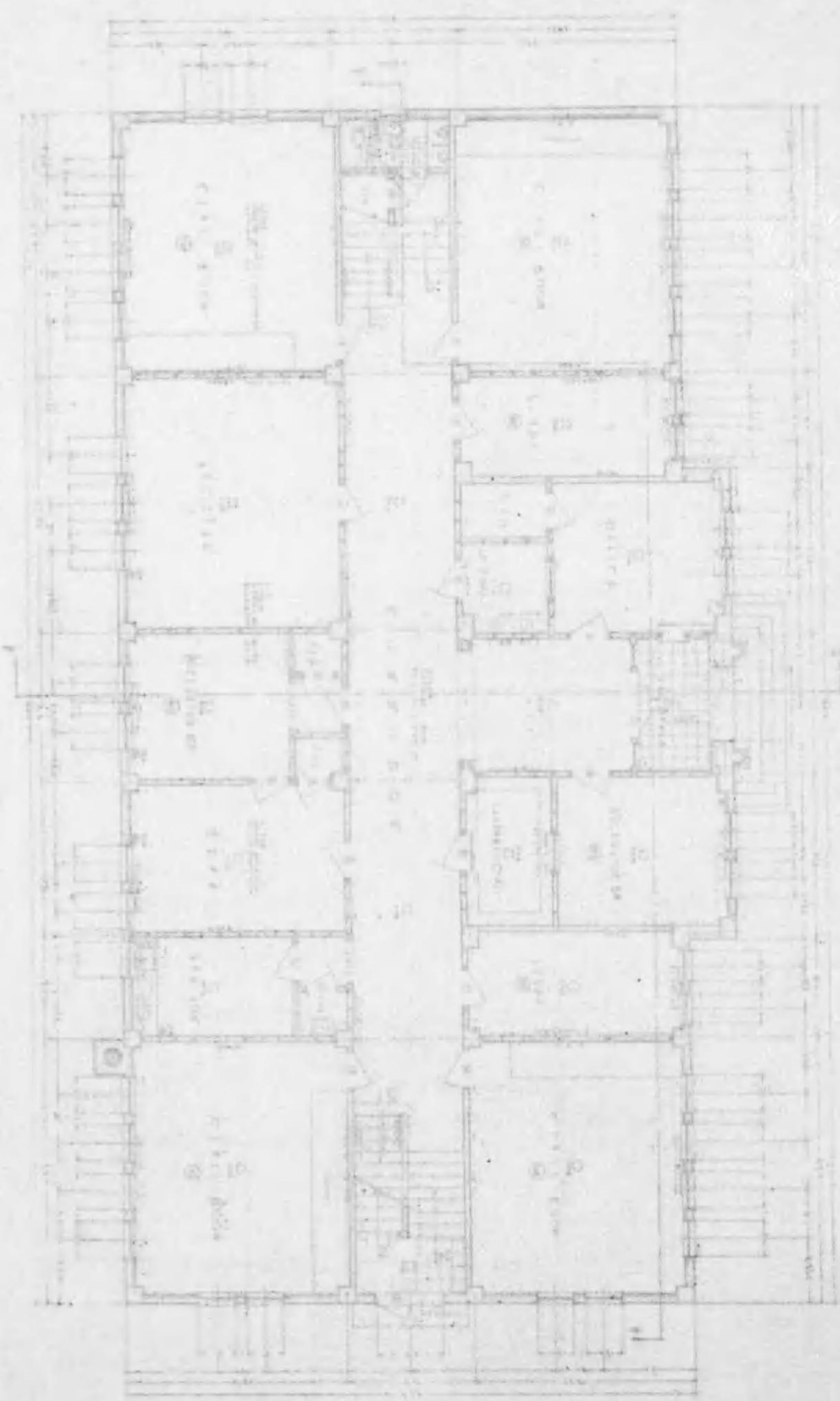
第五十九圖 關西學院神學部第一階平面圖



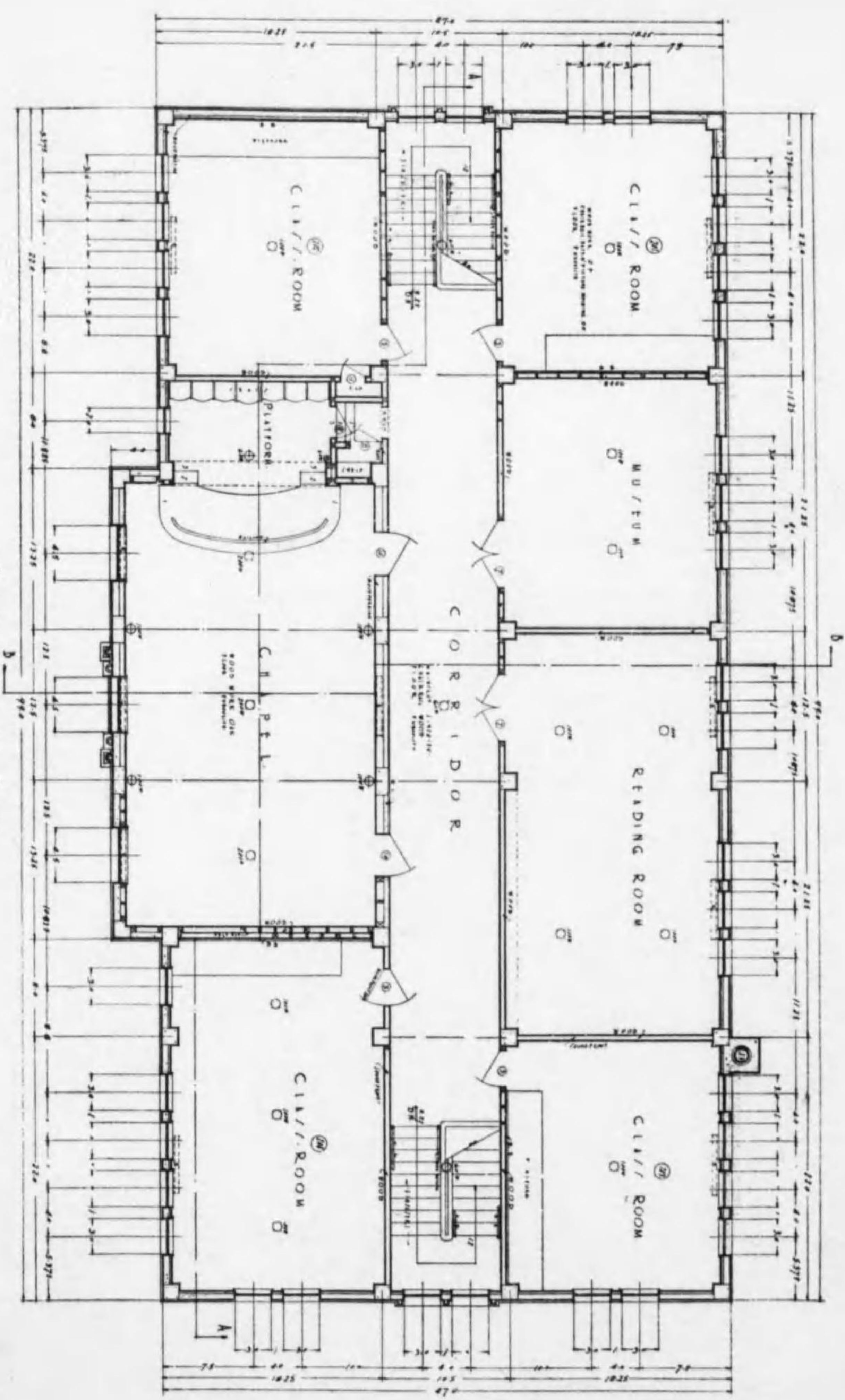
FIRST FLOOR PLAN.

第五十九圖 關西學院神學部第一階平面圖

第五十圖 關西學院神學部第一階平面圖
FIRST FLOOR PLAN

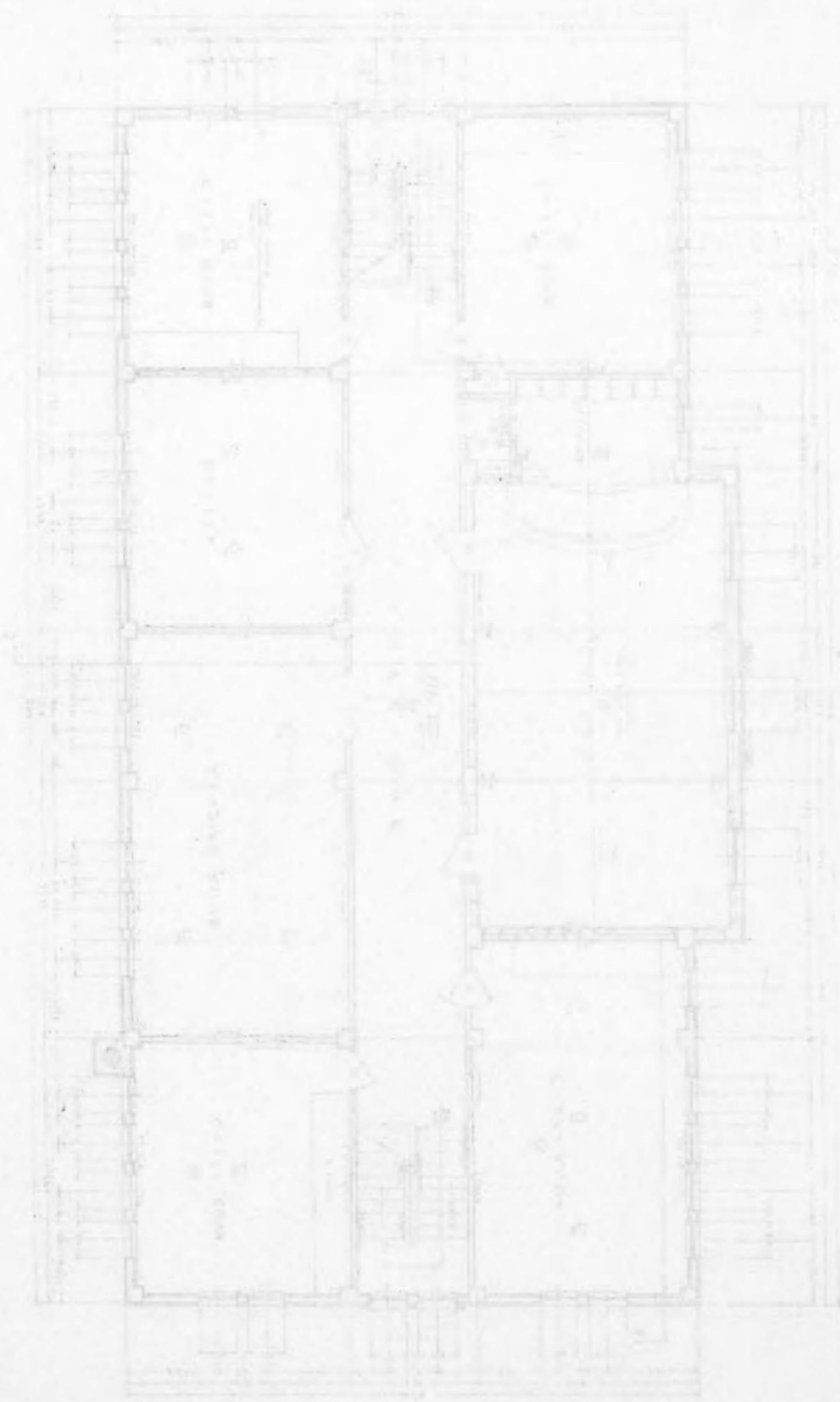


圖五〇



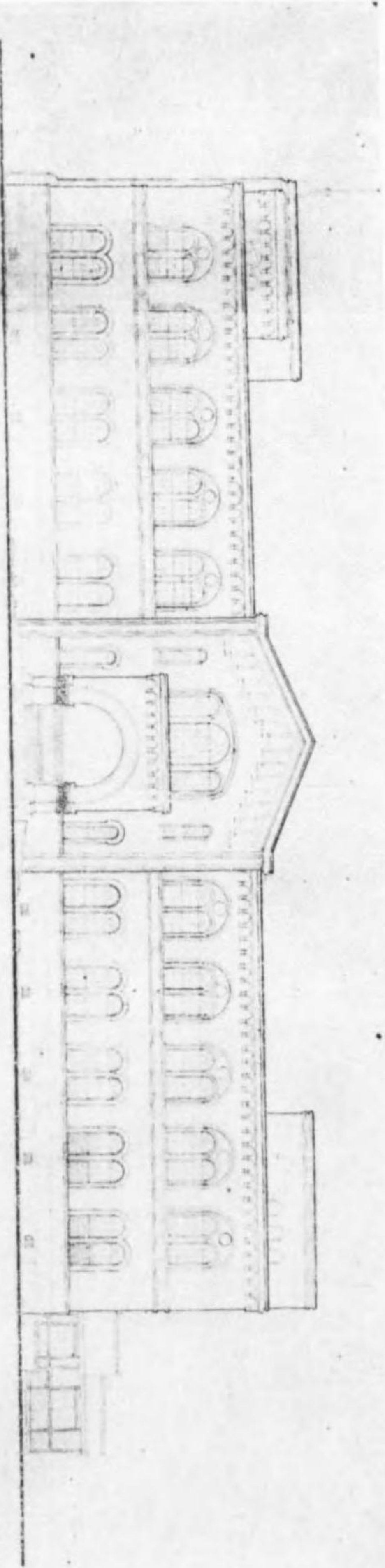
第六十圖 關西學院神學部第二階平面圖
SECOND FLOOR PLAN

圖五三

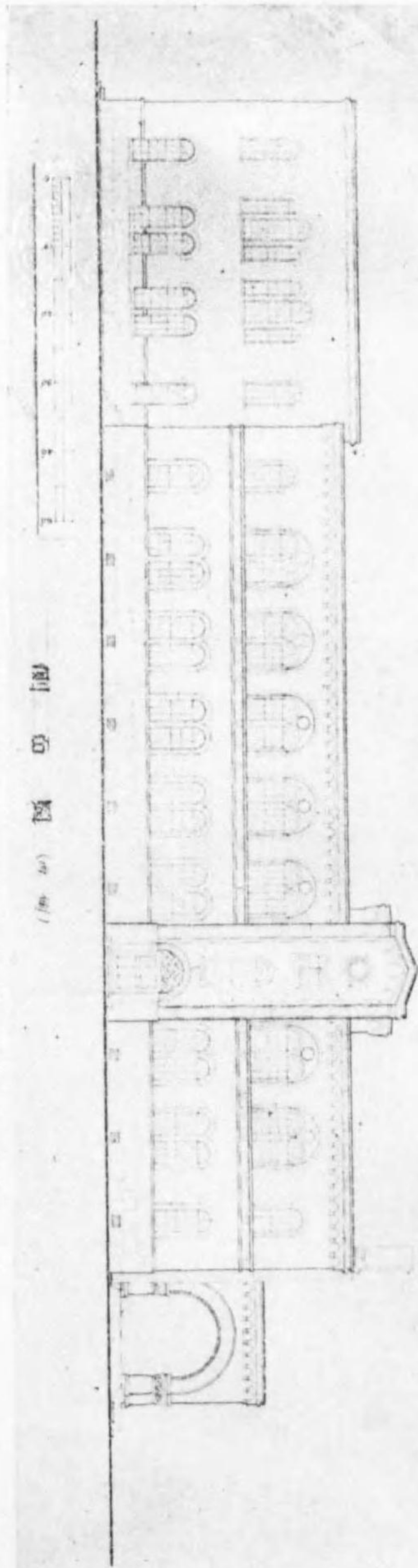


第二十圖 東京商科大学図書第二階平面圖
Meiji University Library

建築圖



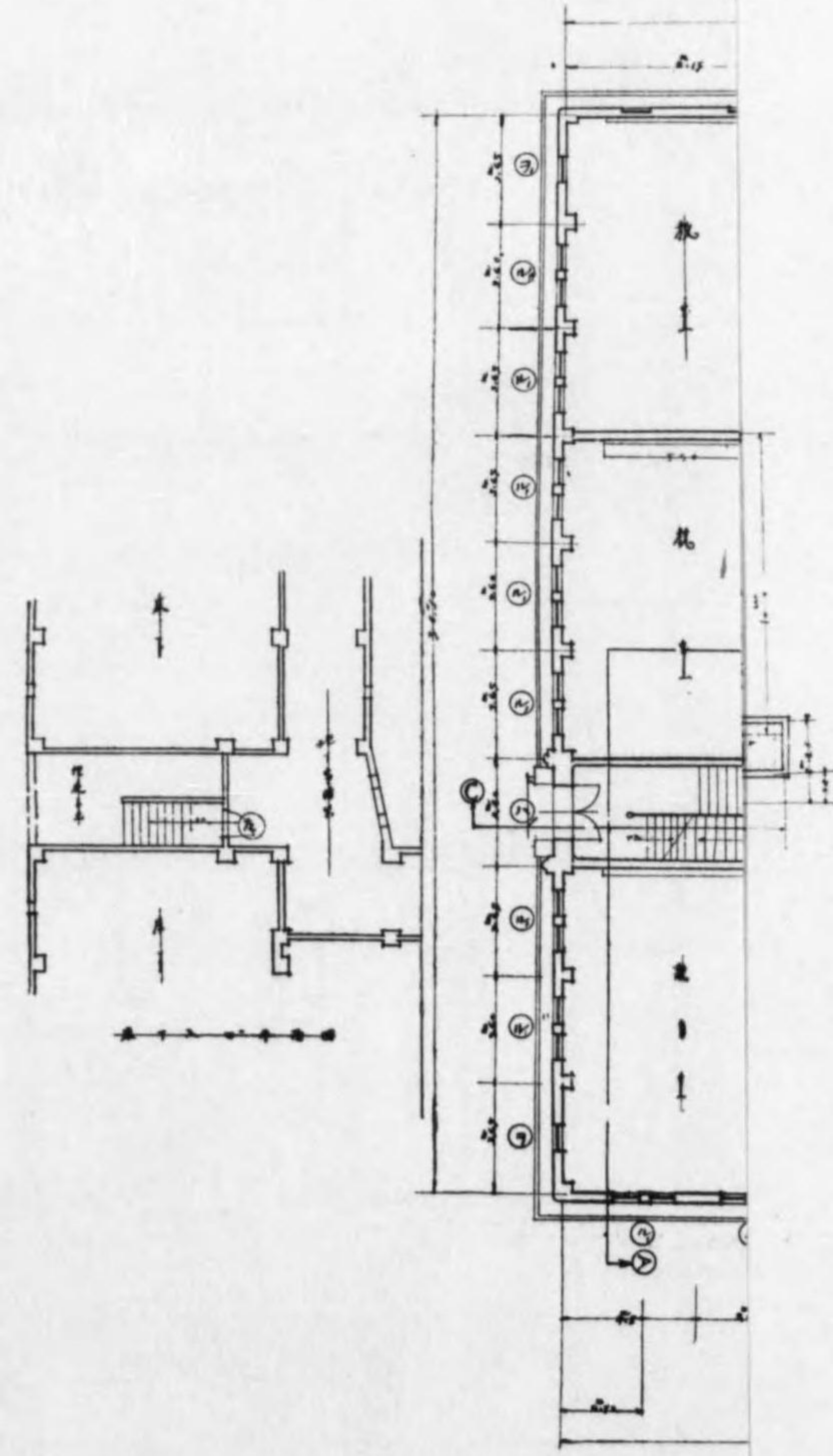
正面圖



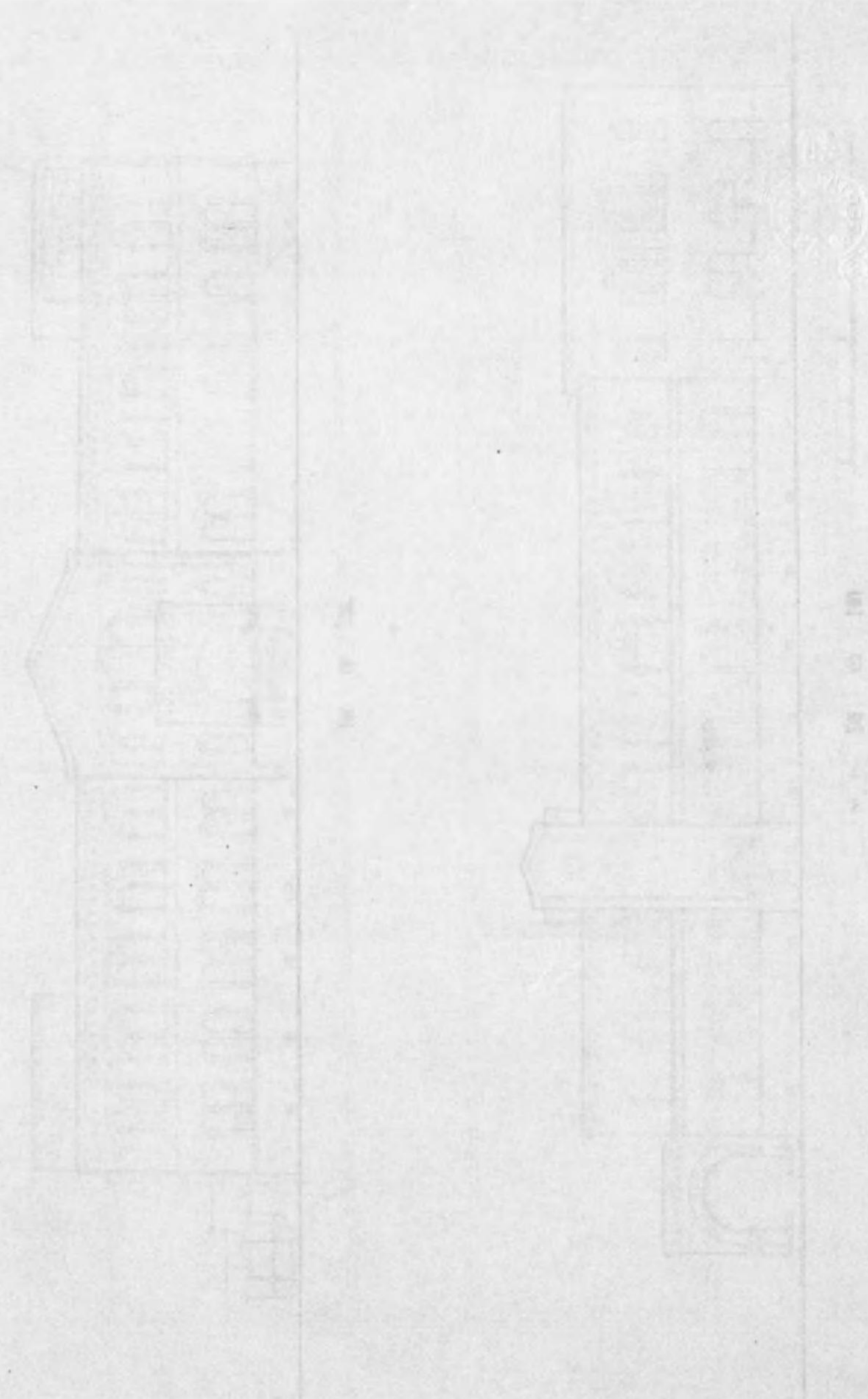
側面圖 (右側)

第六十一圖 東京商科大学商學専門部立面圖

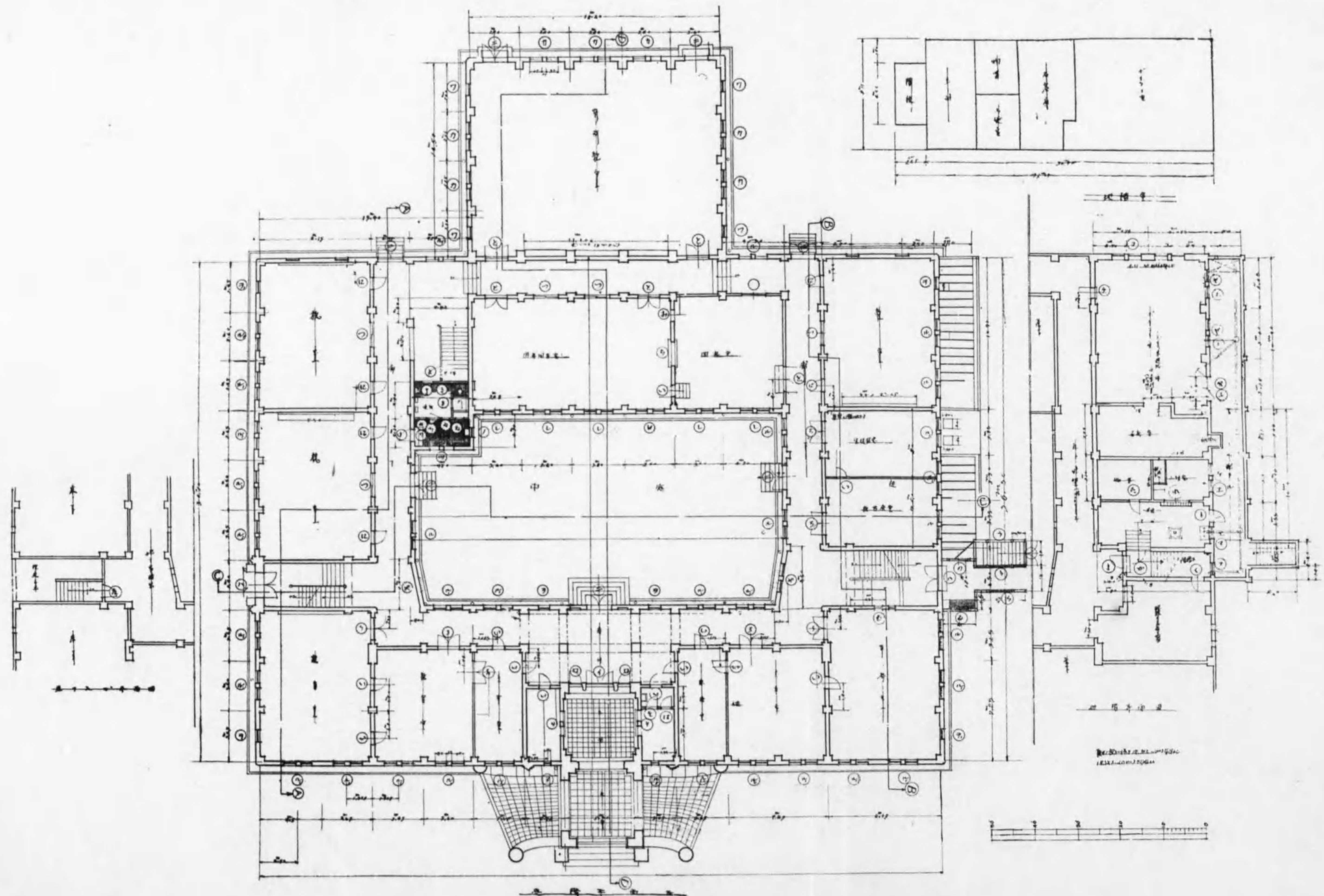
圖面 55



圖面 56

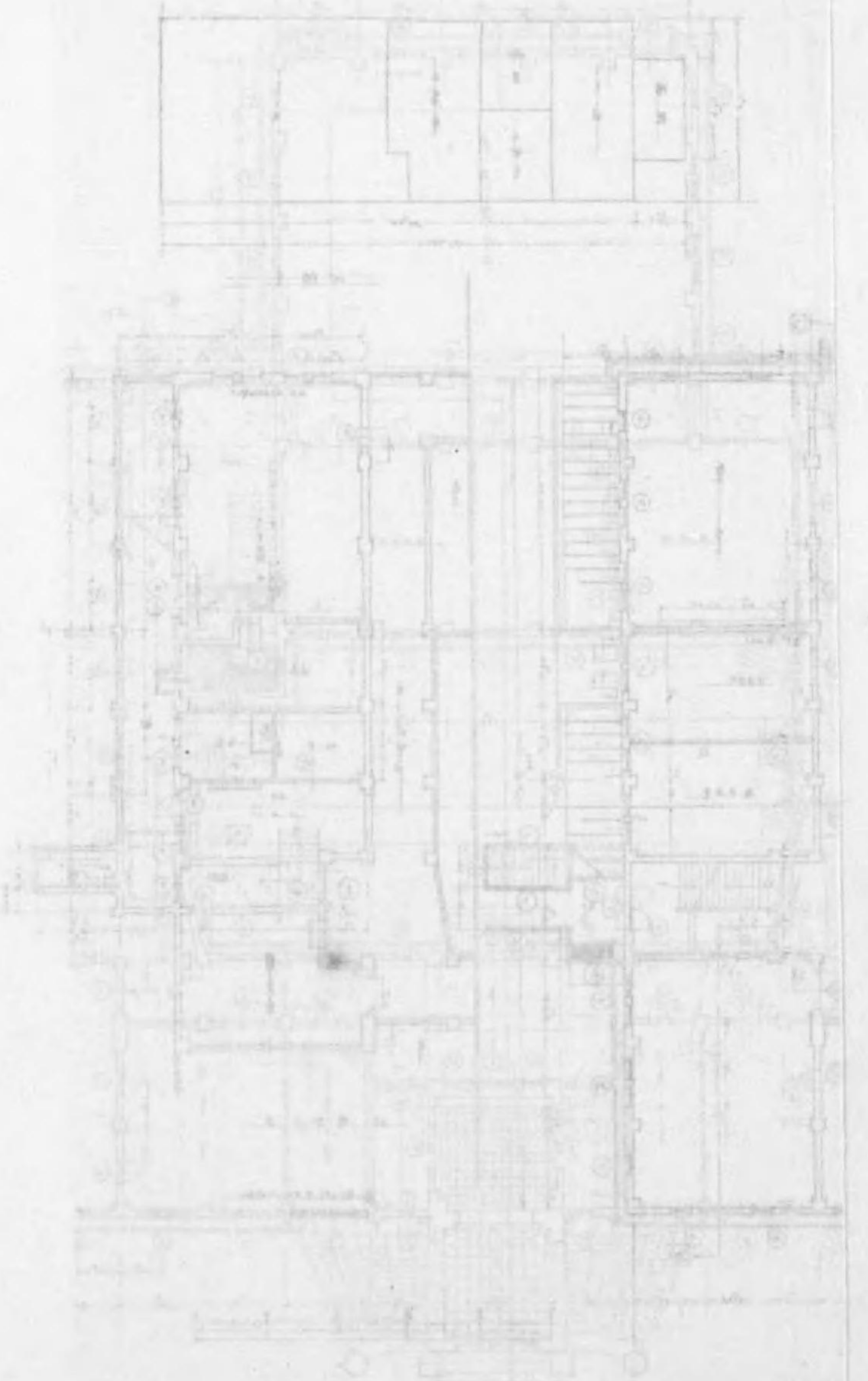
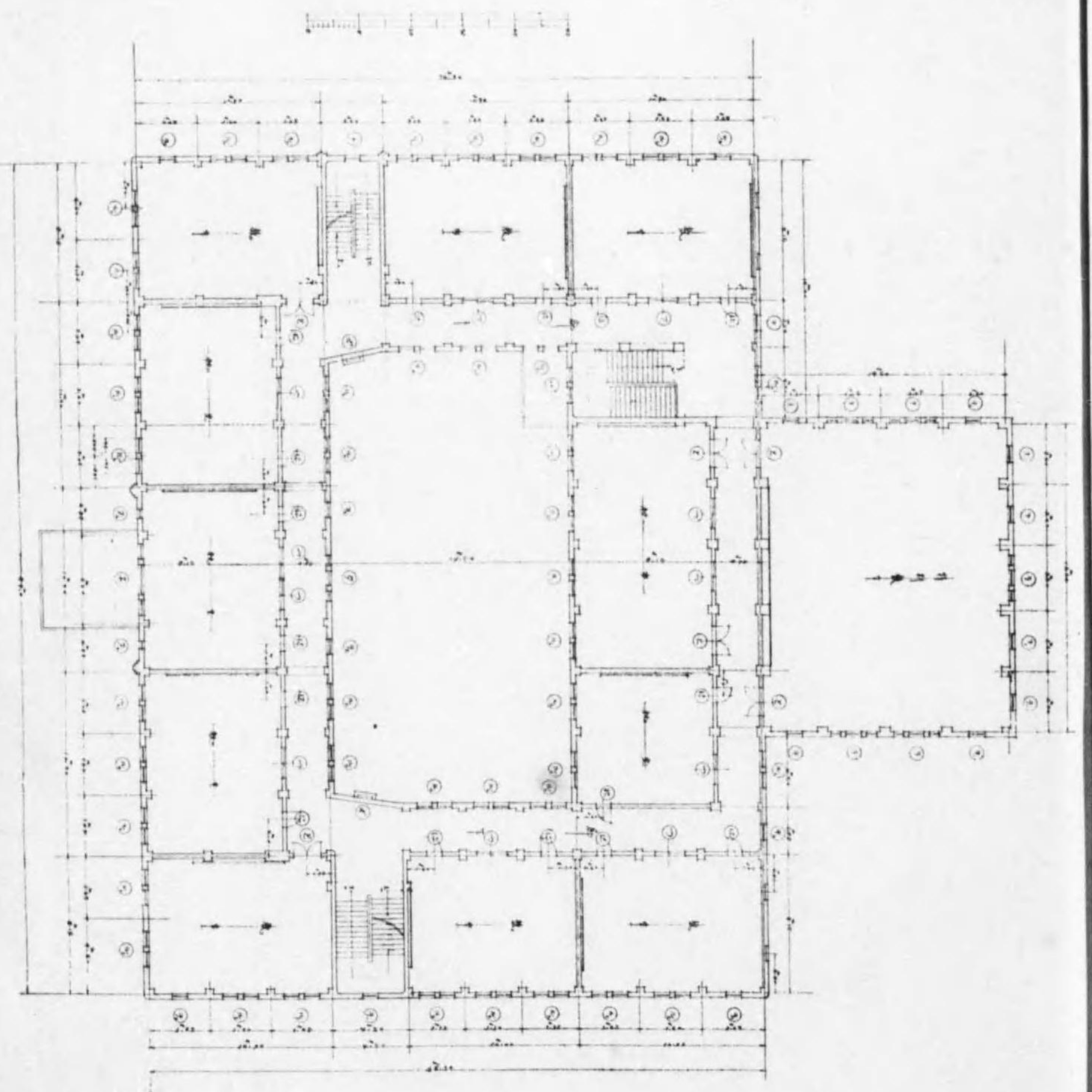


國立交通大學建築設計事務所 圖面 56



第六十二圖 東京商科大學商學專門部第一階及地階平面圖

第六十三圖 東京商科大学商學專門部第二階平面圖



大阪市立集英小學校新築回顧

本校の位置は東區今橋一丁目で裏に株式取引所在り表に大阪今橋「ホテル」と云つた建物の在る大阪經濟都市の中樞區域に屬する場所であり従つて校舎の配置も從來の小學校と一寸異つた構圖に成つて居ります。從來の學校は殆んど校舎が道路際に沿つて建てられたのであるが此小學校は同じ工字形でも前面道路に接せず表を低い塀圍ひななし樹木をあしらい門の正面には「フワウンテン」を設け其上部には金錫勳章の金錫を象るなど大分變つて居ります。新築當時は場所柄の關係でも有ませうがよく「ホテル」に間違ふ人が随分あつた位で門前より内部を望む時は一寸學校とは見へなかつた様であります。

それも今日では各所に立派な小學校が澤山出来たので最早古い範圍に屬するかも知れないでせう。

扱つて此學校建設當時の事を少し述べて見ますと當時はまだ學區統一でなく各學區に於て隨意に拵へたので有りますから此學校の關係學務委員は北は北濱通りより南は平野町迄の學區内の有數な紳商の主人達で中々建築眼も肥へて居る方々のみでありました随つて可なり長年月の間各方面に涉つて調査研究せられた。其結果が別圖の様な「プラン」になつて現はれたのであります。

一方學校當局に於ては此「プラン」によつて設備其他の設計上の注文をした譯ですが各受持教師をして各々該當の分擔區域を定めて之れが注文にあたらしめたのでありますから特に設備の方面に於ては各々の意を凝らし立案せられたものが多分に取入れられて居ります。随つて此點は特に見るべきものでないかと思ふのであります。

各自受持教員には市内及京都、神戸等既設の小學校、中學校等を見學し其長所を應用して新機軸を造り出す意氣と熱心さとして其衝に當られたのですから設計に於ても亦、現場に於ても中々の苦勞が多かつたのであります。

今其内容設備等の一端を申して見ますと、先づ普通教室に於ては洗面器を室毎に配置した事。兒童用自習黑板、揭示板及成績板等を周圍壁間全部に取付けた事。又「ベル」と「ブザー」を電氣時計に接続して放課時、授業時、用意時等を知らしめる装置を各室毎に設けた事。「スチーム」暖房設備もありますが之は今日の場合最早新しい問題ではありますまい。

次に特別教室に於ても各室共充實して居ると云ひ得るのであります。其設備に就て一々申上ぐる事は煩雜で有りますから各階別に其所在室名を挙げ兼て設備の一端を述べて見やうと思ひます。

地階には洗濯教室、料理教室、兒童食堂、兼小集會場等が有ります。何れも臭氣其他不潔空氣を「ダストシュート」に依り屋階の「ベンチレータールーム」に導きここに機械的の排氣装置を設けてあります。又、手工室も地階で有りますがここには機械室を取りまして機械鉋、機械丸鋸、同じく帶鋸、機物用の「シカル」盤、兼「グライ」盤、砥石、繻等、何れも直結電氣「モーター」に依り運轉出来る様にしてあります。尙陶器細工用電氣爐其他、他校に有るものは總て設備されて居るのであります。

尙地階には濯水室があつて兒童の水浴をなすの設備があり此外圖書室も兒童のみならず區内の青少年の爲め放課後に於ても開放出来る様になつて居ります。

一階には理科教室、醫務室、貳階には唱歌室、地歴室、三階には算術教室があり之れには大分變つた工風が施されて居ります。即ち電氣「メーター」瓦斯「メーター」水道「メーター」等の運行を明示するなど計數の觀念を涵養する目的の設備があります。

作法室及裁縫室も此階にありまして木造純日本式の輕快な部屋になつて居ります。其他當校には女學校を併置致して居りますから「ミシン」裁縫教室の設備もあつて何れも電力應用の各種設備をしてありますし講堂内にも「ダクトシュート」を通じて屋階の「ベンチレータールーム」に導き前記同様の換氣装置があり此外屋階には「サンルーム」を設置し身

體虛弱な兒童の爲に特種の衛生設備を施せり「プール」は壹階兩天體操場の内に有りました之は其當時萬國オリンピック協会の規定に依り幅七「メートル」長さ二〇「メートル」深さ床面より一・五「メートル」及二・五「メートル」床面に於ての大きさは幅八「メートル」長さ二二「メートル」で有りますが工事中に規則が變り長さに於て五「メートル」短くなつたのであり、すが最早如何とも出来なかつたのであります。

尙一寸述べたいのは「プール」を室内に設けた事はよいとして其周圍全部地階を設けた事でありませぬ。それも體操場の床面が人造石位で仕上るならば何んでもないのですが全部板張り床になつて居ることです之れは即ち「プール」に蓋をした場合周圍が異な材料仕上げでは兒童の活動に不愉快を感じしめると云ふ老婆心からであります、此爲めに「プール」の周圍全部床面に防水層を造りたる上木材の埋根太をなし特別装置の床張りをするの必要がありました、何となれば「プール」使用中は床面が水浸りとなるが爲で、萬一にも普通の床張になすならば直ちに腐蝕の感れがあるからであります、それがために此床は全部を「デッキ」張にしたのであります。

即ち板の張り方は全部を根太に捻子鉄止めとし鉄頭を沈め埋木をなし板傍及繼手には「メニュー」(床のコーキング)を打込みたる上「ベイント」を詰め固めたのであつて當時水洗ひの出来得る様になつて居ります。

次の困難は「プール」の蓋であつて何分床面に於て巾八「メートル」長さ二・二「メートル」であつて五拾坪以上もあり深さも浅き個所で一・五「メートル」深き所は二・五「メートル」として底面が「スロープ」になつて居る爲め束の製作の厄介なる事其上幾回となく取外し又組立て共に敏捷に出来得る事、並に蓋を架け渡した場合周圍の床と異なる事なく且つ目違ひ等は絶対禁物と云ふ條件であります。一體蓋などの類は如何に嚴重に施工するとも固定せしものと同一状態になすなれば實際不可能の事でありませぬがそれ云つて「ラス」に行かす又、其目的に叶へれば取外しに不便なるは申迄も有りませぬし、そこで色々研究を致しました。

して造つたのでありますから萬一御参考にでもなれば仕合せと存じ一寸組方を申上ります。

骨材は米松四寸角で半土台を縦に敷き送り三尺間に並べ束柱は土台に納建てになし束繋ぎは巾二寸厚一寸の檜を束柱のみに合次きになし三分「ポルト」占め、上下二段縦横に取付け梁間に板受けの桁を束納に差し込み金止めとす。

蓋板は厚一寸五分のもの四枚合せた巾が約二尺長さは二間で裏には檜二寸角で吹付棧を細かく捻子鉄にて取付け人夫が一名若くは二名にて運搬出来得る様になし一々桁に掛け金止めになすのであつて全木材には附號を明記してあり決して間違の出来ざる様になつて居つて素人にも容易に取外し出来得る様輕便になつて居ます故今日迄實際數回の作業を繰返して居り、すが何の故障もなく過ごして居りますから先づ成績良好であります。

終りに「ラス」張り下地天井と「クラック」云ふ問題は學、建築云ふ表題とは何等關係なき事柄でありますすが本工事施工に付研究して得たるものでありますから一寸申添へて置うと思ひます。

實は過去數十年來常に耳にして居ながら研究する機會を得なかつた爲疑問を抱きながら過して居つたのであります。などと云ふと實に大問題の様ですが極めてつまらぬ事ですから前以て斷つて置きます、或は既に研究済の方も有るかと思ひますが思つたままを述べますと、從來貳重天井とする場合「ラス」下地天井の漆喰塗に對し屢々耳にした問題は「クラック」が出来る事如何に施工するも此「クラック」は免がれない一種の因果關係の様に見做されて居つたのでありますから何れの建物を見ても天井に龜裂の有る場合は、あれは「ラス」地だから龜裂が伴ふのだと云つた工合でありまして寧ろ木摺天井の方が賞讃されたのであります。すが其後鐵筋「コンクリート」造の場合「スラブ」天井が多くなり貳重天井にする傾きが余程減じた様でありますすが集英校の如きは全部貳重天井となつて居るので此天井の「クラック」なるものが室内の出来上りの良否を左右するこゝが大變大きいのでありますから必然研究

もさせられた譯ですが結局種々考案工風の上施工した結果「ラス」地天井の場合でも施工の際に注意さへすれば過去の通弊を除き得る事が出来ること云ふ確信を得たのであります。

そこで御參考迄に施工方法に就て申上る事とします。

材料の種類

本工事に使用した材料は野縁及野縁受け、同野縁釣木共普通の通り檜又は松材の二寸角で、釣木受けは米松四寸角であり「ラス」は「ダイヤモンド」、リブラスの二十六番もの「リブ」高約八長さは七尺、八尺、十尺、十二尺の四種であります、又漆喰には大連「ドロマイト」を使用しました。

天井野縁の取付け方

次に工程を申しますと釣木受けを約壹間間位に「スラブ」へ「ボルト」括めに取付野縁の間隔を眞々壹尺二寸間に配し野縁受けは野縁上に三尺間に配列して野縁へ大釘打ちに取付け釣木は野縁受け及釣木受けにダキ付けにし三尺間位に大釘打ちに取付ける事は普通の工事と少しも變らないのであつて、たゞ「ラス」の縦繼目に當る箇所へ野縁を二丁併列せしめたのであります、之は野縁でなく割物を使用しても宜敷いのであります、之れで下地は出来たのです。

「ラス」の張方

「ラス」は今日迄は總て「リブ」のある方を塗面にして居つたのでありますすが爲めに漆喰を塗り付く場合「リブ」の成だけは肉薄となり其點が重に龜裂の入る個所であつたのですから本工事では「ラス」を總て裏返しにしたのであります、然る時は「リブ」筋は却つて溝となり漆喰の喰い入る場所となつて非常に都合宜敷いのであります。

今特に注意せねばならぬ點は幅及長さに對する繼手の仕末です。之は横の繼手を必ず「リブ」の溝に喰合さす事とし野縁當りに添ひ「リブ」

毎に「クリンプ」又は頭の大きい釘打ちになし尙野縁合の繼目の箇所を中一ヶ所以上宛鉋金(二十番もの)で結び付ける事でありませぬ。之が後日の欠點を誘引する原因となるのでありますから特に綿密に施工する事を要します。

尙又長さの繼手は前記の野縁二本の個所にて之も又「リブ」は必ず溝に嵌合せる事とし重ねは野縁二本分即ち約四寸とし之を「リブ」母に前記の「クリンプ」又は釘を以て打つのであつて決して中央などで一ヶ所打としては絶対にダメであります、重ね掛けの表面にて必ず兩端に一本つづ下へも上へも各端より二三分から五分迄の點に打つ事でありませぬので塗下地を作るのであります。

塗方

塗方でありませぬが普通「ラス」地の場合は大抵「セメントモルタル」で第一回を塗るのでありますすが之れは生漆喰の場合には止むを得ませぬが其他の場合「ラス」の腐蝕を誘引しない物であれば必ず同質の材料を以て中途迄施工する必要があります、なんとすれば天井の剝落等の場合には第一回木摺塗せし分は決して落ちる物でなく何時でも第一回塗と第二回目の肌より肌離れをするものでありますから余程注意をしないと思ふ失敗をするものであります。

そこで集英校の分は如何にせしかと云ふと大連「ドロマイト」の性質に付研究して見ますと決して鐵質を侵さない事時日の経過するに従ひ硬化する事などが確實になりましたので思ひ切つて普通第一回塗の「セメントモルタル」を廢し第一回塗より「ドロマイト」の貳號品で中途迄仕上げる事に致しましたのであります。

以上の工程を経まして合計三十六室及廊下共延壹千四百余坪の面積を仕上げました、結果が非常に好成绩でありましたので今後「ラス」天井を設計される方は決して「ラス」を「ポルト」釣などならぬい事之は鐵自身の伸縮の爲め必ず「クラック」が伴ふからす何分塗厚の薄きものを龜裂なき様にする事は御互に厄介な事でありませぬから此

機會に右の次第を御報告する事にしたのであります。尙此外構造概要に就て申上度いのでありますが大要だけに止め他は略する事に致します。

敷地面積 八百六拾六坪五合三勺
建築面積 四百六拾坪六合六勺
延面積 壹千九百〇七坪三合七勺
階 高 地階拾貳尺一寸及十四尺一寸
壹階拾五尺及十五尺七寸
貳階拾五尺及十三尺

天井高 參階拾四尺六寸及貳十壹尺一寸五分
地階拾一尺三寸及拾三尺三寸五分
壹階拾二尺三寸及十四尺九寸五分
貳階拾貳尺三寸及十二尺二寸五分
參階拾貳尺及拾七尺貳寸

軒 高 道路地盤よりパラベット上迄七拾貳尺六寸五分同避雷針頂點迄八拾貳尺
パラベット上迄七拾貳尺六寸五分同避雷針頂點迄八拾貳尺

工事竣工 昭和貳年十月二日
工事設計監督 宗建築事務所
工事請負者 株式會社大林組
工事總額 五拾六萬八千三百圓也

大阪市立久實小學校に就て

大正十二年度關東大震災のあつた年で其當時之だけ全部に亘つて纏つた小學校はなかつたのです、又設備の點に於ても恐らく先鞭を付けて居つたものであります。

又講堂に至つては大阪市内中隨一と云ても可いからな位で寧ろ學校ではなく立派な講演場として賞揚されたのであつて音響防止設備

造を使用し總て白漆喰塗の上水性「ベイント」塗仕上、講堂内は砂壁仕上雨天體操場及唱歌室は色「ベイント」塗仕上内部は大理石張りとする。床面仕上げは正面玄関、トイレ敷生徒昇降口人造石研出塗一階廊下は「アスファルト」塗、雨天體操場は木煉瓦敷とし其他各階各室床及廊下床共米松機械製床板張り仕上とする。

屋上體操場西校舍屋上に鐵骨日除上家を設置し床には防水層を造りたる上「コンクリート」押打「タイル」敷とし其他の屋根地は「スラブ」上に勾配打をなし防水層を造り小豆砂利撒布仕上とする。

御眞影奉安室は鐵筋「コンクリート」造の周圍二重壁になし前面には金庫式鐵扉を裝置し尙御眞影は内部の金庫内に奉安するものとす。作法室、表校舍四階の一部にして純日本式とす。天井は各階共「コンクリート」面に漆喰塗仕上にして上層階のみは夏期の暑熱を避ける爲二重天井となせり、尙講堂天井は音響調制の爲格組天井とし壁紙張り格は「ベイント」塗仕上とす、側窓及入口は總て鐵製器具を使用し内部間仕切出入口及窓は檜製建具にして何れも「オイル・ステイン」塗の上「パニッシュ」塗仕上とする。

設備概要

昇降機ニ基米國「オーチス」エレベーター「會社製にして地階より屋階に通ぜしむ。
衛生工事、各階に水洗式大小便所を設置し排泄物は西原式淨化裝置を用ひ自動排水唧筒に依り公設下水溝に排出す。
暖房設備は蒸氣暖房重力式にして各室に放熱器を配置せり。
防火設備各階及屋上運動場並に校庭等に消火栓を配置す。
電氣設備配線工事は總て隠蔽式とし「コンデュクトチューブ」に挿入し各室に導き照明は半間照明とし講堂には「シャンデリア」等を付す。
動力に就ては地階割烹室に電氣爐同洗濯室及三階裁縫室等に電氣「

に就ても一點の非難の餘地を與へなかつた位であります。勿論各教室並に特別教室共内部設備に就ては至れり盡せりてまことに充實した物の一つに數へ上げられた建物であつたが進歩發達した今日では最早老朽の部類に屬するかも知れない。其當時之だけの工事を一期になし遂げた學區はなかつたのであり工費に於ても六十五萬餘圓と云ふ大金を一小學校に投じたと云ふのであるから他は推して知るべしであります。次に工事概要を述べて見ます。

敷地面積 一千〇十五坪二合七勺
建築面積 總建築面積四百四十四坪八合五勺
延面積 總延面積二千〇九十八坪二合九勺
建築物高 正面昇降口前地盤より塔家軒パラベット上迄六十五尺七寸五分同避雷針頂部迄八十一尺二寸五分
各階天井高 地階九尺九寸、第一階十二尺二寸八分、第二階十二尺、第三階十二尺、第四階十尺七寸二分、雨天體操場十四尺
講堂二十一尺五寸中二階付とす。

構造

鐵筋「コンクリート」造一部鐵骨鐵筋コンクリート造とす基礎深さは地下平均十五尺六寸堀鑿し砂利層に達せしめ硬質割栗石地形とし鐵筋コンクリート層を構成し壁體は鐵筋コンクリート造其他床組屋根地共同上にして構堂は二階以上に於て側壁體及屋根共鐵骨鐵筋「コンクリート」造とす尙以上に使用せし「セメント」は淺野「セメント」なり。

内外壁地仕上げ

外周及内庭共疑似花崗石塗とし正面昇降口廻りは北木産花崗石造にして外部三方道路に面する部分は「エリヤ」を有し人除欄を廻らし東側には樹木の植込みを設けたり。内部仕上は各間仕切壁は鐵筋「コンクリート」造を主とし小部分に木

「アイロン」を裝置し一階手工室に動力用の「モーター」二階理科室に實用電氣設備をなす。

瓦斯設備は地階割烹室の竈及洗濯室、一階小使室、湯沸竈、生徒湯呑場等に設備し尙各階洗面場の一部に湯沸用七輪を配置せり。上水道工事は地階割烹室、洗濯室、一階教員室、醫務室、手工室、理科室、二三四階各洗面所及視洗場、流し及各階便所、同手洗所、運動場の洗面場、足洗場等に設備をなし導水せり。塵芥落場は鐵製にして各階廊下に於て生徒掃除の際の塵芥を地階の塵溜めに落し込む裝置とす。

入排氣孔は各室外壁窓下及天井際間仕切上部に適當の大きさを有する入排氣孔を設置す、工事竣工せしは大正十二年十一月廿五日なり。設計監督 宗建築事務所
工事請負者 株式會社大林組
工事費總額 六十五萬圓也

東京市立千代田尋常小學校設計梗概

設計梗概

名稱	東京市立千代田尋常小學校	
位置	東京市日本橋區矢ノ倉町十五番地	
規模	校地 六三坪三〇	校舎 四三、三七
延坪	一、三〇、八六	圖書館延坪 八九、七坪を含む
北側道路中心より	地盤面より	圖書館一階
一三、〇五米	一三、〇五米	四、三六坪を含む
	一、三〇、八六	

設備	名稱	構造	仕上	数量
校舎外部	門	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上鐵製扉付		二ヶ所
	道路側塀	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上		高1.8
	敷地周圍排水路	割栗地形の上混凝土造凹字形溝		
	右	土管架掛徑三寸接手モルタル塗り		
	右	同徑六寸同上		
	溜	前記同斷		
	砂利敷き	厚約三寸、一寸二分目より一寸目迄小砂利敷込充分固めの上厚二寸一尺角のもの砂にて敷き詰め縁石		
	セメント			
	ロツク			
	避雷針	鐵製青銅色ベンキ塗り 上部見本品に依る		一ヶ所
校舎内部	上げ下げ	杉又は樺六分以上木造		一ヶ所
	暗幕	ネル心入黒疊み上げ式上及兩側朱子二枚捨鐵筋混凝土造		二ヶ所
	研	右同		二ヶ所
	ボルト	杉又は樺六分以上		一ヶ所
	準備室	鐵筋混凝土造		一ヶ所
	唱歌室	井右同		一ヶ所
	湯沸室	瓦斯釜右同		一ヶ所
	流	右同		一ヶ所
	ダムウエー	右同		一ヶ所
	廊下及階段室	鐵筋混凝土造		一ヶ所
附帶設備	屋外運動場	砂利敷き固めの土ターマガダム鋪裝		一ヶ所
	出入口外部	割栗地形の上混凝土モルタル仕上		
	周圍排水渠	割栗地形の上混凝土下水全部鐵製蓋設け其他混凝土製蓋土管架掛徑六寸接手モルタル巻き込み		
	溜	割栗地形周圍煉瓦積内部モルタル塗縁石付鐵蓋取設け		
	足洗場	割栗地形混凝土打内部防水モルタル塗り其他人造石洗出し		
	校舎	縁石は富國石		
	號令臺	割栗地形混凝土造見付仕上人造石洗出床堅燒タイル敷き椽共		
	室	漆喰塗壁紙張タンギール	白色	米松
	附帶設備	庄板張油拭		

設備	名稱	構造	仕上	数量
校舎外部	門	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上鐵製扉付		二ヶ所
	道路側塀	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上		高1.8
	敷地周圍排水路	割栗地形の上混凝土造凹字形溝		
	右	土管架掛徑三寸接手モルタル塗り		
	右	同徑六寸同上		
	溜	前記同斷		
	砂利敷き	厚約三寸、一寸二分目より一寸目迄小砂利敷込充分固めの上厚二寸一尺角のもの砂にて敷き詰め縁石		
	セメント			
	ロツク			
	避雷針	鐵製青銅色ベンキ塗り 上部見本品に依る		一ヶ所
校舎内部	上げ下げ	杉又は樺六分以上木造		一ヶ所
	暗幕	ネル心入黒疊み上げ式上及兩側朱子二枚捨鐵筋混凝土造		二ヶ所
	研	右同		二ヶ所
	ボルト	杉又は樺六分以上		一ヶ所
	準備室	鐵筋混凝土造		一ヶ所
	唱歌室	井右同		一ヶ所
	湯沸室	瓦斯釜右同		一ヶ所
	流	右同		一ヶ所
	ダムウエー	右同		一ヶ所
	廊下及階段室	鐵筋混凝土造		一ヶ所
附帶設備	屋外運動場	砂利敷き固めの土ターマガダム鋪裝		一ヶ所
	出入口外部	割栗地形の上混凝土モルタル仕上		
	周圍排水渠	割栗地形の上混凝土下水全部鐵製蓋設け其他混凝土製蓋土管架掛徑六寸接手モルタル巻き込み		
	溜	割栗地形周圍煉瓦積内部モルタル塗縁石付鐵蓋取設け		
	足洗場	割栗地形混凝土打内部防水モルタル塗り其他人造石洗出し		
	校舎	縁石は富國石		
	號令臺	割栗地形混凝土造見付仕上人造石洗出床堅燒タイル敷き椽共		
	室	漆喰塗壁紙張タンギール	白色	米松
	附帶設備	庄板張油拭		

設備	名稱	構造	仕上	数量	摘要
校舎外部	門	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上鐵製扉付		二ヶ所	
	道路側塀	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上		高1.8	
	敷地周圍排水路	割栗地形の上混凝土造凹字形溝			
	右	土管架掛徑三寸接手モルタル塗り			
	右	同徑六寸同上			
	溜	前記同斷			
	砂利敷き	厚約三寸、一寸二分目より一寸目迄小砂利敷込充分固めの上厚二寸一尺角のもの砂にて敷き詰め縁石			
	セメント				
	ロツク				
	避雷針	鐵製青銅色ベンキ塗り 上部見本品に依る		一ヶ所	
校舎内部	上げ下げ	杉又は樺六分以上木造		一ヶ所	
	暗幕	ネル心入黒疊み上げ式上及兩側朱子二枚捨鐵筋混凝土造		二ヶ所	
	研	右同		二ヶ所	
	ボルト	杉又は樺六分以上		一ヶ所	
	準備室	鐵筋混凝土造		一ヶ所	
	唱歌室	井右同		一ヶ所	
	湯沸室	瓦斯釜右同		一ヶ所	
	流	右同		一ヶ所	
	ダムウエー	右同		一ヶ所	
	廊下及階段室	鐵筋混凝土造		一ヶ所	
附帶設備	屋外運動場	砂利敷き固めの土ターマガダム鋪裝		一ヶ所	
	出入口外部	割栗地形の上混凝土モルタル仕上			
	周圍排水渠	割栗地形の上混凝土下水全部鐵製蓋設け其他混凝土製蓋土管架掛徑六寸接手モルタル巻き込み			
	溜	割栗地形周圍煉瓦積内部モルタル塗縁石付鐵蓋取設け			
	足洗場	割栗地形混凝土打内部防水モルタル塗り其他人造石洗出し			
	校舎	縁石は富國石			
	號令臺	割栗地形混凝土造見付仕上人造石洗出床堅燒タイル敷き椽共			
	室	漆喰塗壁紙張タンギール	白色	米松	
	附帶設備	庄板張油拭			

設備	名稱	構造	仕上	数量	摘要
校舎外部	門	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上鐵製扉付		二ヶ所	
	道路側塀	割栗地形鐵筋混凝土造白色砂入モルタル仕上		高1.8	
	敷地周圍排水路	割栗地形の上混凝土造凹字形溝			
	右	土管架掛徑三寸接手モルタル塗り			
	右	同徑六寸同上			
	溜	前記同斷			
	砂利敷き	厚約三寸、一寸二分目より一寸目迄小砂利敷込充分固めの上厚二寸一尺角のもの砂にて敷き詰め縁石			
	セメント				
	ロツク				
	避雷針	鐵製青銅色ベンキ塗り 上部見本品に依る		一ヶ所	
校舎内部	上げ下げ	杉又は樺六分以上木造		一ヶ所	
	暗幕	ネル心入黒疊み上げ式上及兩側朱子二枚捨鐵筋混凝土造		二ヶ所	
	研	右同		二ヶ所	
	ボルト	杉又は樺六分以上		一ヶ所	
	準備室	鐵筋混凝土造		一ヶ所	
	唱歌室	井右同		一ヶ所	
	湯沸室	瓦斯釜右同		一ヶ所	
	流	右同		一ヶ所	
	ダムウエー	右同		一ヶ所	
	廊下及階段室	鐵筋混凝土造		一ヶ所	
附帶設備	屋外運動場	砂利敷き固めの土ターマガダム鋪裝		一ヶ所	
	出入口外部	割栗地形の上混凝土モルタル仕上			
	周圍排水渠	割栗地形の上混凝土下水全部鐵製蓋設け其他混凝土製蓋土管架掛徑六寸接手モルタル巻き込み			
	溜	割栗地形周圍煉瓦積内部モルタル塗縁石付鐵蓋取設け			
	足洗場	割栗地形混凝土打内部防水モルタル塗り其他人造石洗出し			
	校舎	縁石は富國石			
	號令臺	割栗地形混凝土造見付仕上人造石洗出床堅燒タイル敷き椽共			
	室	漆喰塗壁紙張タンギール	白色	米松	
	附帶設備	庄板張油拭			

一階 四百二十一坪一合二勺五才
 二階 三百九十七坪一合二勺五才
 三階 三百九十七坪一合二勺五才
 四階 三百九十七坪一合二勺五才
 塔屋 十二坪五合
 雨團體操場 百二十坪
 從業職工延人員 五萬三千人
 建築費 約四十三萬五千八百圓
 着手及竣工期 起工 大正十五年七月十六日
 竣工 昭和二年八月十七日
 近世ゴシック
 建物新地盤より扶欄天迄五十九尺塔屋軒
 天マデ七十六尺二寸五分

構造大要

栗石搦き固めの上鐵筋「コンクリート」地形とす
 鐵筋「コンクリート」構造とす
 主體は鐵筋「コンクリート」とし天井は音響保溫等の關係上「ボード」張りとし各室床面は地階及特別室の一部を除く外は全部床板張りとし廊下及階段は「コンベス」塗り正面玄関入口は「タイル」及「モザイクタイル」張り其他「アスファルト」塗りとし講堂は鐵骨小屋組屋根鐵筋「コンクリート」打表面防水装置の上砂撒及小砂利敷とす
 鐵筋「コンクリート」とし總て出入隅は丸面取り外部は「リシン」及「オレンジモルタル」塗り仕上とし内部廊下は白漆喰塗り各室内部は淡色漆喰塗とし講堂はコルク吹き付の上色ベンキ塗り仕上とし日本作法室は砂壁仕上とす

窓及入口 各窓障子は何れも鋼鐵製「サッシュ」を用ひ外部出入口は「スチールドア」を用ひ生徒昇降口は「スチールシャッター」を用ふ

設備大要

給水設備 市設水道より分枝せる給水管により地下室タンクに貯水し塔屋に設置の「タンク」へ「ポンプ」により送水の上各洗面所、便所、化粧室、湯沸場、浴室汽罐室、割烹室、洗濯場其他に給水す
 各階廊下に二ヶ所宛(地下室は一ヶ所)合計九ヶ所設置す
 各便所は總て洗滌式となし屋外に設けたる淨化槽に導き淨水となし排泄せしむ
 電燈は九十五燈配線總て「コンヂットチューブ」を用ひ隠蔽式とし半間接照明又は直接照明等室に應じ其意匠を異にし外に動力線並に特別教室には「コンセントプラグ」を設備す
 阿部式にして親時計は校長室に置き主要各室に子時計十三個を裝置す
 押釦を主要なる室に設け屋上に「モーターサイレン」を設置す
 各主要なる室に瓦斯口及瓦斯器具設置し西洋作法室に瓦斯暖爐を設置す
 塔屋及煙突上部に設置し末端は井底に埋め放電する裝置とす
 低壓蒸氣汽罐二個を設け各室放熱器に配管す
 各階廊下に一ヶ所宛設置し各階の掃除により集積せる塵埃を之により排出せしむ
 人造石研出の割烹臺を取設け給水瓦斯の設備をな

洗濯室設備 染色洗滌臺仕上臺を取設け給水瓦斯及電氣の設置をなす
 理化室設備 木製實驗臺取設け給水瓦斯電氣及動力の設備をなす
 博物室設備 木製實驗臺取設け給水瓦斯電氣の設備をなす
 地歴室設備 幻燈用「コンセントプラグ」の設備をなす
 講堂設備 講堂大さは梁間十間二分五厘桁行十五間五分天井高二十一尺六寸にして正面「ステージ」は音樂合唱の爲め階段式となし二百人以上の合唱を可能ならしめ天井は「セロテックス」を張り壁は吹付「コルクベンキ」塗をなし音の反響を防止せり
 内部總て木造とし玄關四疊和室八疊茶室八疊二間と大廣間三十六疊敷とし茶室には水屋二ヶ所取設け瓦斯給水の設備をなす
 請負人 株式會社中島組

大阪美術學校御殿山校舍

大阪美術學校は、五年前、矢野橋村氏、齋藤里氏、福岡青嵐氏が中心となり、大阪市會議長白川朋吉氏等を理事として設立されたもので、昨昭和四年五月に初年度の卒業生を出した。すでに日本畫、洋畫共帝展、二科其他公設展覽會に入選を重ねて居るものも數名を數へる。初め阿部野橋近傍に百五十名の生徒を收容してゐたが、昨年、新校舍竣工と共に、京阪、御殿山に移り現に三百名の生徒がある。
 在 大阪府下、北河内郡、牧野村、渚
 御殿山上(往昔、渚の宮の舊跡)

風景

美しい淀川に向つた數十丈の崖の上には赤松の林が幅一丁に涉つて防風林を自然に形成する。
 東は淀川の上流を一望し、遠く、叡山の灯が見られる、西の下流をのぞめば浪華の平野が遙かに廣がつてゐる。

京阪間隨一の景勝の地。
 構内の松林に入ると、暑中でも夏を知らぬ。風景畫の研究材料も豊富である。

本校舎坪數 五百余坪
 構造 木骨鐵網張モルタル塗
 白壁仕上げ。
 日本インターナショナル。
 五萬五千圓。
 伊藤正文氏
 岡部柿太郎氏

東京商科大學商學專門部震災復舊新營工事概要

一、位 置 東京府北多摩郡谷保村字國立
 東京商科大學商學專門部構内
 昭和三年十月十日起工
 昭和四年十一月四日竣工
 一、坪數及構造
 名 稱 建 坪 延 坪
 教室事務室 五一二坪四八一 一〇六六坪七八七
 及特別教室 七坪〇〇〇 七坪〇〇〇
 渡廊下

合 計 五一九坪四八一 一〇七三坪七八七

教室事務室 〔鐵筋〕コンクリート造二階建
及特別教室 〔一部鐵骨鐵筋〕コンクリート造

渡 廊 下 木造平家建

一、外部仕上

腰廻り及窓出入口の各額縁及車寄「アーチ」等は日之出石張り、胴蛇腹及蛇腹等は中村「グラニット」凝石張付けにして、内庭側壁面は火山灰入り「モルタル」塗り粗面仕上げ、其他壁面は凡て「スクラッチタイル」張付けとす。

一、内部仕上

床 主事室應接室等は周圍檜板「ボーダー」付き「リノリウム」敷き其他一般教室は檜板張りにして、廊下は眞鍮目地付き人造石磨出し機仕上げとす。

腰 主事室等主なる室は腰高羽目板張り一般教室は「タンギール」材使用の羽目板張りにして、廊下及階段室は「ラフコート」塗仕上とす。

壁 主事室等は布張り仕上げ、應接室は壁紙張りにして、其他一般教室は「アサノマイト」着色塗とす。

天井 主事室、應接室等は格天井にして、一般教室は壁同様「アサノマイト」塗仕上とす。

其他 玄關壁及廊下巾木等は田中「タイリング」の磨出し凝石張付けにして、木部化粧材は玄關廣間廻りの檜材を除く其他、凡て「タンギール」材を使用せり。

一、鑿込工事

深度は地盤面以下二百尺、「パイプ」の太さ直径八吋、揚水量は一晝夜に付き三千石餘、自然水位は二十三尺、揚水水位は四十二尺。

一、深井戸揚水並主給水装置工事

深井戸揚水用「ポンプ」は米國「バイロン、チャックファンポンプ」製造會社製深井戸「ポンプ」JOPH型にして、電動機(三相交流五〇「

サイクル)「二〇〇」ボルト「E」籠型、回轉數毎分三〇〇〇回以上五馬力)直結堅軸「タービン」式なり、揚水は一旦之を水槽内に導き、給水用電動機直結「タービンポンプ」排水用電動機直結渦巻「ポンプ」及消火用「ガソリン、エンジン」直結「タービン、ポンプ」等を以て夫々に給排水す。

一、室内給水排水衛生器具装置工事
主給水管を廊下床下暗渠に配管し、之より分岐配管して各器具に至らしむるものにして、排水は右暗渠内等を経て屋外に至り、建物側溝等に配管排水するものとす。

一、蒸氣暖房装置工事
眞空式低壓蒸氣暖房装置にして、地階汽罐室に設けらるる鑄鐵製「セクシヨナル、ボイラー」貳基より生ずる常用壓力毎平方糎〇・三五

疋(約五封度)内外の蒸氣を以て、前記暗渠等に配管せる蒸氣管により放熱器に給氣し、各室を約攝氏十七八度内外に暖め、凝結水は汽罐室内「レシーピングタンク」に入り「ポンプ」により自動的に前記「ボイラー」に復歸せしむるものとす。

一、暖房用煙突煙道工事

鐵筋「コンクリート」造、高さ地盤線上二十九米、上部口径一・〇六米避雷装置付きとす。

一、室内電氣設備配管配線工事
電灯「コンセント」、電動機、電氣時計、時報電鈴、警報機、電鈴、電話、避雷針等用配管配線工事にして、幹線を前記暗渠内に配線し之より各々に分岐配線せり。

一、設計及工事監督 文部省建築課
一、請負者 株式會社飛鳥組

- 一、設計及工事監督 文部省建築課
- 一、請負者 株式會社飛鳥組

昭和五年三月九日印刷
昭和五年三月十五日發行

定 價 壹 圓

學校建築圖集

發行・編輯 大阪市港區音羽町二丁目十四番地 取 陽
印刷所 大阪市東區内淡路町一丁目七番地 大 阪 活 版 所

發行所

大阪市西區土佐堀通
一丁目大同生命ビル

社 團 法 人

日 本 建 築 協 會
電話土佐堀四二六五番
振替大阪三九九七五番

大 賣 捌 所

大阪市西區京町堀
羽子板橋北

柳 々 堂 書 店
電話土佐堀二四四〇番
振替大阪二二〇八四番

大 賣 捌 所

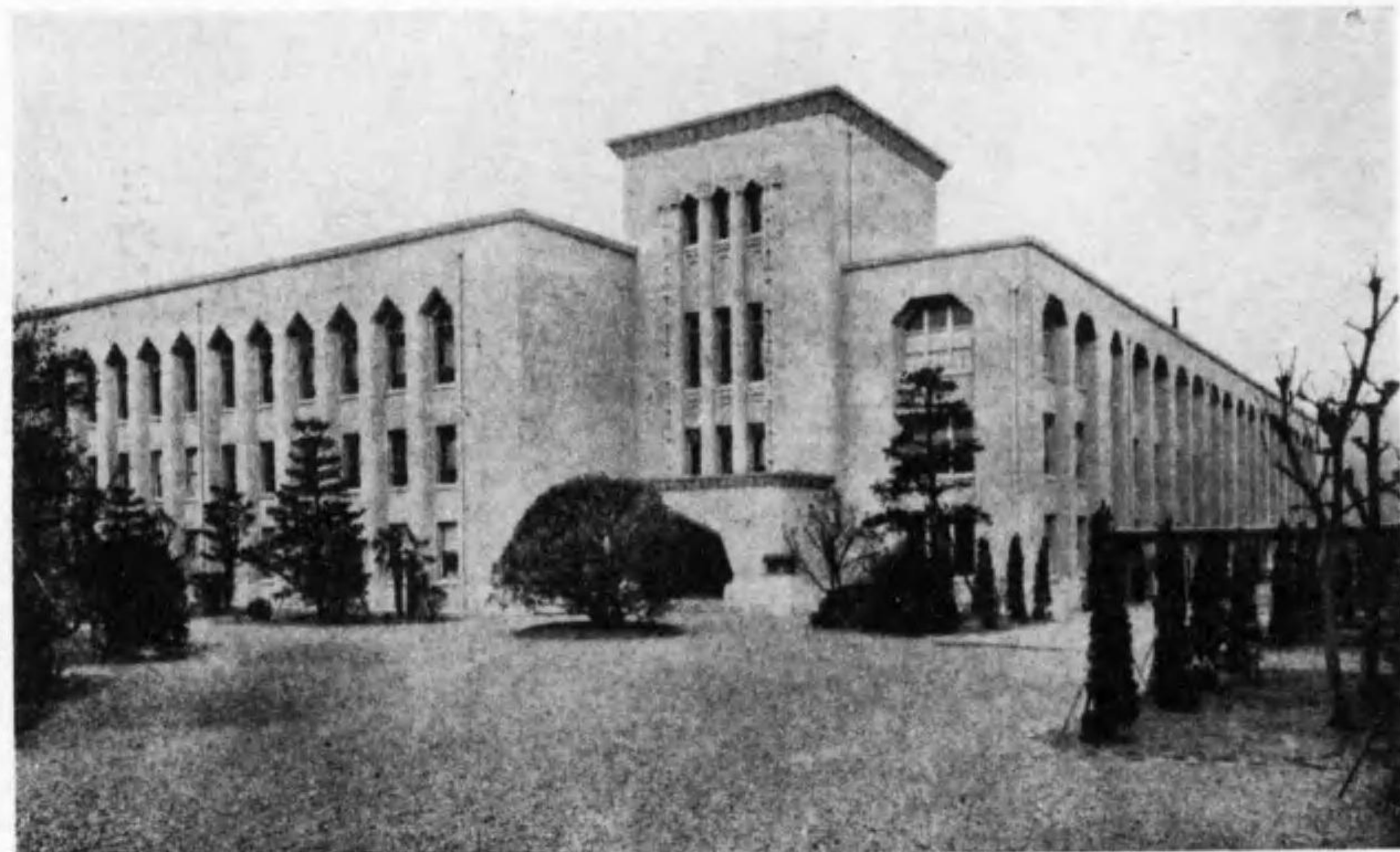
大阪市東區博愛町
四丁目

丸 善 株 式 會 社 大 阪 支 店
本支店及出張所(東京、日本橋、神田、三田、九ノ内、神戸、京都、名古屋、横濱、福岡、仙臺、札幌)

製品種目

(スチールサッシ、シャッター、ファイヤーカーテン、ドア、パーテーション、其他鋼板製品一式)

三建工業 製造



三機工業 販賣

(寫眞は三建式スチールサッシ御採用ノ京都第一中學校)

最近御採用先(關西方面ノミ)

- 一、京都二中
- 一、日本銀行大阪支店
- 一、卅四銀行支店(四ヶ店)
- 一、山口銀行本町支店
- 一、大阪農工銀行
- 一、岐阜十六銀行
- 一、安田貯蓄銀行大阪支店
- 一、大阪造幣局
- 一、第四師團司令部
- 一、東成區役所
- 一、大阪市電氣局
- 一、名古屋公會堂
- 一、龜岡警察署
- 一、大阪中央電氣俱樂部
- 一、鐘紡岡山及澁川工場
- 一、京都支那文化研究所
- 一、大日本麥酒吹田工場
- 一、三井物産玉工場
- 一、阪本病院
- 其他省略

三建工業株式會社

一手販賣代理店

三機工業株式會社

本店 東京市麴町區内幸町一ノ三(大阪ビル内)
電話銀座(57)5330-5335(6)2831-2833 3)

支店 大阪市東區備後町二ノ二(野村ビル内)
電話本町1166・1525

取扱店 各地三井物産株式會社支店機械部

東京支店 東京市麴町區九ノ内一丁目二番地
電話九ノ内(23)自長三四二番 至三四二七番

横濱支店 横濱市中區相生町三丁目五十三番地
電話長者町(3) 長三三三七番 三三三八番

名古屋支店 名古屋市中區新柳町六丁目三番地
電話本局(2) 長一〇二五番 一八五八番

福岡支店 福岡市中區島町五十九番地
電話福岡 長一四一九番 長四七六三番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

電話東(04)自長八六〇番(自五四〇四番)自六四七一番
(至長八六五番)至長五四〇九番(至六四七三番)

京都營業所 京都市中區區堺町通御池下ル九木材木町六百七十五番地
電話本局(2) 三三六番 三三七番

神戸營業所 神戸市海岸通十一番
電話三宮(3) 八二九番 三一〇七番

工作所大阪工場 大阪市港區千島町六番地
電話櫻川(64)自長七六〇番 二六九七番
 至長七六二番

工作所東京工場 東京市深川區鹽崎町一號埋立地
電話本所(73) 長一二五六番 二一六七番

東京支店 東京市丸ノ内帝國生命館六階
電話丸ノ内(代表番號) 長一二五〇番 一二五七番

神戸支店 神戸市熊内町六丁目
電話葺合 八〇六番

名古屋支店 名古屋市西區菅原町二丁目
電話市局 長一八四二番

大阪市堂島ビル三階

會合 社名 **竹中工務店**

電話北(長)三八三〇番

横濱出張所 横濱市花咲町七丁目
電話長者町(3) 一八八九番

京都出張所 京都市坊城通り三條下ル
電南 二二四七番

大阪製作所 大阪市港區南境川町
電話西(長) 二〇二八番

東京製作所 東京市深川區西平井町
電話本所(73) 五七四一番

昭和五年度特輯號發行豫定

七月號 木造建築の將來	六月號 郷土建築	五月號 住宅の様式・裝飾・設備	四月號 建築と風致	三月號 ホテルと俱樂部 <small>(既本あり)</small>	二月號 學校建築 <small>(既本あり)</small>
一月號 昭和五年建築大觀	十二月號 建築工事と其材料	十一月號 銀行と事務所建築	十月號 工場と倉庫	九月號 耐震耐火建築の普及	八月號 明日の建築

月刊
雜誌
建築と社會

每月一回一日發行
定價五拾錢
郵稅貳錢

社團人 **日本建築協會**

大阪市西區土佐堀
大同ビル725
電話土佐堀4265
振替口座大阪39975

會 合
社 資

清水組大阪支店

本 店

東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地
丸ノ内ビルディング六階 六四四區

支 店

名古屋、京都、博多、京城

出張所

横濱、新潟、金澤、神戸
高松、廣島、大連、

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話土佐堀(六六六・四九六〇七)
九一三・四九六〇七

(設計) 衛生工業設備 (施工)
 附屬器具直輸入製作販賣

株式會社 須賀商會

宮内省御用達
 明治三十四年創業
 大阪市北區堂島濱通四丁目
 電話福島(45)1157・1158・1159・1457



支店出張所

東京市京橋區銀座八丁目
 銀座 { 243
 { 1851
 名古屋市西區西柳町
 西 784
 京都市烏丸二條上ル
 上 1969
 兵庫縣武庫郡住吉驛前
 御影 858

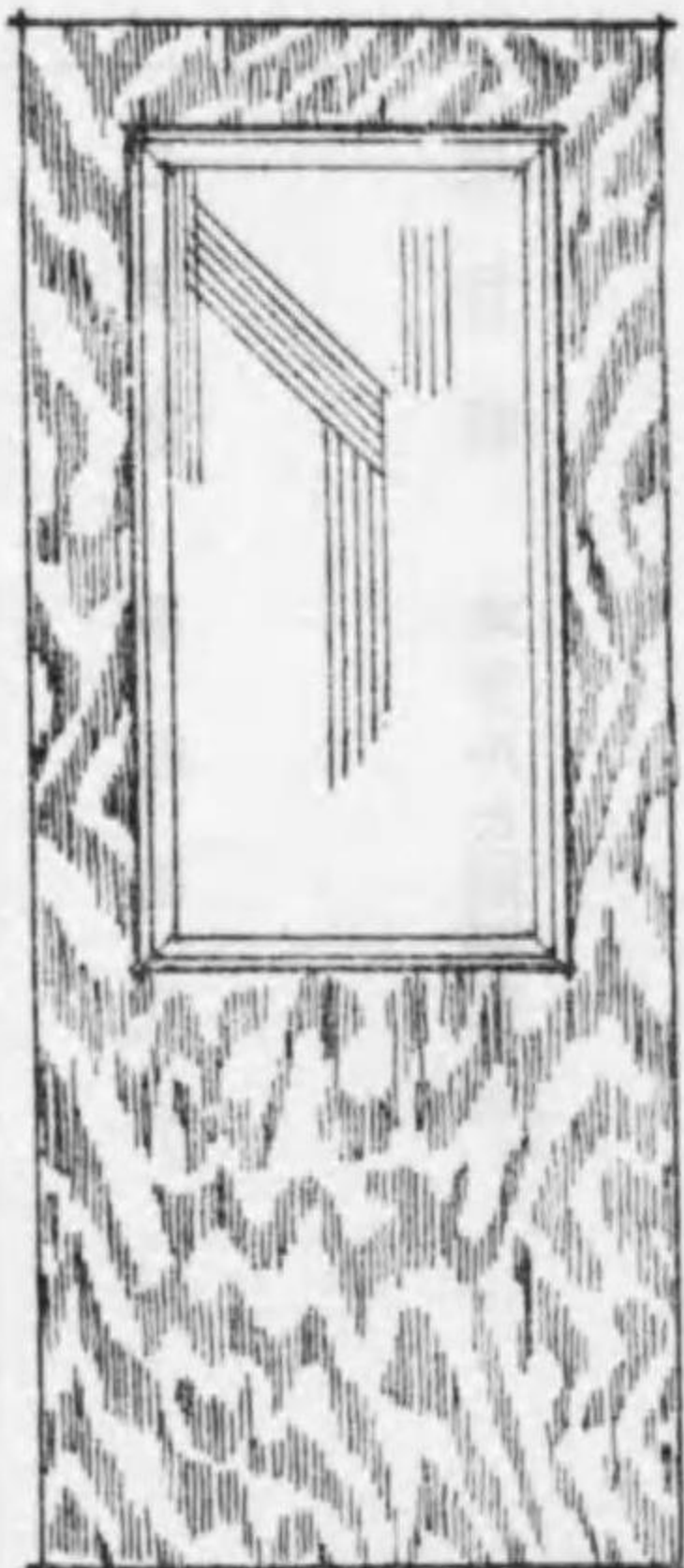
支店出張所

神戸市北長狭通二丁目
 葺合 { 1805
 { 3008
 神戸市西須磨仲之町二
 須磨 261
 福岡市博多上小山町
 福岡 1279
 京城市黄金町二丁目
 京城 1835

◀ 學校に於ける衛生設備 ▶

汽罐室	給水機械裝置、排水機械裝置、給湯循環調節裝置、暖房換氣裝置、防火用壓力唧筒裝置、電氣動力裝置、真空塵埃掃除裝置、煙導裝置
昇降口	足洗器裝置、官設消防ホース接續器(サイヤーミンスコンネクション)
職員室	暖房換氣裝置、真空塵埃掃除器、手洗器、噴水水容器、防火栓及消火器(ミニマックス)
應接室	暖房換氣裝置、真空塵埃掃除器、水洗式痰吐器
救護室	暖房換氣裝置、真空塵埃掃除器、洗面器、水洗式痰吐器、飲用水濾過器、スロップシンク
圖書閱覽室	暖房換氣裝置、手洗器、水洗式痰吐器、噴水水容器
廊下	暖房換氣裝置、防火栓及消火器(ミニマックス)、水洗式痰吐器、階上階下塵埃投下口裝置
屋內體操場	換氣裝置、水洗式痰吐器、噴水水容器
宿直室	(前室) 暖房換氣裝置、防火栓及消火器(ミニマックス)、洗面器
奉安室	防火栓及消火器(ミニマックス)
小使室	暖房換氣裝置、飲用水濾過器、湯沸器、流シ、スロップシンク
更衣室	暖房換氣裝置、真空塵埃掃除器
水遊場	共同浴槽裝置、シャワーバス(壓力水浴)、洗面器、噴水水容器
校庭	噴水裝置、噴水水容器、足洗場裝置、撒水裝置
一般教室	暖房換氣裝置、手洗器
物理化學實驗室	實驗臺鉛板裝置、多口水栓、特別流裝置
圖書室	(室) 暖房換氣裝置、手洗器、スロップシンク
作法及裁縫室	暖房換氣裝置、真空塵埃掃除器、手洗器、流シ、スロップシンク
唱歌室	暖房換氣裝置、噴水水容器
屋上場	水泳プール、撒水裝置、防火栓及消火器(ミニマックス)
洗面場所	湯水栓及(トラホーム豫防)日洗裝置
附帶設備	須賀式連續和風大便所裝置、須賀式對立自動小便所裝置又須賀式汚水淨化裝置

【型錄御申越次第進呈】
 大阪市浪速區櫻川町四丁目
 會社資新田ベニヤ製造所
 電話櫻川四四三番



新田式ベニヤボード

病住宅
 院宅
 院宅



優美
 堅牢
 精巧
 廉價

品質最良、耐水力強大
新田式ベニヤ板
 最理想的
新田式製圖板
 彫刻代用
エンボツスト モールディングス

家具と室内裝飾

笹岡家具裝飾店

諸學校用講堂及唱歌室用
理想的腰掛製造販賣

(實用新案出願中)

弊店は
眞面目がモットー
皆様方の使用人

營業所 大阪市西淀川區海老江町
工場 一四八五番地
電話土佐堀 二九〇六
福 九〇六九
振替口座大阪七九七三三番

- 一東京建鐵株式會社
- 一東京鋼板工業株式會社
- 一日本ハードウエア株式會社
- 一東大工業株式會社
- 一信誠社

總代理店

田島工業會社

本社 東京市麴町區內山下町一丁目一

東洋ビル(東拓)四階

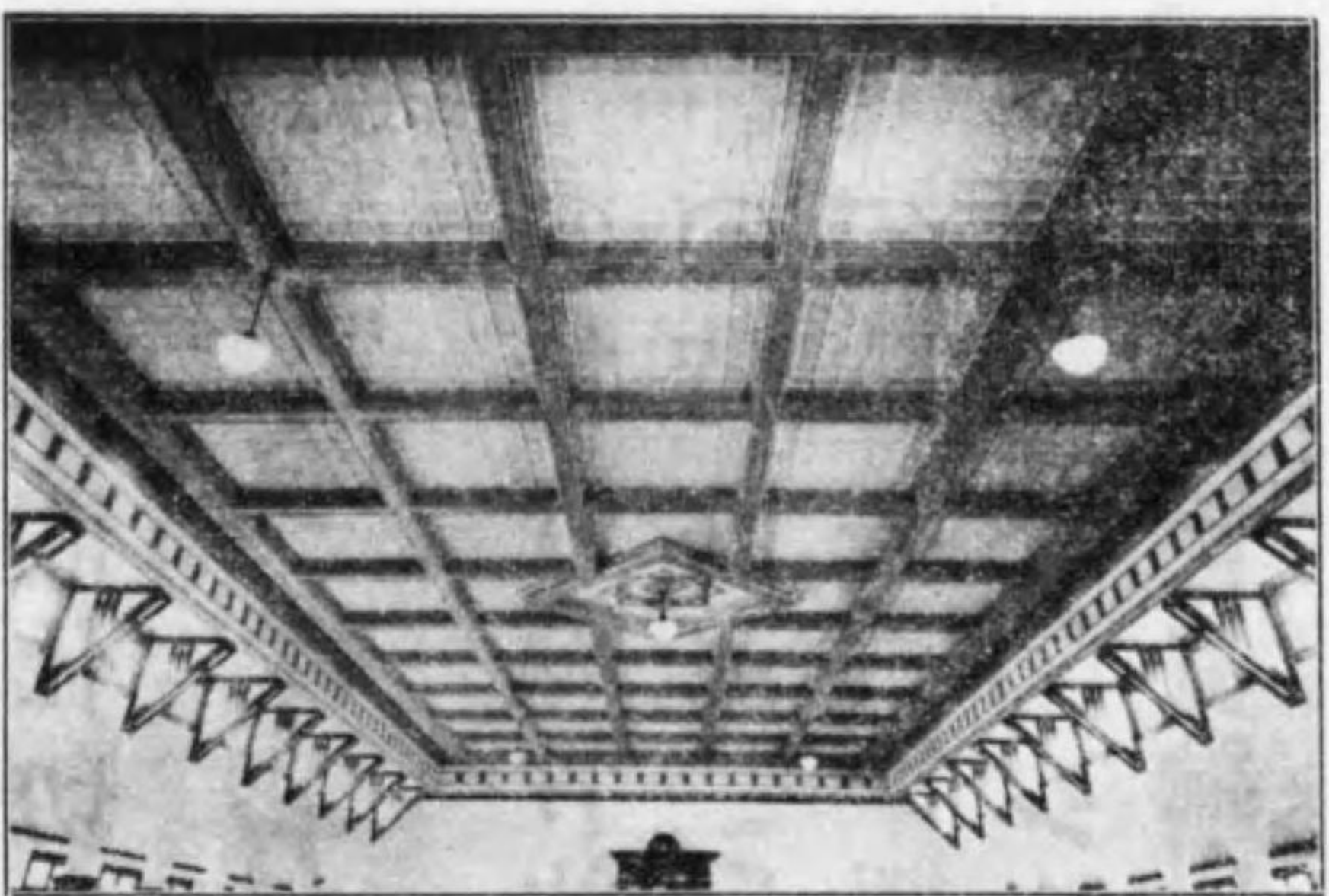
電話銀座 (57)
三三三三
一〇〇〇
五八八八
八三二一
番番番番

大阪支店 大阪市東區備後町二丁目二十一

野村ビル(五階)

電話本町 一一五〇八七〇番

講堂ト金屬天井と



膳所小學校 金屬天井

耐火震高尙、衛生、絶反響



經濟、施行簡單

六甲村小學校ウォールボード

ウォールボード

田村商會

- 本店 神戸榮町六丁目
電話元町 五〇一・五〇三・五〇五
電話元町 五〇二・五〇四
- 支店 大阪西區靱上通二丁目
電話土佐堀 六八八・八八一〇
- 同 東京日本橋吳服橋一丁目
- 同 横濱港町一丁目
- 同 北米晚香坡ダンレビー街
- 工場 神戸兵庫新川
電話兵庫 九一・二四〇三
電話兵庫 二四四・六四〇

- ◆創業三十五年經驗
- ◆設計圖案提供
- ◆製作施行ノ徹底



御申越次第
カタログ進呈

國産衛生陶器の 最優良品「マーク」

營業課目
建築衛生陶器、洗面器兩便器
家庭用流シ、化學用流シ
寫真用バット、浴槽、水盤

東洋陶器株式會社大阪出張所

大阪西區阿波座上通一丁目一〇
信濃橋又點南へ半丁

電話新町二八八五番

本社 小倉市篠崎町 電話 六八五 四六三 四六三
出張所 東京市芝區虎之門角 電話 三三三 四六三 四六三

壁天井間仕切用材

專賣 特許 **タイガーボード** (石膏壁板)

- 特許鐵骨波形スレート
- 特許キングスレート
- 防寒、保溫、遮音用材
- インシユライト
- SSE眞鍮引板階段止金具

● 型錄進呈

關西總代理店

福島合名會社大阪支店

大阪北區堂島ビルディング

電話北五八九〇番

最良の代表の黒ムス邦本

浅野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美



日本スレート販賣株式会社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀 3468 番・3469 番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座 684・841(専用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 {横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
{門司市東本町四丁目 電話 548 番
出張所 名古屋・仙臺・京城

タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイルとセラコッター

東京出張所

東京市日本橋區三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

材木商

大阪市西區阿波堀通五丁目

今芳商店

池田好一

(電話新町二七五九番)



營業案內

暖房部 製作部
 暖房、換氣 各種放熱器
 溫濕氣調整 工作用高級機械
 水道、衛生 汽罐、鑄鐵品
 設計、施工 コンベヤー、
 フト、ケーブアルカー

株式會社 東亞鐵工所

大阪市此花區西九條濱通一〇

電話土佐堀(一)一三七番
(三)九六七番

株式會社 東亞鐵工所東京出張所

東京市麴町區丸ノ内ビル三九八
電話丸ノ内(23)一七九六番

國產優良品

ハロイ博士衛生器



CW 50 - A

洗面器、手洗器、流し類、和洋
大小便器、浴槽等各種、

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ヶ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて「持ち送り」「木栓」の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆様に御獎め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

營業所
名古屋

西原式

汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號

新案特許

第 第 第 第
 六 六 六 六
 一 一 一 一
 〇 四 三 三
 七 二 五 二
 二 三 四 一
 號 號 號 號

本店 東京

大 阪 市 北 區 中 之 島 五 丁 目 三 十 番 地
 西 原 衛 生 工 業 所 支 店
 電 話 土 佐 堀 七 三 七 番
 京 都 市 萬 壽 寺 通 丸 東 入
 西 原 衛 生 工 業 所 出 張 店
 電 話 一 下 三 四 五 番

テラコッタ {伊賀窯業株式會社
伊賀西一手販賣

スチールサングラス } 當社製作販賣
スチールサングラス
スチールサングラス
スチールサングラス

政 正 合 資 會 社

本社 大阪市西淀川區大仁西壹丁目二十番地

電話 農土佐堀一九四九番 振替 大阪四五六七六
工場 専用 西五四三番

創業 明治十四年

日本ペイント

理想的コンクリート塗料

登録商標 **コンクリート** (Concrint)

凡そコンクリート建造物はその表面を塗料で覆はなかつたならば完成した建物とは云へないのであります。

灰色のコンクリートを丸出しにした骸骨のやうな建物なんか見ただけでも不愉快ではありませんか。その上不衛生で耐久力も弱いから、かゝる建造物は未成品として取扱ふべきであります。

そこでコンクリート用ペイントであります。これを不用意に買入れるとセメントのアルカリに侵され、折角塗つても直ぐボロボロに剥けて役に立たない結局費用損といふ事になります。

然らばどんなコンクリートペイントがいいか？ いろいろ試み、日本ペイントの「コンクリート」が絶対に最適品であります。何故なら色々な實驗に美事にパスして何物にも冒されないといふ證明が付て居り、現に五六年前に塗つたコンクリート建築物が今日尚ビクともしてゐないといふ事實が、これを裏書して居るのであります。

(説明書御要求次第進呈)

東洋最大之工場

大 阪 東 京

標商錄登



最新發賣の昭和プラスター發明者は曩に大連ドロマイトを發明しその聲價を高めつゝありましたことは建築界著名の事實でありますが尙是れに改良を加へた**理想的**新製品として昭和プラスターを發賣致すことゝなりました何卒陸續御用命の程偏に願上ます。

東洋無二の蒸し機械製

昭和プラスター

純正水捏式漆喰材料の創始

(一名ドロマイト質プラスター)

製造所

昭和プラスター工業所

大市連山縣通二一三

關西發賣元

關城化學工業株式會社

大阪營業所

大阪市西區京町堀上通一ノ一四

電話土佐堀八二五番

型・錄・御申越次第贈呈

原・料・最良質白雲石
製・法・機械的水酸化法
品・質・優・良・均・質
塗・裝・簡・便・優・雅
供・給・迅・速・價・廉

2574
11

終